

第24回
文京区政に関する世論調査
報 告 書

平成 30 年 12 月

文 京 区

はじめに

文京区では、平成22年6月に「文京区基本構想～歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」を策定し、これに沿って総合的かつ計画的な区政運営を進めてまいりました。

来年度は、平成29年度から31年度（2019年度）までを計画期間とする「基本構想実施計画」の最終年度となります。本計画は、基本構想に掲げた将来都市像の実現に向けた第3期目の計画で、基本構想の実現に向けた基盤整備を担う「行財政改革推進計画」を包含した計画として、区民の皆様との協働により策定したものであり、本計画に掲げた取組を着実に実行してまいります。

また、区では、区政を話し合う集い、広聴はがき、区民の声（ホームページ）など各種の広聴活動を行い、区民の皆様のご意見、ご要望の把握に努めております。

今回、この広聴活動の一環として、第24回の世論調査を実施いたしました。今回の調査では、「定住意向」「区政運営」「協働・協治」「防災・安全」「まちづくり」「子育て・教育」「高齢者」「消費者相談」「文化・芸術・スポーツ振興」「循環型社会」「議会」「人権・ダイバーシティ」の12項目について調査いたしました。この調査結果につきましては、今後の区政運営の貴重な基礎資料として活用させていただきます。

おわりに、調査にご協力いただきました区民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成30年12月

文京区長 成澤 廣修

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の内容	3
3 調査の設計	3
4 回収結果	3
5 地区区分	4
6 集計にあたって	4
7 分析にあたって	5
8 母集団との比較	5
9 回答者の特性	6
II 調査結果の分析	7
1 定住意向	9
1-1 居住年数	11
1-2 定住・転出意向	13
1-3 住み続けたい理由	16
2 区政運営	19
2-1 満足に感じている区の施策	21
2-2 不満に感じている区の施策	24
2-3 さらに力を入れてほしい区の施策	27
2-4 望む将来（10年後）の文京区	28
2-5 区の財政状況に対する関心	29
2-6 区の財政状況に対する印象	33
2-7 財政の健全化を更に進めていくために必要なこと	37
2-8 ITの活用により実現すると良いと思う区のサービス	39
3 協働・協治	41
3-1 参加している団体・組織・グループ	43
3-2 参加している団体・組織・グループの活動分野	46
3-3 今後参加してみたい地域活動	49
3-4 町会・自治会への参加状況	52
3-5 町会・自治会活動への参加意向	56
3-6 町会・自治会に期待すること	60
4 防災・安全	63
4-1 「文京区客引き行為等防止条例」の認知度	65
4-2 警察のパトロール以外で有用な防犯対策	68
4-3 災害への備え	71
4-4 区からの災害情報の提供方法の認知度	74
4-5 防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法	77

目 次

5	まちづくり	81
5-1	自転車の安全利用施策	83
5-2	周辺地域のまち並み・景観に対する満足度	86
5-3	「道路の無電柱化」についてのイメージ	89
5-4	「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度	92
5-5	住まいのまわりの「緑」を増やすために必要なこと	95
5-6	区立公園や児童遊園などの利用頻度	98
5-7	区内にあるとよいと思う公園	101
6	子育て・教育	105
6-1	子育て支援のために取り組むべき施策	107
6-2	青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと	110
6-3	学校支援活動への今後の協力意向	113
7	高齢者	117
7-1	高齢者あんしん相談センターの認知度	119
7-2	地域包括ケアシステムの認知度	122
8	消費者相談	125
8-1	消費者相談室の認知・利用状況	127
9	文化・芸術・スポーツ振興	129
9-1	オリンピック・パラリンピック東京2020大会への かかわり方	131
9-2	オリンピック・パラリンピック東京2020大会のレガシー (遺産)を残すため、区民が行うべきこと	133
10	循環型社会	135
10-1	環境について知りたいこと	137
10-2	ごみ減量を進めるために区から発信してほしい情報	139
11	議会	141
11-1	区議会活動の認知媒体	143
11-2	区議会のホームページの閲覧状況	145
11-3	区議会の活動として期待すること	146
12	人権・ダイバーシティ	149
12-1	「男女平等センター相談室」認知・利用状況	151
12-2	人権や差別・偏見の問題について区が力を入れていく べきこと	153
12-3	「SOG I」「LGBT」の認知度	155
Ⅲ	質問と回答	159

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、区民の区政に対する意識や意向、意見や要望等を統計的手法によつて的確に把握することを目的として行った。

2 調査の内容

第24回文京区政に関する世論調査は、「区政全般」をテーマとし、次の12項目について調査した。

- | | |
|------------|------------------|
| (1) 定住意向 | (7) 高齢者 |
| (2) 区政運営 | (8) 消費者相談 |
| (3) 協働・協治 | (9) 文化・芸術・スポーツ振興 |
| (4) 防災・安全 | (10) 循環型社会 |
| (5) まちづくり | (11) 議会 |
| (6) 子育て・教育 | (12) 人権・ダイバーシティ |

3 調査の設計

- | | |
|------------|------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 文京区全域 |
| (2) 調査対象 | 文京区在住の満18歳以上の個人（住民基本台帳による） |
| (3) 標本数 | 2,500サンプル |
| (4) 対象者の抽出 | 層化2段無作為抽出法（5地区に分類し対象者を抽出） |
| (5) 調査方法 | [配布] 郵送配布
[回収] 郵送回収またはインターネット回答 |
| (6) 調査期間 | 平成30年8月21日（火）～9月5日（水） |
| (7) 調査機関 | 株式会社 総合企画 |

4 回収結果

(1) 地区別

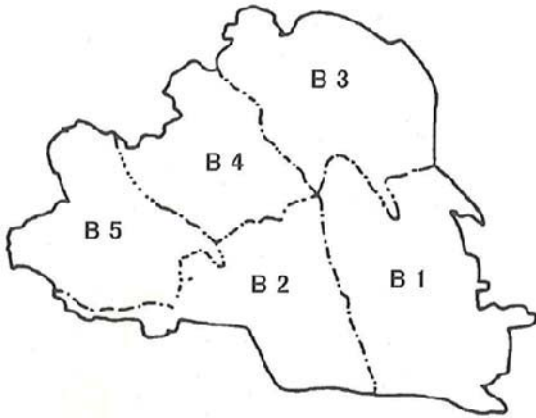
	満18歳以上人口（構成比）	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	178,663 (100.0%)	2,500	1,013	40.5%
B 1 地区	43,287 (24.2%)	609	219	36.0%
B 2 地区	34,748 (19.4%)	478	215	45.0%
B 3 地区	44,373 (24.8%)	631	263	41.7%
B 4 地区	30,078 (16.8%)	413	166	40.2%
B 5 地区	26,177 (14.7%)	369	146	39.6%
地区不明	-	-	4	-

※満18歳以上人口：平成30年7月1日現在

(2) 回収方法別

	有効回収数	（構成比）
全 体	1,013	(100.0%)
郵送	876	(86.5%)
インターネット	131	(12.9%)
持参	6	(0.6%)

5 地区区分



地区	町名(丁目)
B 1	根津、弥生、本郷、湯島、西片、白山(1丁目)、向丘(1丁目)
B 2	後楽、春日、水道、小石川(1～4丁目)、関口(1丁目)、小日向(1丁目)、白山(2丁目)
B 3	千駄木、本駒込、向丘(2丁目)、白山(5丁目)
B 4	千石、白山(3・4丁目)、大塚(3・4丁目)、小石川(5丁目)
B 5	音羽、目白台、大塚(1・2・5・6丁目)、関口(2・3丁目)、小日向(2～4丁目)

6 集計にあたって

- (1) 図表中の「n」(number of caseの略)は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- (2) 集計は百分率とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100.0%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (5) 標本誤差は回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、層化二段無作為抽出法による場合の誤差(信頼度95%)は次の式によって得られる。

<標本誤差算出式>

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 (二段抽出の場合)
 N = 母集団全体
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 P = 回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差及び信頼の範囲は次ページの表のとおりであり、「ある設問の回答者数が1,013人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その答比率の誤差の範囲は、最高でも±4.35である」というようにみる。

<標本誤差早見表> (信頼度：95%)

回答比率 (P) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,013	± 2.67	± 3.55	± 4.07	± 4.35	± 4.44
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	±10.00
100	± 8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

(注) Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

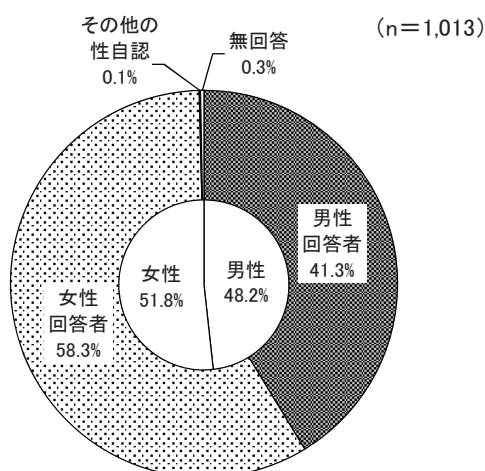
7 分析にあたって

- (1) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (2) クロス結果の帯グラフや表について、表側（分析の軸）となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側（分析の軸）の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (3) 複数回答の設問におけるクロス結果の棒グラフは、上位10項目に限定している場合があり、その際、「その他」は対象から除き表示していない。
- (4) クロス集計時に、基数 (n) が小さい数字になる場合は誤差が大きいため注意が必要であり、コメントを省略していることがある。
- (5) ライフステージの分類は以下のとおりである。

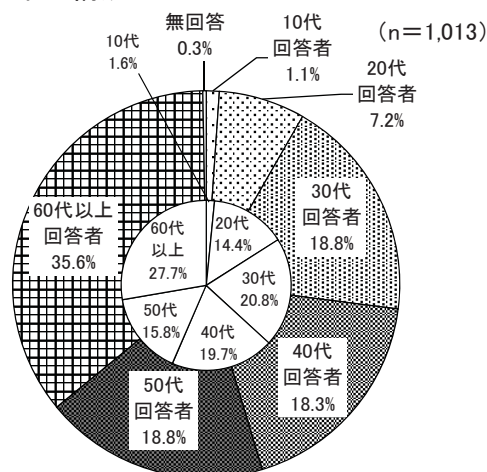
- ・ 独身期：40歳未満の独身者
- ・ 家族形成期：40歳未満の子どもがいない夫婦、または一番上の子どもが就学前の人
- ・ 家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生の人
- ・ 家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生の人
- ・ 家族成熟期：64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- ・ 老齢期：65歳以上の人
- ・ その他：40歳～64歳の独身者、40歳～64歳の子どもがいない夫婦など

8 母集団との比較

(1) 性別構成



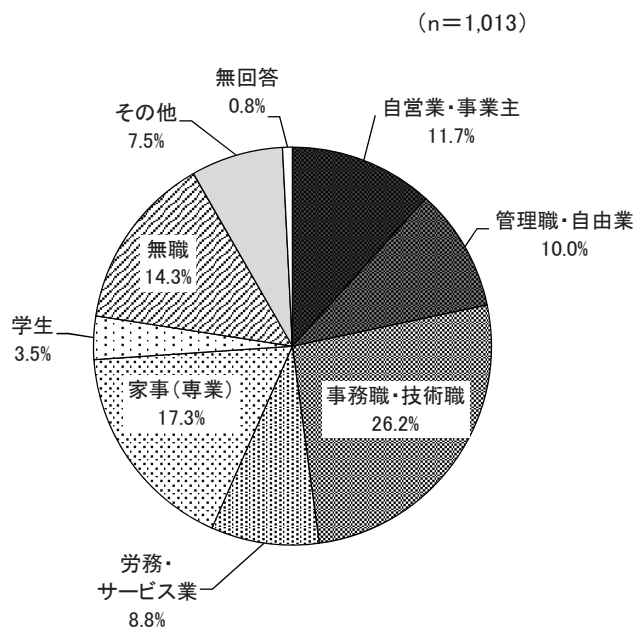
(2) 年代構成



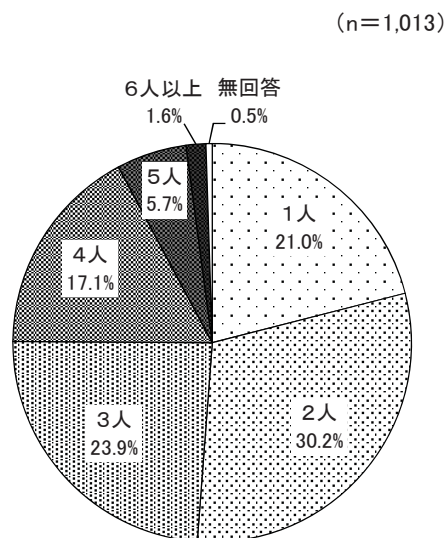
(注) 円内は母集団、外円は調査回答者の構成比を示している。

9 回答者の特性

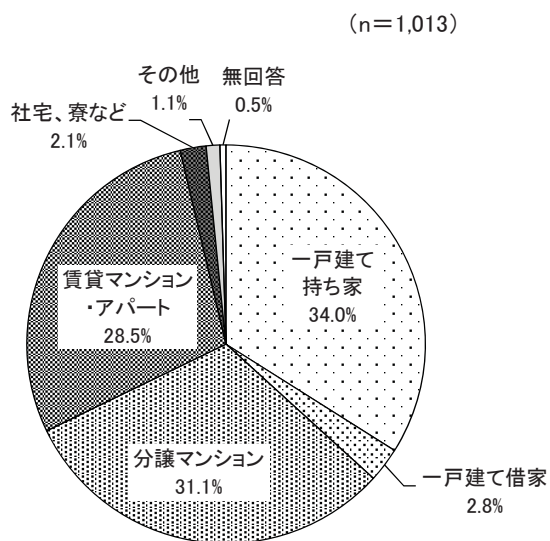
(1) 職業



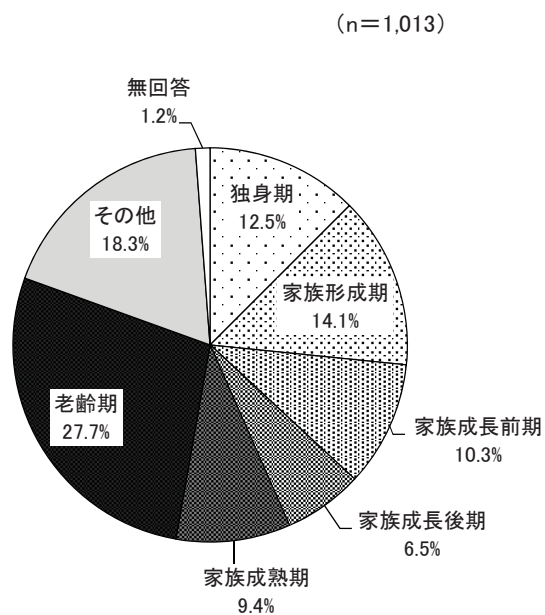
(2) 家族人数



(3) 居住形態



(4) ライフステージ



II 調査結果の分析

1 定住意向

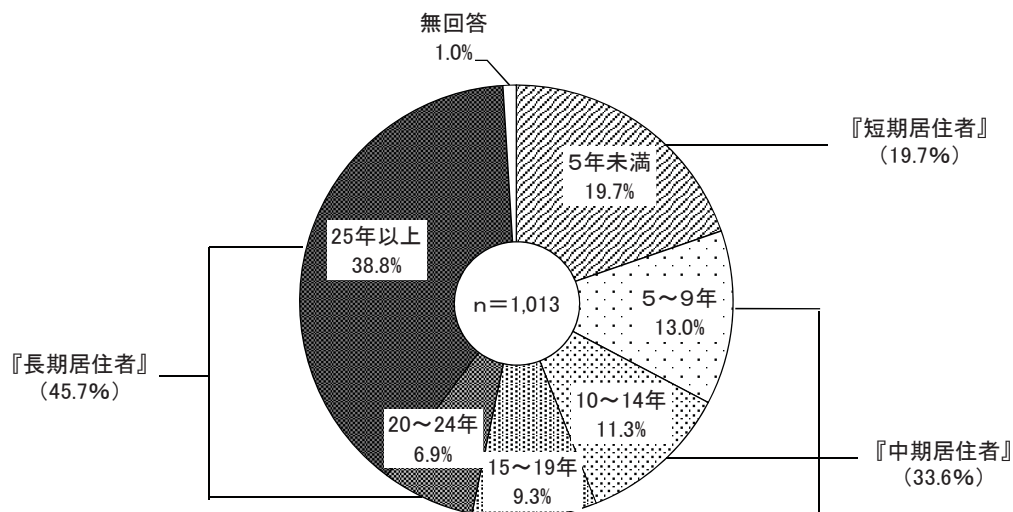
-
- 1 - 1 居住年数
 - 1 - 2 定住・転出意向
 - 1 - 3 住み続けたい理由
-

1 定住意向

1-1 居住年数

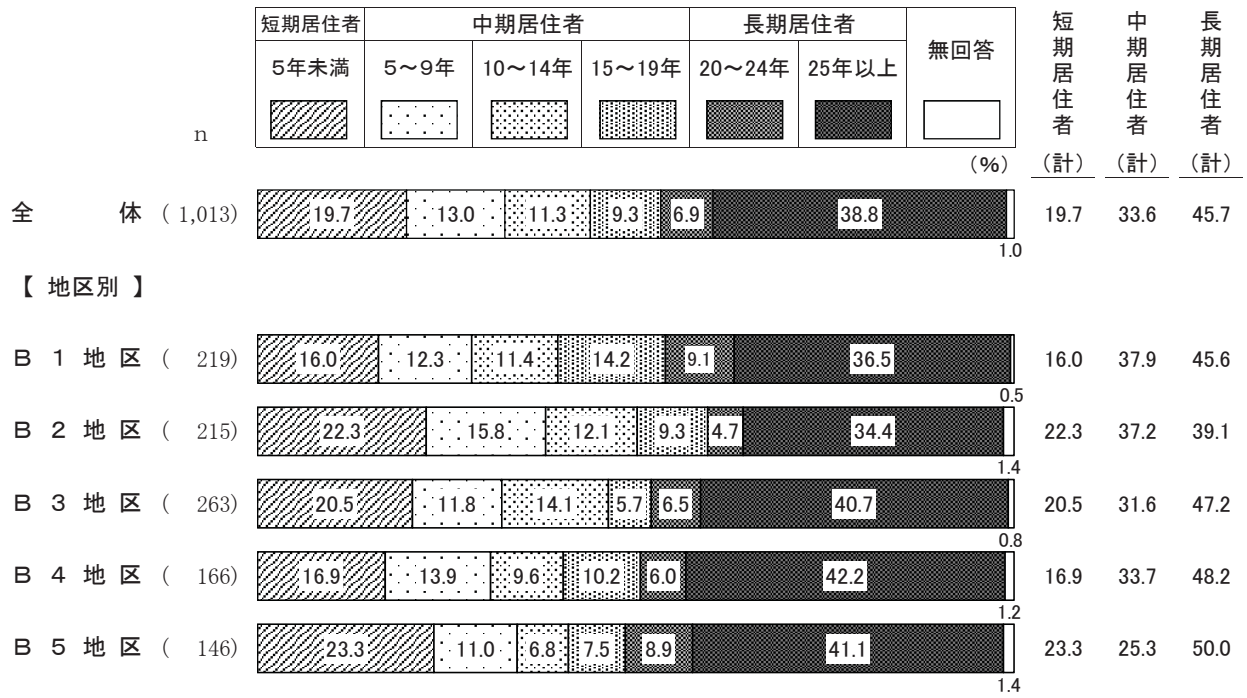
問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

図1-1-1 居住年数



居住年数をたずねたところ、「5年未満」の『短期居住者』（19.7%）が約2割、「5～9年」（13.0%）、「10～14年」（11.3%）、「15～19年」（9.3%）を合わせた『中期居住者』（33.6%）が3割を超え、「20～24年」（6.9%）、「25年以上」（38.8%）を合わせた『長期居住者』（45.7%）が4割半ばとなっている。（図1-1-1）

図 1 - 1 - 2 居住年数—地区別

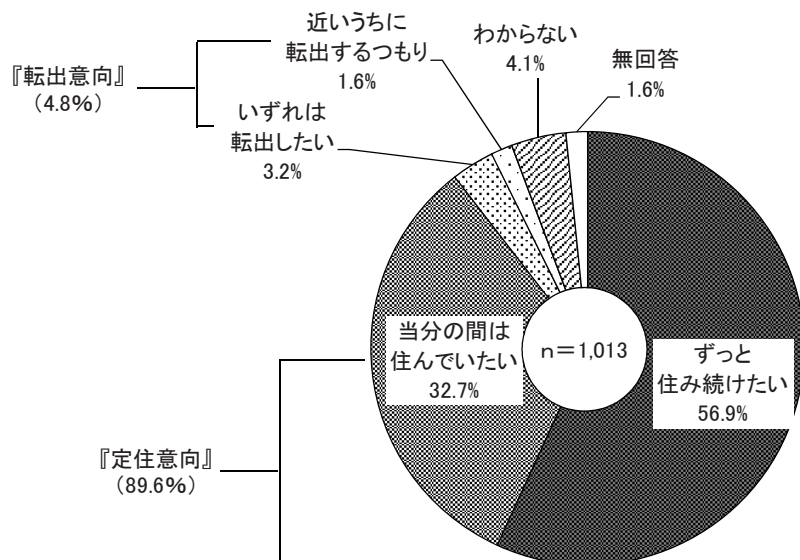


地区別にみると、『中期居住者』はB 1 地区、B 2 地区でともに4割近く、『長期居住者』はB 4 地区、B 5 地区で約5割と多くなっている。(図 1 - 1 - 2)

1-2 定住・転出意向

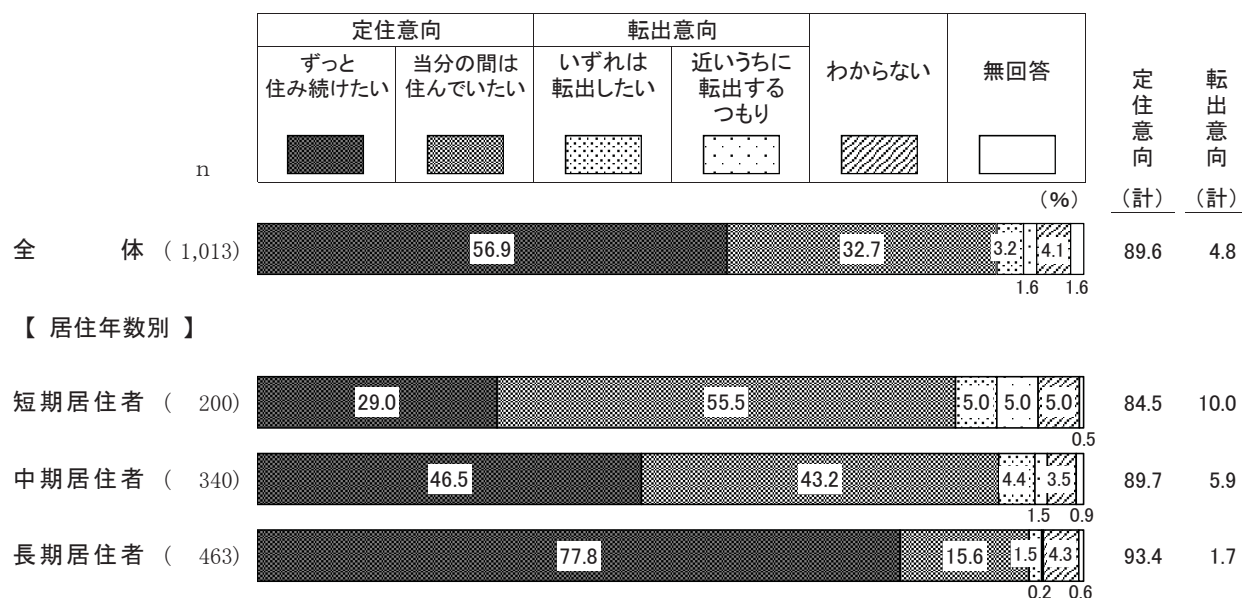
問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図1-2-1 定住・転出意向



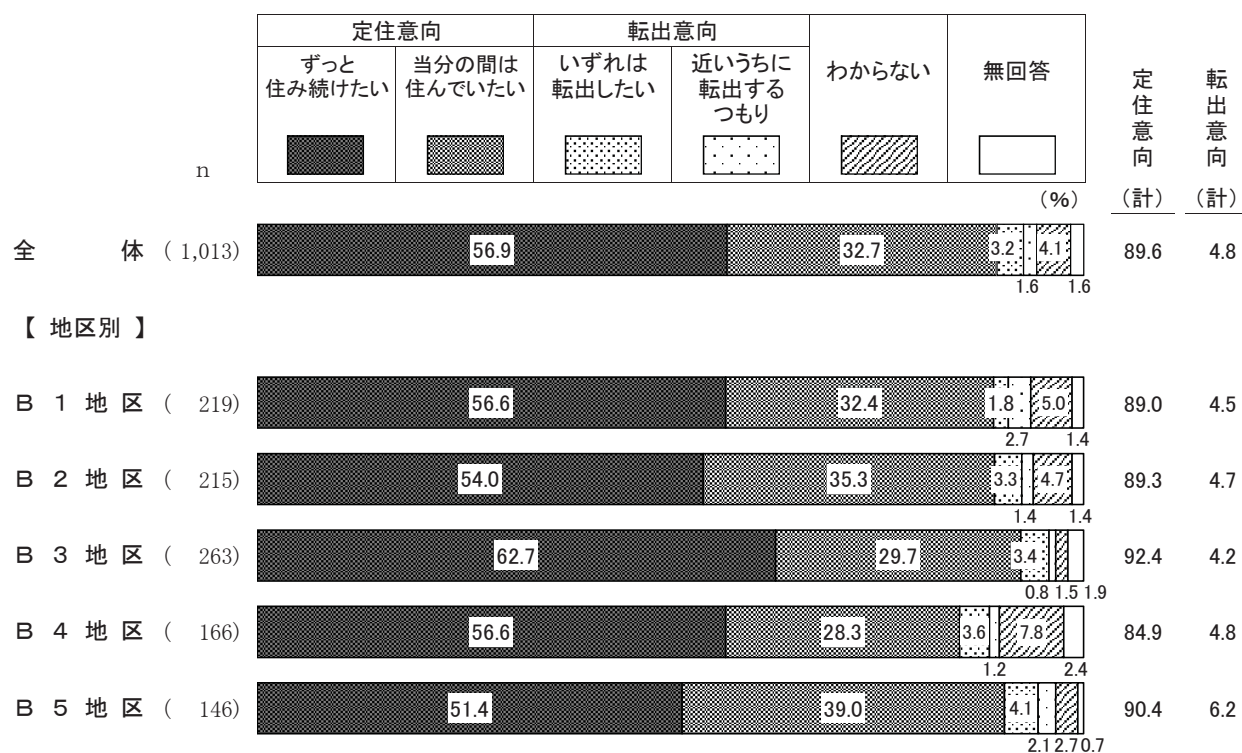
定住・転出意向をたずねたところ、これからも文京区に「ずっと住み続けたい」(56.9%)が5割半ばを占め、「当分の間は住んでいたい」(32.7%)を合わせた『定住意向』(89.6%)が約9割となっている。一方、「いずれは転出したい」(3.2%)、「近いうちに転出するつもり」(1.6%)を合わせた『転出意向』(4.8%)は1割に満たない。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住・転出意向—居住年数別



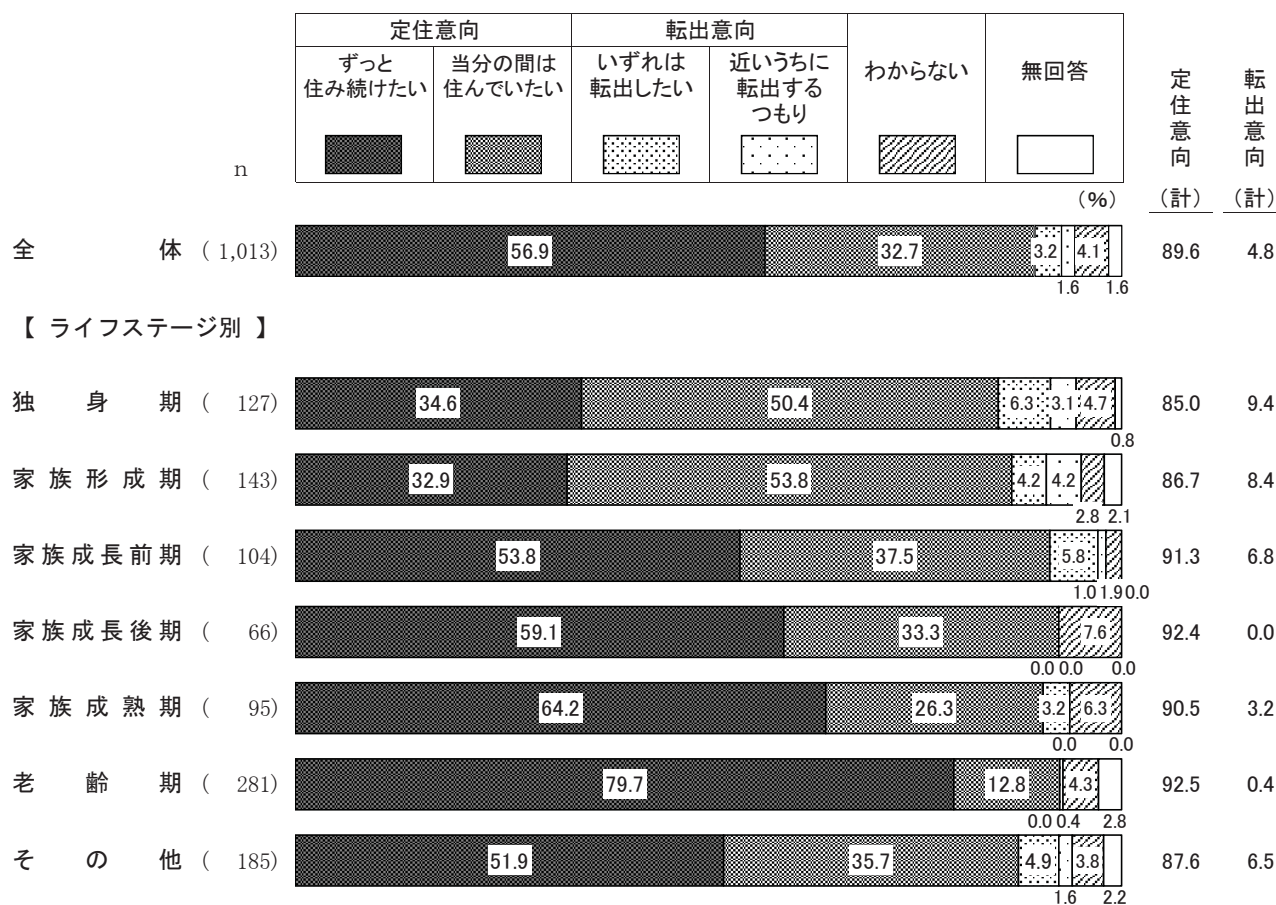
居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長いほど多く、長期居住者で8割近くとなっている。『定住意向』はいずれの居住年数でも8割以上となっており、長期居住者で9割を超え、短期居住者でも8割半ばとなっている。(図1-2-2)

図 1-2-3 定住・転出意向—地区別



地区別にみると、「ずっと住み続けたい」はすべての地区で5割を超えており、『定住意向』はB3地区とB5地区で9割を超えている。(図1-2-3)

図 1-2-4 定住・転出意向－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「ずっと住み続けたい」は老齢期で約8割、家族成熟期で6割半ば、家族成長後期で約6割と多くなっており、次いで、家族成長前期、その他でそれぞれ5割を超えている。独身期、家族形成期はともに3割台となっている。『定住意向』は家族成長前期から老齢期でそれぞれ9割を超え多くなっている。(図1-2-4)

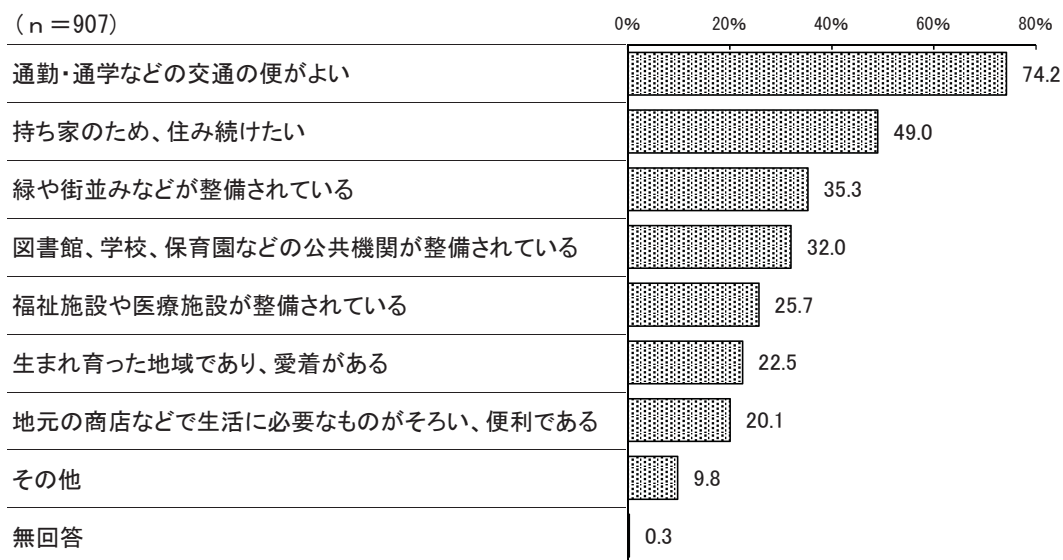
1-3 住み続けたい理由

【問2で「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分の間は住んでいたい」と回答した方に】

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか。

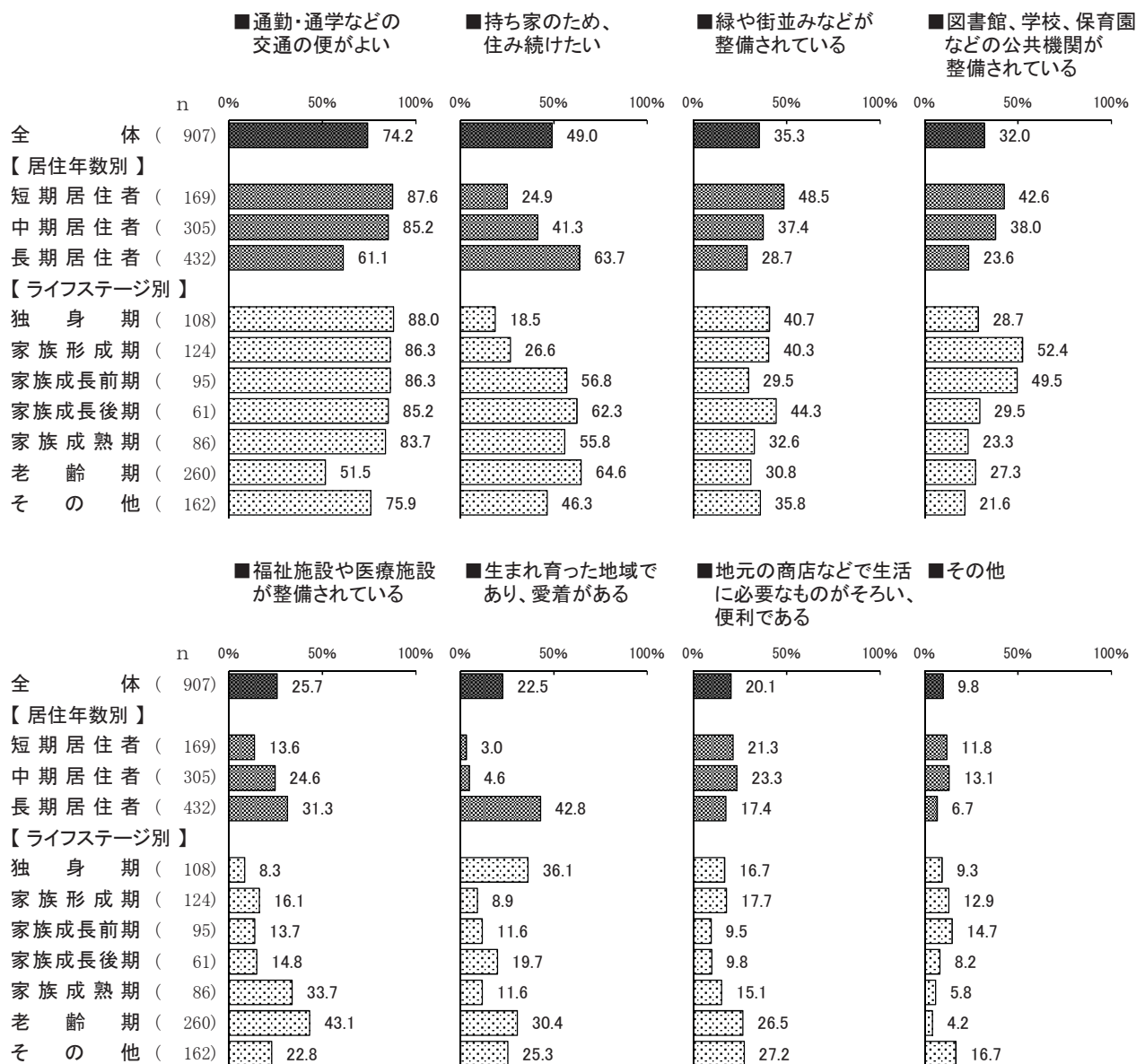
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。

図 1-3-1 住み続けたい理由



これからも文京区に「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住んでいたい」と答えた方（907人）に、住み続けたい理由をたずねたところ、「通勤・通学などの交通の便がよい」（74.2%）が7割半ばと最も多く、次いで「持ち家のため、住み続けたい」（49.0%）、「緑や街並みなどが整備されている」（35.3%）、「図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている」（32.0%）などの順となっている。（図1-3-1）

図1-3-2 住みたい理由—居住年数別／ライフステージ別



居住年数別にみると、「通勤・通学などの交通の便がよい」、「緑や街並みなどが整備されている」、「図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている」などは居住年数が短いほど多くなっている。一方、「持ち家のため、住みたい」、「福祉施設や医療施設が整備されている」、「生まれ育った地域であり、愛着がある」は居住年数が長いほど多くなっている。

ライフステージ別にみると、「通勤・通学などの交通の便がよい」は独身期で9割近く、家族形成期、家族成長前期でそれぞれ8割半ばとなっており、「図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている」は家族形成期で5割を超え、家族成長前期で約5割と多くなっている。「持ち家のため、住みたい」はおおむねライフステージが上がるほど多く、老齢期で6割半ばとなっている。一方、「生まれ育った地域であり、愛着がある」は独身期で3割半ば、老齢期で約3割と多くなっている。(図1-3-2)

2 区政運営

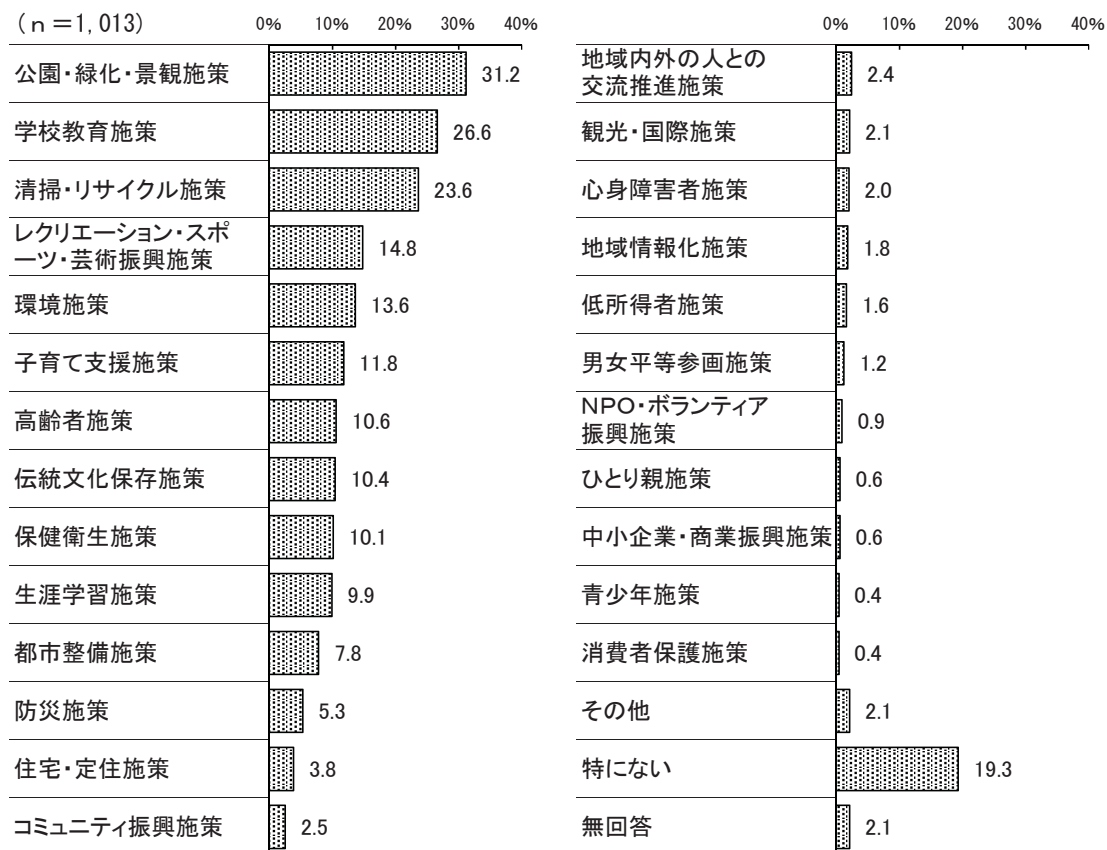
-
- 2-1 満足に感じている区の施策
 - 2-2 不満に感じている区の施策
 - 2-3 さらに力を入れてほしい区の施策
 - 2-4 望む将来（10年後）の文京区
 - 2-5 区の財政状況に対する関心
 - 2-6 区の財政状況に対する印象
 - 2-7 財政の健全化を更に進めていくために必要なこと
 - 2-8 I Tの活用により実現すると良いと思う区のサービス
-

2 区政運営

2-1 満足に感じている区の施策

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じているものはどれですか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図2-1-1 満足に感じている区の施策



満足を感じる区の施策についてたずねたところ、「公園・緑化・景観施策」(31.2%)が3割を超え最も多く、次いで「学校教育施策」(26.6%)、「清掃・リサイクル施策」(23.6%)、「レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策」(14.8%)などの順となっている。

(図2-1-1)

表2-1-1 満足に感じている区の施策—性別／性・年代別

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,013	公園・緑化・ 景観施策 31.2	学校教育施策 26.6	清掃・ リサイクル施策 23.6	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 14.8	環境施策 13.6
【性別】	男 性	418	公園・緑化・ 景観施策 32.3	学校教育施策 28.7	清掃・ リサイクル施策 20.8	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策／環境施策 14.6	
	女 性	591	公園・緑化・ 景観施策 30.3	清掃・ リサイクル施策 25.5	学校教育施策 25.0	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 15.1	環境施策 13.0
男 性	10・20代	33	学校教育施策 36.4	清掃・リサイクル施策 ／公園・緑化・景観施策 24.2		レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策／環境施策 18.2	
	30代	69	公園・緑化・ 景観施策 39.1	学校教育施策／子育て支援施策 24.6		清掃・ リサイクル施策 18.8	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 15.9
	40代	83	学校教育施策 36.1	公園・緑化・ 景観施策 30.1	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 18.1	子育て支援施策 16.9	清掃・ リサイクル施策 15.7
	50代	72	公園・緑化・ 景観施策 34.7	学校教育施策 25.0	清掃・ リサイクル施策 15.3	保健衛生施策 13.9	環境施策 12.5
	60代以上	160	公園・緑化・ 景観施策 31.3	学校教育施策 26.9	清掃・ リサイクル施策 26.3	高齢者施策 22.5	伝統文化保存施策 ／環境施策 16.3
女 性	10・20代	51	公園・緑化・ 景観施策 29.4	学校教育施策 25.5	都市整備施策 15.7	清掃・ リサイクル施策 13.7	子育て支援施策 ／環境施策 11.8
	30代	120	学校教育施策 25.8	子育て支援施策 23.3	清掃・ リサイクル施策 22.5	公園・緑化・ 景観施策 21.7	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 15.0
	40代	101	学校教育施策 32.7	公園・緑化・ 景観施策 28.7	子育て支援施策 19.8	清掃・ リサイクル施策 16.8	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 15.8
	50代	118	清掃・ リサイクル施策 32.2	公園・緑化・ 景観施策 29.7	学校教育施策 20.3	レクリエーション・ スポーツ・芸術 振興施策 16.9	生涯学習施策 13.6
	60代以上	201	公園・緑化・ 景観施策 36.8	清掃・ リサイクル施策 30.8	高齢者施策 26.4	学校教育施策 23.4	生涯学習施策 ／環境施策 17.9

性別に上位の施策をみると、男女ともに第1位は「公園・緑化・景観施策」となっているが、第2位以降は、男性は第2位が「学校教育施策」、第3位が「清掃・リサイクル施策」となっており、女性は第2位が「清掃・リサイクル施策」、第3位が「学校教育施策」となっている。

性・年代別に上位の施策をみると、男性は10・20代と40代、女性は30代と40代で第1位が「学校教育施策」となっており、男性30代、50代、60代以上、女性10・20代、60代以上は「公園・緑化・景観施策」が、女性50代は「清掃・リサイクル施策」が第1位となっている。また、男性30代と50代、及び60代以上、女性10・20代は第2位が「学校教育施策」となっている。一方、「高齢者施策」は女性60代以上は第3位、男性60代以上は第4位となっている。（表2-1-1）

表 2-1-2 満足に感じている区の施策－ライフステージ別

(%)

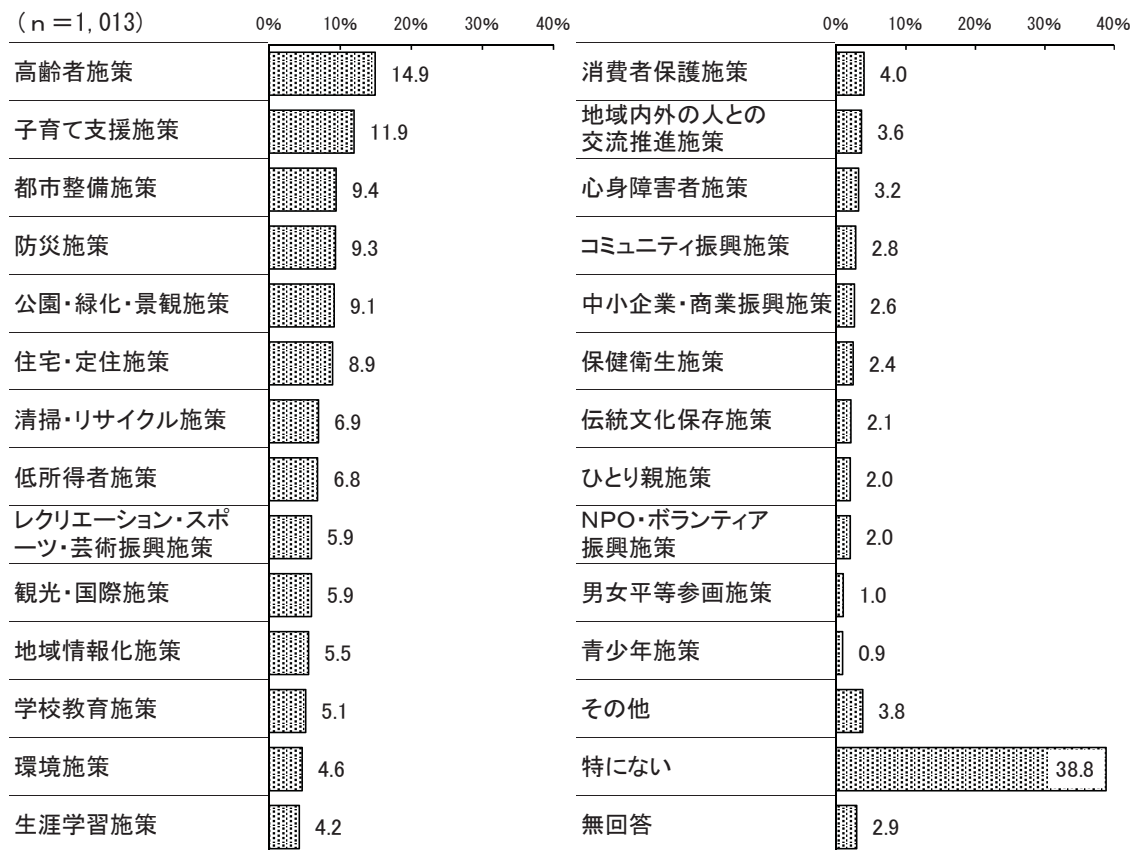
		n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体		1,013	公園・緑化・ 景観施策 31.2	学校教育施策 26.6	清掃・ リサイクル施策 23.6	レクリエーション ・スポーツ・芸術 振興施策 14.8	環境施策 13.6
【ライフ ステージ別】	独 身 期	127	清掃・ リサイクル施策 26.8	公園・緑化・ 景観施策 23.6	学校教育施策 22.8	都市整備施策／環境施策 13.4	
	家 族 形 成 期	143	子育て支援施策 32.9	学校教育施策 30.8	公園・緑化・ 景観施策 30.1	レクリエーション・スポーツ・芸術 振興施策／清掃・リサイクル施策 14.7	
	家 族 成 長 前 期	104	学校教育施策 50.0	公園・緑化・ 景観施策 34.6	子育て支援施策 28.8	レクリエーション ・スポーツ・芸術 振興施策 22.1	清掃・ リサイクル施策 12.5
	家 族 成 長 後 期	66	学校教育施策 42.4	公園・緑化・ 景観施策 27.3	清掃・ リサイクル施策 21.2	子育て支援施策 18.2	伝統文化保存施策 15.2
	家 族 成 熟 期	95	公園・緑化・ 景観施策 33.7	清掃・ リサイクル施策 24.2	学校教育施策 18.9	環境施策 16.8	レクリエーション ・スポーツ・芸術 振興施策 15.8
	老 齢 期	281	公園・緑化・ 景観施策 35.6	清掃・ リサイクル施策 29.5	高齢者施策 26.3	学校教育施策 25.3	環境施策 16.4
	そ の 他	185	公園・緑化・ 景観施策 29.2	清掃・ リサイクル施策 27.6	レクリエーション ・スポーツ・芸術 振興施策 15.7	環境施策 15.1	学校教育施策 13.5

ライフステージ別に上位の施策をみると、家族成熟期、老齢期、その他は第1位が「公園・緑化・景観施策」となっている。家族成長前期、家族成長後期は第1位が「学校教育施策」となっており、家族成長前期で5割、家族成長後期で4割を超えている。また、家族形成期は「子育て支援施策」が、独身期は「清掃・リサイクル施策」が第1位となっている。（表 2-1-2）

2-2 不満に感じている区の施策

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じているものはどれですか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図2-2-1 不満に感じている区の施策



不満を感じる区の施策についてたずねたところ、「高齢者施策」(14.9%)が1割半ばと最も多く、次いで「子育て支援施策」(11.9%)、「都市整備施策」(9.4%)、「防災施策」(9.3%)などの順となっている。一方、「特にない」(38.8%)は4割近くとなっている。

(図2-2-1)

表2-2-1 不満に感じている区の施策－性別／性・年代別

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,013	高齢者施策 14.9	子育て支援施策 11.9	都市整備施策 9.4	防災施策 9.3	公園・緑化・ 景観施策 9.1
【性別】	男 性	418	高齢者施策 12.7	子育て支援施策 12.0	防災施策 10.8	住宅・定住施策 10.5	観光・国際施策 10.3
	女 性	591	高齢者施策 16.6	子育て支援施策 12.0	都市整備施策 9.3	公園・緑化・ 景観施策 9.0	防災施策 8.3
男 性	10・20代	33	子育て支援施策／公園・緑化・景観施策／ 観光・国際施策 12.1			防災施策 9.1	レクリエーション・スポーツ・芸術振興 施策／心身障害者施策／青 少年施策／男女平等参画施 策／清掃・リサイクル施策／環境 施策／住宅・定住施策／NPO・ ボランティア振興施策 6.1
	30代	69	子育て支援施策 27.5	清掃・ リサイクル施策 11.6	学校教育施策／都市整備施策 10.1		公園・緑化・景観 施策／防災施策／ 観光・国際施策 8.7
	40代	83	子育て支援施策 19.3	公園・緑化・ 景観施策 13.3	観光・国際施策 12.0	都市整備施策／住宅・定住施策／ 防災施策 10.8	
	50代	72	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策／ 高齢者施策／観光・国際施策 12.5			住宅・定住施策 9.7	都市整備施策／ 清掃・リサイクル 施策／防災施策 8.3
	60代以上	160	高齢者施策 22.5	住宅・定住施策／防災施策 13.1		低所得者施策 12.5	都市整備施策 10.6
女 性	10・20代	51	清掃・ リサイクル施策 15.7	地域内外の人との交流推進施策／子育て支援施策／都市整備施策／ 公園・緑化・景観施策／観光・国際施策 7.8			
	30代	120	子育て支援施策 27.5	公園・緑化・ 景観施策 13.3	学校教育施策 10.0	住宅・定住施策 8.3	低所得者施策 6.7
	40代	101	子育て支援施策 19.8	公園・緑化・ 景観施策 14.9	都市整備施策 13.9	学校教育施策 12.9	清掃・ リサイクル施策 11.9
	50代	118	高齢者施策 20.3	都市整備施策 10.2	防災施策 8.5	住宅・定住施策 7.6	公園・緑化・ 景観施策 6.8
	60代以上	201	高齢者施策 27.9	防災施策 10.9	低所得者施策 10.4	地域情報化施策 9.5	都市整備施策／ 住宅・定住施策 9.0

性別に上位の施策をみると、男女いずれも第1位は「高齢者施策」、第2位は「子育て支援施策」となっている。

性・年代別に上位の施策をみると、男女ともに30代、40代で「子育て支援施策」が第1位となっており、男女ともに30代で3割近くと多くなっている。男性60代以上、女性50代、60代以上は「高齢者施策」が第1位となっており、女性60代以上で3割近く、男性60代以上でも2割を超えている。また、男女ともに60代以上で「防災施策」が第2位となっている。（表2-2-1）

表2-2-2 不満に感じている区の施策－ライフステージ別

(%)

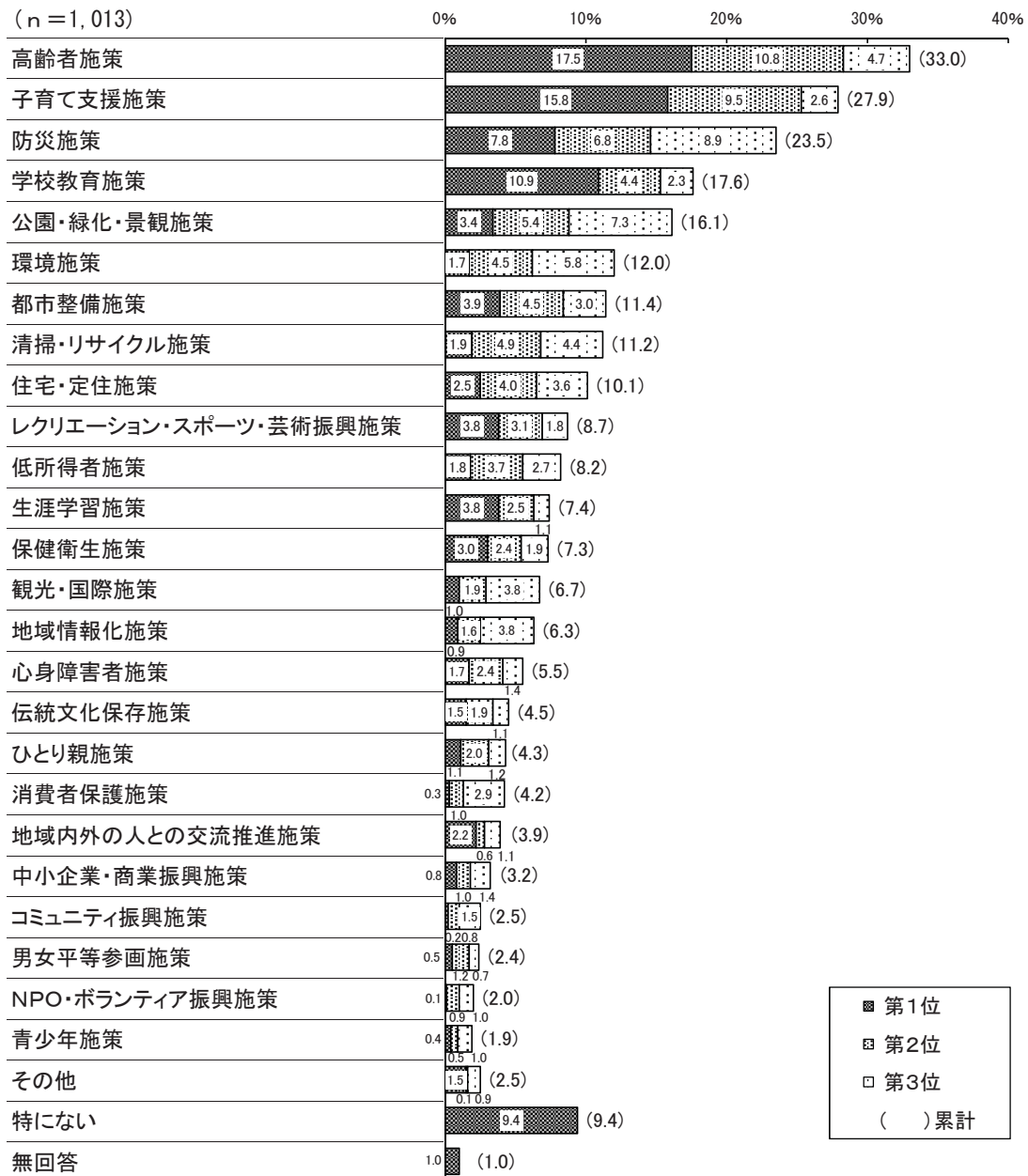
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全	体	1,013	高齢者施策	子育て支援施策	都市整備施策	防災施策	公園・緑化・景観施策
			14.9	11.9	9.4	9.3	9.1
【ライフステージ別】	独身期	127	観光・国際施策	子育て支援施策／清掃・リサイクル施策／公園・緑化・景観施策		レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策／地域内外の人との交流推進施策	
			9.4	7.1		5.5	
	家族形成期	143	子育て支援施策	公園・緑化・景観施策	住宅・定住施策	学校教育施策	清掃・リサイクル施策
			38.5	16.8	11.2	9.8	9.1
	家族成長前期	104	子育て支援施策	学校教育施策	公園・緑化・景観施策	防災施策	都市整備施策
			24.0	20.2	18.3	14.4	13.5
	家族成長後期	66	高齢者施策	都市整備施策	子育て支援施策／公園・緑化・景観施策／防災施策		
		21.2	15.2	12.1			
家族成熟期	95	高齢者施策	防災施策	住宅・定住施策	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策／都市整備施策		
		14.7	11.6	8.4	7.4		
老齢期	281	高齢者施策	防災施策	低所得者施策	住宅・定住施策	都市整備施策	
		26.3	13.2	12.5	10.7	10.3	
その他	185	高齢者施策	都市整備施策	清掃・リサイクル施策	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策／住宅・定住施策		
		14.1	9.7	8.6	8.1		

ライフステージ別に上位の施策をみると、第1位は独身期で「観光・国際施策」、家族形成期、家族成長前期で「子育て支援施策」、家族成長後期、家族成熟期、老齢期、その他で「高齢者施策」となっている。家族形成期の「子育て支援施策」は4割近くと多くなっている。また、家族成長前期で「学校教育施策」が第2位となっており、約2割となっている。（表2-2-2）

2-3 さらに力を入れてほしい区の施策

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考えるものはどれですか。順位をつけて3つまで選び、下の欄に番号をご記入ください。

図2-3-1 さらに力を入れてほしい区の施策



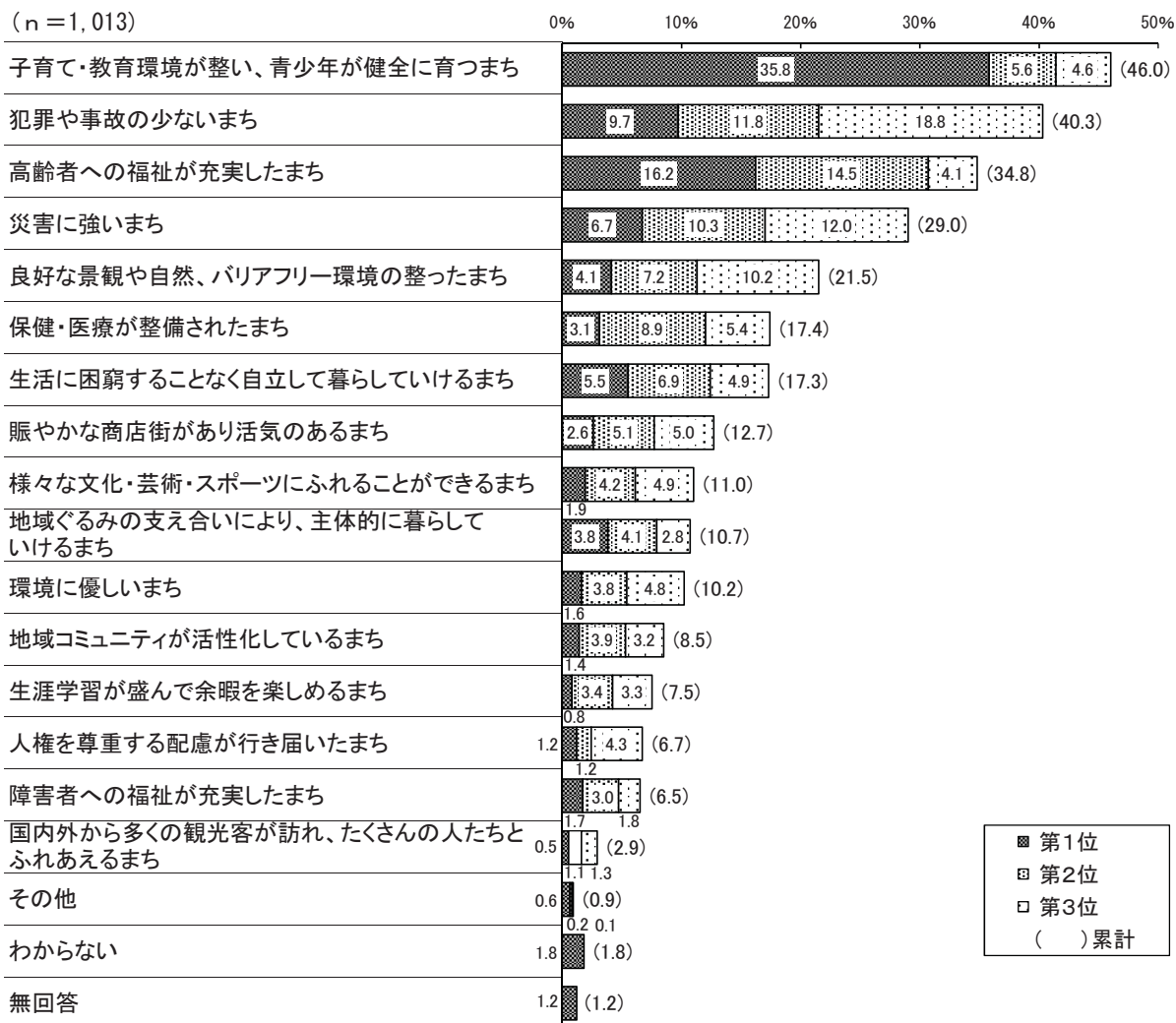
さらに力を入れてほしい区の施策についてたずねたところ、第1位は「高齢者施策」(17.5%)が2割近くと最も多く、次いで「子育て支援施策」(15.8%)、「学校教育施策」(10.9%)、「防災施策」(7.8%)、「都市整備施策」(3.9%)などの順となっている。

第1位から第3位までを合計すると、「高齢者施策」(33.0%)が3割を超え最も多く、次いで「子育て支援施策」(27.9%)、「防災施策」(23.5%)、「学校教育施策」(17.6%)、「公園・緑化・景観施策」(16.1%)などの順となっている。(図2-3-1)

2-4 望む将来（10年後）の文京区

問6 あなたが望む将来（10年後）の文京区はどのようなまちですか。
順位をつけて3つまで選び、下の欄に番号をご記入ください。

図2-4-1 望む将来（10年後）の文京区



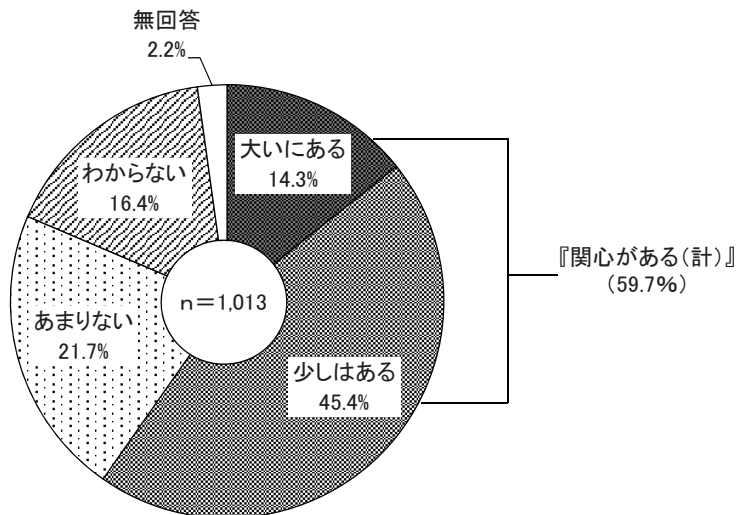
望む将来（10年後）の文京区はどのようなまちかについてたずねたところ、第1位は「子育て・教育環境が整い、青少年が健全に育つまち」（35.8%）が3割半ばと最も多く、次いで「高齢者への福祉が充実したまち」（16.2%）、「犯罪や事故の少ないまち」（9.7%）などの順となっている。

第1位から第3位までを合計すると、「子育て・教育環境が整い、青少年が健全に育つまち」（46.0%）が4割半ばと最も多く、次いで「犯罪や事故の少ないまち」（40.3%）、「高齢者への福祉が充実したまち」（34.8%）、「災害に強いまち」（29.0%）などの順となっている。（図2-4-1）

2-5 区の財政状況に対する関心

問7 あなたは、区の財政状況に関心がありますか。(○は1つ)

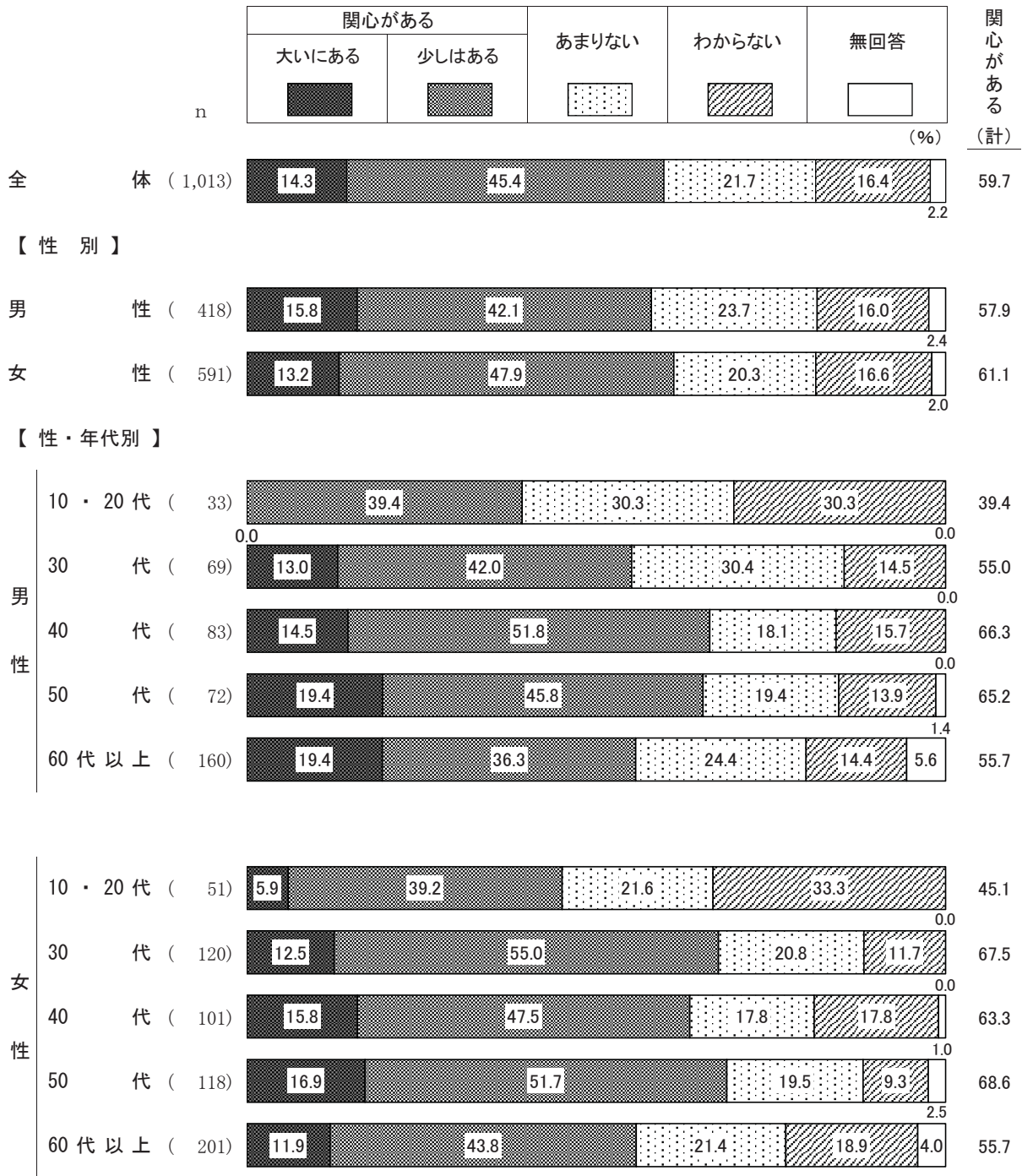
図2-5-1 区の財政状況に対する関心



区の財政に対する関心についてたずねたところ、「大いにある」(14.3%)と「少しはある」(45.4%)を合わせた『関心がある(計)』(59.7%)は約6割となっている。一方、「あまりない」(21.7%)は2割を超え、「わからない」(16.4%)は1割半ばとなっている。

(図2-5-1)

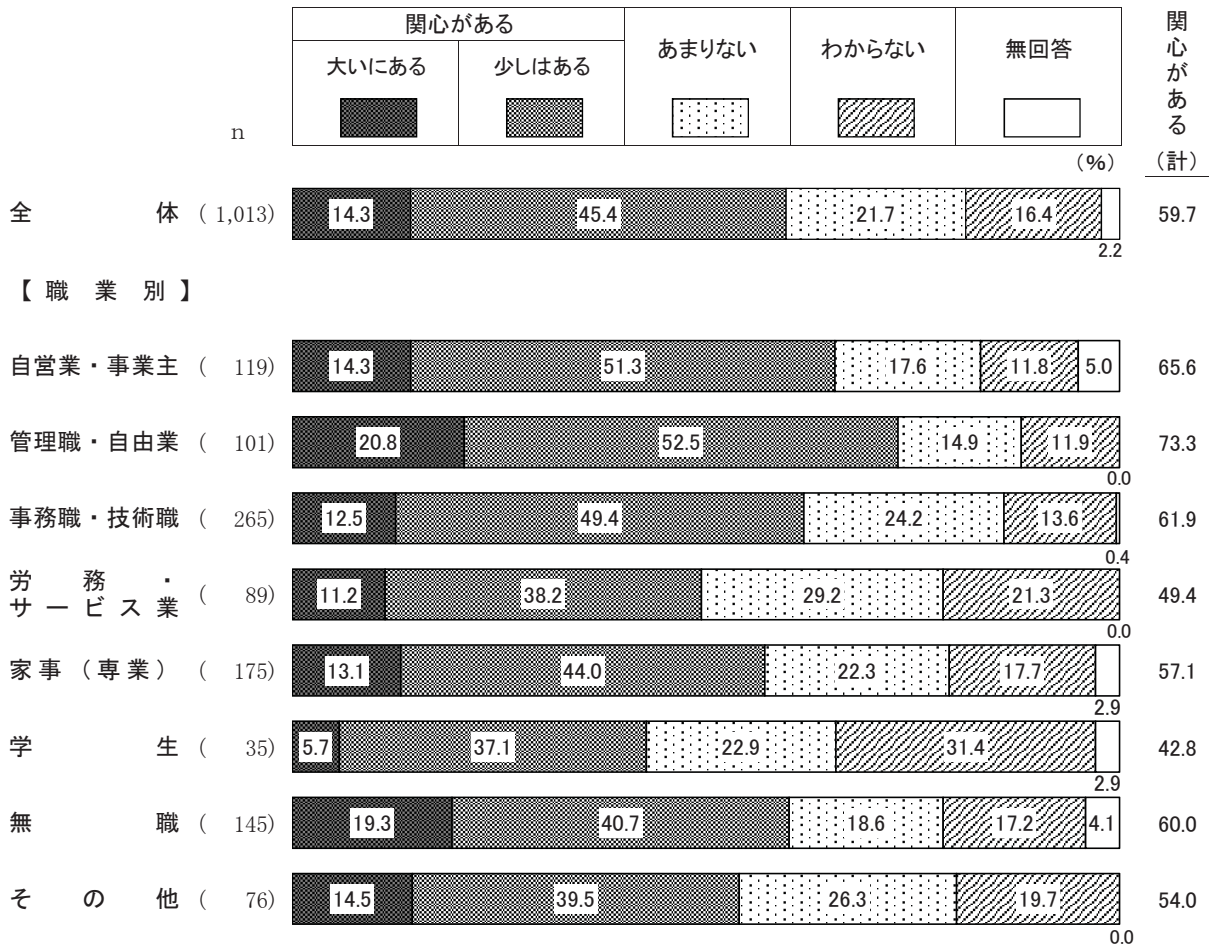
図2-5-2 区の財政状況に対する関心—性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

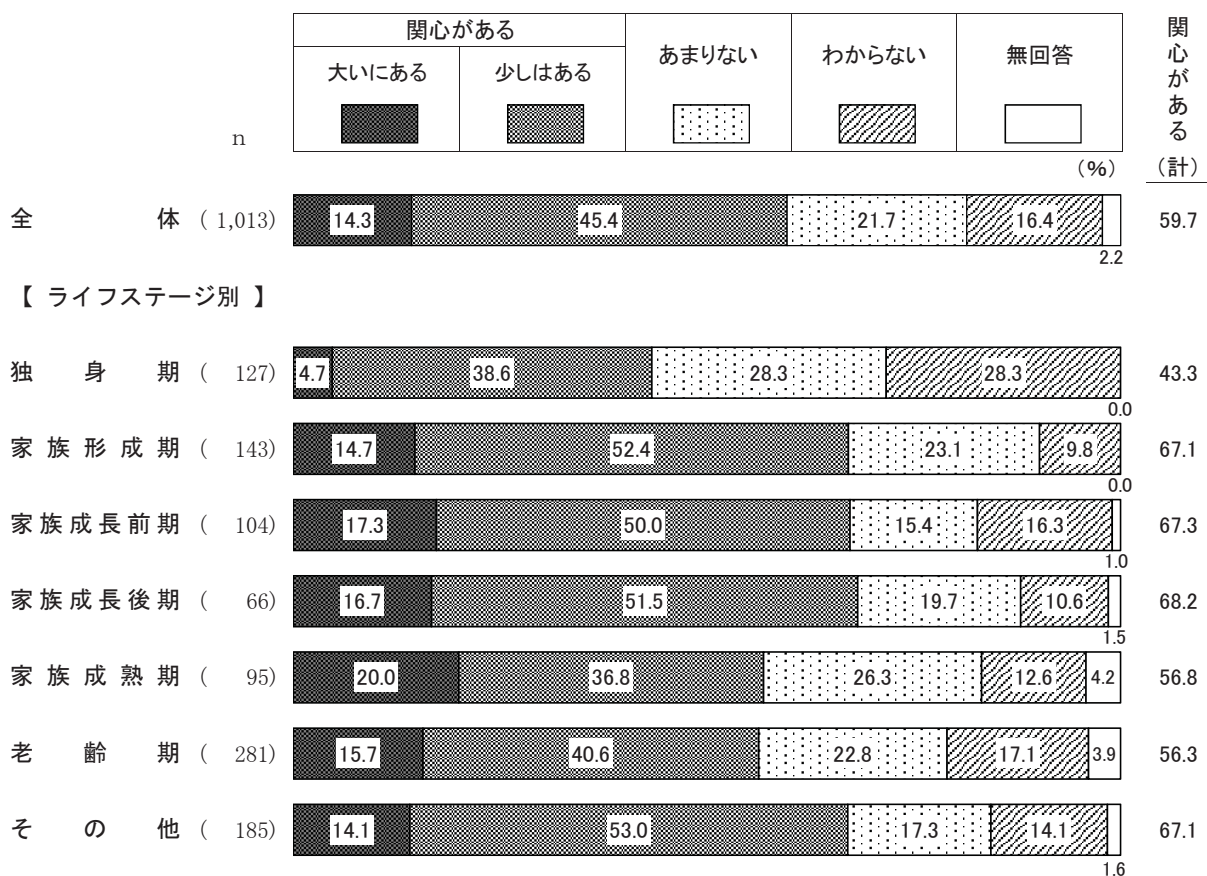
性・年代別にみると、「大いにある」は男女ともに50代までの年代でおおむね年代が高いほど多くなっており、『関心がある（計）』は女性30代と50代で7割近く、男性40代と50代で6割半ばとなっている。一方、「あまりない」はおおむね年代が低いほど多く、男性10・20代と30代では約3割となっている。（図2-5-2）

図 2-5-3 区の財政状況に対する関心—職業別



職業別にみると、『関心がある(計)』は管理職・自由業で7割を超えて多く、次いで自営業・事業主で6割半ばとなっている。一方、労務・サービス業と学生は4割台と少なくなっている。(図2-5-3)

図 2-5-4 区の財政状況に対する関心—ライフステージ別



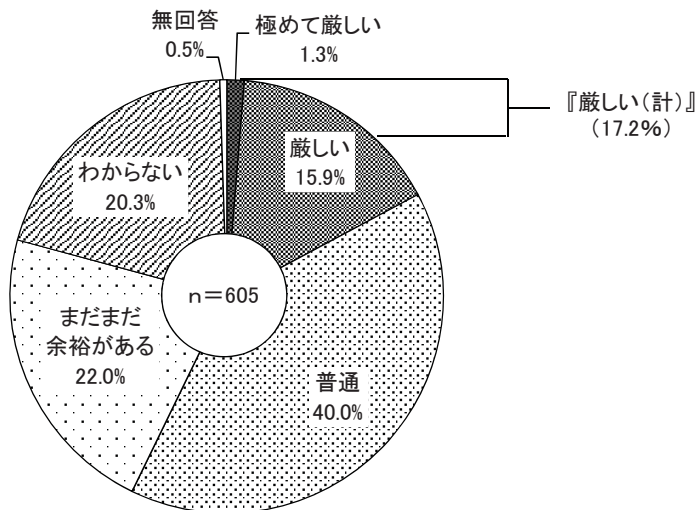
ライフステージ別にみると、『関心がある（計）』は家族形成期、家族成長前期、家族成長後期、その他で7割近くと多くなっている。一方、「あまりない」は独身期で3割近くと多くなっている。（図2-5-4）

2-6 区の財政状況に対する印象

【問7で「1. 大いにある」または「2. 少しはある」と回答した方に】

問7-1 区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

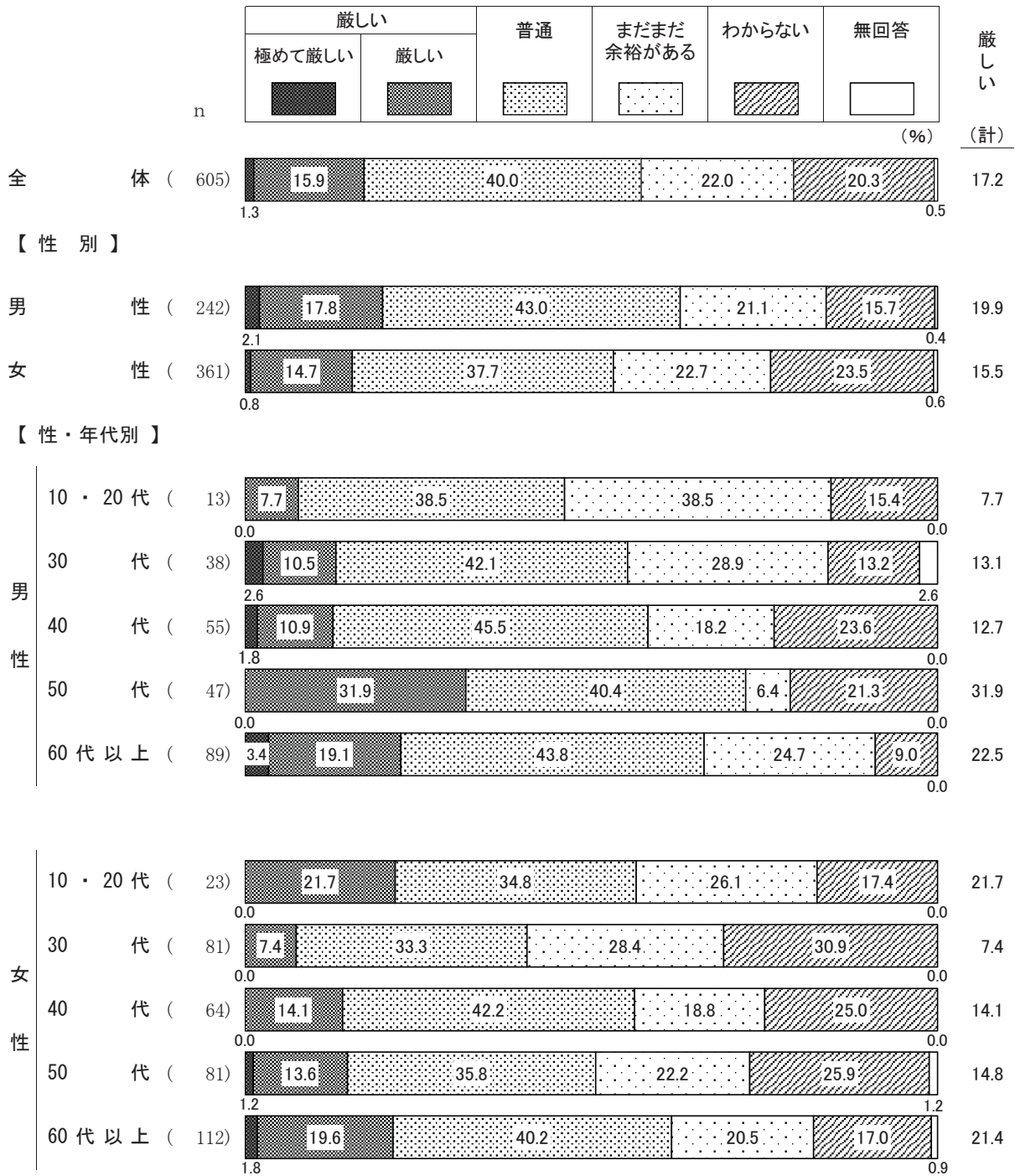
図2-6-1 区の財政状況に対する印象



区の財政状況に対する関心が「大いにある」または「少しはある」と答えた人(605人)に、区の財政状況に対する印象についてたずねたところ、「普通」(40.0%)が4割と最も多くなっている。「極めて厳しい」(1.3%)と「厳しい」(15.9%)を合わせた『厳しい(計)』(17.2%)は2割に満たず、「まだまだ余裕がある」(22.0%)のほうが多くなっている。

(図2-6-1)

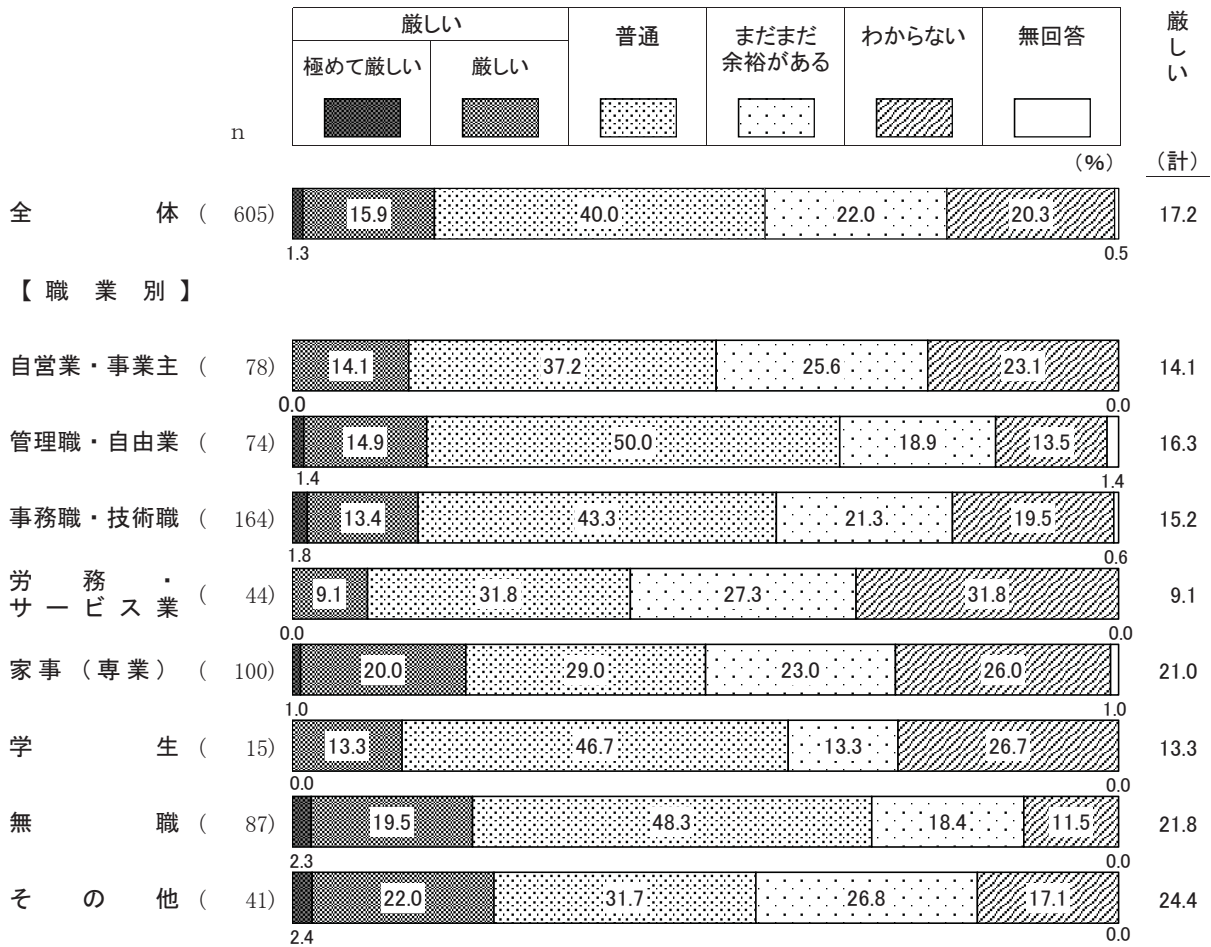
図2-6-2 区の財政状況に対する印象—性別／性・年代別



性別にみると、『厳しい（計）』は男性のほうが4.4ポイント高くなっている。一方、「わからない」は女性のほうが7.8ポイント高くなっている。

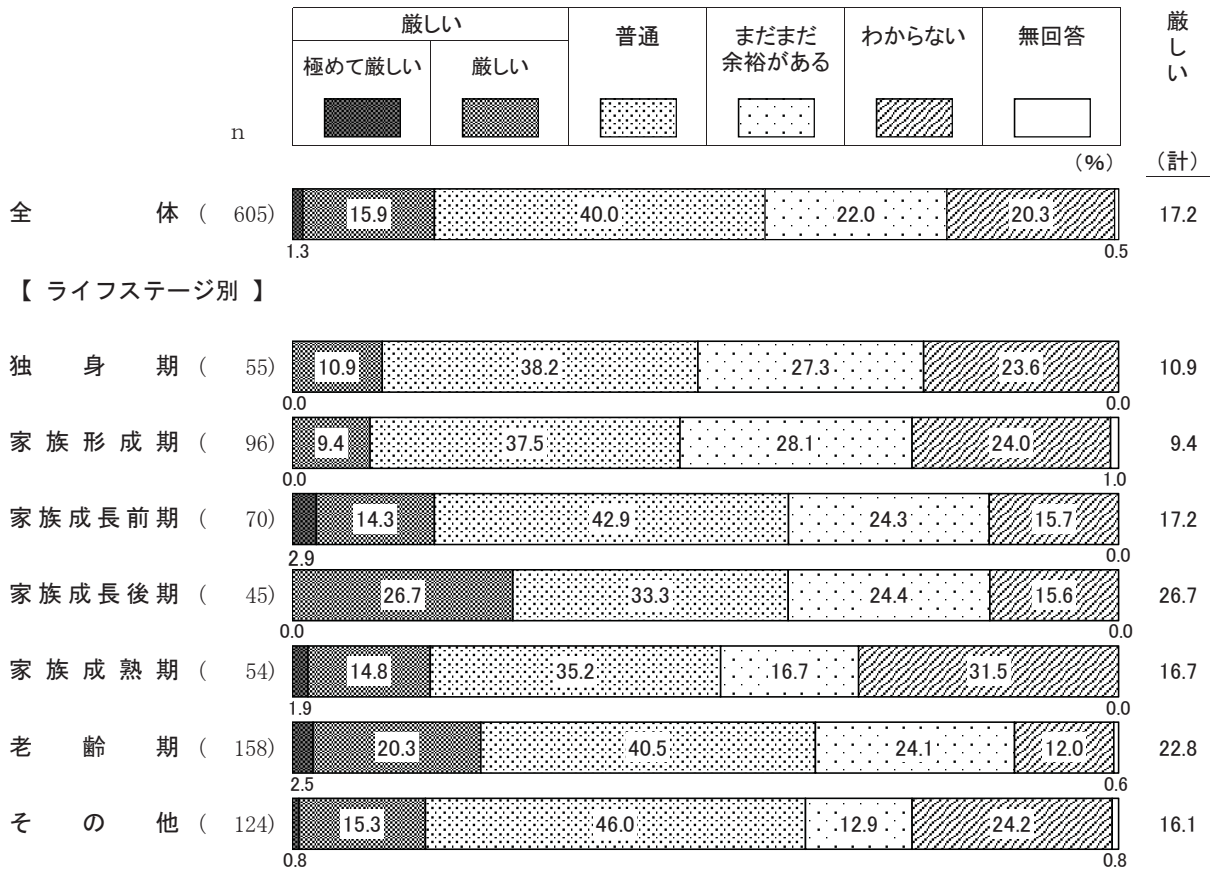
性・年代別にみると、『厳しい（計）』は男性50代で3割を超え多くなっている。一方、女性30代は「わからない」が約3割となっている。（図2-6-2）

図 2-6-3 区の財政状況に対する印象—職業別



職業別にみると、『厳しい（計）』は家事（専業）、無職、その他で2割を超え、労務・サービス業で1割未満となっている。（図2-6-3）

図 2-6-4 区の財政状況に対する印象—ライフステージ別

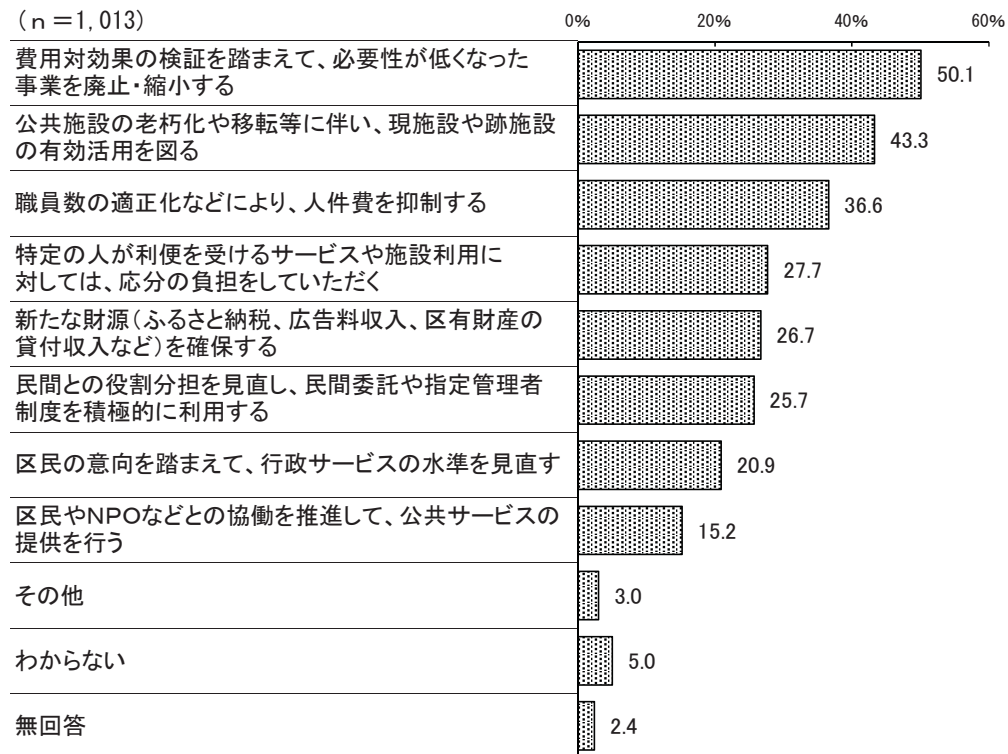


ライフステージ別にみると、『厳しい（計）』は家族成長後期と老齢期で2割台と多くなっている。一方、「まだまだ余裕がある」は独身期と家族形成期で3割近く、「わからない」は家族成熟期で3割を超えている。（図 2-6-4）

2-7 財政の健全化を更に進めていくために必要なこと

問8 財政の健全化を更に進めていくためには、今後どのようなことに力を入れていくべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

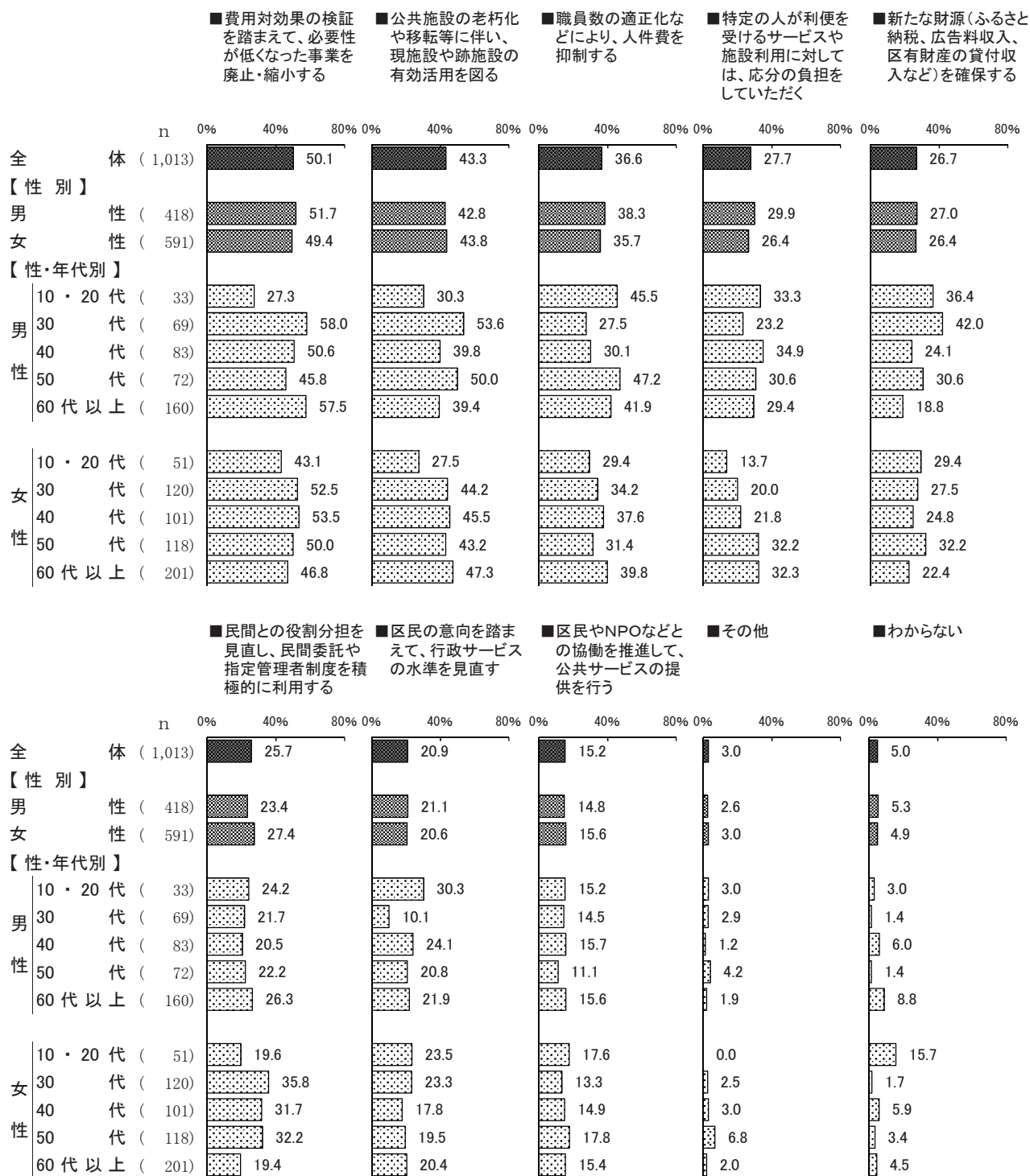
図2-7-1 財政の健全化を更に進めていくために必要なこと



財政の健全化を更に進めていくために必要なことについてたずねたところ、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」(50.1%)が約5割と最も多く、次いで「公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る」(43.3%)、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」(36.6%)、「特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく」(27.7%)などの順となっている。

(図2-7-1)

図2-7-2 財政の健全化を更に進めていくために必要なこと－性別／性・年代別



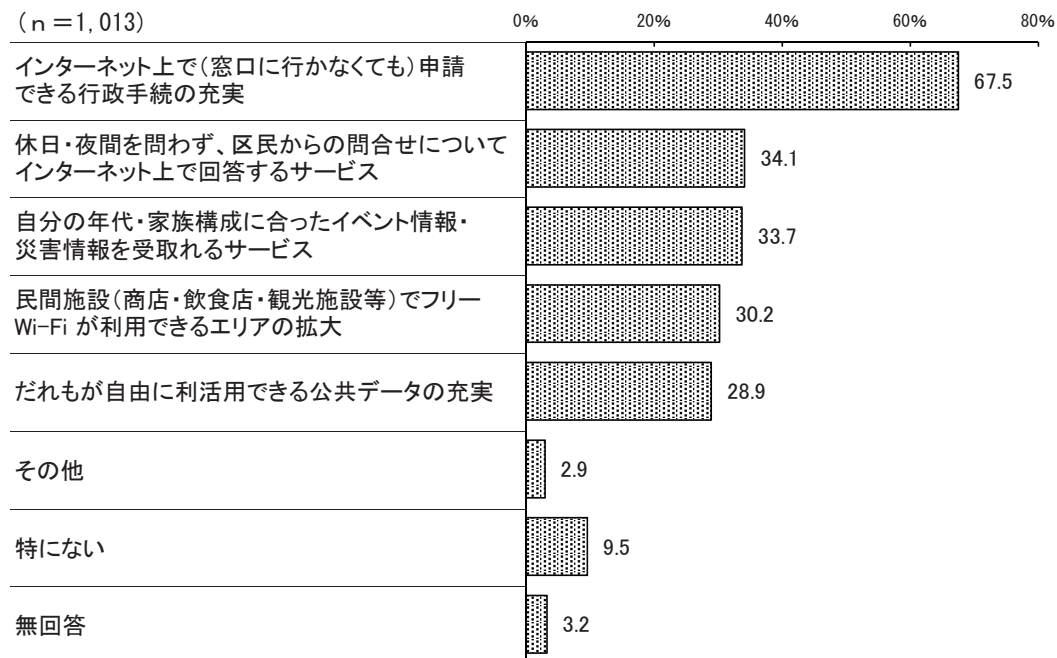
性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は男性30代と60代以上で6割近く、女性30～50代でもそれぞれ5割台と多くなっている。「公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る」は男性30代と50代とともに5割台、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」は男性10・20代、50代、60代以上で4割台と多くなっている。(図2-7-2)

2-8 ITの活用により実現すると良いと思う区のサービス

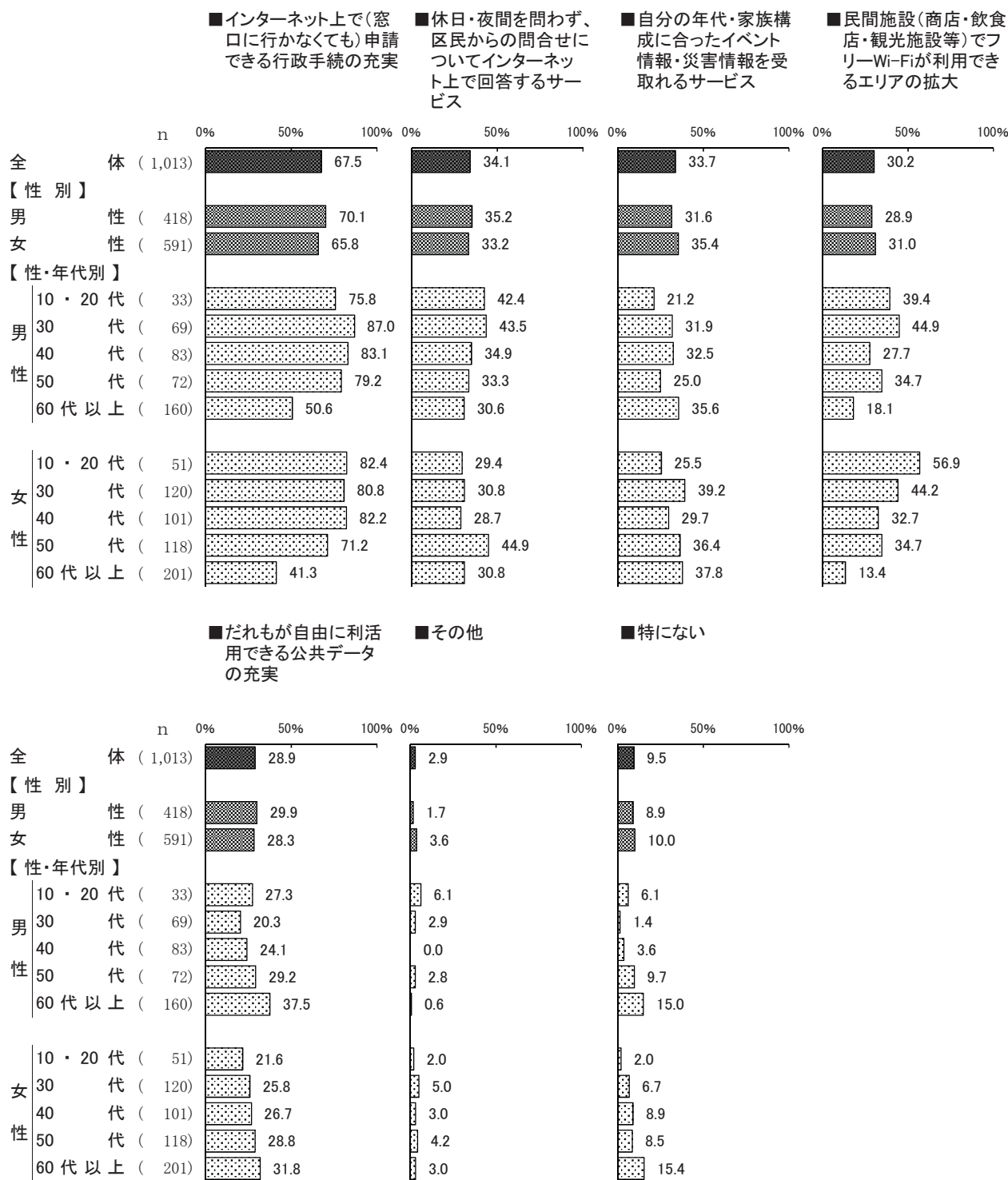
問9 あなたが、ITの活用により実現するとよいと思う区のサービスは何ですか。
次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図2-8-1 ITの活用により実現すると良いと思う区のサービス



ITの活用により実現するとよいと思う区のサービスについてたずねたところ、「インターネット上で(窓口に行かなくても)申請できる行政手続の充実」(67.5%)が7割近くと最も多く、次いで「休日・夜間を問わず、区民からの問合せについてインターネット上で回答するサービス」(34.1%)、「自分の年代・家族構成に合ったイベント情報・災害情報を受取れるサービス」(33.7%)、「民間施設(商店・飲食店・観光施設等)でフリーWi-Fiが利用できるエリアの拡大」(30.2%)などの順となっている。(図2-8-1)

図2-8-2 ITの活用により実現すると良いと思う区のサービス-性別/性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「インターネット上で(窓口に行かなくても)申請できる行政手続の充実」は男女ともに50代以下の年代で7割を超えている。「民間施設(商店・飲食店・観光施設等)でフリーWi-Fiが利用できるエリアの拡大」は女性10・20代で5割半ばと多くなっている。一方、男女ともに60代以上では「特にない」が1割半ばと多くなっている。(図2-8-2)

3 協働・協治

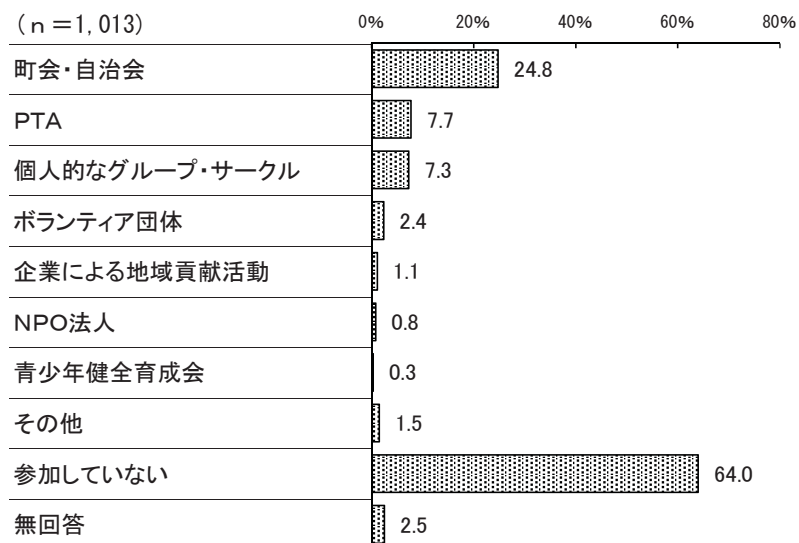
-
- 3-1 参加している団体・組織・グループ
 - 3-2 参加している団体・組織・グループの活動分野
 - 3-3 今後参加してみたい地域活動
 - 3-4 町会・自治会への参加状況
 - 3-5 町会・自治会活動への参加意向
 - 3-6 町会・自治会に期待すること
-

3 協働・協治

3-1 参加している団体・組織・グループ

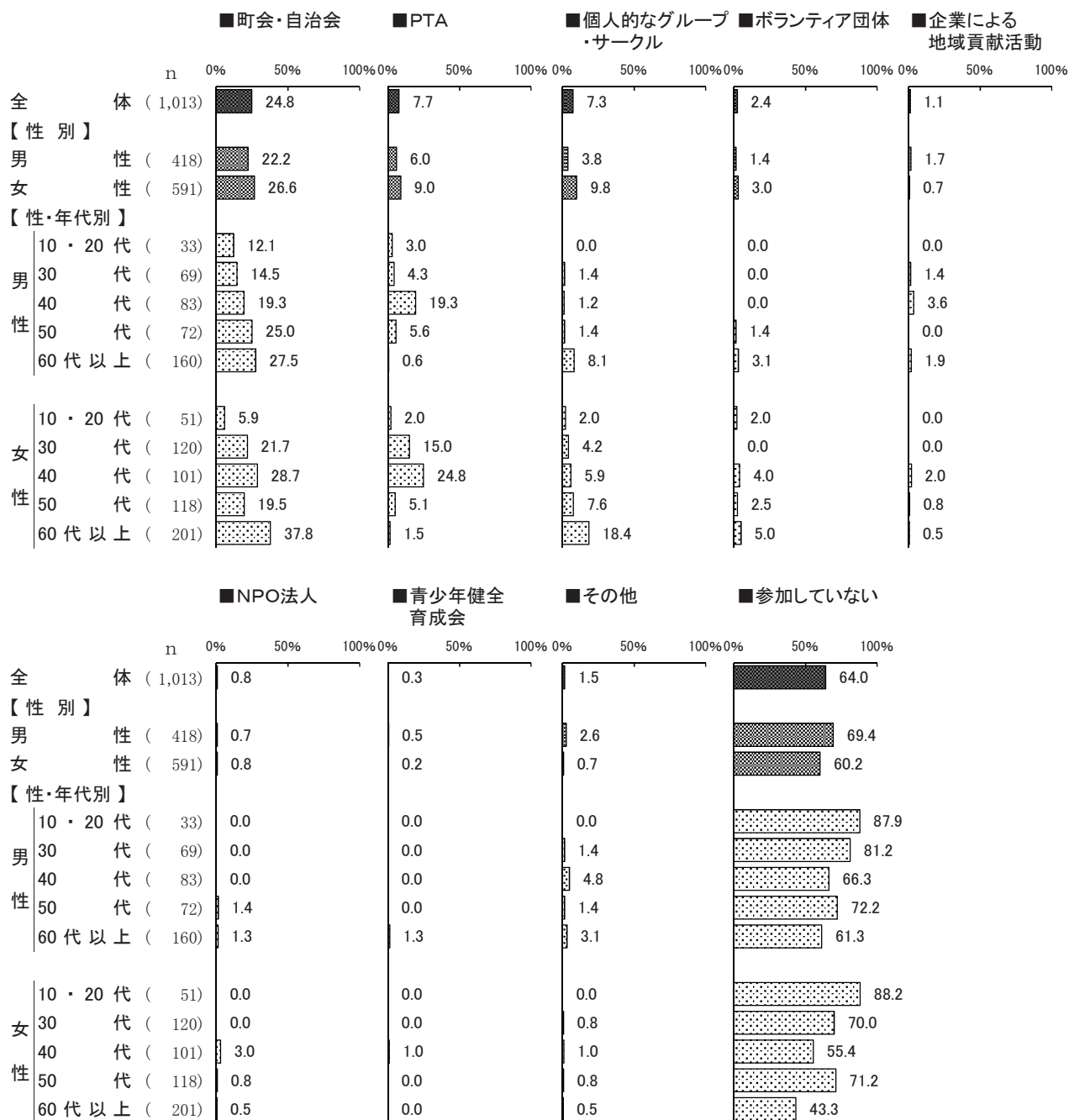
問10 区内でNPO、ボランティア団体及び町会・自治会等の地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に参加していますか。
次の中から参加しているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

図3-1-1 参加している団体・組織・グループ



参加している団体・組織・グループについてたずねたところ、「町会・自治会」(24.8%)が2割半ばと最も多く、次いで「PTA」(7.7%)、「個人的なグループ・サークル」(7.3%)、「ボランティア団体」(2.4%)などの順となっているが、「町会・自治会」を除き、いずれも1割未満となっている。一方、「参加していない」(64.0%)は6割半ばとなっている。(図3-1-1)

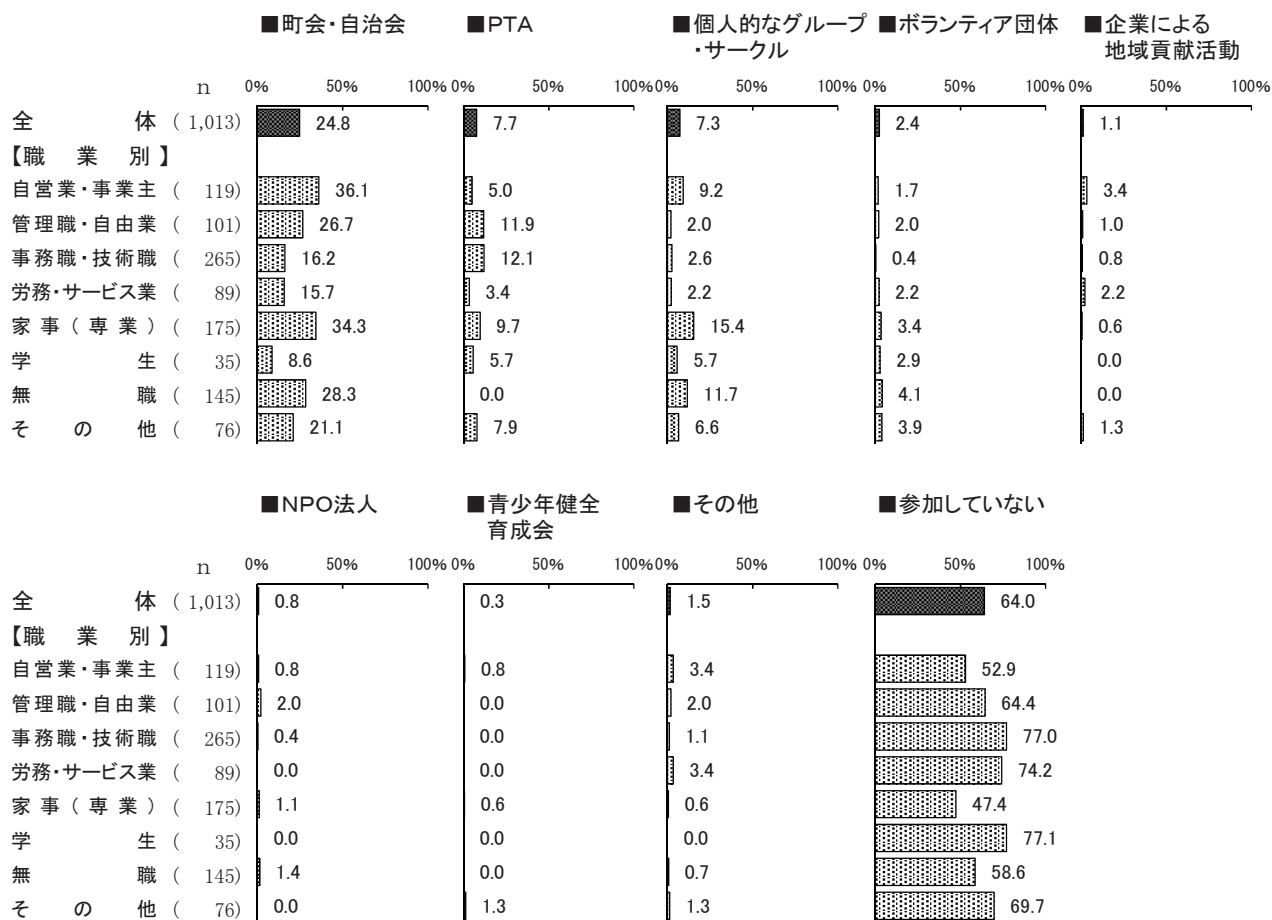
図3-1-2 参加している団体・組織・グループ—性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうが「個人的なグループ・サークル」で6.0ポイント、「町会・自治会」で4.4ポイント高くなっている。一方、「参加していない」は男性のほうが9.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「町会・自治会」は女性60代以上で4割近くとなっており、男性60代以上、女性40代で3割近く、男性50代では2割半ばとなっている。「PTA」は女性40代で2割半ばと最も多く、男性40代で約2割、女性30代で1割半ばとなっている。「個人的なグループ・サークル」は女性60代以上で2割近くとなっている。一方、「参加していない」は男女ともに10・20代で9割近くと多くなっている。(図3-1-2)

図3-1-3 参加している団体・組織・グループ職業別



職業別にみると、「町会・自治会」は自営業・事業主と家事（専業）で3割半ばと多くなっている。「PTA」は事務職・技術職、管理職・自由業で1割を超えている。一方、「参加していない」は学生、事務職・技術職で8割近く、労務・サービス業で7割半ば、管理職・自由業で6割半ばとなっている。（図3-1-3）

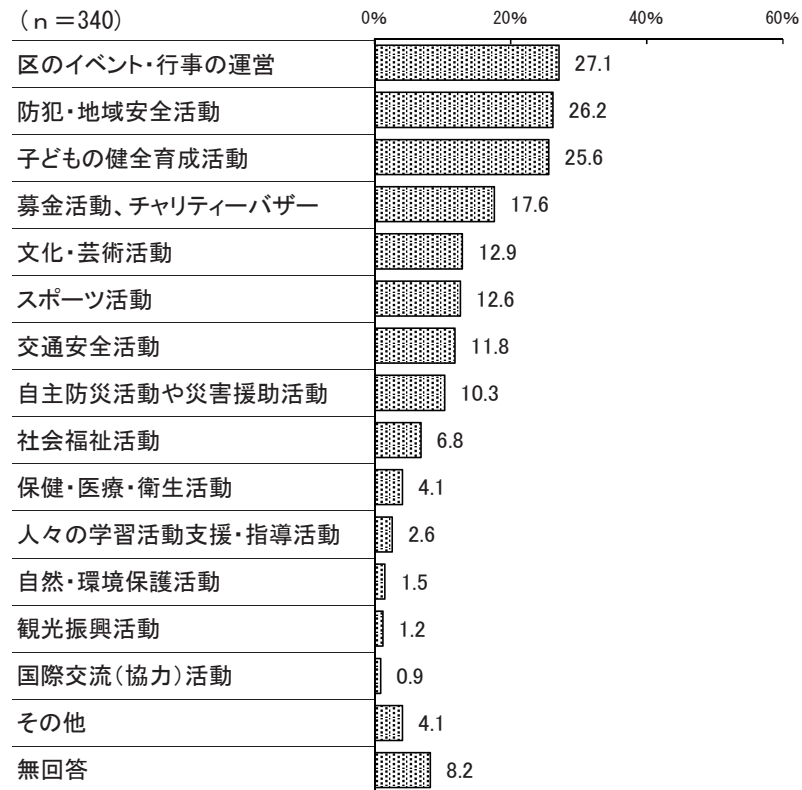
3-2 参加している団体・組織・グループの活動分野

【問10で「1.」から「8.」と回答した方に】

問10-1 その活動はどのような分野ですか。

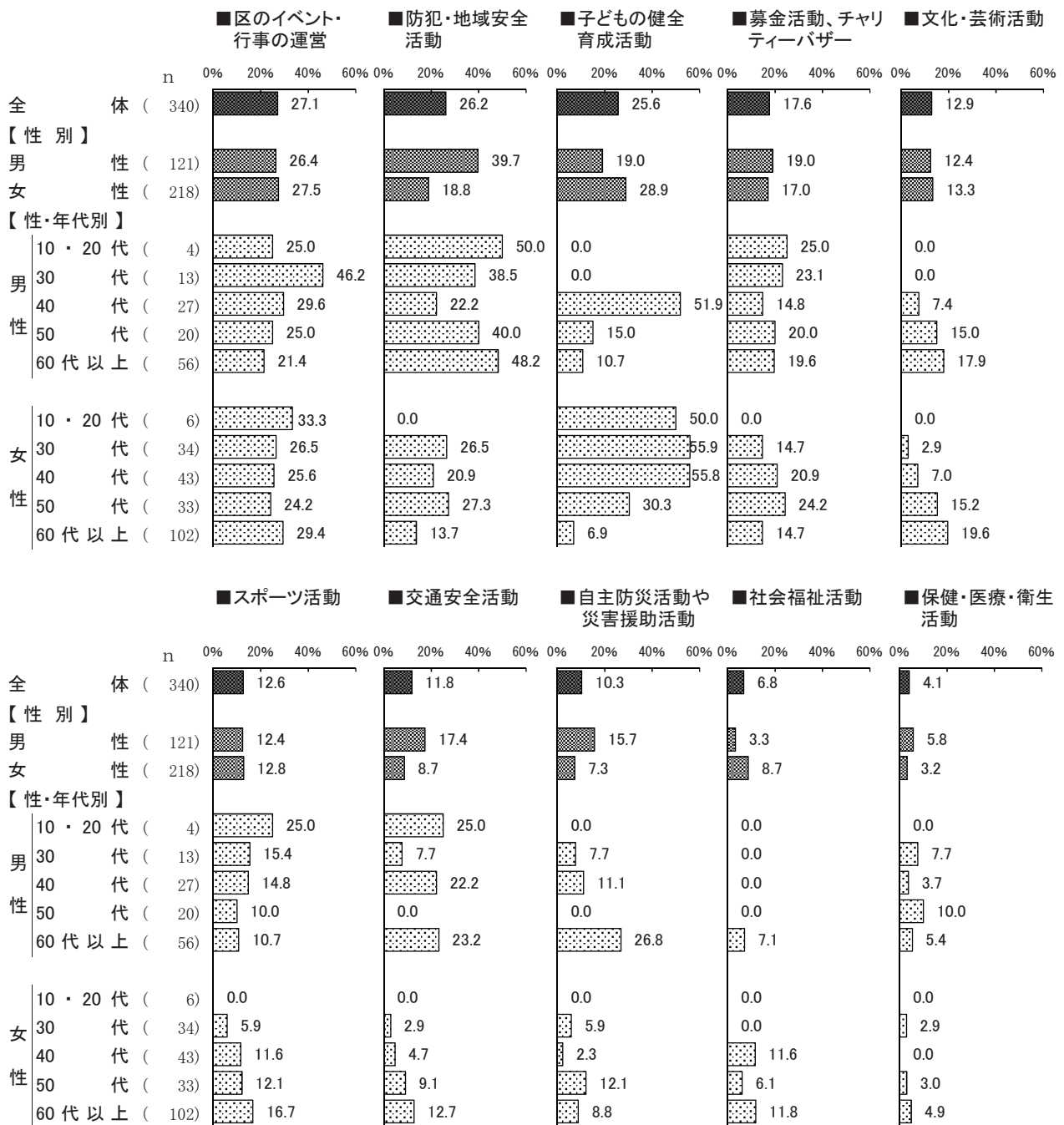
次の中から参加しているものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

図3-2-1 参加している団体・組織・グループの活動分野



団体・組織・グループの活動に参加していると答えた方(340人)に、参加している団体・組織・グループの活動分野についてたずねたところ、「区イベント・行事の運営」(27.1%)が3割近くと最も多く、次いで「防犯・地域安全活動」(26.2%)、「子どもの健全育成活動」(25.6%)、「募金活動、チャリティーバザー」(17.6%)、「文化・芸術活動」(12.9%)、「スポーツ活動」(12.9%)などの順となっている。(図3-2-1)

図3-2-2 参加している団体・組織・グループの活動内容【上位10項目】－性別／性・年代別

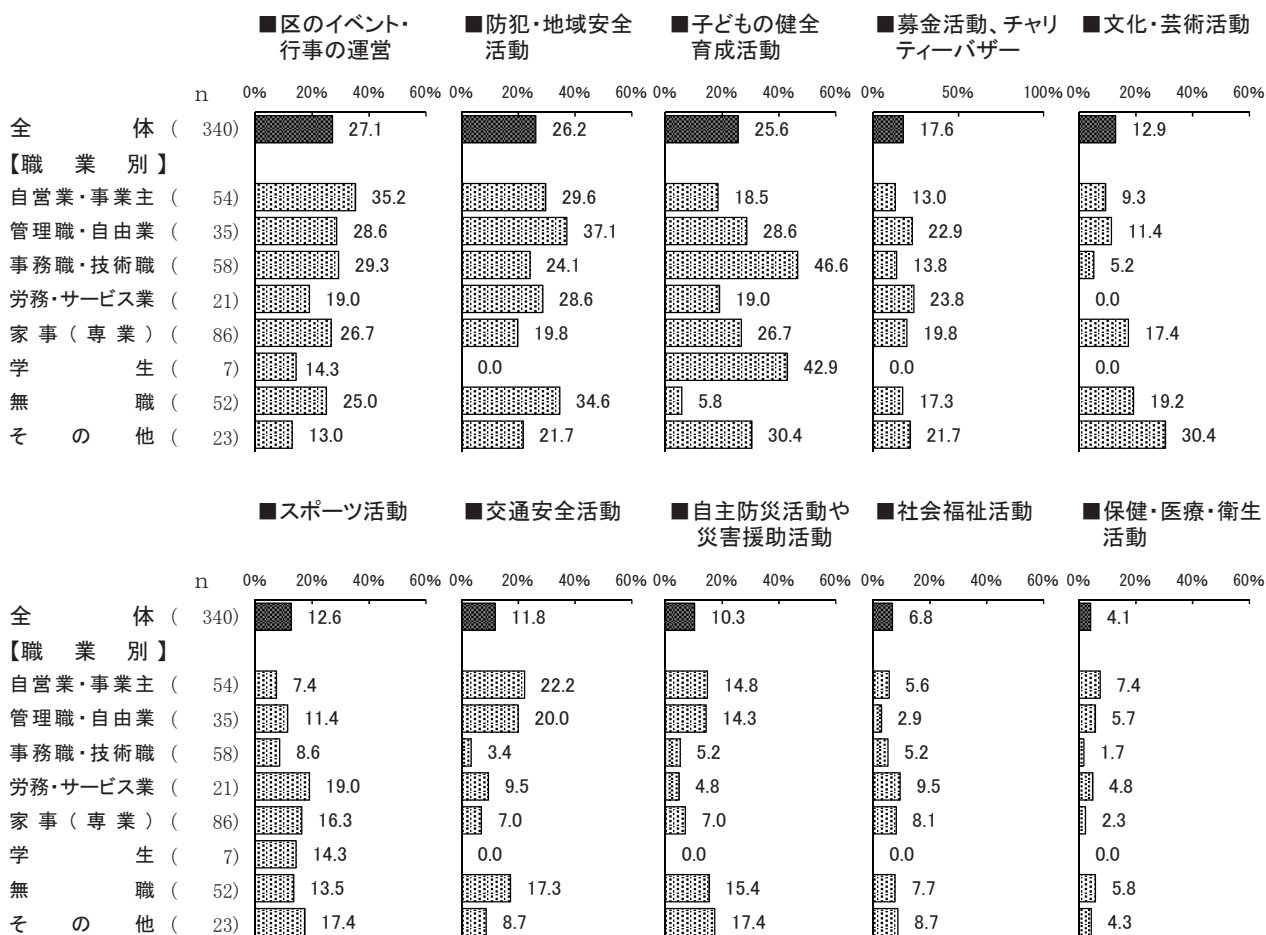


性別にみると、男性のほうが「防犯・地域安全活動」で20.9ポイント、「交通安全活動」で8.7ポイント、「自主防災活動や災害援助活動」で8.4ポイント高くなっている。一方、女性のほうが「子どもの健全育成活動」で9.9ポイント、「社会福祉活動」で5.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「区のイベント・行事の運営」は男性30代が4割半ば、男性40代、女性60代以上で3割前後と多くなっている。「子どもの健全育成活動」は女性40代以下と男性40代で5割台と多くなっている。

(図3-2-2)

図3-2-3 参加している団体・組織・グループの活動内容【上位10項目】－職業別

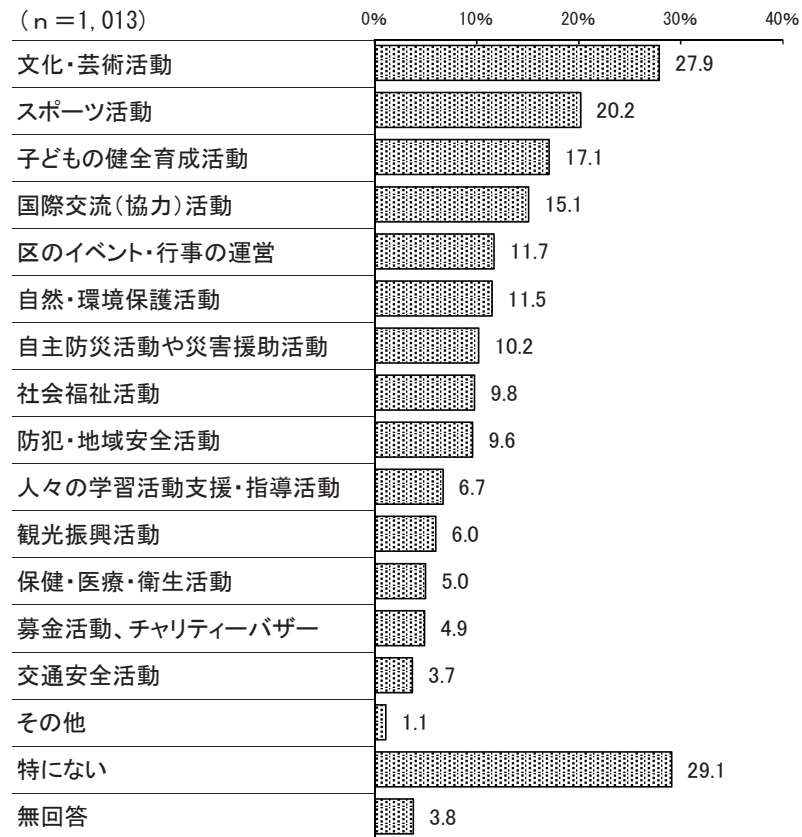


職業別にみると、「区イベント・行事の運営」は自営業・事業主で3割半ばと多くなっている。「防犯・地域安全活動」は管理職・自由業で4割近く、無職で3割半ばとなっており、「子どもの健全育成活動」は事務職・技術職で4割半ばと多くなっている。また、「交通安全活動」は自営業・事業主、管理職・自由業でともに2割を超えている。(図3-2-3)

3-3 今後参加してみたい地域活動

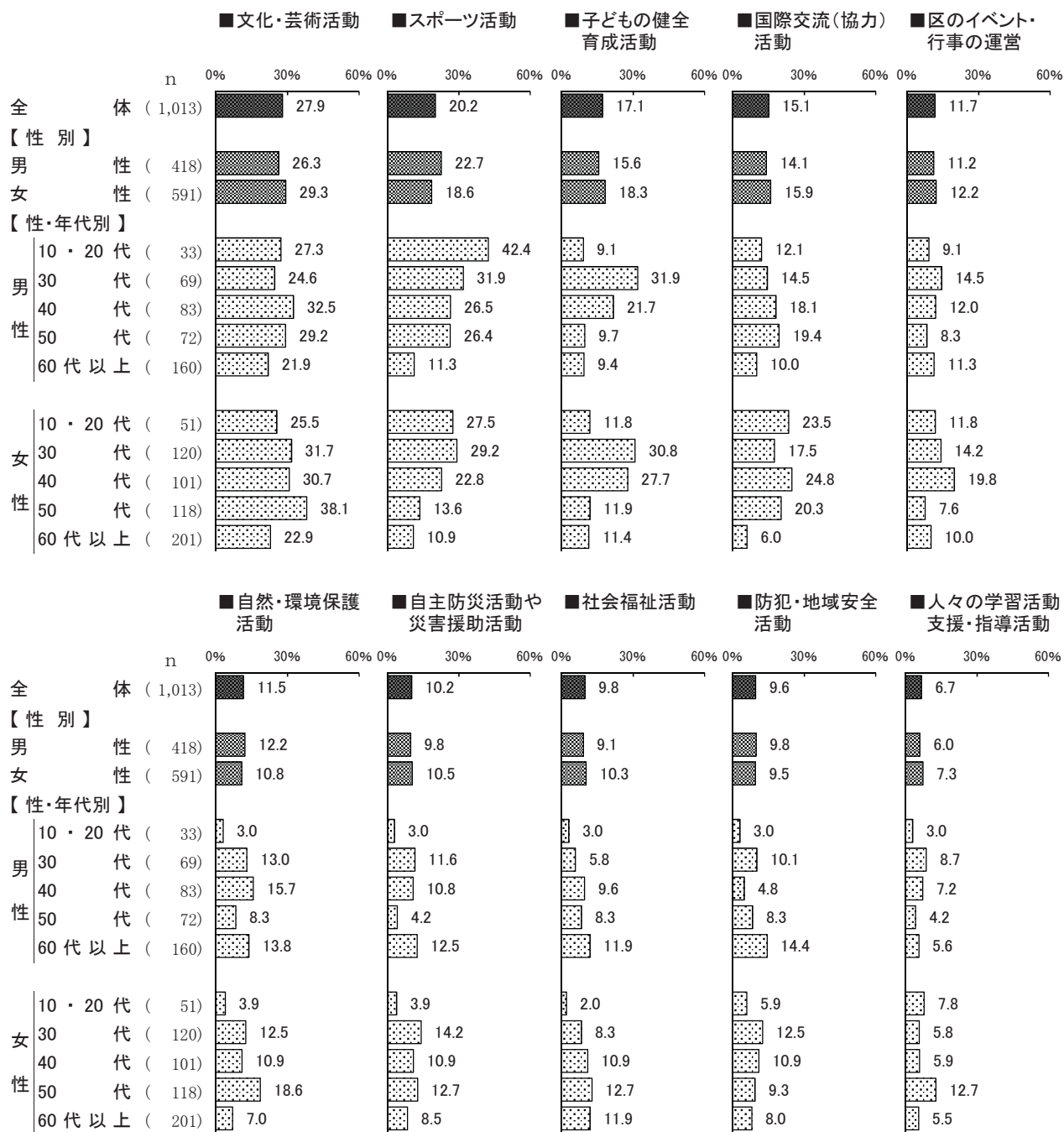
問11 今後参加してみたいと思う地域での活動はどのような分野ですか。
次の中から参加してみたいものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

図3-3-1 今後参加してみたい地域活動



今後参加してみたい地域活動についてたずねたところ、「文化・芸術活動」(27.9%)が3割近くと最も多く、次いで「スポーツ活動」(20.2%)、「子どもの健全育成活動」(17.1%)、「国際交流(協力)活動」(15.1%)、「区のイベント・行事の運営」(11.7%)、「自然・環境保護活動」(11.5%)などの順となっている。(図3-3-1)

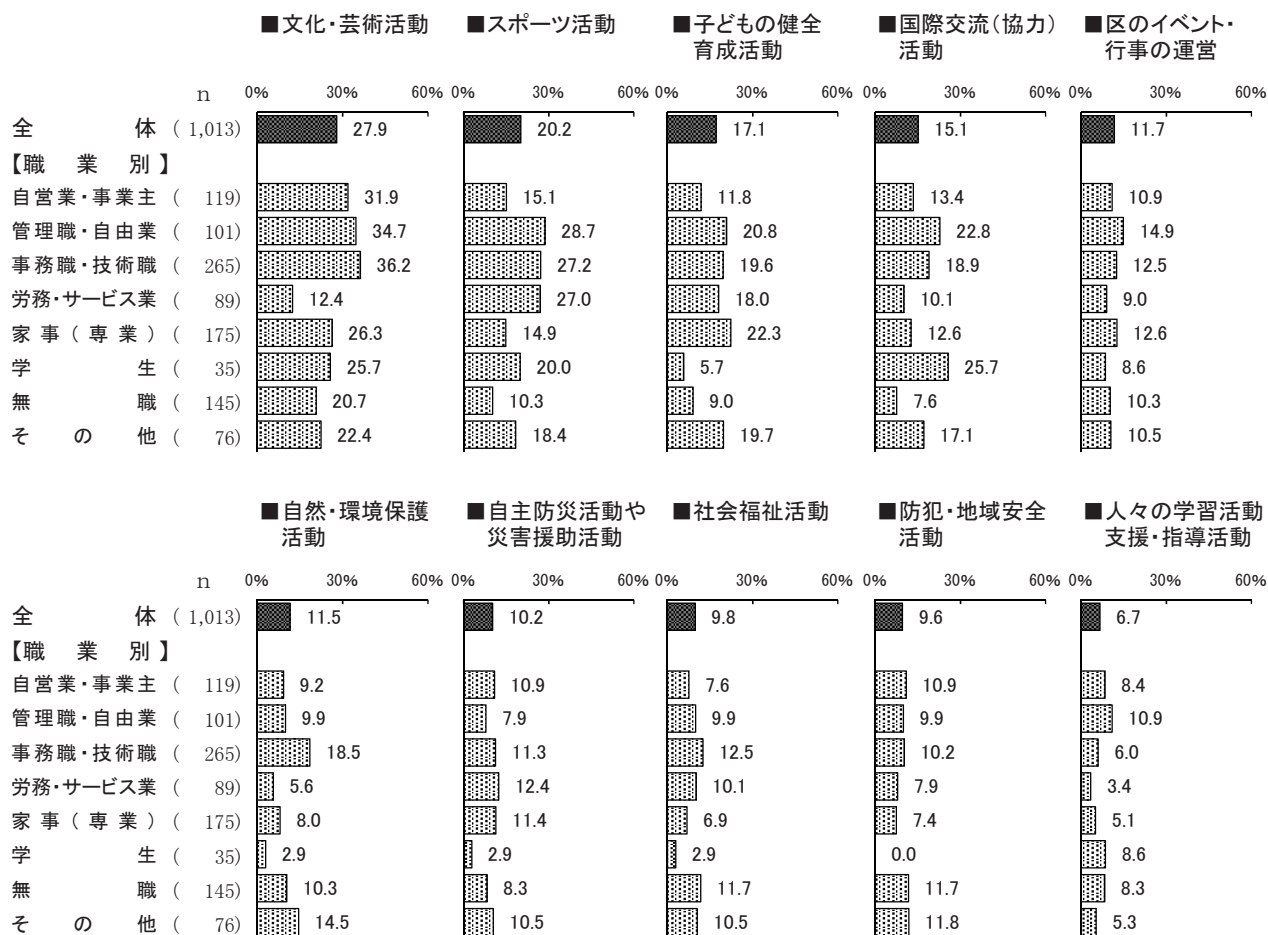
図3-3-2 今後参加してみたい地域活動【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、「スポーツ活動」は男性のほうが4.1ポイント高くなっている。一方、女性のほうが「文化・芸術活動」で3.0ポイント、「子どもの健全育成活動」で2.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「スポーツ活動」は男女ともにおおむね年代が低いほど多い傾向で、男性10・20代で4割を超え、男女ともに30代で3割前後となっている。「子どもの健全育成活動」は男女ともに30代で3割台、女性40代でも3割近くと多くなっている。(図3-3-2)

図3-3-3 今後参加してみたい地域活動【上位10項目】－職業別



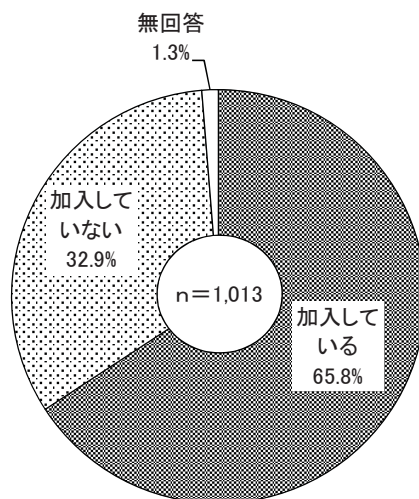
職業別にみると、「文化・芸術活動」は管理職・自由業、事務職・技術職で3割半ばとなっており、「スポーツ活動」は管理職・自由業、事務職・技術職、労務・サービス業で3割近く、「国際交流(協力)活動」は学生で2割半ば、管理職・自由業で2割を超えている。また、「子どもの健全育成活動」は管理職・自由業と家事(専業)で2割台と多くなっている。

(図3-3-3)

3-4 町会・自治会への参加状況

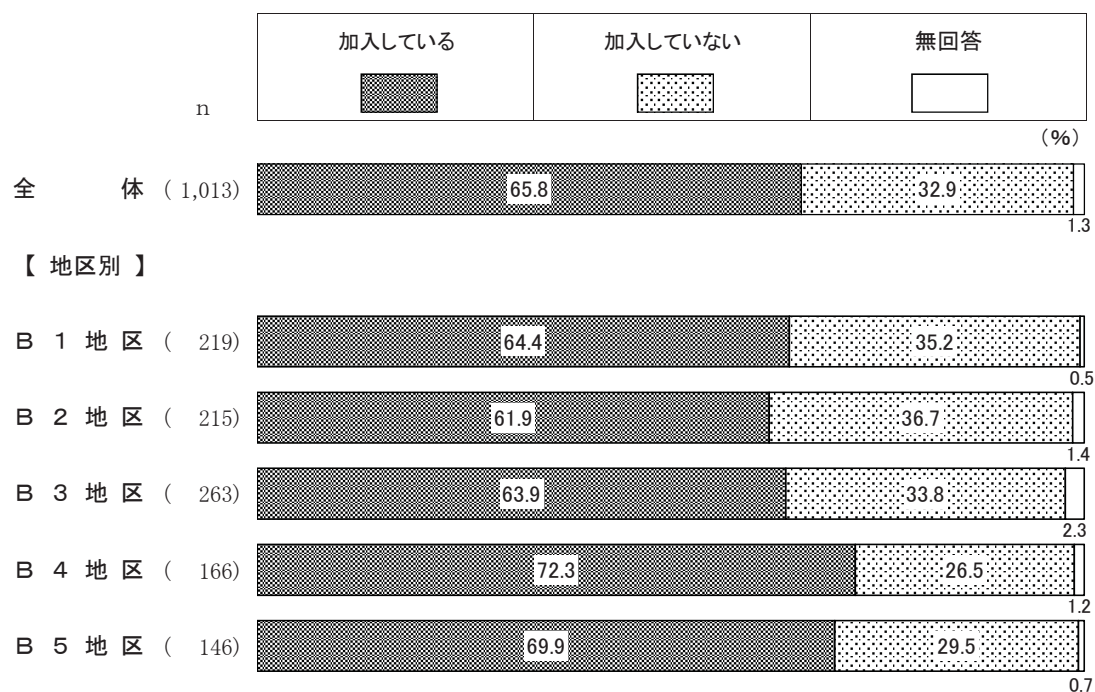
問12 あなたの世帯は、町会や自治体に参加していますか。(○は1つ)

図3-4-1 町会・自治会への参加状況



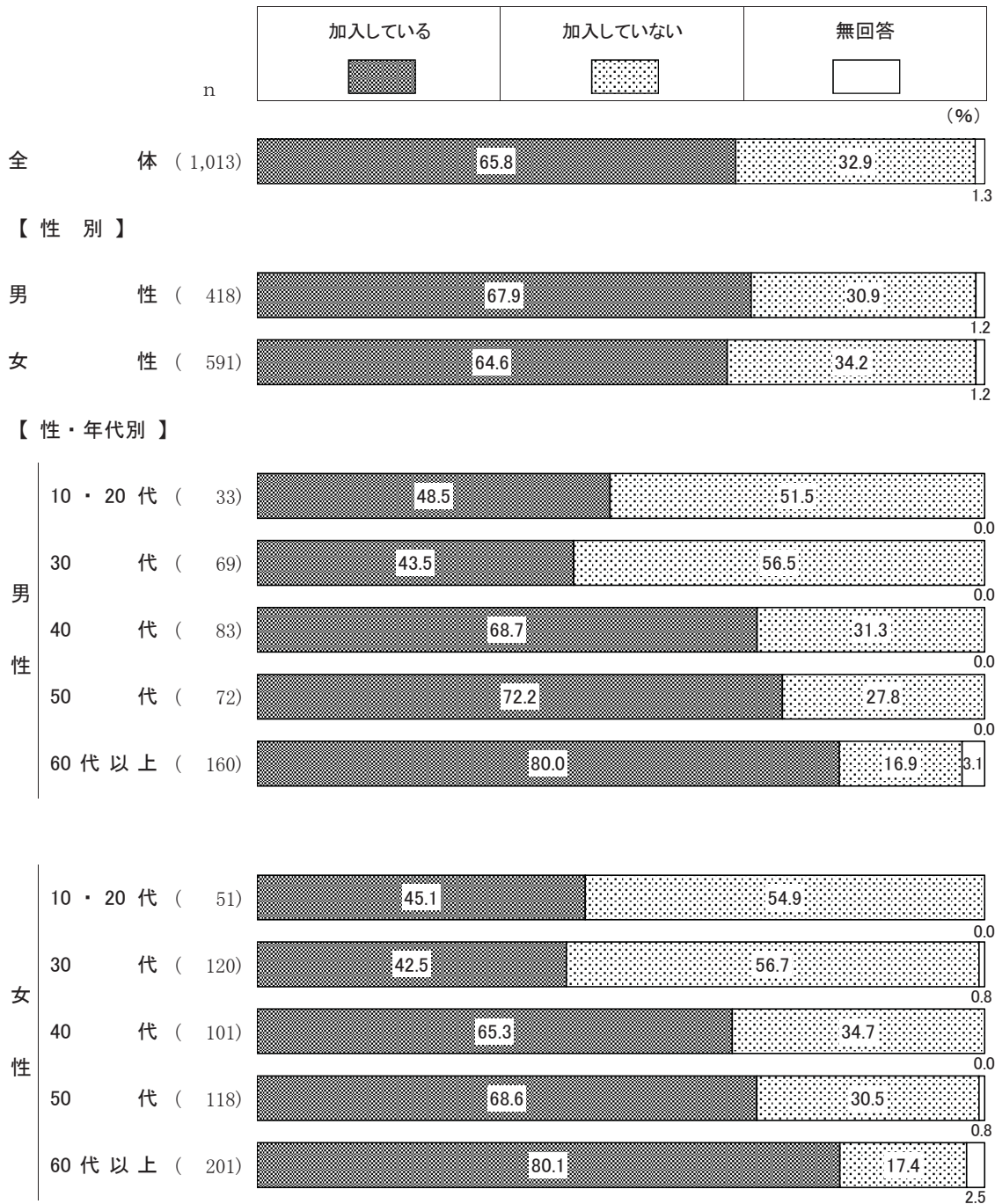
世帯での町会や自治体への加入についてたずねたところ、「加入している」（65.8%）が6割半ばを占めている。（図3-4-1）

図 3-4-2 町会・自治会への参加状況—地区別



地区別にみると、「加入している」はB 4地区とB 5地区で7割前後と多く、他の地区は6割前半となっている。(図 3-4-2)

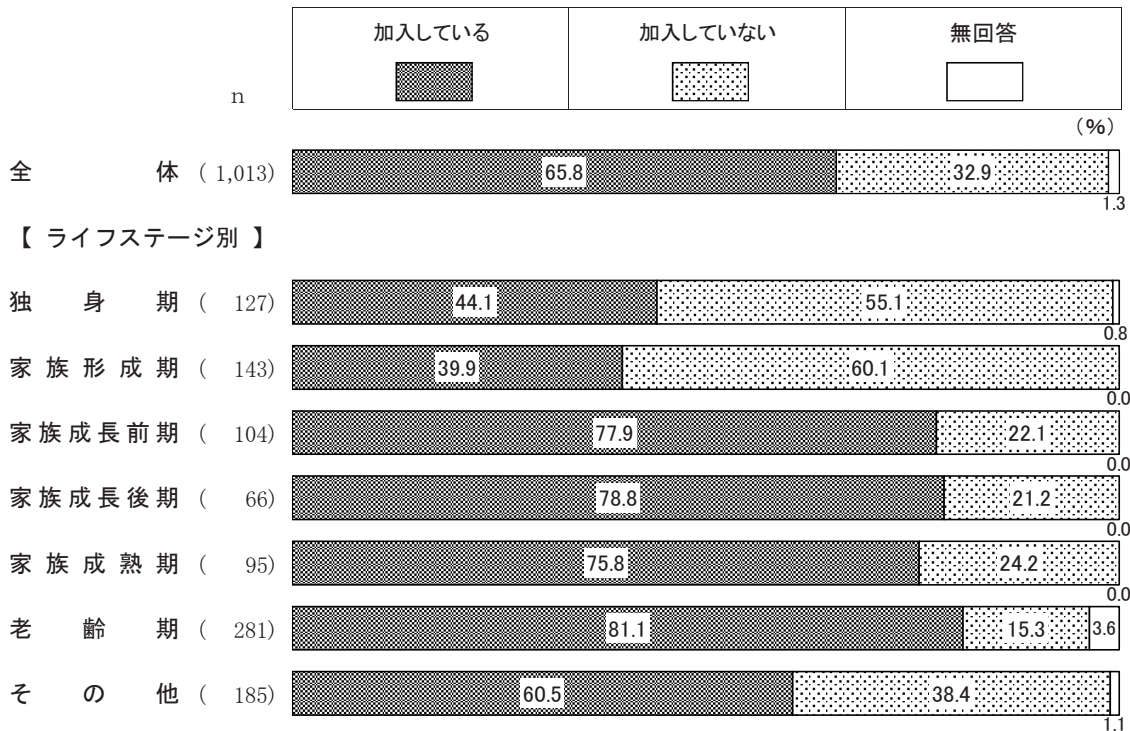
図3-4-3 町会・自治会への参加状況－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

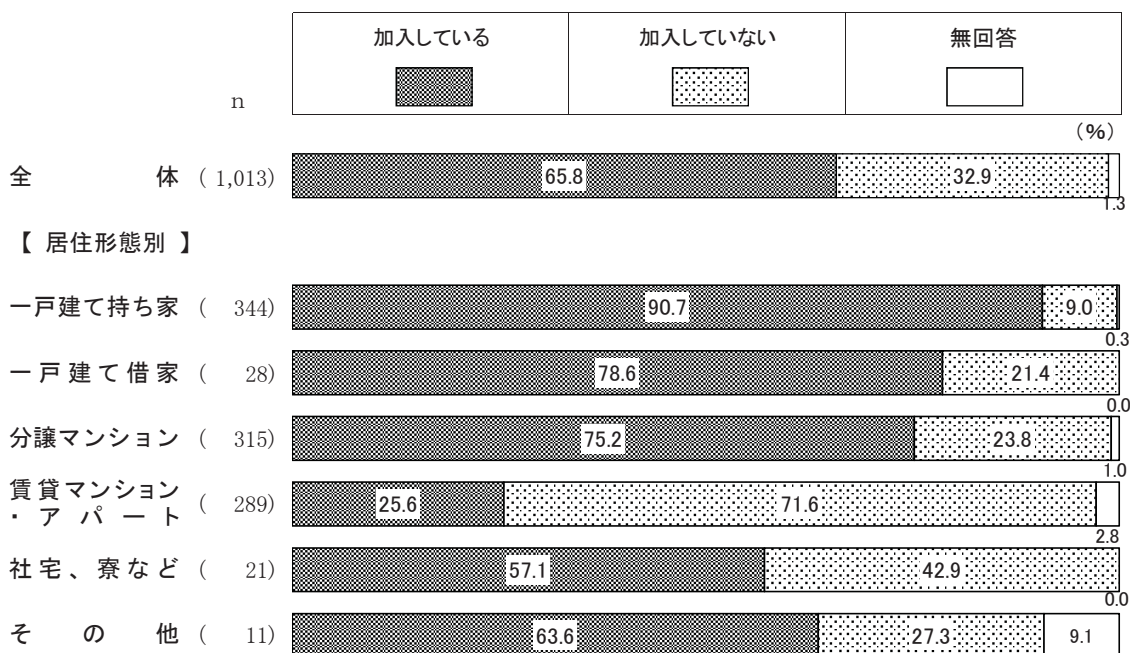
性・年代別にみると、「加入している」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、男女ともに60代以上では8割台、50代で7割前後と多くなっている。一方、男女ともに10・20代と30代は「加入していない」が「加入している」を上回っており、「加入していない」は男女ともに30代で5割半ばとなっている。(図3-4-3)

図3-4-4 町会・自治会への参加状況－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「加入している」は老齢期で8割を超え、家族成長前期、家族成長後期、家族成熟期でそれぞれ7割後半と多くなっている。一方、「加入していない」は家族形成期で約6割、独身期で5割半ばと「加入している」を上回っている。(図3-4-4)

図3-4-5 町会・自治会への参加状況－居住形態別

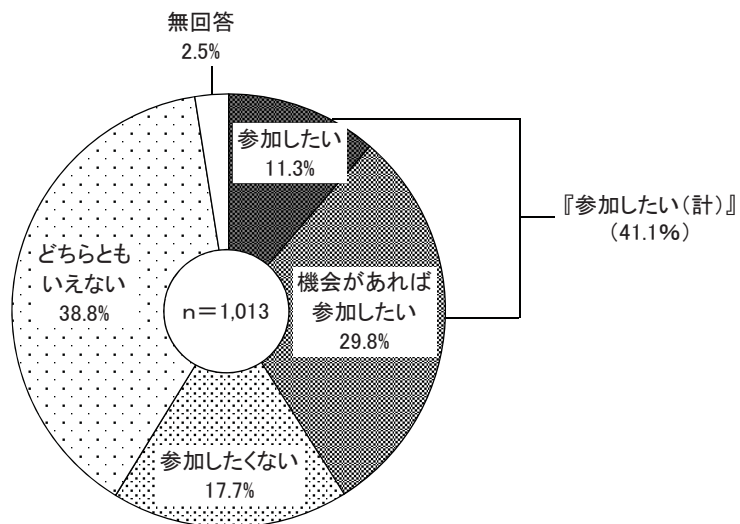


居住形態別にみると、「加入している」は一戸建て持ち家で約9割、一戸建て借家と分譲マンションで7割後半と多くなっている。一方、賃貸マンション・アパートは「加入していない」が7割を超え「加入している」を上回っている。(図3-4-5)

3-5 町会・自治会活動への参加意向

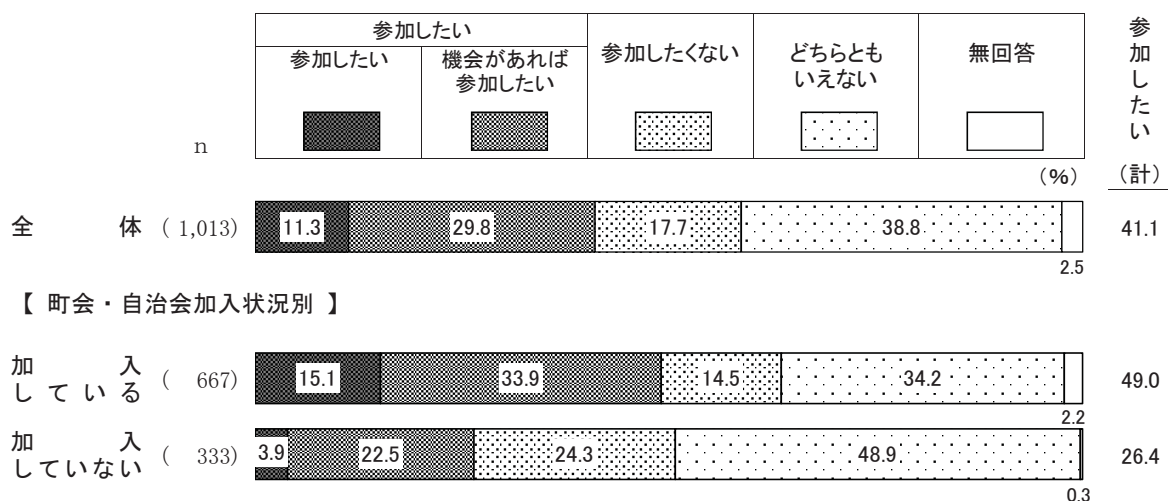
問13 あなたは今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

図3-5-1 町会・自治会活動への参加意向



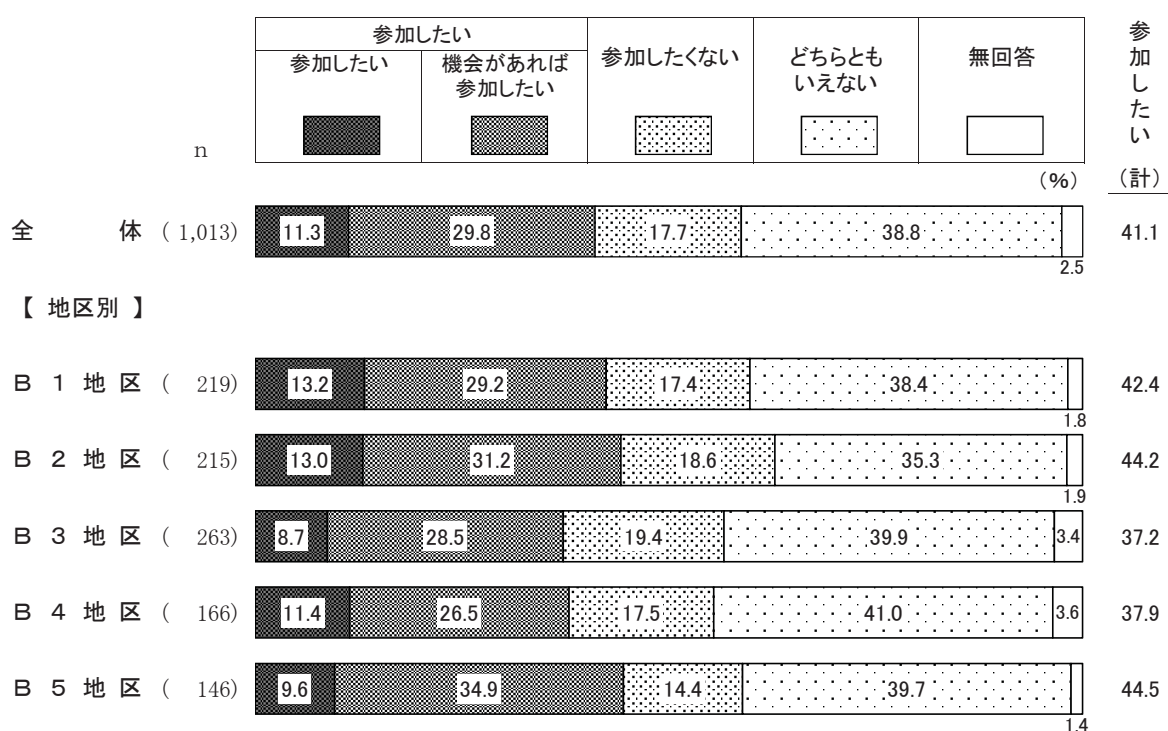
町会や自治会活動の参加意向についてたずねたところ、「参加したい」(11.3%)、「機会があれば参加したい」(29.8%)を合わせた『参加したい(計)』(41.1%)は4割を超えている。一方、「参加したくない」(17.7%)は2割近く、「どちらともいえない」(38.8%)が4割近くとなっている。(図3-5-1)

図3-5-2 町会・自治会活動への参加意向—町会・自治会加入状況別



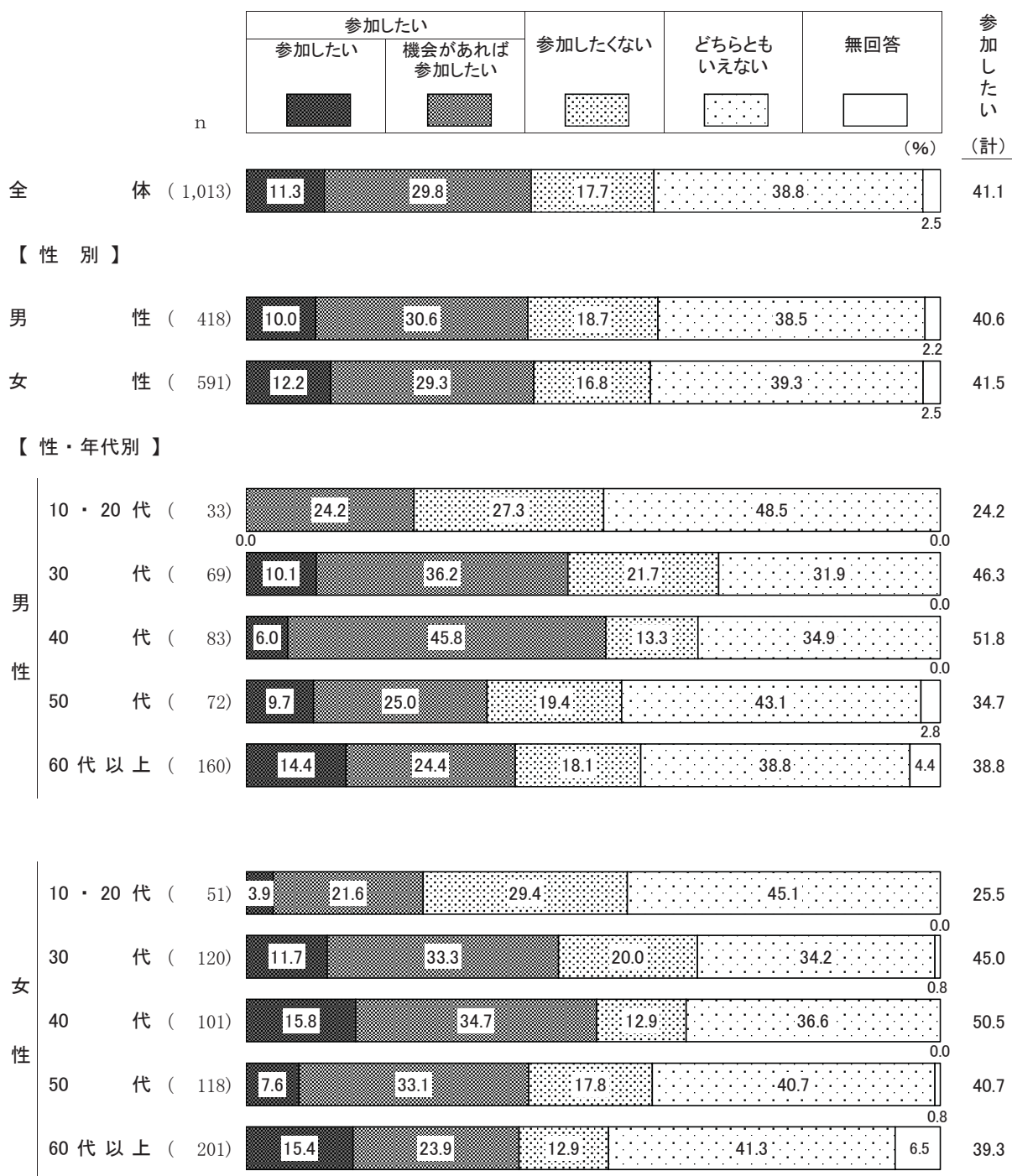
町会・自治会の加入状況別にみると、『参加したい（計）』は加入している人で約5割、加入していない人で2割半ばとなっている。（図3-5-2）

図3-5-3 町会・自治会活動への参加意向—地区別



地区別にみると、『参加したい（計）』はB2地区、B5地区では4割半ば、B1地区で4割を超えている。（図3-5-3）

図3-5-4 町会・自治会活動への参加意向—性別／性・年代別

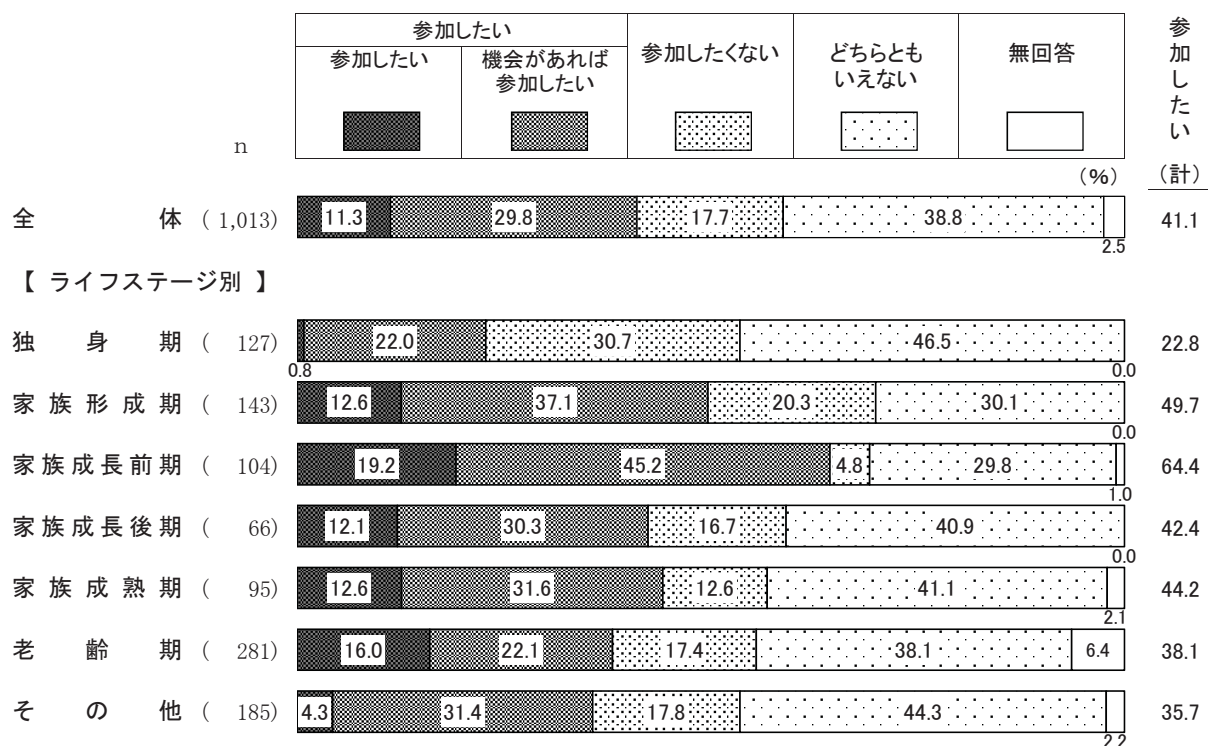


性別にみると、『参加したい（計）』は男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、『参加したい（計）』は男女ともに40代で5割台、30代では4割半ばとなっている。また、「参加したくない」は男女ともに10・20代で3割近くと多くなっている。

(図3-5-4)

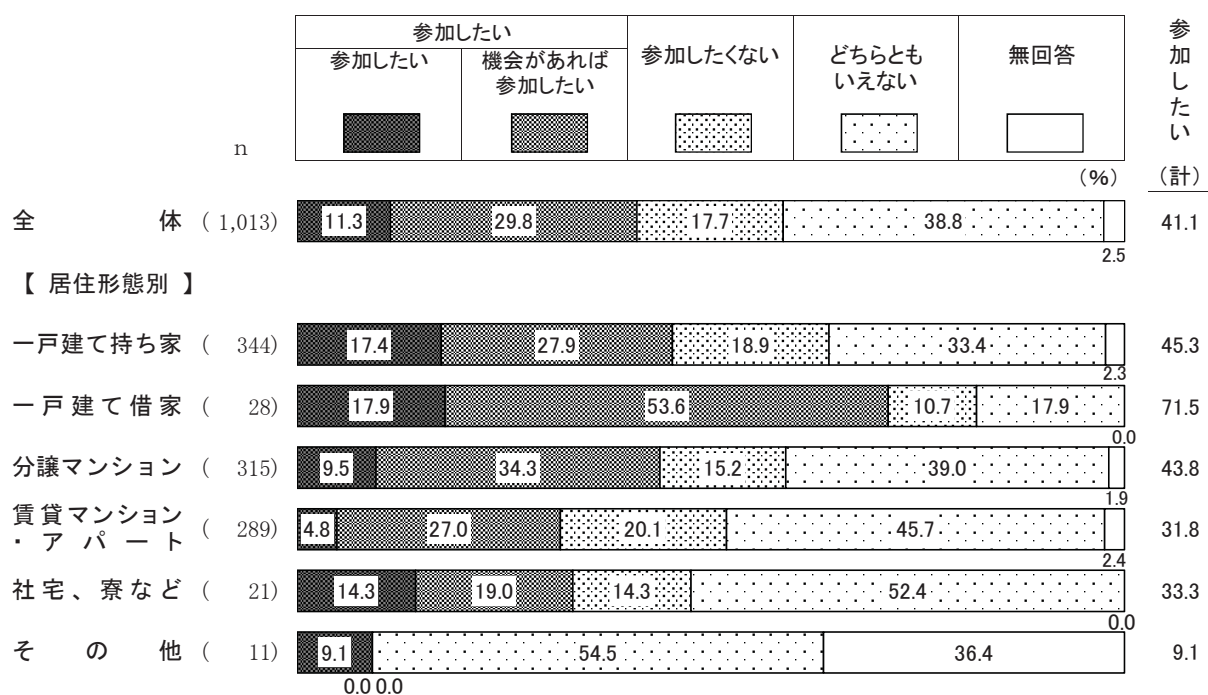
図3-5-5 町会・自治会活動への参加意向－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『参加したい（計）』は家族成長前期で6割半ば、家族形成期で約5割と多くなっている。一方、独身期では2割前半と少なくなっている。また、「どちらともいえない」は独身期、家族成長後期、家族成熟期、その他で4割台となっている。

(図3-5-5)

図3-5-6 町会・自治会活動への参加意向－居住形態別

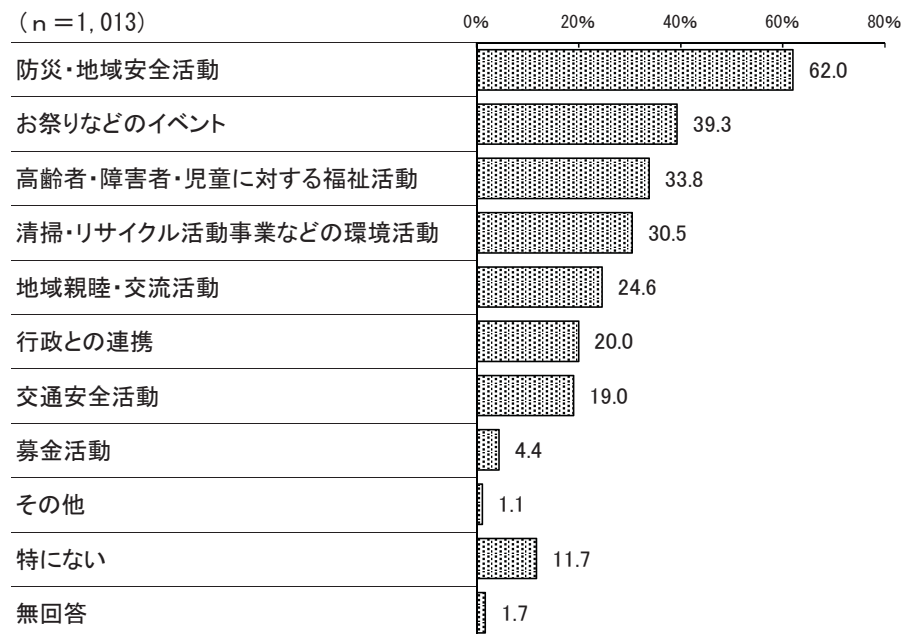


居住形態別にみると、『参加したい（計）』は一戸建て借家で7割を超え最も多く、一戸建て持ち家、分譲マンションで4割台となっている。一方、「参加したくない」は賃貸マンション・アパートで約2割となっている。(図3-5-6)

3-6 町会・自治会に期待すること

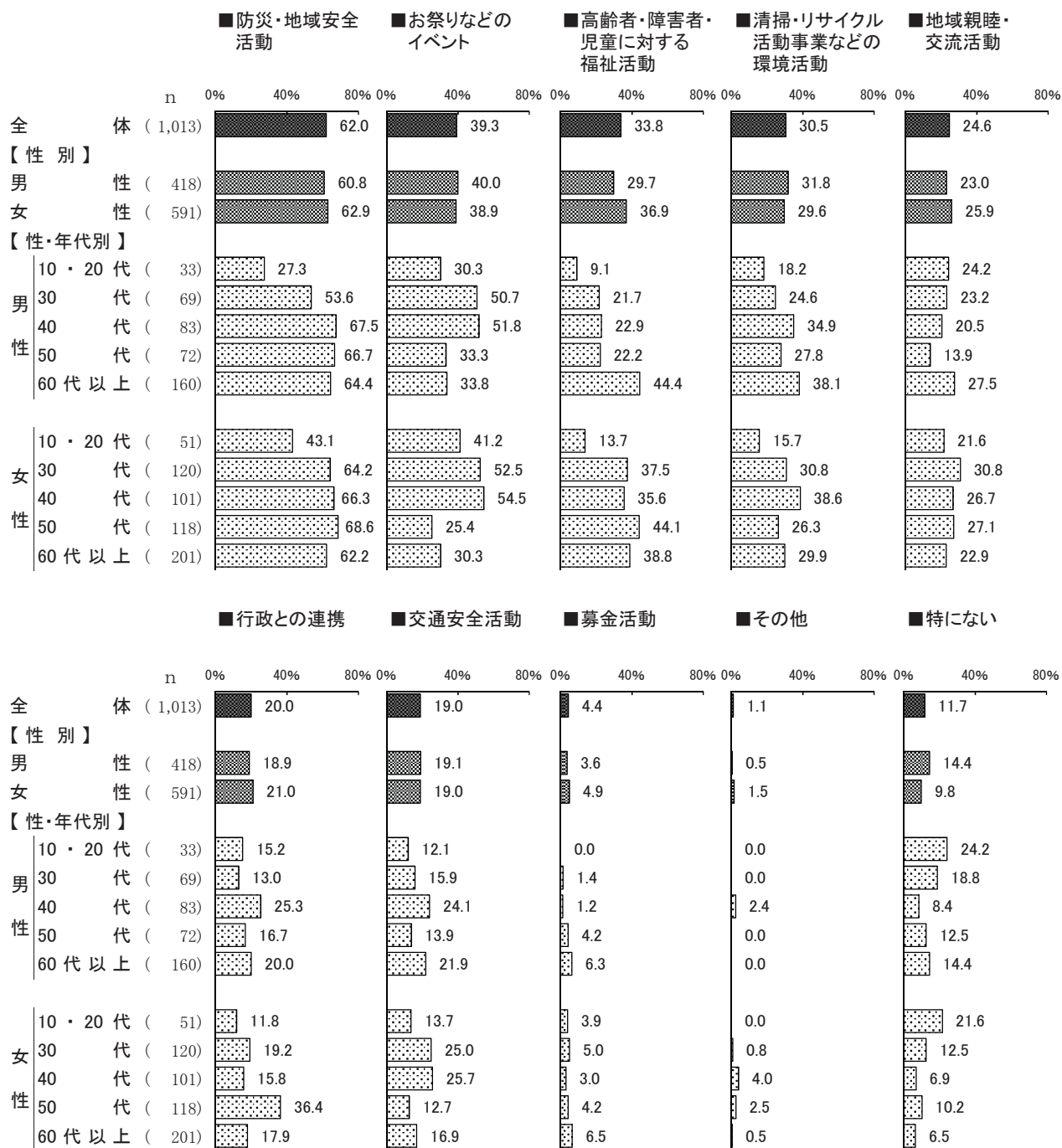
問14 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。
次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図3-6-1 町会・自治会に期待すること



町会・自治会に期待することについてたずねたところ、「防災・地域安全活動」(62.0%)が6割を超え最も多く、次いで「お祭りなどのイベント」(39.3%)、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」(33.8%)、「清掃・リサイクル活動事業などの環境活動」(30.5%)などのとなっている。(図3-6-1)

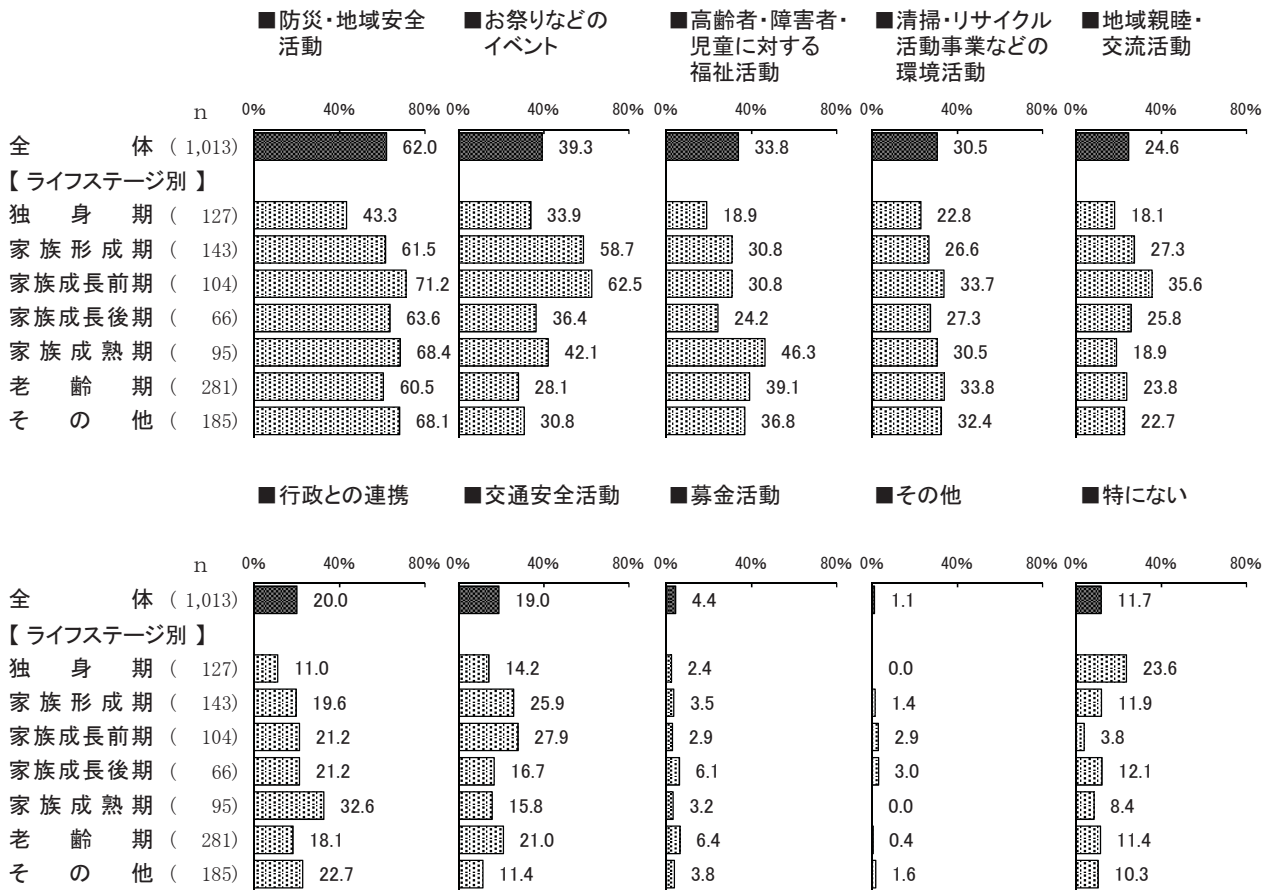
図3-6-2 町会・自治会に期待すること－性別／性・年代別



性別にみると、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は女性のほうが7.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「防災・地域安全活動」は男女ともに40代、50代で6割後半、「お祭りなどのイベント」は男女ともに30代と40代で5割台と多くなっている。また、「行政との連携」は女性50代で3割半ばとなっている。（図3-6-2）

図3-6-3 町会・自治会に期待すること－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「防災・地域安全活動」は家族成長前期で7割を超え、「お祭りなどのイベント」は家族形成期と家族成長前期で6割前後と多くなっている。「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は家族成熟期で4割半ばとなっている。(図3-6-3)

4 防災・安全

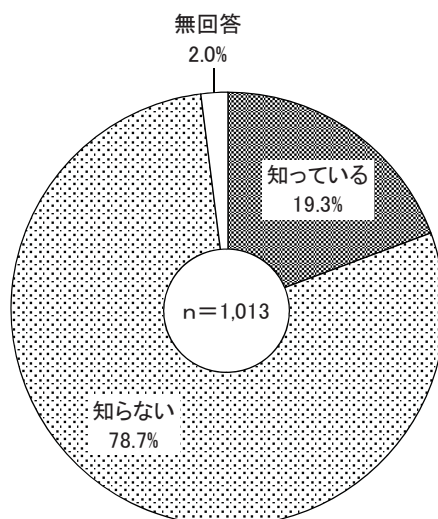
-
- 4-1 「文京区客引き行為等防止条例」の認知度
 - 4-2 警察のパトロール以外で有用な防犯対策
 - 4-3 災害への備え
 - 4-4 区からの災害情報の提供方法の認知度
 - 4-5 防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法
-

4 防災・安全

4-1 「文京区客引き行為等防止条例」の認知度

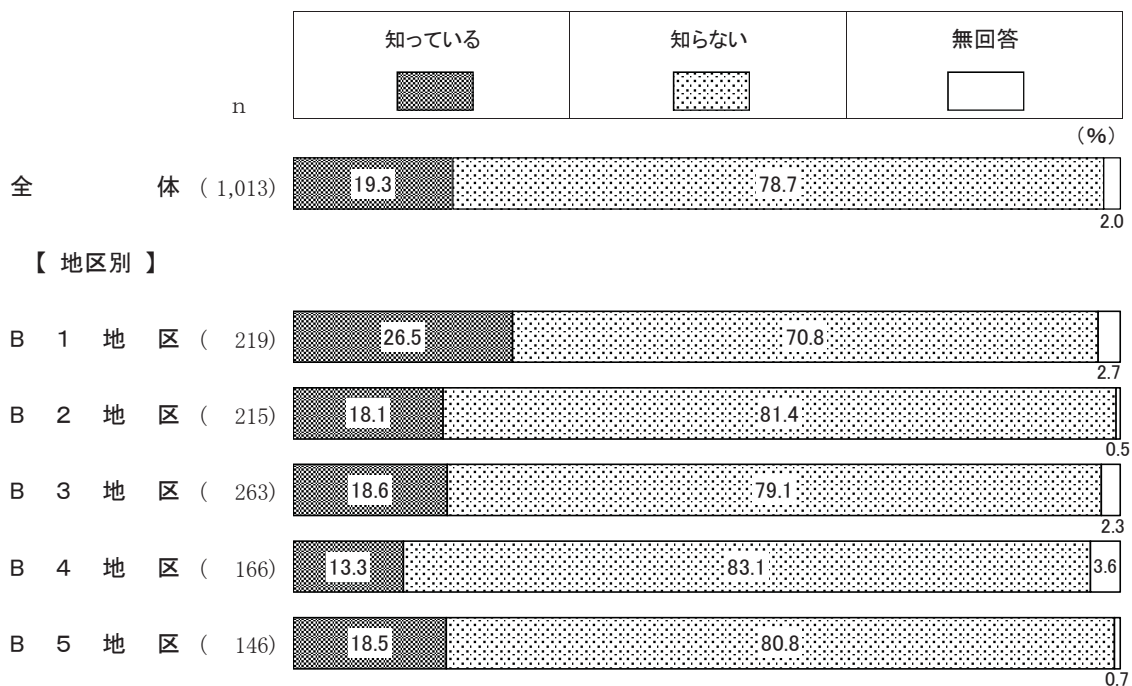
問15 区では、平成29年7月に「文京区客引き行為防止条例」を施行し、繁華街における安全対策を強化し、安全で快適な地域環境の確保に取り組んでいます。このことを知っていますか。(○は1つ)

図4-1-1 「文京区客引き行為等防止条例」の認知度



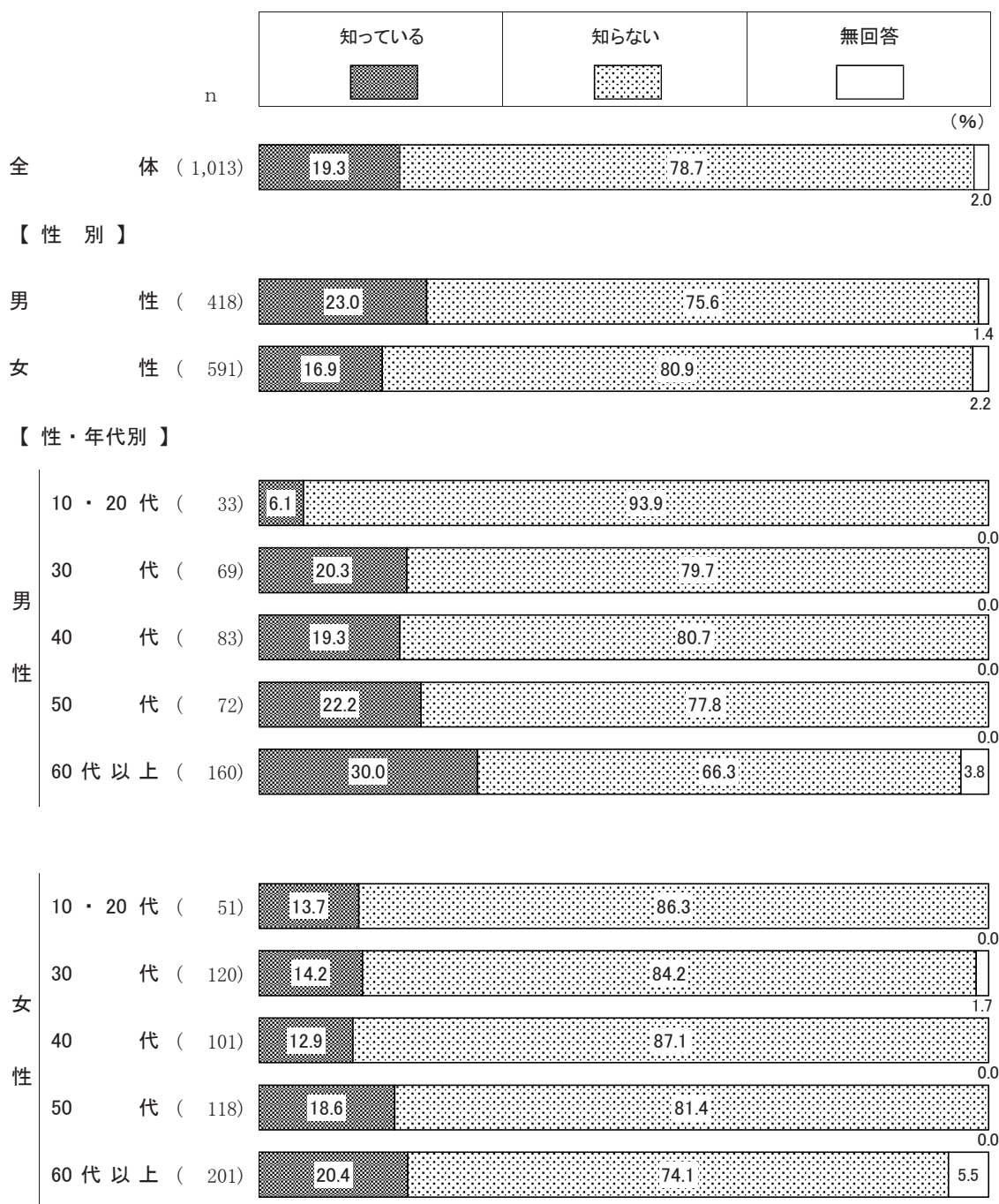
「文京区客引き行為等防止条例」の認知度についてたずねたところ、「知らない」(78.7%)が8割近くとなっている。(図4-1-1)

図4-1-2 「文京区客引き行為等防止条例」の認知度—地区別



地区別にみると、「知っている」はB 1地区で2割半ばと最も多く、B 4地区で1割前半と最も少なくなっている。(図4-1-2)

図4-1-3 「文京区客引き行為等防止条例」の認知度—性別／性・年代別



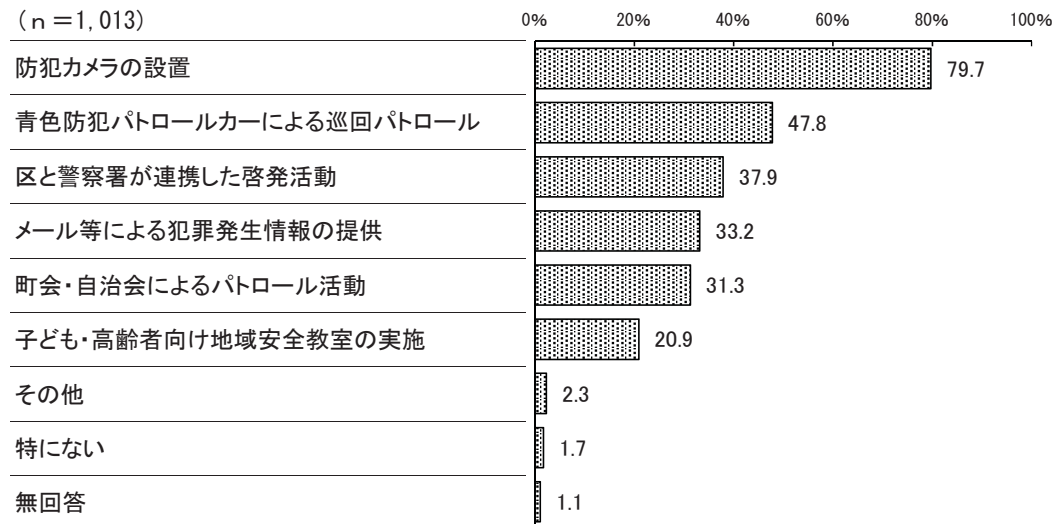
性別にみると、「知っている」は男性のほうが6.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、男性60代以上では「知っている」が3割と多くなっている。一方、男性10・20代では「知っている」は1割に満たない。(図4-1-3)

4-2 警察のパトロール以外で有用な防犯対策

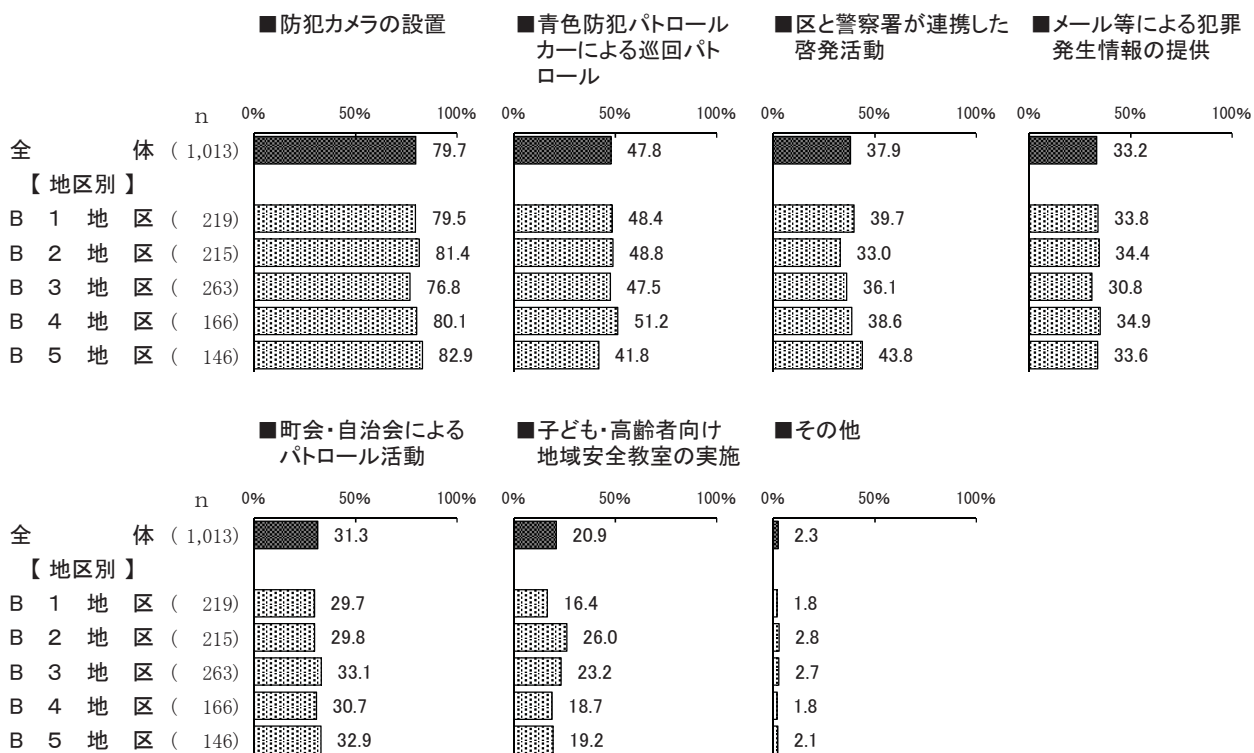
問16 警察のパトロール以外で、あなたが防犯対策として有用だと考えるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図4-2-1 警察のパトロール以外で有用な防犯対策



警察のパトロール以外で、防犯対策として有用だと考えるものについてたずねたところ、「防犯カメラの設置」(79.7%)が約8割と最も多く、次いで「青色パトロールカーによる巡回パトロール」(47.8%)、「区と警察署が連携した啓発活動」(37.9%)、「メール等による犯罪発生情報の提供」(33.2%)などの順となっている。(図4-2-1)

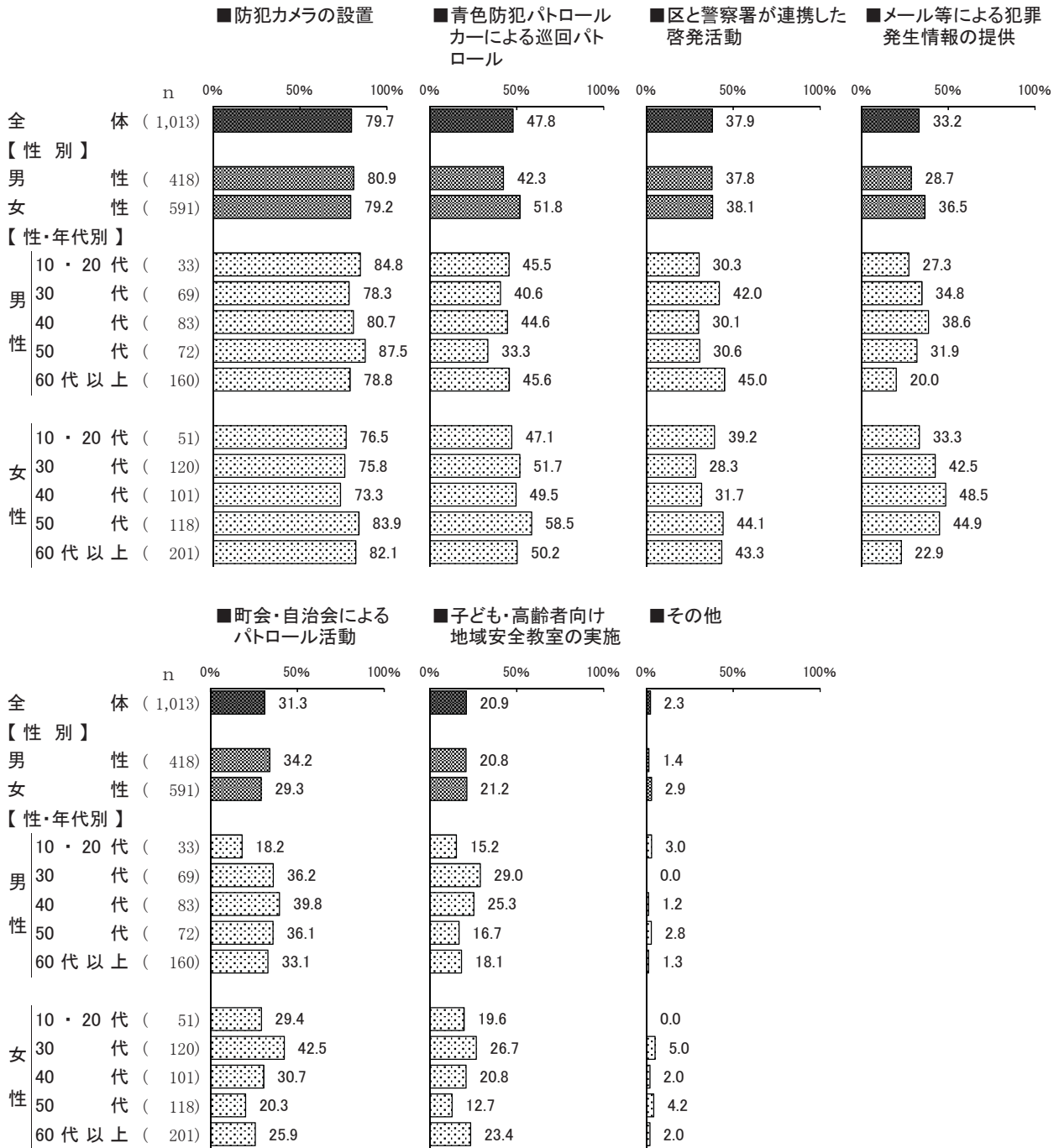
図4-2-2 警察のパトロール以外で有用な防犯対策—地区別



地区別にみると、地区による大きな差はみられないが、「区と警察署が連携した啓発活動」はB5地区で4割を超えやや多くなっているが、B2地区では3割前半とやや少なくなっている。

(図4-2-2)

図4-2-3 警察のパトロール以外で有用な防犯対策—性別／性・年代別



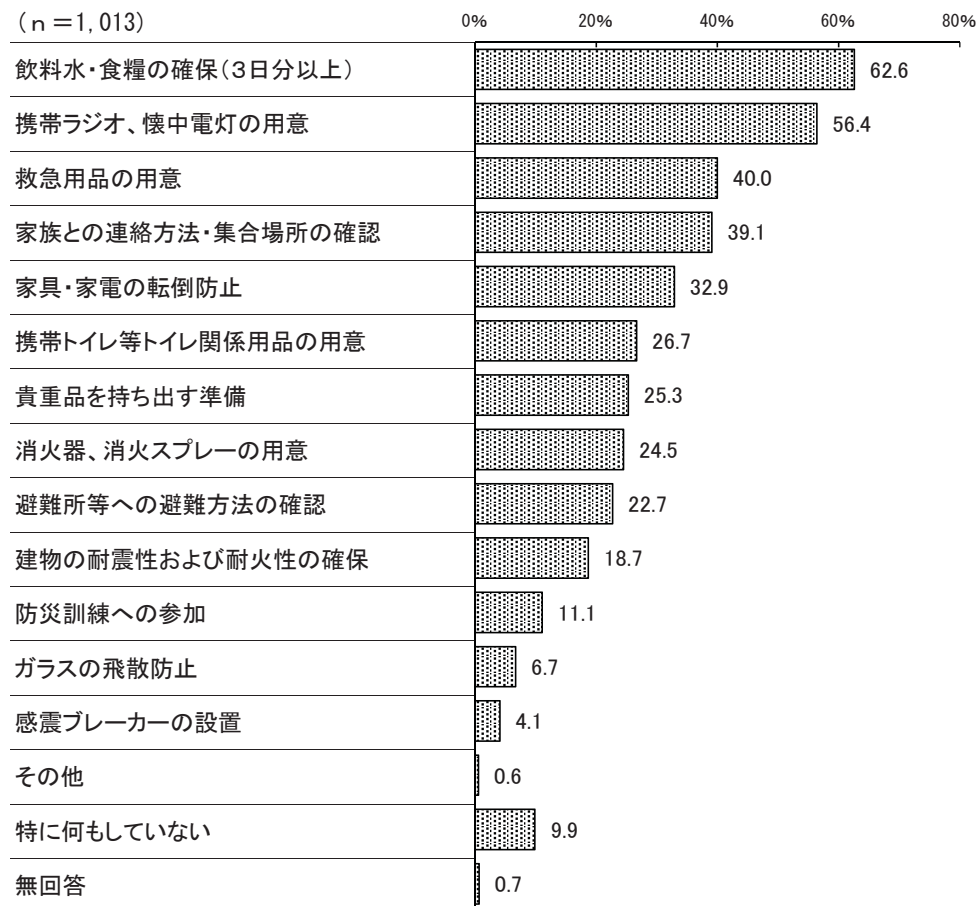
性別にみると、女性のほうが「青色防犯パトロールカーによる巡回パトロール」で9.5ポイント、「メール等による犯罪発生情報の提供」で7.8ポイント高くなっている。一方、「町会・自治会によるパトロール活動」は男性のほうが4.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、性・年代による大きな差はみられないが、「メール等による犯罪発生情報の提供」は男女ともに60代以上で2割前半と少なくなっている。また、「町会・自治会によるパトロール活動」は男性40代と女性30代で4割前後と多くなっている。（図4-2-3）

4-3 災害への備え

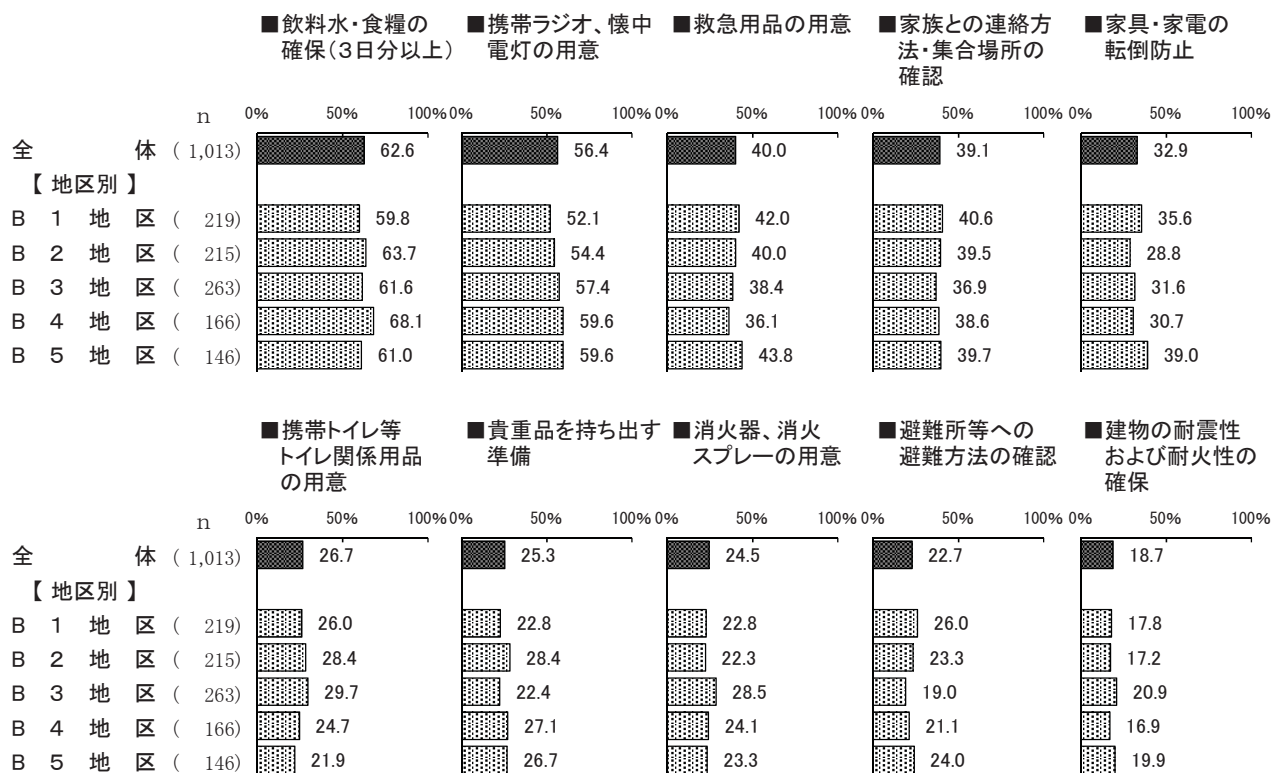
問17 あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。
次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

図4-3-1 災害への備え



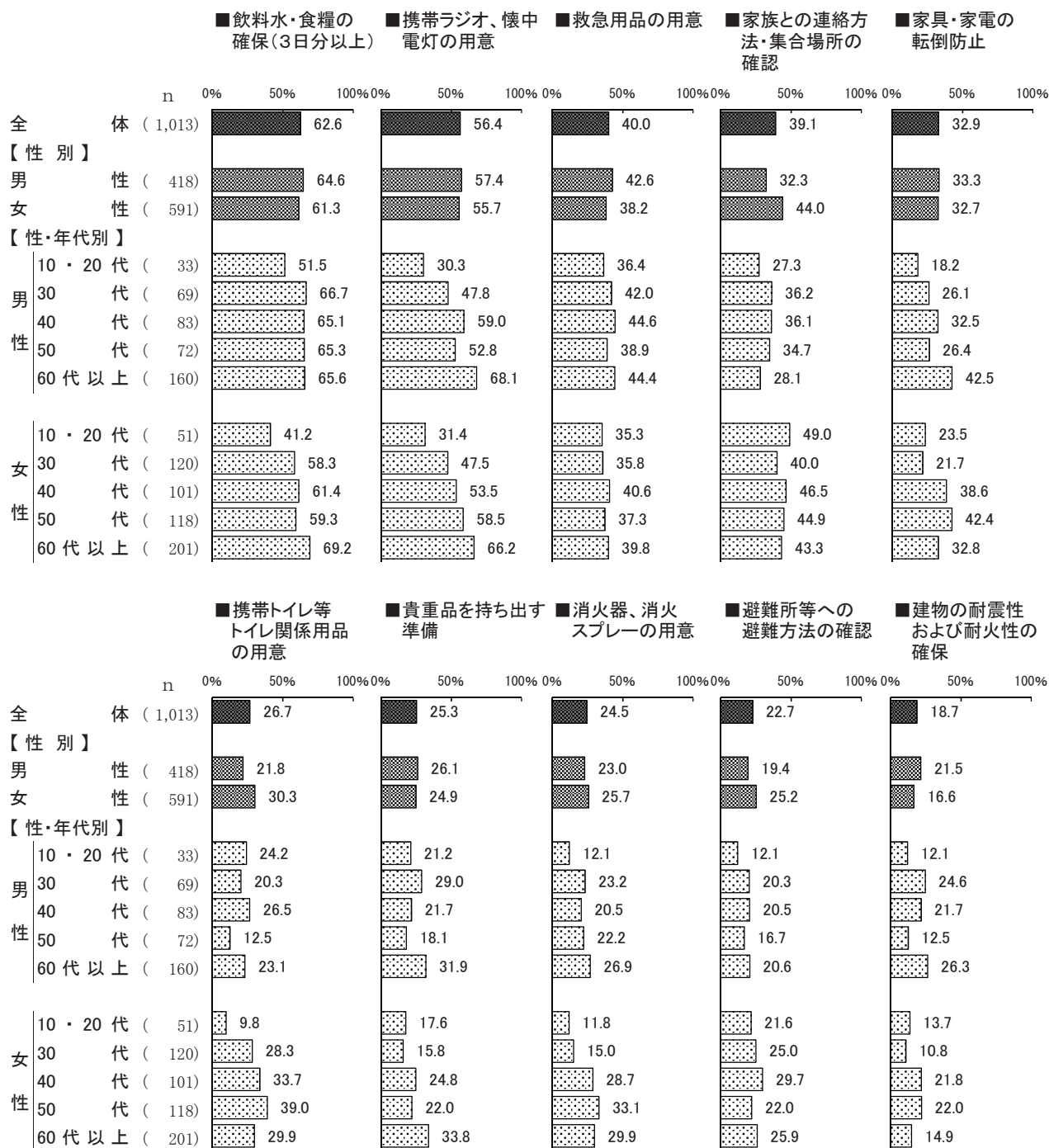
災害への備えについてたずねたところ、「飲料水・食糧の確保（3日分以上）」（62.6%）が6割を超え最も多く、次いで「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」（56.4%）、「救急用品の用意」（40.0%）、「家族との連絡方法・集合場所の確認」（39.1%）、「家具・家電の転倒防止」（32.9%）などの順となっている。（図4-3-1）

図4-3-2 災害への備え【上位10項目】—地区別



地区別にみると、地区による差はほとんどみられないが、「飲料水・食糧の確保（3日分以上）」はB4地区で7割近くとやや多くなっている。（図4-3-2）

図4-3-3 災害への備え【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうが「家族との連絡方法・集合場所の確認」で11.7ポイント、「携帯トイレ等トイレ関係用品の用意」で8.5ポイント高くなっている。

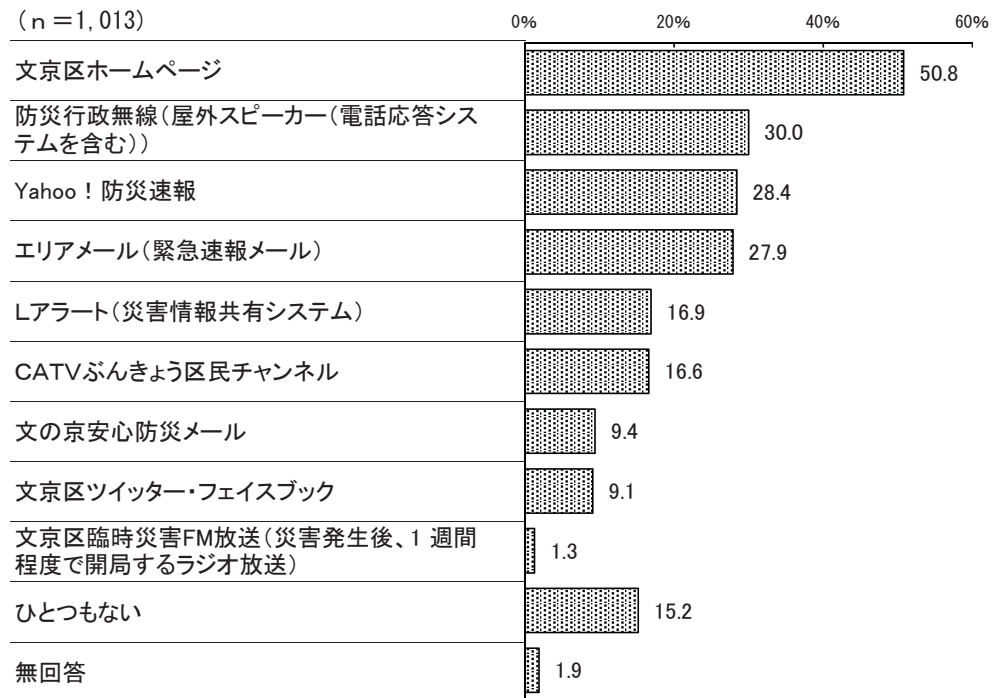
性・年代別にみると、「飲料水・食糧の確保（3日分以上）」は女性60代以上で約7割、男性は10・20代を除くすべての年代で6割半ばを超え多くなっているが、女性10・20代では4割前半と少なくなっている。「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、60代以上では6割後半となっているが、10・20代では3割前半となっている。

(図4-3-3)

4-4 区からの災害情報の提供方法の認知度

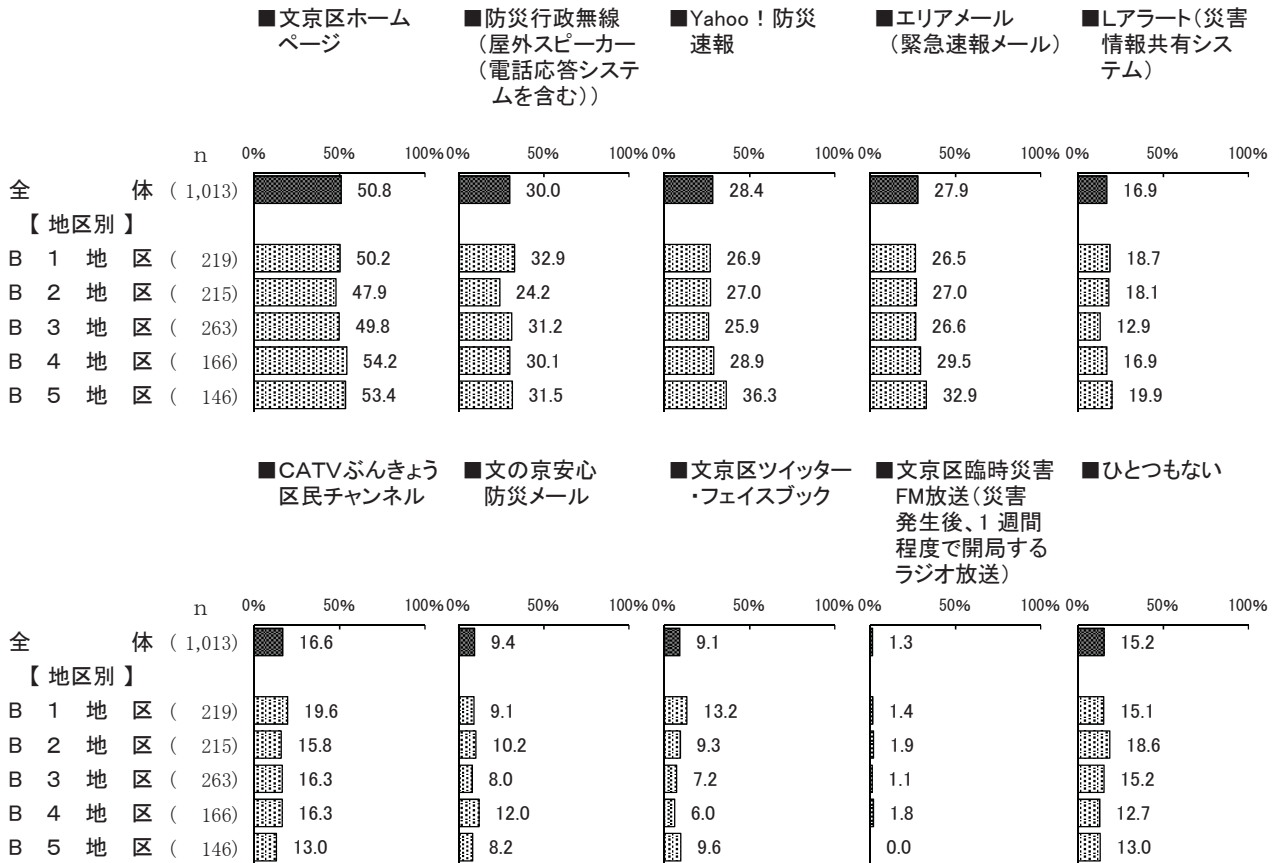
問18 区からの災害情報の提供方法について、知っているものをすべてお選びください。
(〇はいくつでも)

図4-4-1 区からの災害情報の提供方法の認知度



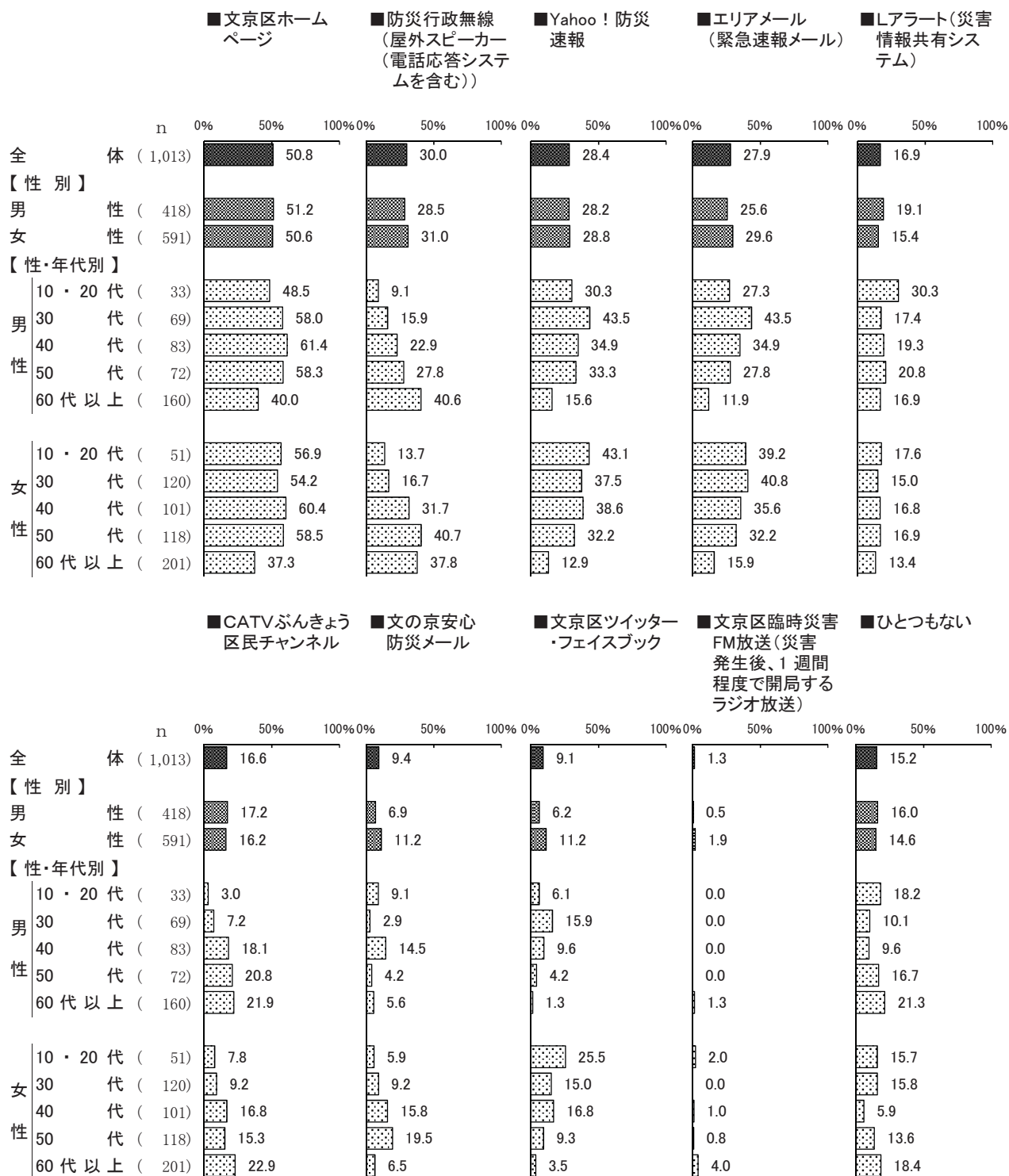
区からの災害情報の提供方法の認知度についてたずねたところ、「文京区ホームページ」(50.8%)が約5割と最も多く、次いで防災行政無線(屋外スピーカー(電話応答システムを含む))」(30.0%)、「Yahoo!防災速報」(28.4%)、「エリアメール(緊急速報メール)」(27.9%)などの順となっている。(図4-4-1)

図4-4-2 区からの災害情報の提供方法の認知度—地区別



地区別にみると、「Yahoo!防災速報」、「エリアメール (緊急速報メール)」はB5地区で3割台とやや多くなっている。「防災行政無線 (屋外スピーカー (電話応答システムを含む))」はB2地区が2割半ば、「Lアラート (災害情報共有システム)」はB3地区が1割前半とやや少なくなっている。(図4-4-2)

図 4-4-3 区からの災害情報の提供方法の認知度—性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうが「文京区ツイッター・フェイスブック」で5.0ポイント、「文の京安心防災メール」で4.3ポイント高くなっている。一方、「Lアラート（災害情報共有システム）」は男性のほうが3.7ポイント高くなっている。

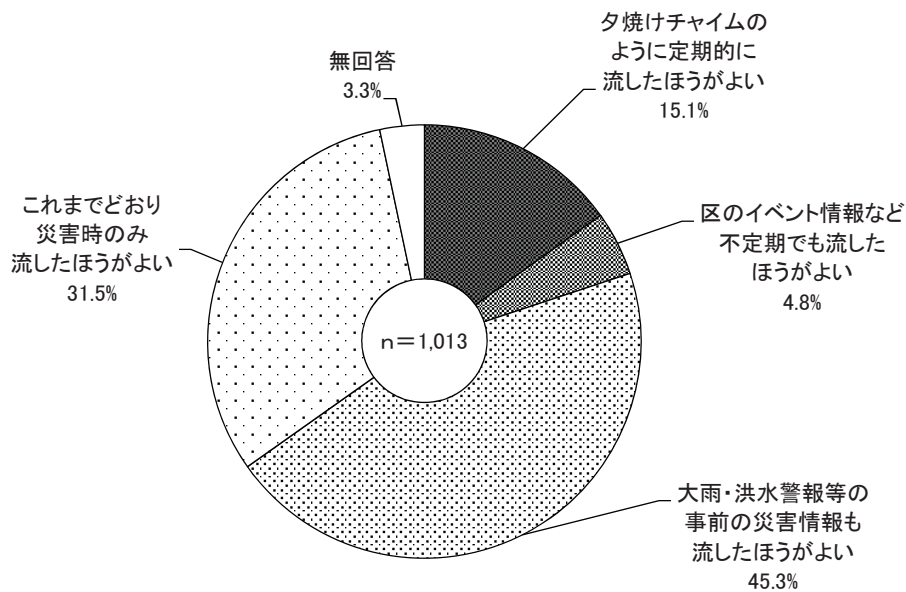
性・年代別にみると、「文京区ホームページ」は男女ともに40代が最も多く、6割を超えている。また、「防災行政無線（屋外スピーカー（電話応答システムを含む））」は男女ともにおおむね年代が高いほど多くなっており、男性60代以上と女性50代で約4割となっている。

(図 4-4-3)

4-5 防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法

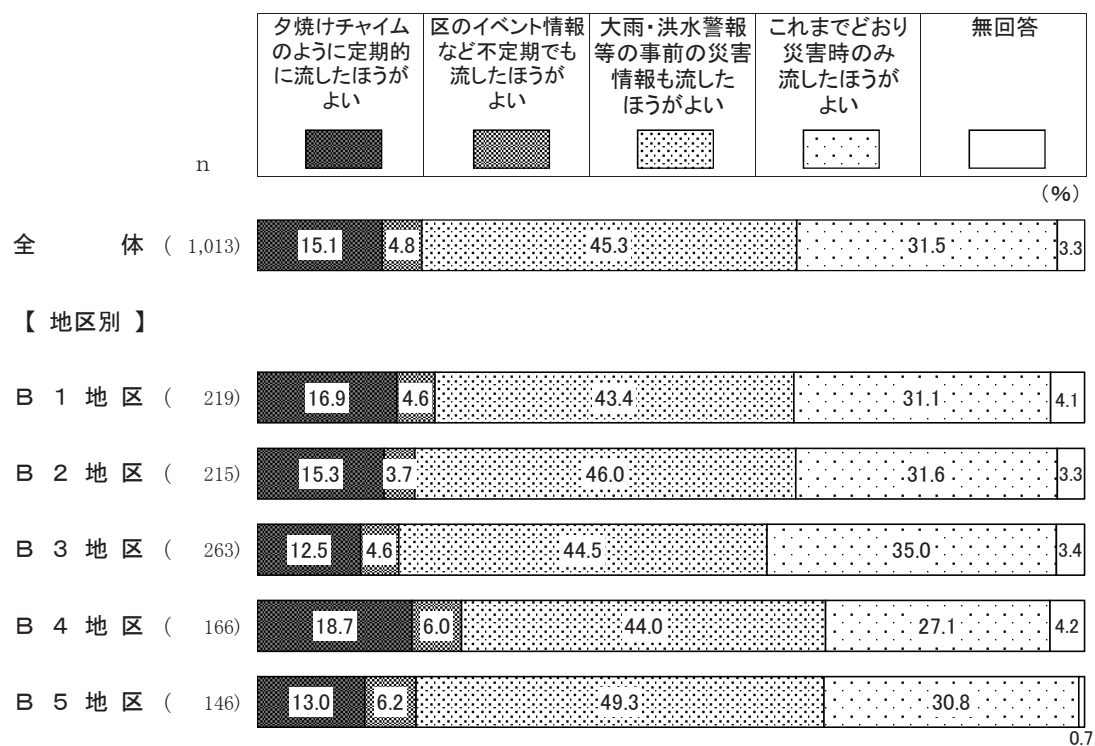
問19 区では、災害情報を広域的に伝達する目的で、「防災行政無線（屋外スピーカー）」を公園や区立学校等に設置しております。
現在は、緊急性を強調するため、訓練を除き災害時のみ使用していますが、その使用方法について、あなたがもっとも適切と思うものを次の中から1つだけお選びください。（○は1つ）

図4-5-1 防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法



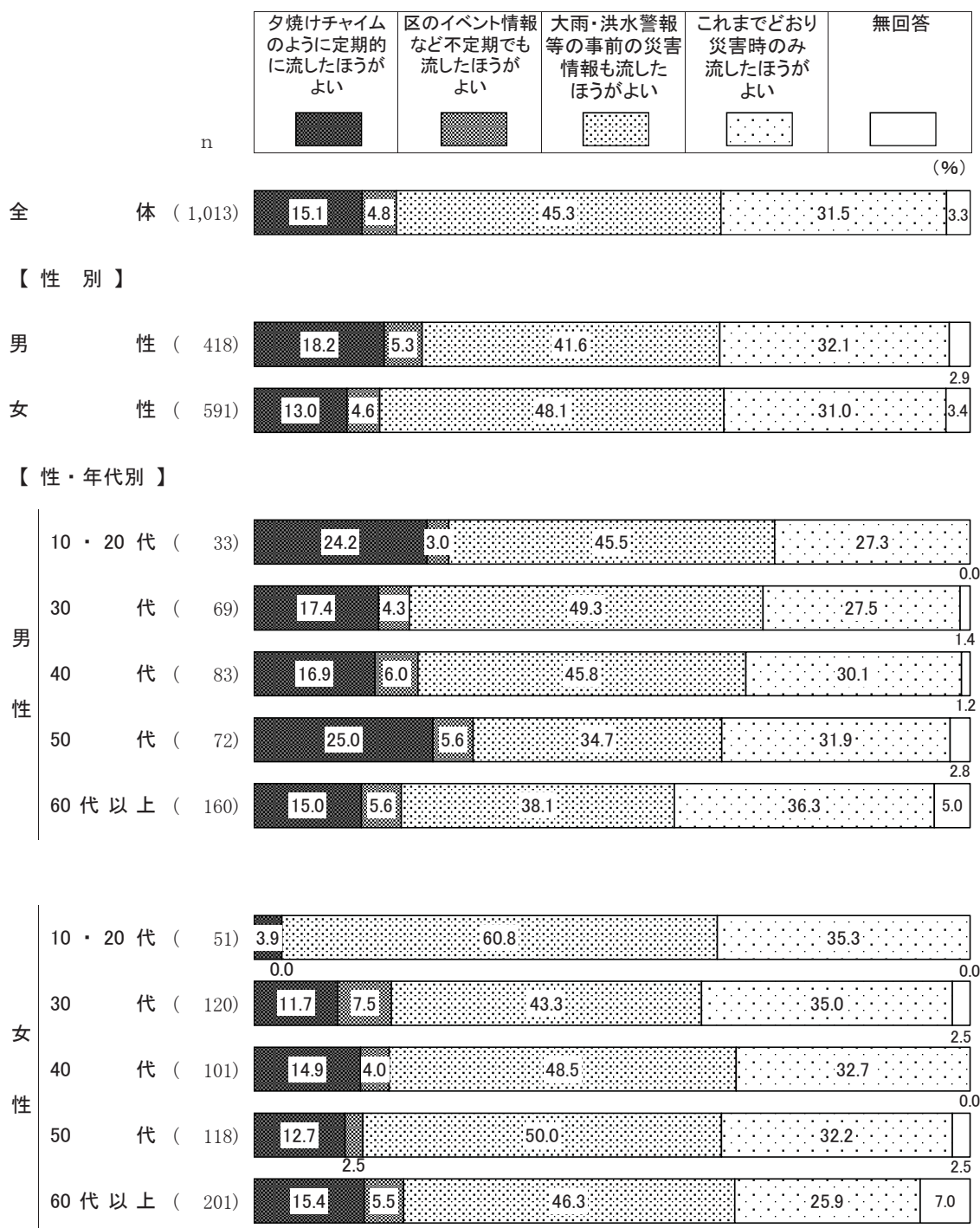
防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法についてたずねたところ、「大雨・洪水警報等の事前の災害情報も流したほうがよい」（45.3%）が4割半ばと最も多く、次いで「これまでどおり災害時のみ流したほうがよい」（31.5%）が3割を超えている。また、「夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい」（15.1%）は1割半ば、「区のイベント情報など不定期でも流したほうがよい」（4.8%）は1割未満となっている。（図4-5-1）

図4-5-2 防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法—地区別



地区別にみると、「大雨・洪水警報等の事前の災害情報も流したほうがよい」はB5地区で約5割と多く、「これまでどおり災害時のみ流したほうがよい」はB3地区で3割半ばと多くなっている。（図4-5-2）

図4-5-3 防災行政無線（屋外スピーカー）の使用方法—性別／性・年代別



性別にみると、「夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい」は男性のほうが5.2ポイント高くなっている。一方、「大雨・洪水警報等の事前の災害情報も流したほうがよい」は女性のほうが6.5ポイント高くなっている。

性・年代別では「夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい」は男性10・20代と50代でそれぞれ2割半ば、「大雨・洪水警報等の事前の災害情報も流したほうがよい」は男性30代、女性50代で約5割となっている。一方、「これまでどおり災害時のみ流したほうがよい」は男性60代以上、女性10・20代と30代で3割半ばと多くなっている。

(図4-5-3)

5 まちづくり

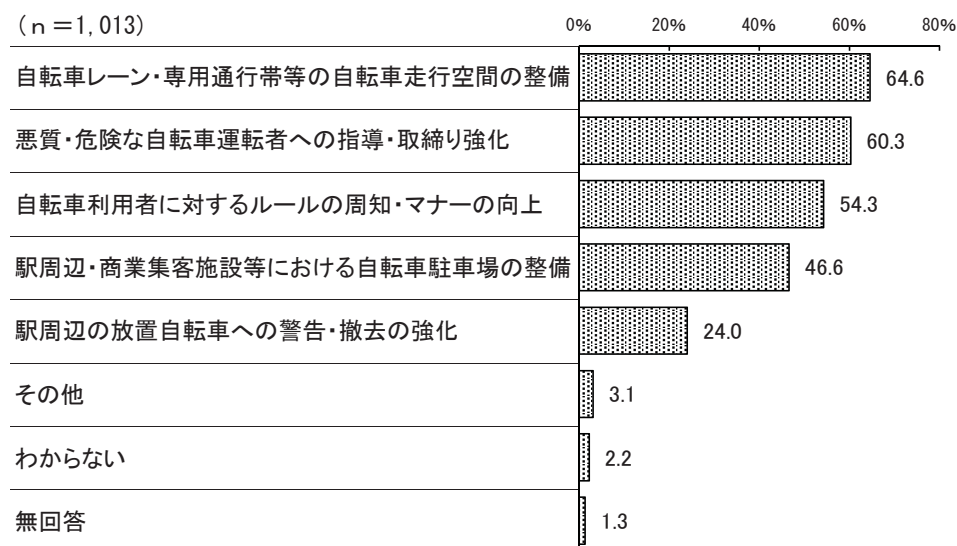
-
- 5-1 自転車の安全利用施策
 - 5-2 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度
 - 5-3 「道路の無電柱化」についてのイメージ
 - 5-4 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度
 - 5-5 住まいのまわりの「緑」を増やすために必要なこと
 - 5-6 区立公園や児童遊園などの利用頻度
 - 5-7 区内にあるとよいと思う公園
-

5 まちづくり

5-1 自転車の安全利用施策

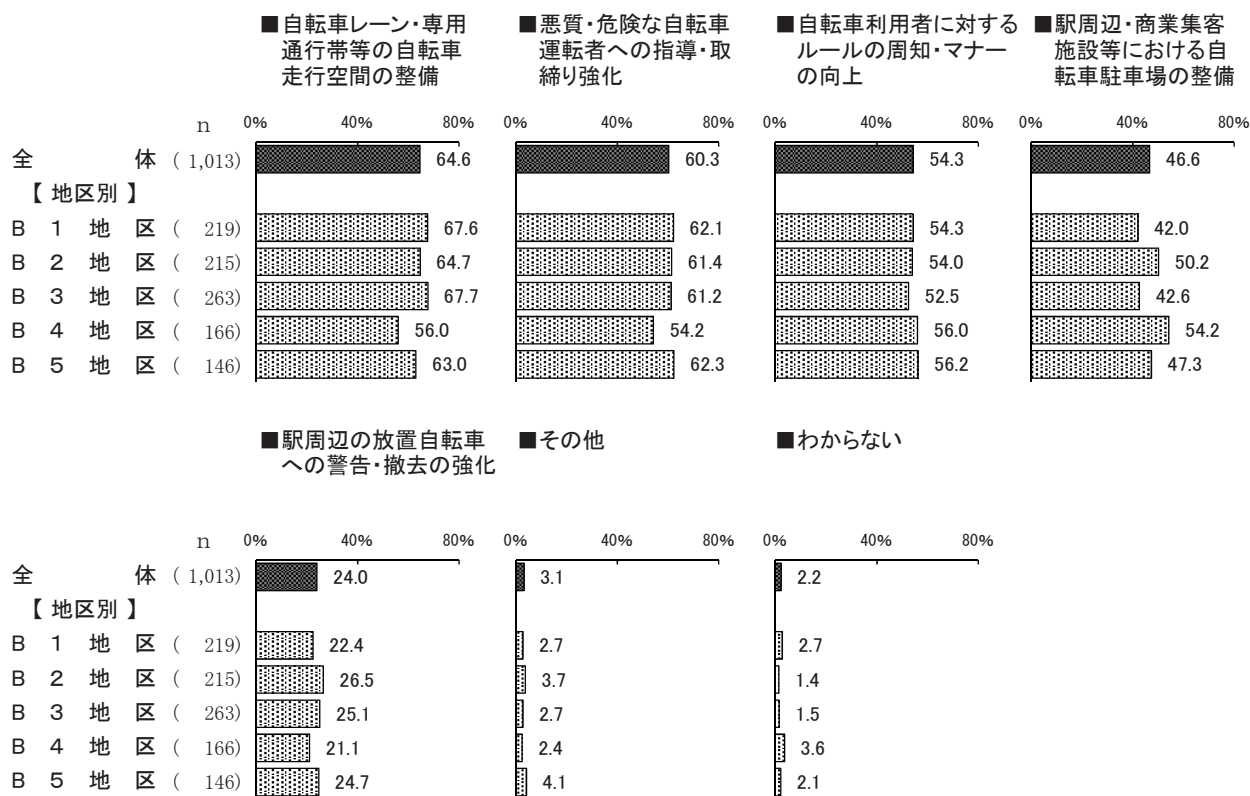
問20 自転車の安全利用推進のために、区はどのようなことを重点的に行うべきと考えますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図5-1-1 自転車の安全利用施策



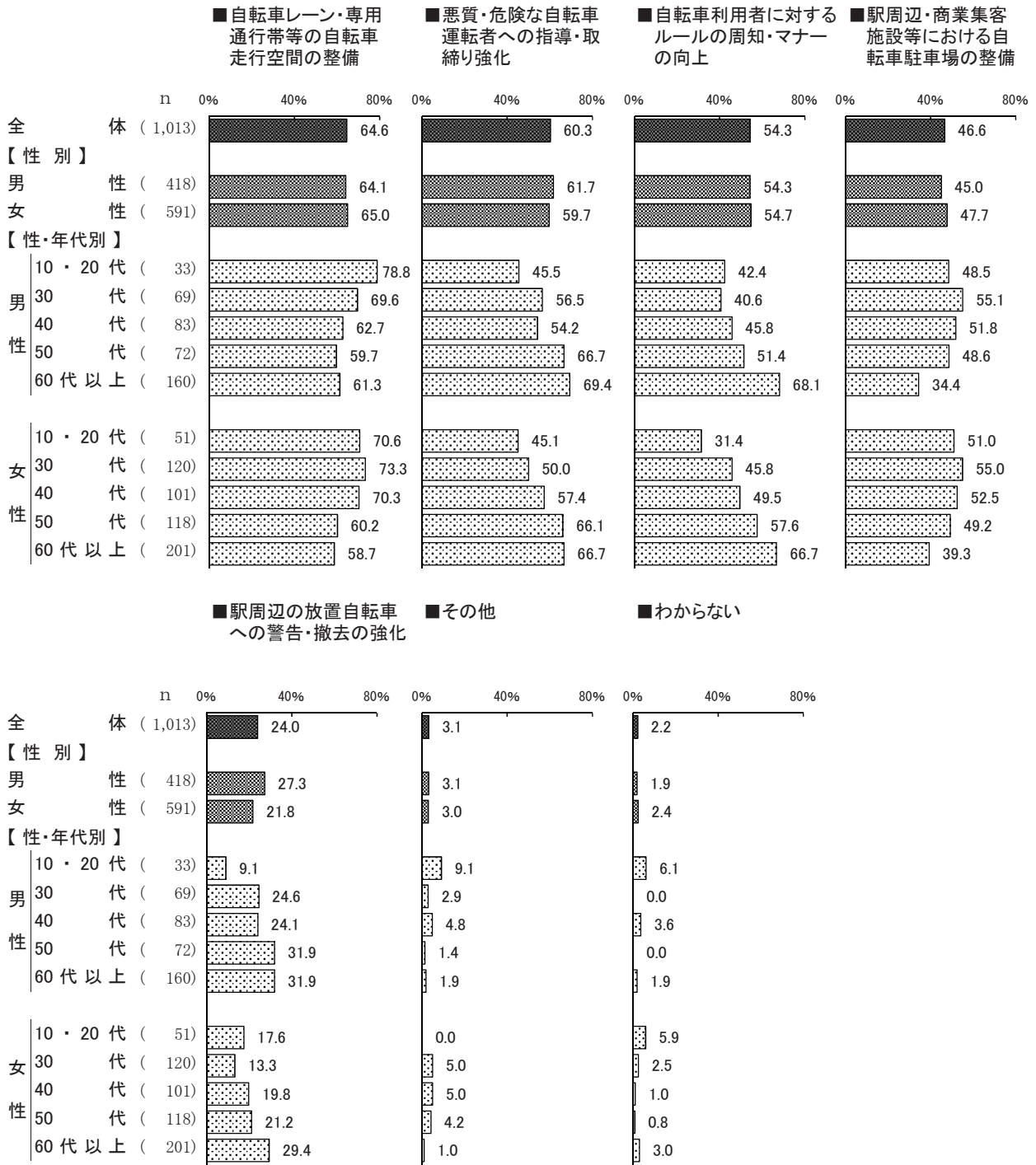
自転車の安全利用施策についてたずねたところ、「自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備」(64.6%)が6割半ばと最も多く、次いで「悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化」(60.3%)、「自転車利用者に対するルールの周知・マナーの向上」(54.3%)などの順となっている。(図5-1-1)

5-1-2 自転車の安全利用施策—地区別



地区別にみると、地区による大きな差はみられないが、「自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備」と「悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化」はB4地区でともに5割半ばとやや少なくなっている。(図5-1-2)

図5-1-3 自転車の安全利用施策—性別／性・年代別



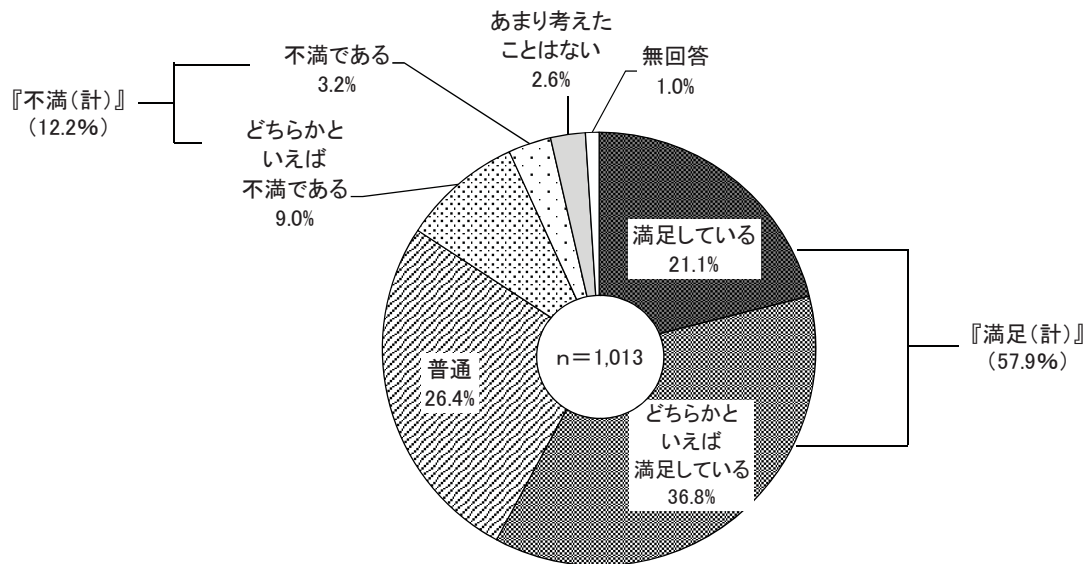
性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、男女ともに50代と60代以上で6割後半となっている。また、「自転車利用者に対するルール・マナーの向上」もおおむね年代が高いほど多く、男女ともに60代以上で6割後半と多くなっている。一方、「自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備」は男女ともにおおむね年代が低いほど多く、特に男性10・20代では8割近くと多くなっている。(図5-1-3)

5-2 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度

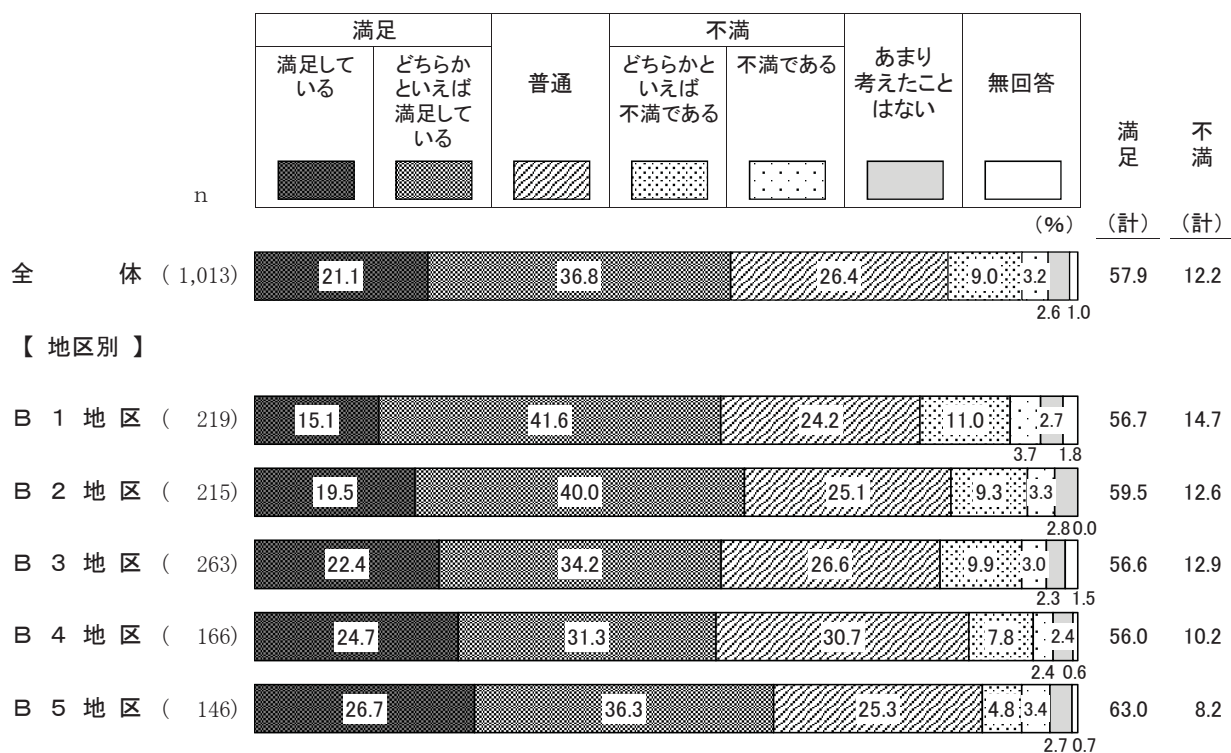
問21 あなたがお住まいの周辺地域のまち並み・景観について、どのように感じますか。
(○は1つ)

図5-2-1 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度



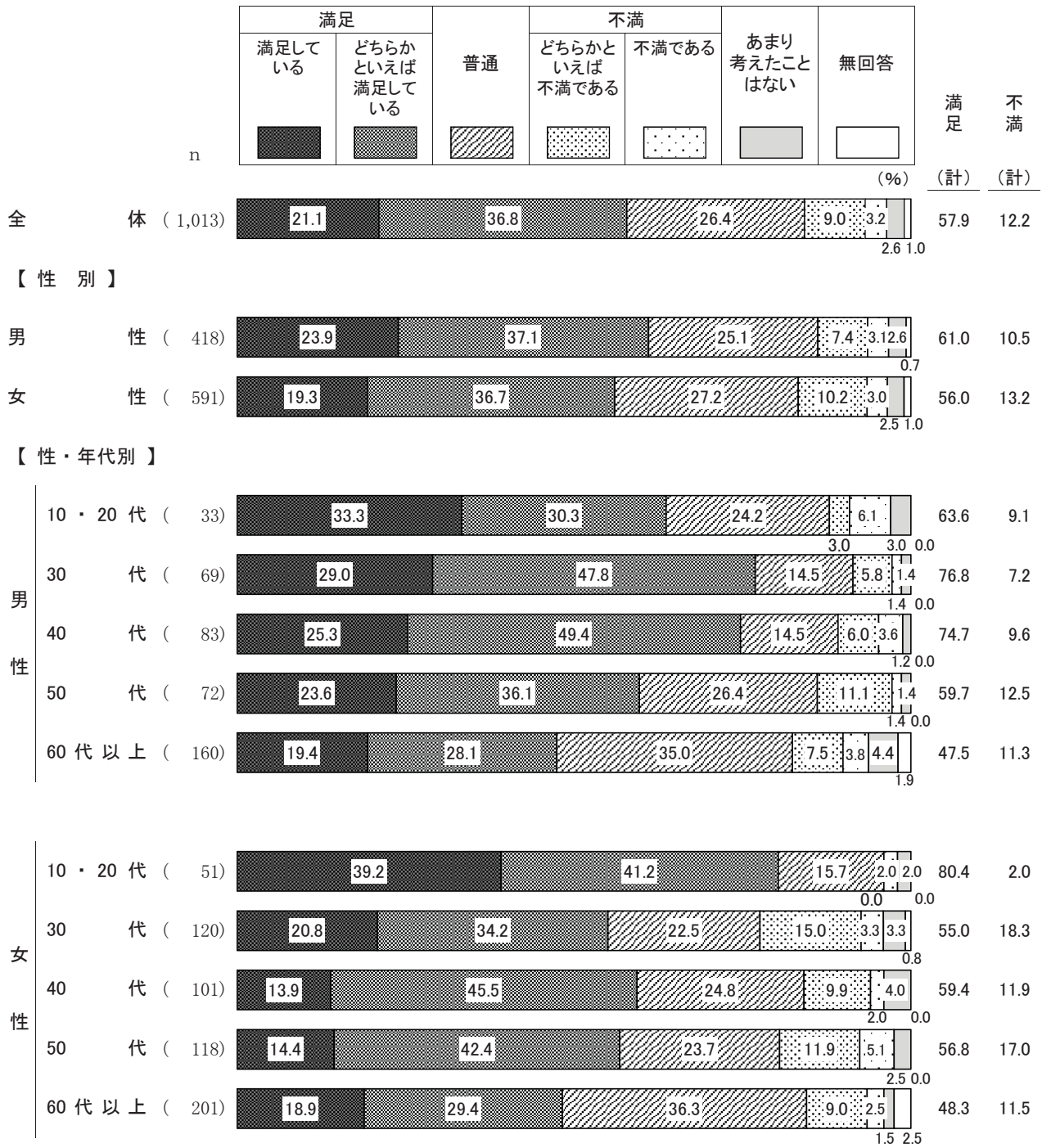
周辺地域のまち並み・景観に対する満足度についてたずねたところ、「満足している」(21.1%)、「どちらかといえば満足している」(36.8%)を合わせた『満足(計)』(57.9%)は6割近く、「普通」(26.4%)が2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば不満である」(9.0%)、「不満である」(3.2%)を合わせた『不満(計)』(12.2%)は1割前半となっている。(図5-2-1)

図5-2-2 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度—地区別



地区別にみると、『満足（計）』はすべての地区で5割半ばを超えており、B 5地区で6割を超えている。一方、『不満（計）』はB 5地区で1割未満と少なく、ほかの地区は1割台となっている。（図5-2-2）

図5-2-3 周辺地域のまち並み・景観に対する満足度—性別／性・年代別



性別にみると、『満足（計）』は男性のほうが5.0ポイント高くなっている。

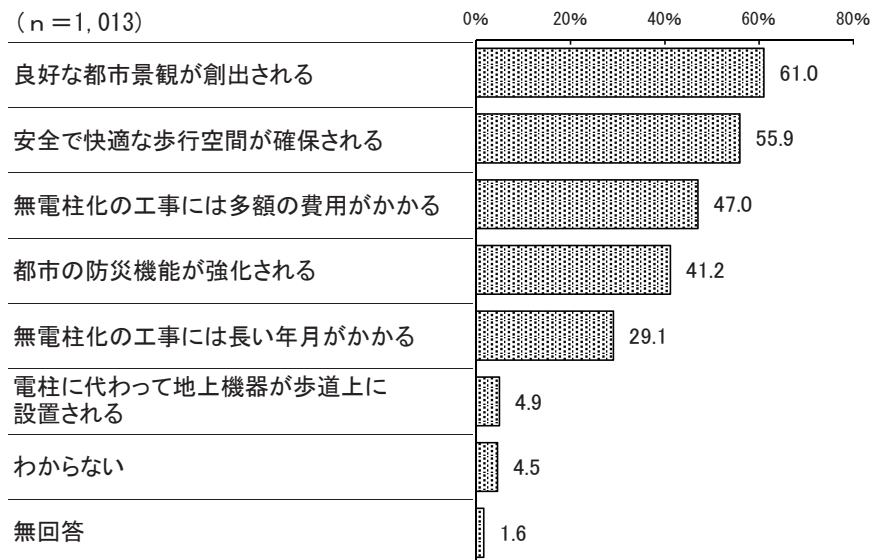
性・年代別にみると、『満足（計）』は男女ともにおおむね年代が低いほど多い傾向であり、特に女性10・20代で約8割と多くなっているが、男女ともに60代以上ではそれぞれ5割を下回っている。一方、『不満（計）』は女性30代と50代で2割近くとやや多くなっている。

(図5-2-3)

5-3 「道路の無電柱化」についてのイメージ

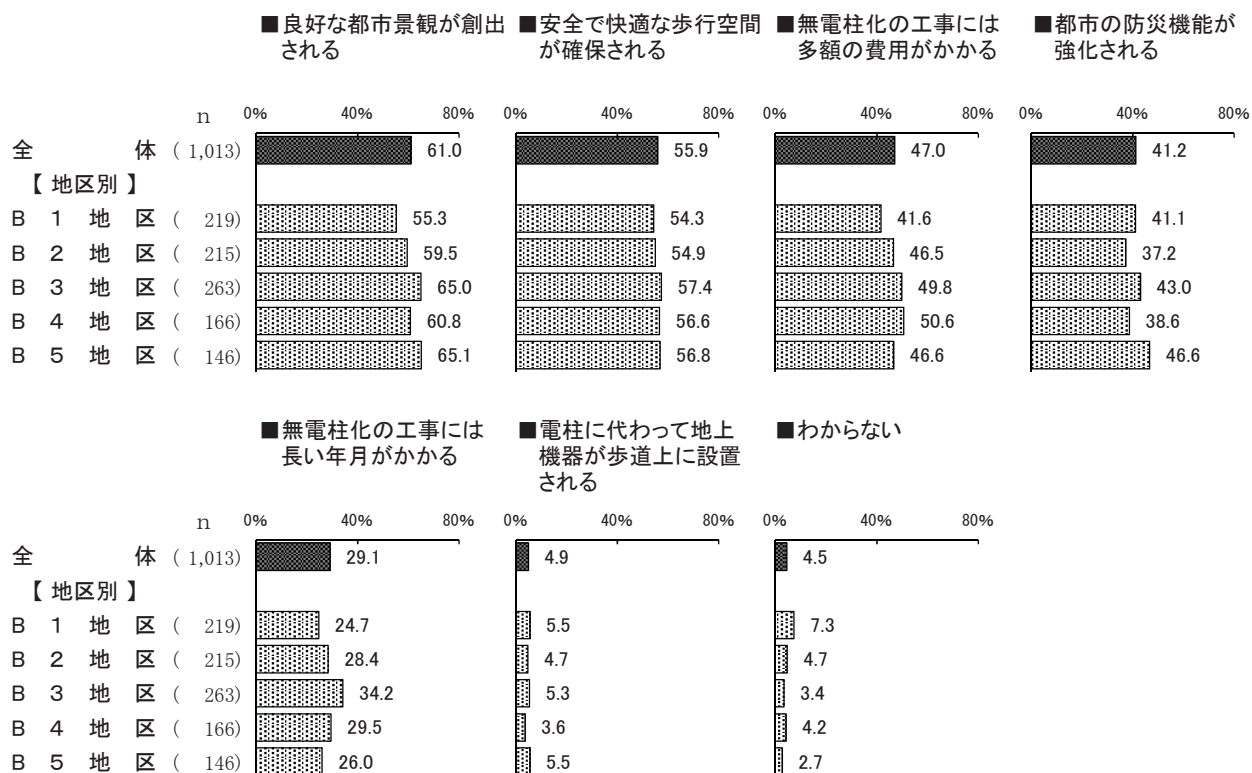
問22 「道路の無電柱化」について、どのようなイメージをお持ちですか。(〇はいくつでも)

図5-3-1 「道路の無電柱化」についてのイメージ



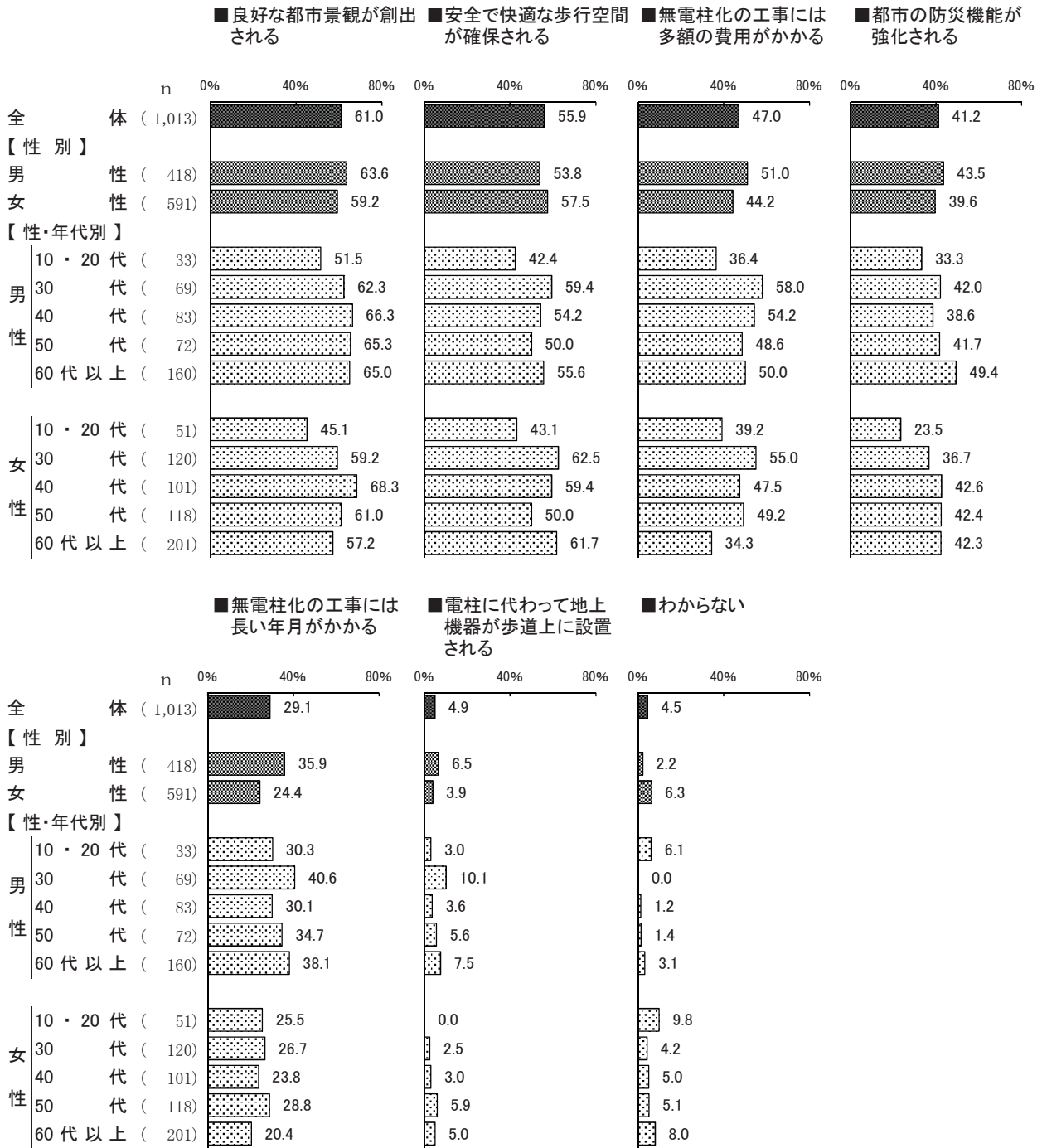
「道路の無電柱化」のイメージについてたずねたところ、「良好な都市景観が創出される」(61.0%)が6割を超え最も多く、次いで「安全で快適な歩行空間が確保される」(55.9%)、「無電柱化の工事には多額の費用がかかる」(47.0%)、「都市の防災機能が強化される」(41.2%)などの順となっている。(図5-3-1)

図5-3-2 「道路の無電柱化」についてのイメージ-地区別



地区別にみると、地区による大きな差はみられないが、「良好な都市景観が創出される」はB3地区とB5地区で6割半ばと多くなっている。「都市の防災機能が強化される」はB5地区で4割半ばと多くなっている。(図5-3-2)

図5-3-3 「道路の無電柱化」についてのイメージ-性別/性・年代別



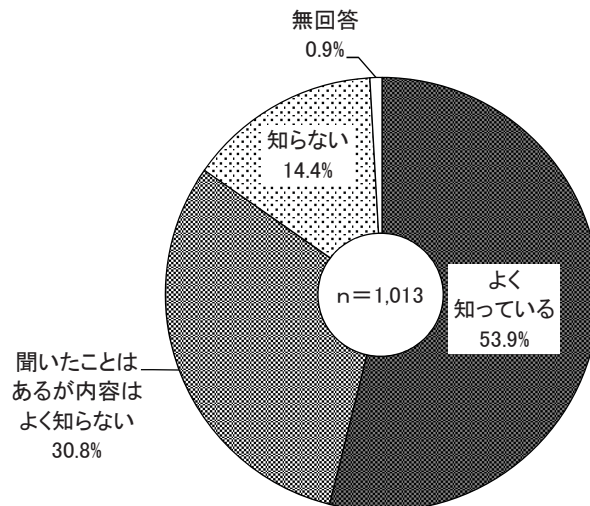
性別にみると、男性のほうが「無電柱化の工事には長い年月がかかる」で11.5ポイント、「無電柱化の工事には多額の費用がかかる」で6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女ともに10・20代では、おおむねどの項目においても他の年代と比べ少ない傾向となっている。「安全で快適な歩行空間が確保される」は女性30代と60代以上で6割を超え、男性30代、女性40代でも約6割と多くなっている。(図5-3-3)

5-4 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度

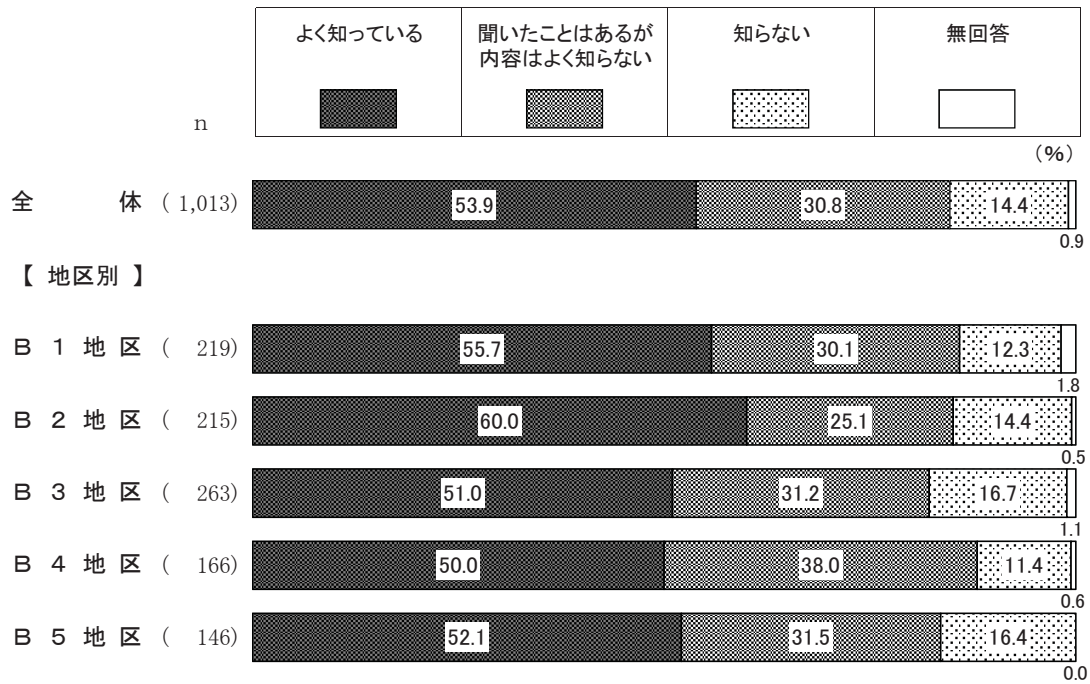
問23 区では、平成21年4月から「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を施行し、区内の公共の場所(屋外に限る)における歩きタバコポイ捨て及び駅出入口前などの重点地域での路上喫煙を禁止しています。このことを知っていますか。(〇は1つ)

図5-4-1 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度



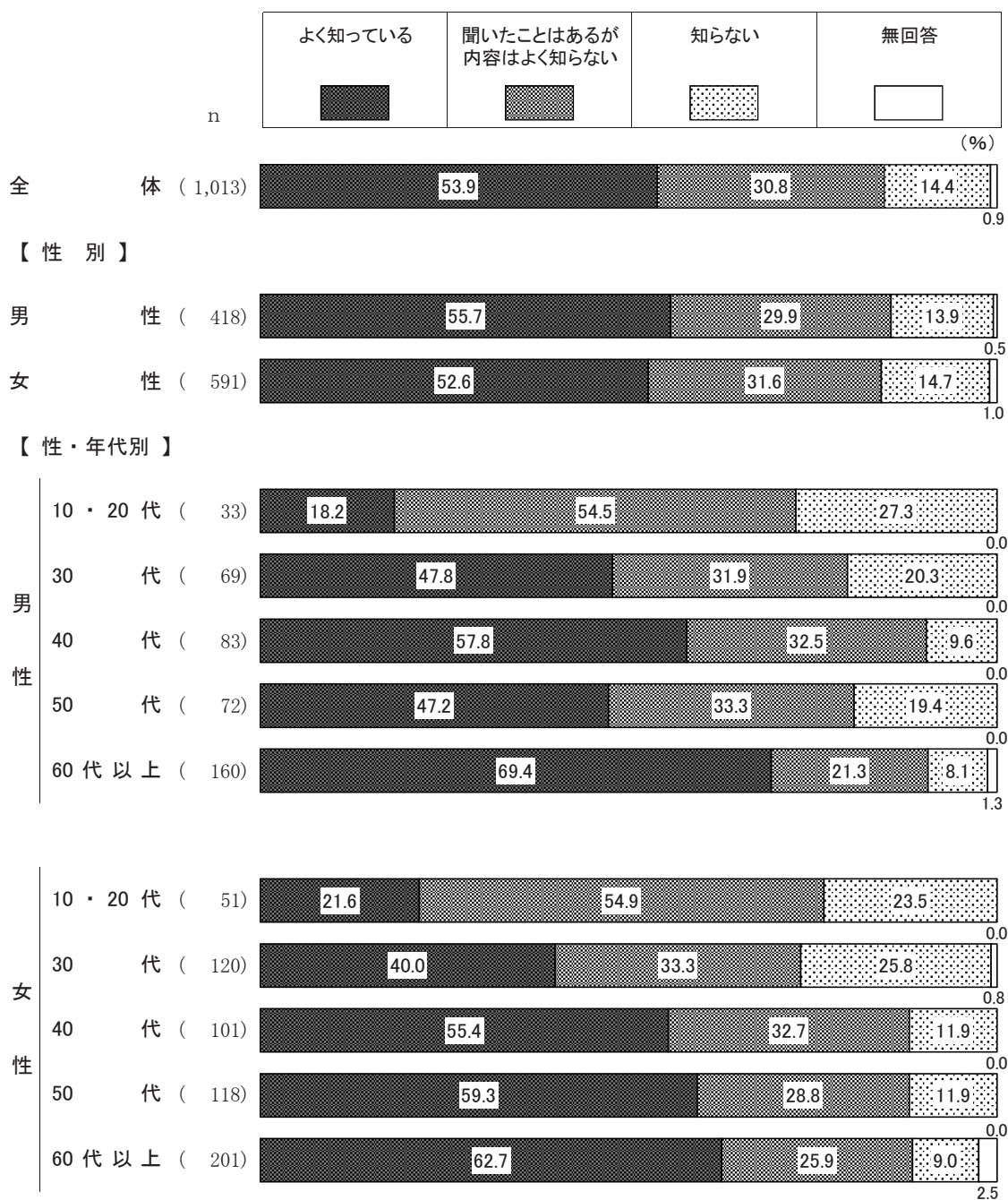
「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度についてたずねたところ、「よく知っている」(53.9%)が5割を超えている。「聞いたことはあるが内容はよく知らない」(30.8%)が約3割、「知らない」(14.4%)が1割半ばとなっている。(図5-4-1)

図5-4-2 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度—地区別



地区別にみると、「よく知っている」はB2地区で6割、B1地区で5割半ばと多くなっており、そのほかの地区においても5割を上回っている。(図5-4-2)

図5-4-3 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度—性別／性・年代別



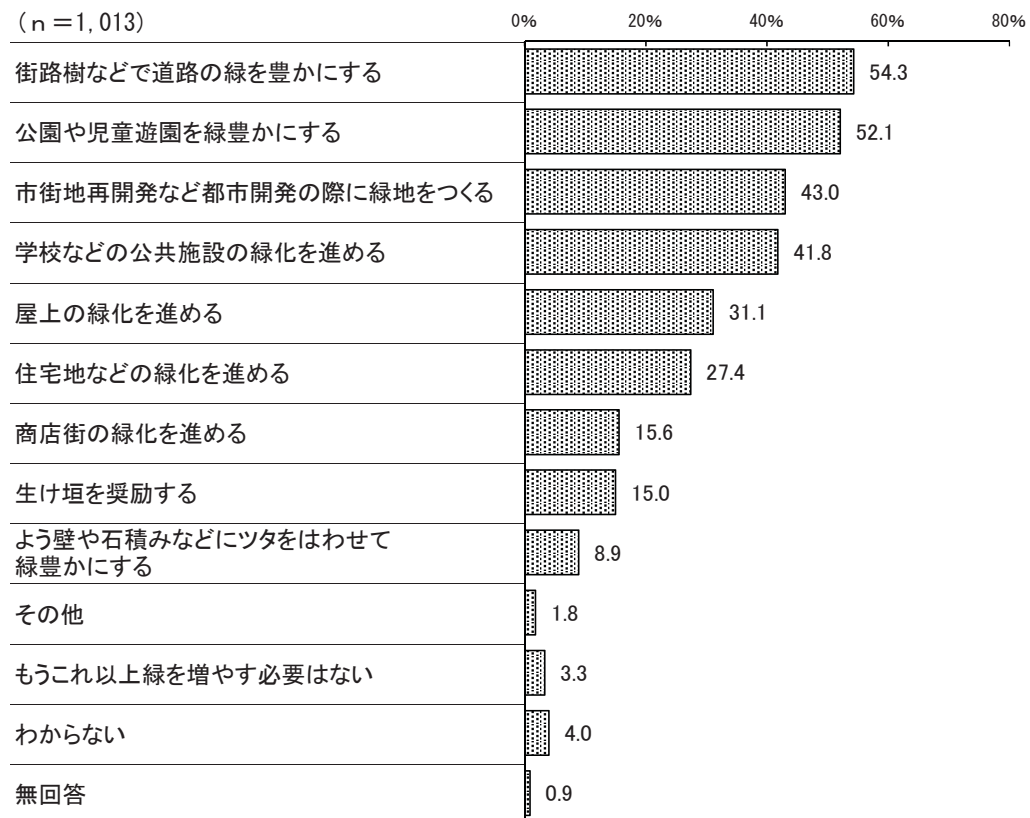
性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「よく知っている」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、男性60代以上で約7割、女性60代以上で6割を超えている。一方、「知らない」は男性10・20代で3割近く、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」は男女ともに10・20代で5割半ばと多くなっている。(図5-4-3)

5-5 住まいのまわりの「緑」を増やすために必要なこと

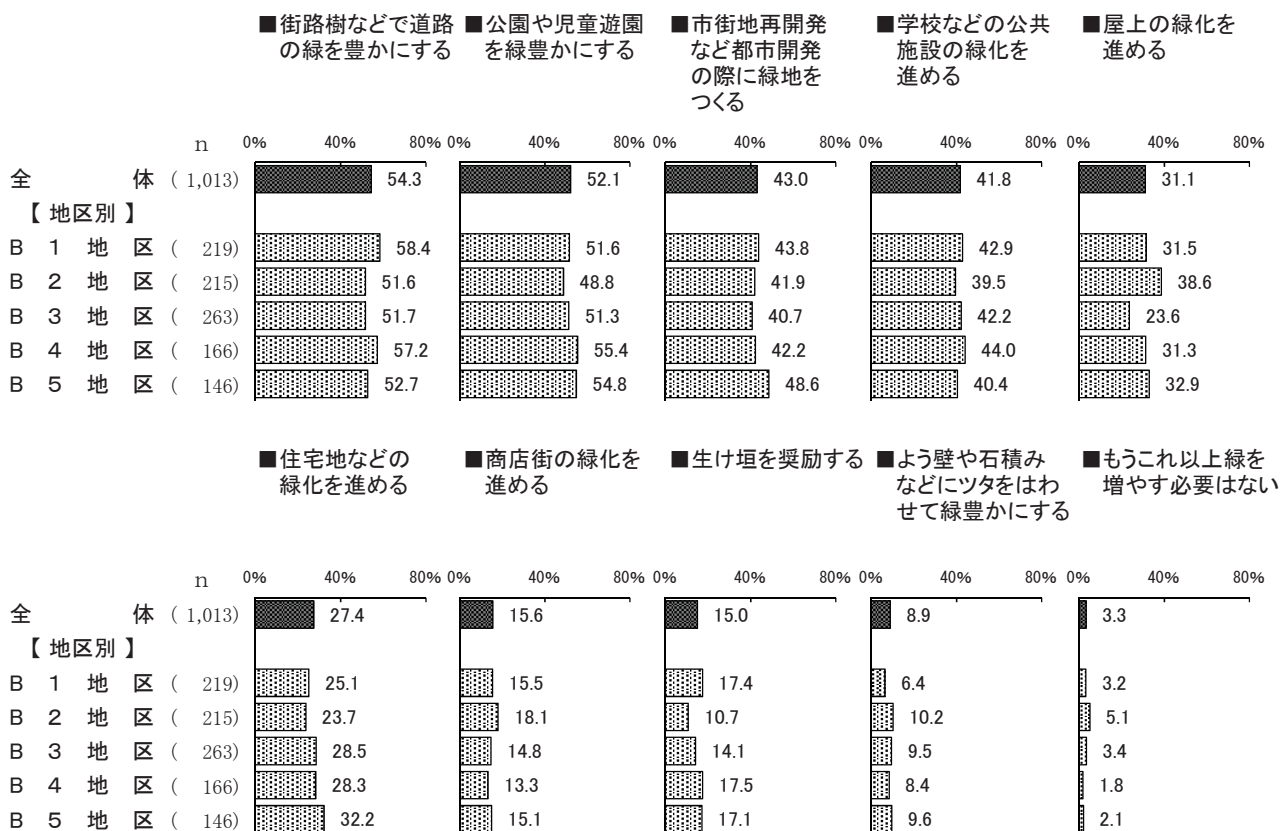
問24 あなたは、住まいのまわりの「緑」をもっと増やすにはどうすればよいと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図5-5-1 住まいのまわりの「緑」を増やすために必要なこと



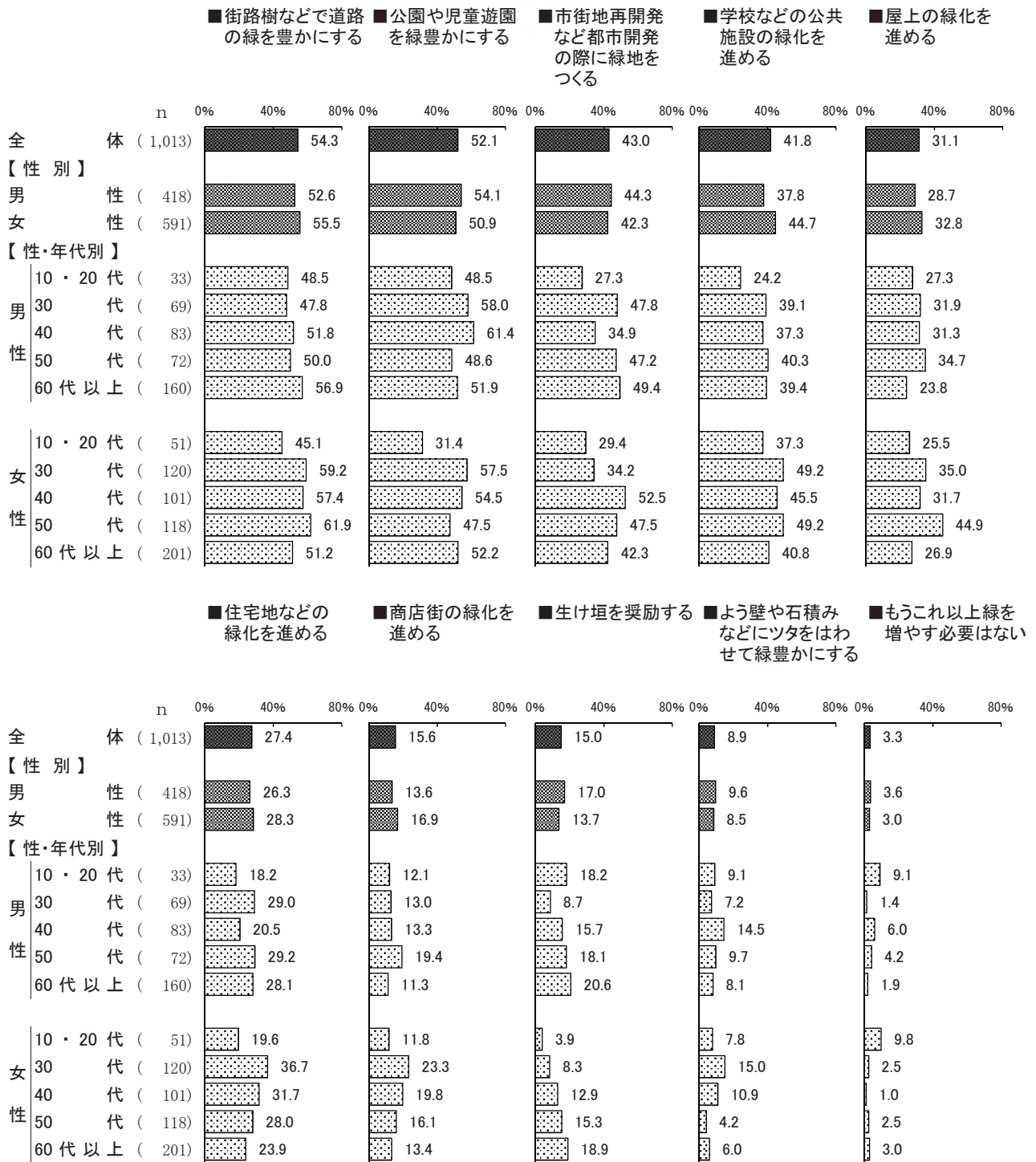
住まいのまわりの「緑」を増やすためにどうすればよいかたずねたところ、「街路樹などで道路の緑を豊かにする」(54.3%)が5割半ばと最も多く、次いで「公園や児童遊園を緑豊かにする」(52.1%)、「市街地再開発など都市開発の際に緑地をつくる」(43.0%)、「学校などの公共施設の緑化を進める」(41.8%)、「屋上の緑化を進める」(31.1%)などの順となっている。(図5-5-1)

図5-5-2 住まいのまわりの「緑」を増やすために必要なこと【上位10項目】—地区別



地区別にみると、地区による大きな差はみられないが、「街路樹などで道路の緑を豊かにする」はB1地区とB4地区で6割近くと多くなっている。「屋上の緑化を進める」は、B3地区で2割前半とやや少なくなっている。(図5-5-2)

図5-5-3 住まいのまわりの「緑」を増やすために必要なこと【上位10項目】—性別／性・年代別



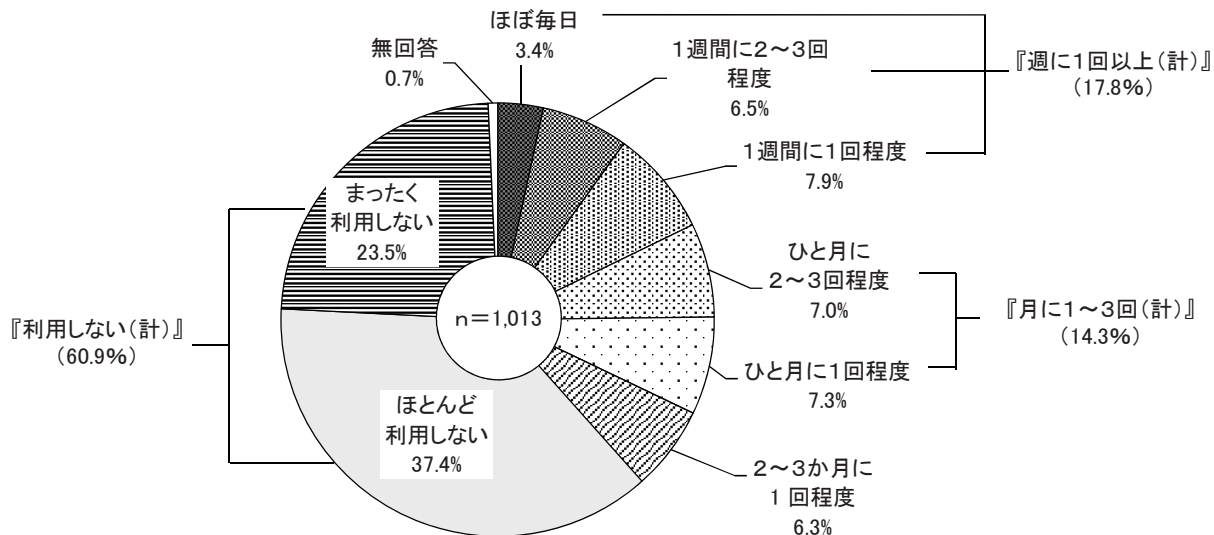
性別にみると、男女間で大きな差はみられないが、「学校などの公共施設の緑化を進める」は女性のほうが6.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「街路樹などで道路の緑を豊かにする」は女性30代と50代で6割前後と多くなっている。また、「公園や児童遊園を緑豊かにする」は男性40代で6割を超え、男女ともに30代で6割近くと多くなっている。一方、「もうこれ以上緑を増やす必要はない」は、男女ともに10・20代で約1割となっている。(図5-5-3)

5-6 区立公園や児童遊園などの利用頻度

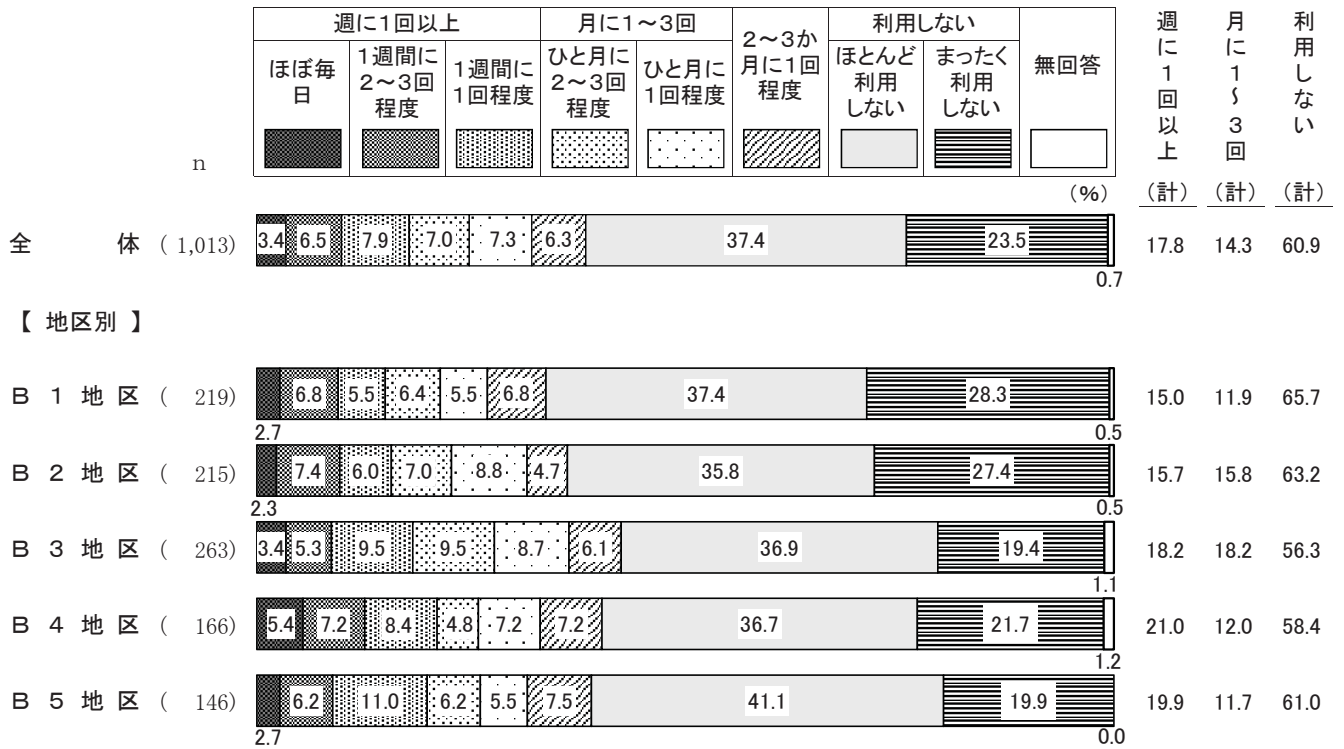
問25 あなたは日頃、区立公園や児童遊園などをどの程度利用していますか。(○は1つ)

図5-6-1 区立公園や児童遊園などの利用頻度



日頃の区立公園や児童遊園などの利用頻度についてたずねたところ、「ほぼ毎日」(3.4%)、「1週間に2~3回程度」(6.5%)、「1週間に1回程度」(7.9%)を合わせた『週に1回以上(計)』(17.8%)は2割近く、「ひと月に2~3回程度」(7.0%)と「ひと月に1回程度」(7.3%)を合わせた『月に1~3回(計)』(14.3%)は1割半ばとなっている。一方、「ほとんど利用しない」(37.4%)と「まったく利用しない」(23.5%)を合わせた『利用しない(計)』が約6割となっている。(図5-6-1)

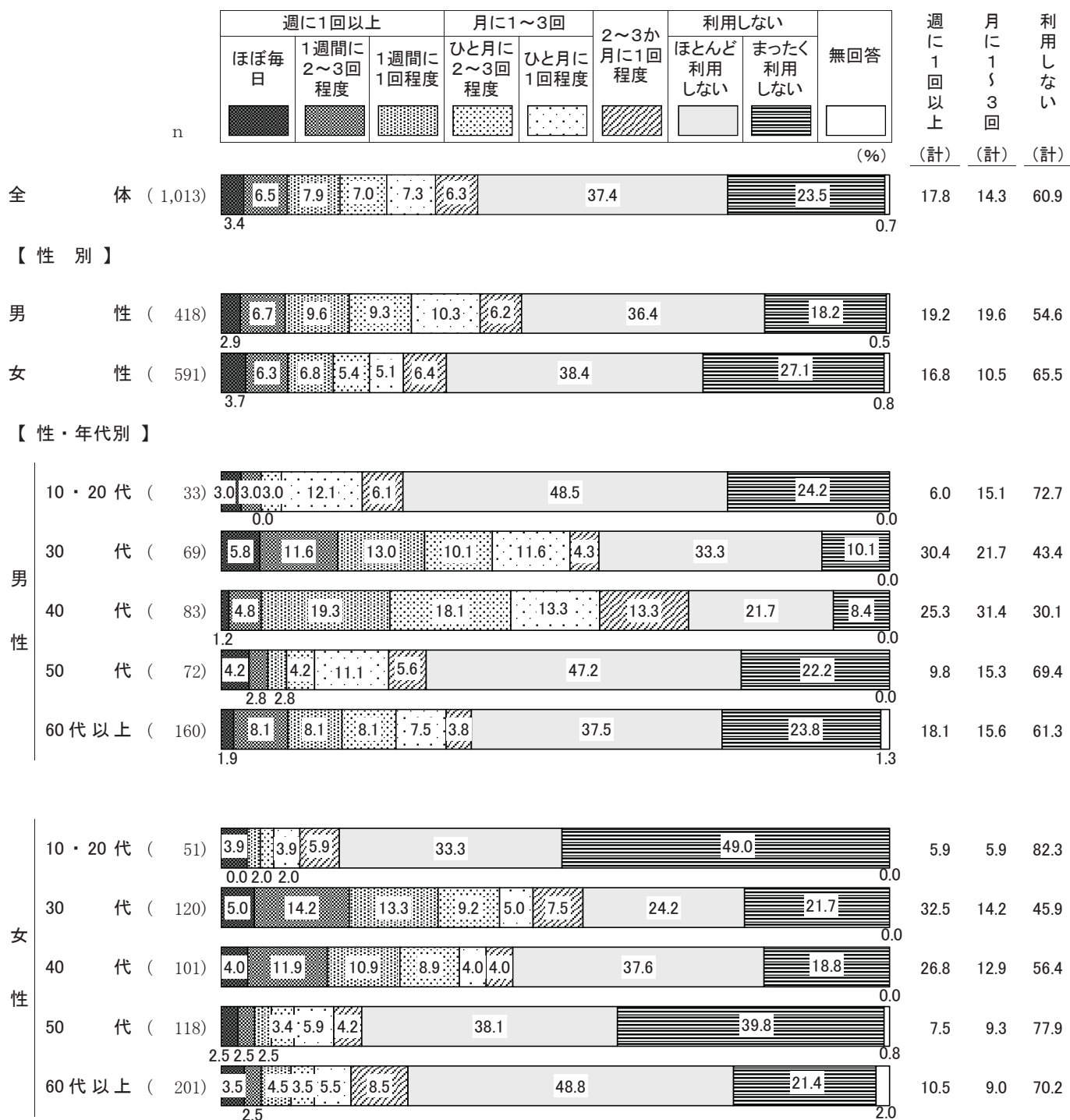
図5-6-2 区立公園や児童遊園などの利用頻度—地区別



地区別にみると、『週に1回以上（計）』はB4地区とB5地区で2割前後とやや多くなっている。一方、『利用しない（計）』はB1地区で6割半ばと多くなっている。

(図5-6-2)

図5-6-3 区立公園や児童遊園などの利用頻度—性別／性・年代別



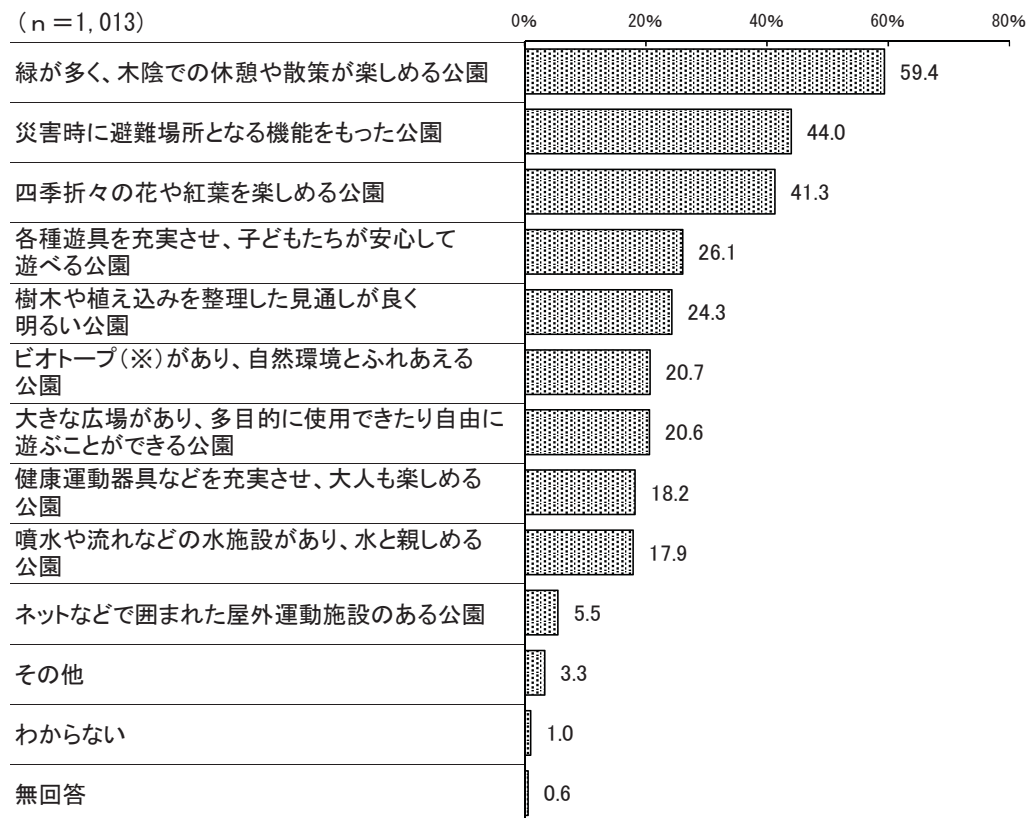
性別にみると、『週に1回以上 (計)』は男女間で大きな差はみられないが、『月に1~3回 (計)』は男性のほうが9.1ポイント高くなっている。一方、『利用しない (計)』は女性のほうが10.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『週に1回以上 (計)』は男女ともに30代で3割台と多く、『月に1~3回 (計)』は男性40代で3割を超え多くなっている。一方、『利用しない (計)』は、女性10・20代で8割を超え、男性10・20代、女性50代と60代以上でも7割台と多くなっている。(図5-6-3)

5-7 区内にあるとよいと思う公園

問26 あなたは、区内にどのような公園があるとよいと思いますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

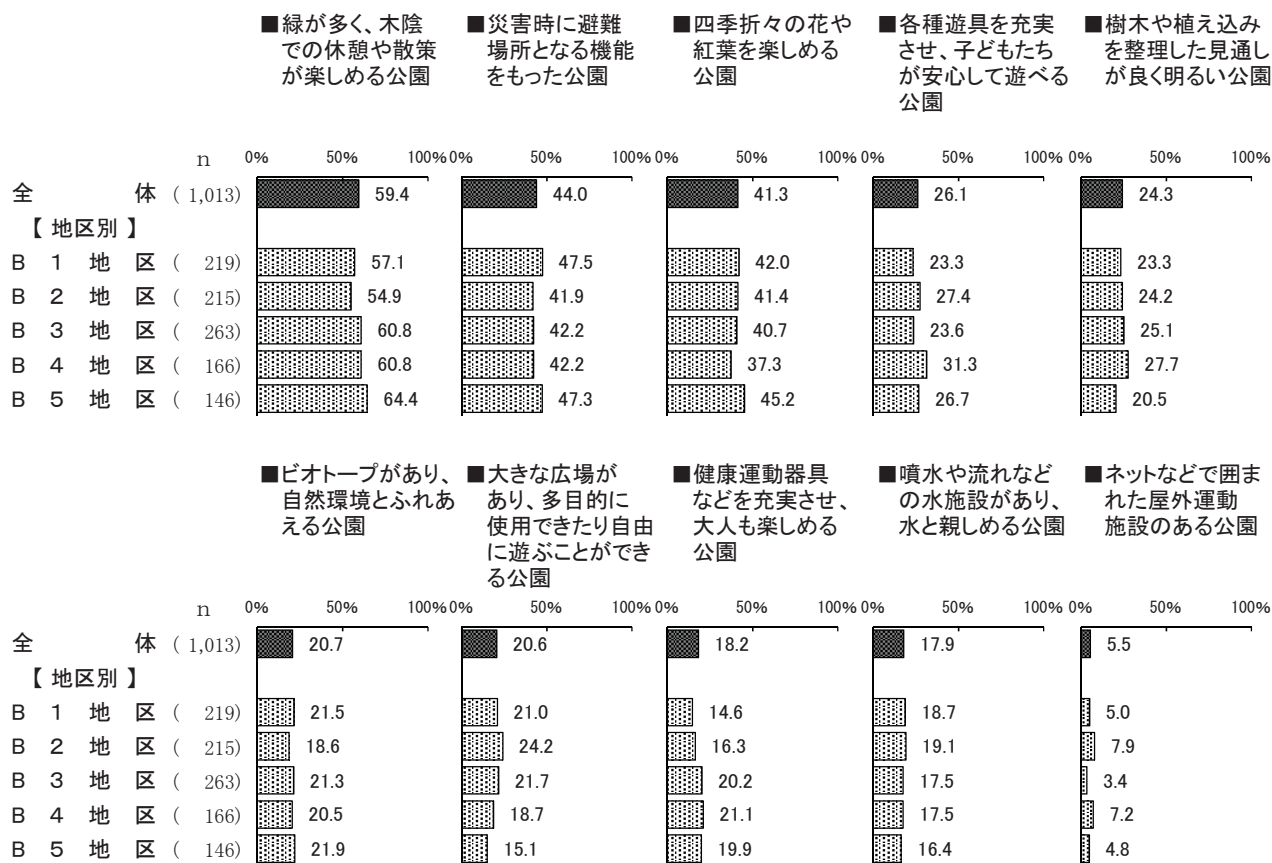
図5-7-1 区内にあるとよいと思う公園



※ビオトープとは、さまざまな野生生物が生息し、自然の生態系が機能する空間です。

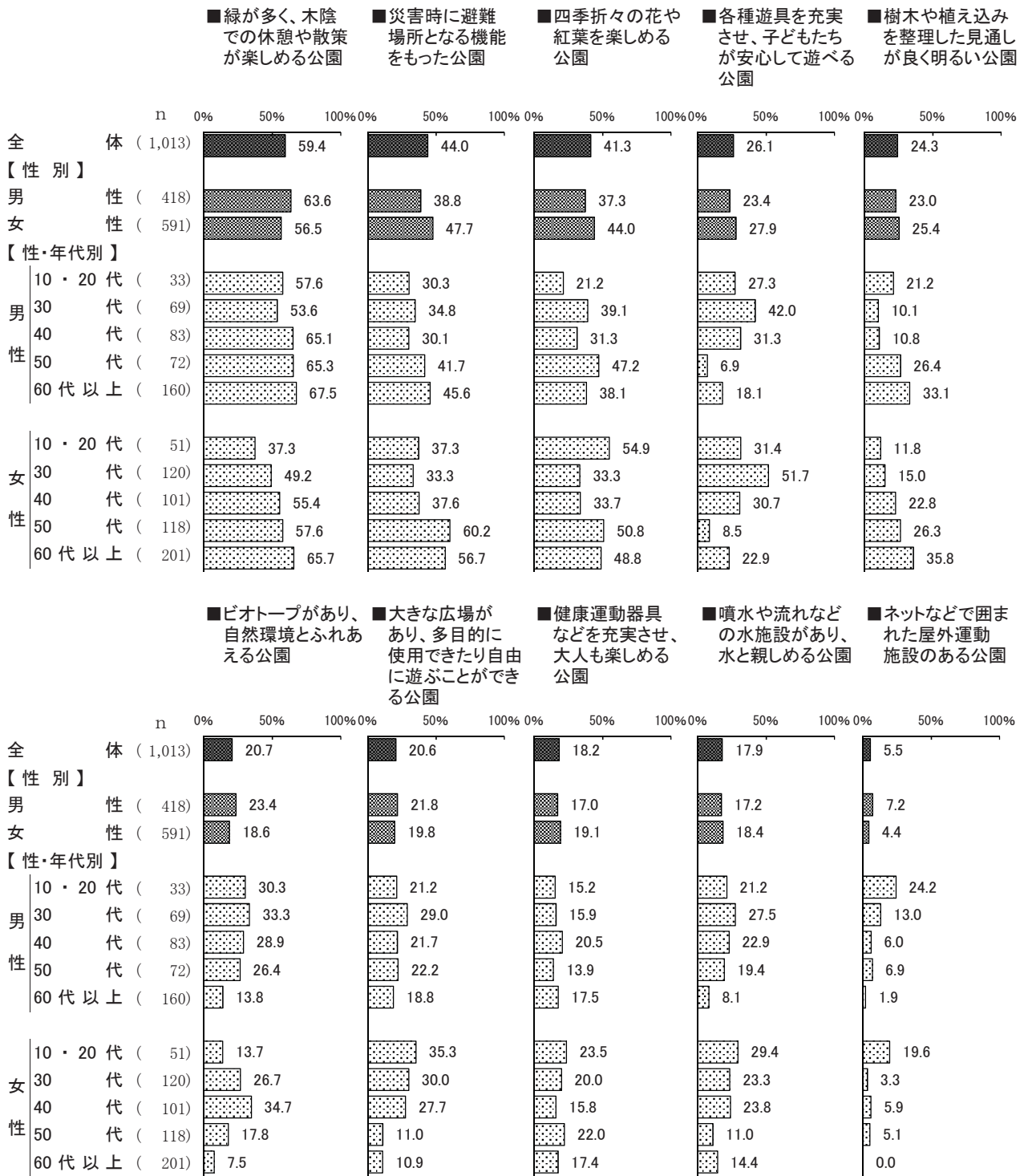
区内にどのような公園があるとよいかたずねたところ、「緑が多く、木陰での休憩や散策が楽しめる公園」(59.4%)が約6割と最も多く、次いで「災害時に避難場所となる機能をもった公園」(44.0%)、「四季折々の花や紅葉を楽しめる公園」(41.3%)、「各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園」(26.1%)などの順となっている。(図5-7-1)

図5-7-2 区内にあるとよいと思う公園【上位10項目】-地区別



地区別にみると、地区による大きな差はみられないが、「緑が多く、木陰での休憩や散策が楽しめる公園」はB5地区で6割半ばとやや多くなっている。(図5-7-2)

図5-7-3 区内にあるとよいと思う公園【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、「災害時に避難場所となる機能をもった公園」は女性のほうが8.9ポイント高くなっている。一方、「緑が多く、木陰での休憩や散策が楽しめる公園」は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「緑が多く、木陰での休憩や散策が楽しめる公園」と「災害時に避難場所となる機能をもった公園」は男女ともにおおむね年代が高いほど多くなっている。「各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園」は女性30代で5割を超え、男性30代でも4割を超え多くなっている。「ネットなどで囲まれた屋外運動施設のある公園」は男性10・20代で2割半ば、女性10・20代で約2割と多くなっている。(図5-7-3)

6 子育て・教育

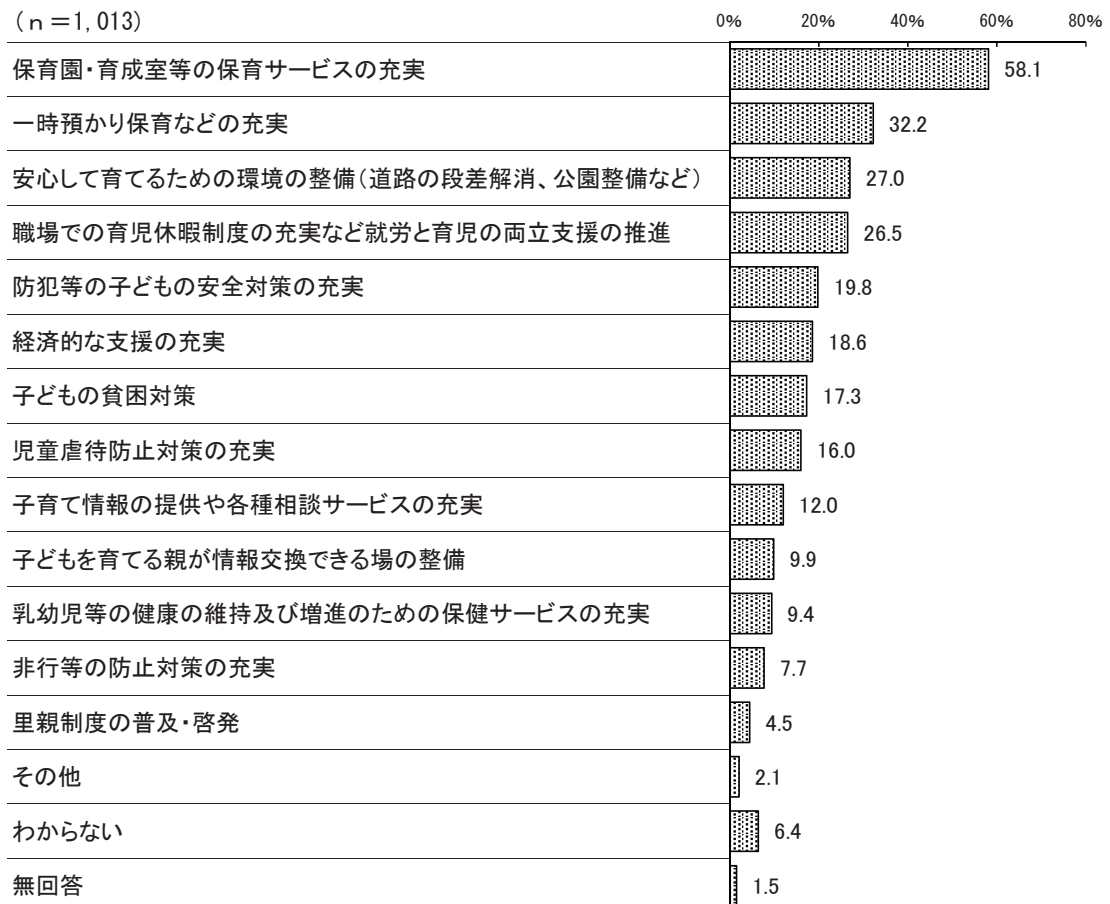
-
- 6-1 子育て支援のために取り組むべき施策
 - 6-2 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと
 - 6-3 学校支援活動への今後の協力意向
-

6 子育て・教育

6-1 子育て支援のために取り組むべき施策

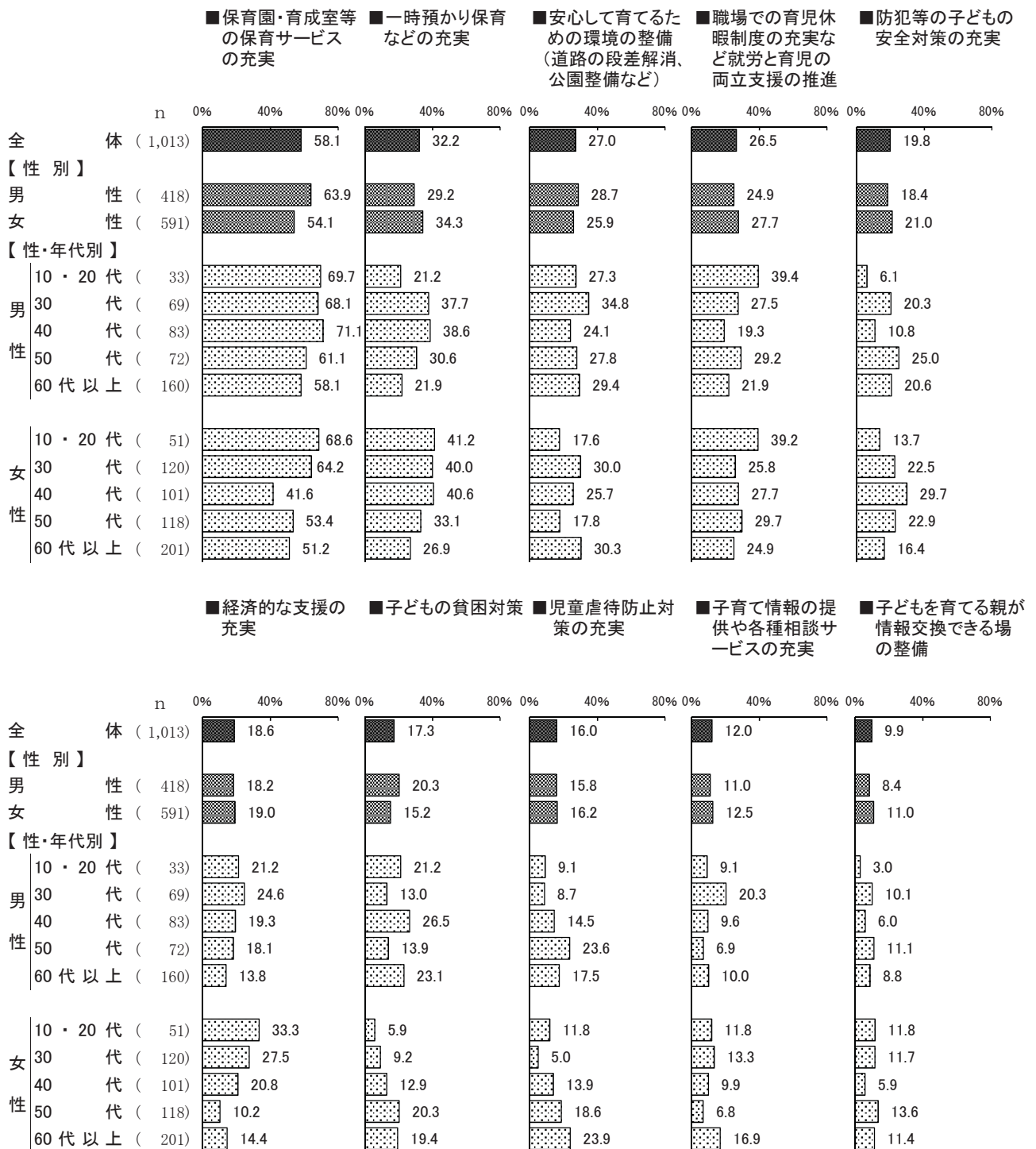
問27 子育て支援策として、区はどのような施策を実施すべきだと思いますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図6-1-1 子育て支援のために取り組むべき施策



子育て支援のために取り組むべき施策についてたずねたところ、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」(58.1%)が6割近くと最も多く、次いで「一時預かり保育などの充実」(32.2%)、「安心して育てるための環境の整備(道路の段差解消、公園整備など)」(27.0%)、「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」(26.5%)などの順となっている。(図6-1-1)

図6-1-2 子育て支援のために取り組むべき施策【上位10項目】－性別／性・年代別

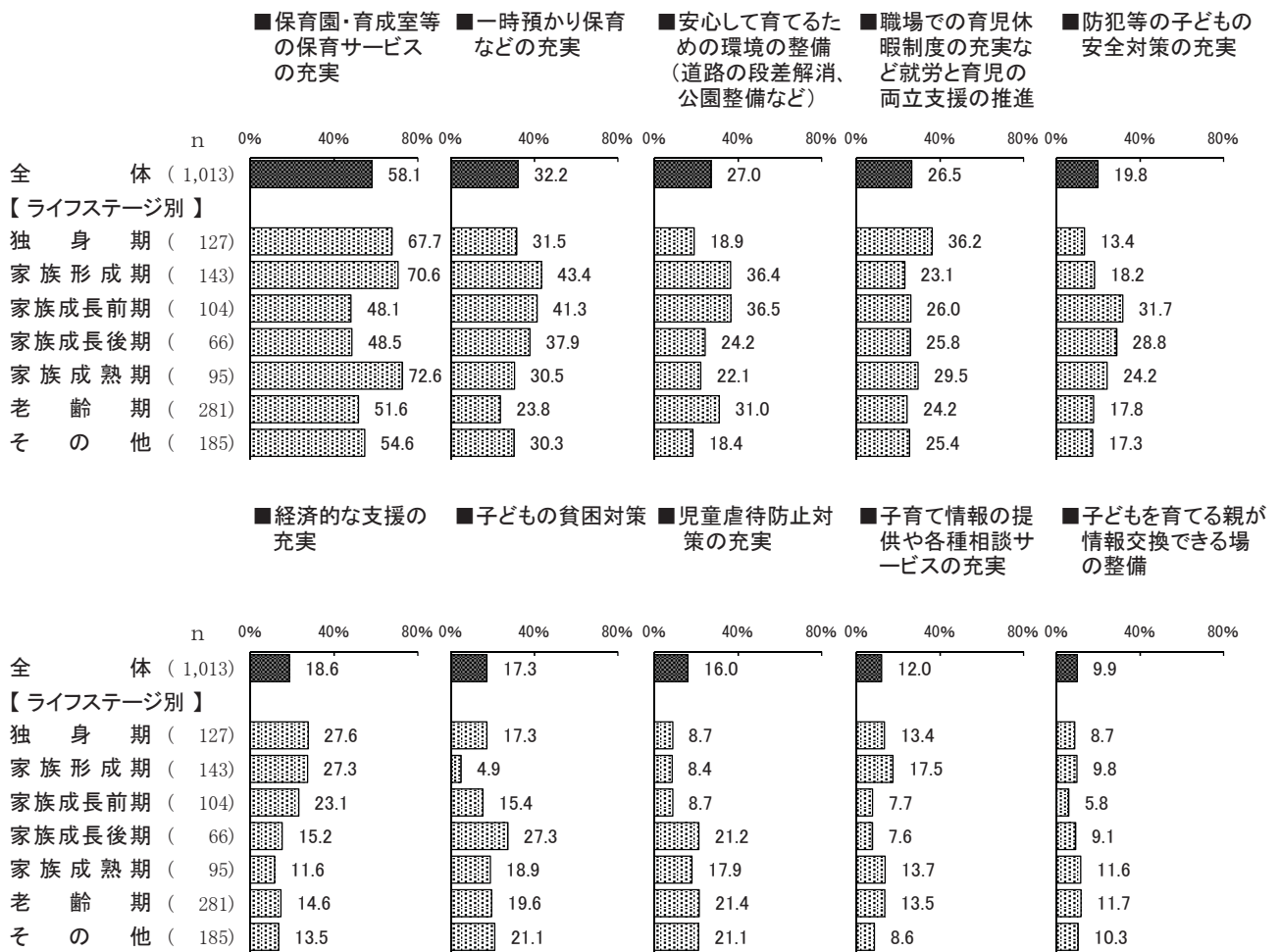


性別にみると、男性のほうが「保育園・育成室等の保育サービスの充実」で9.8ポイント、「子どもの貧困対策」で5.1ポイント高くなっている。一方、「一時預かり保育などの充実」は、女性のほうが5.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」は、男性40代で7割を超え、男性10・20代と30代、女性10・20代でも7割近くと多くなっている。「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」は、男女ともに10・20代で約4割と多くなっている。「経済的な支援の充実」は、女性10・20代で3割を超え多くなっている。

(図6-1-2)

図6-1-3 子育て支援のために取り組むべき施策【上位10項目】－ライフステージ別



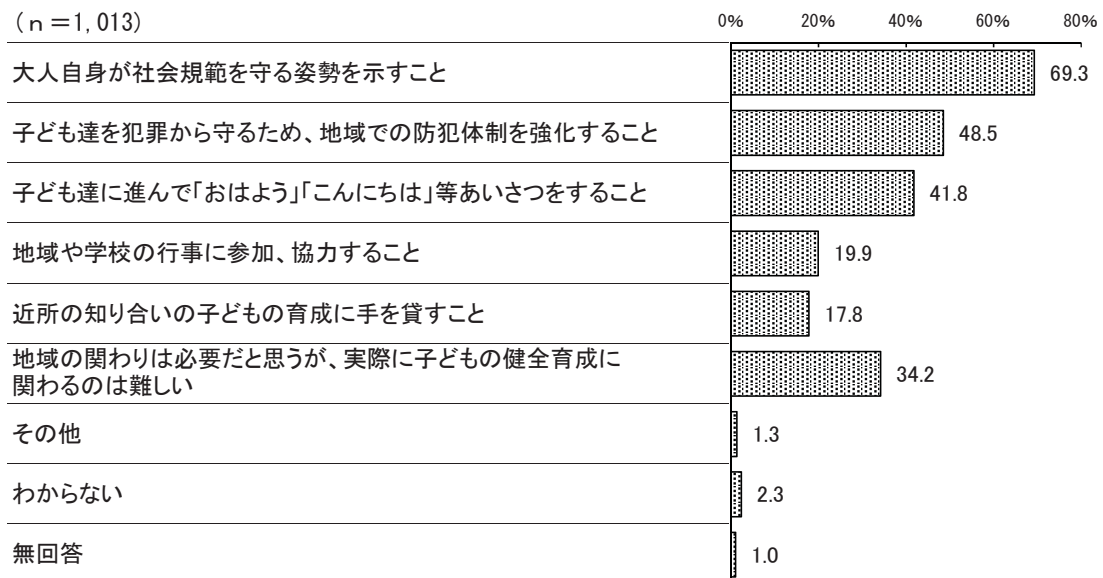
ライフステージ別にみると、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」は家族形成期、家族成熟期でともに7割台、独身期でも7割近くと多くなっている。「一時預かり保育などの充実」、「安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など）」は、家族形成期、家族成長前期で最も多く、それぞれ4割前半、3割半ばとなっている。「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」は独身期で3割半ばと多くなっている。

(図6-1-3)

6-2 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと

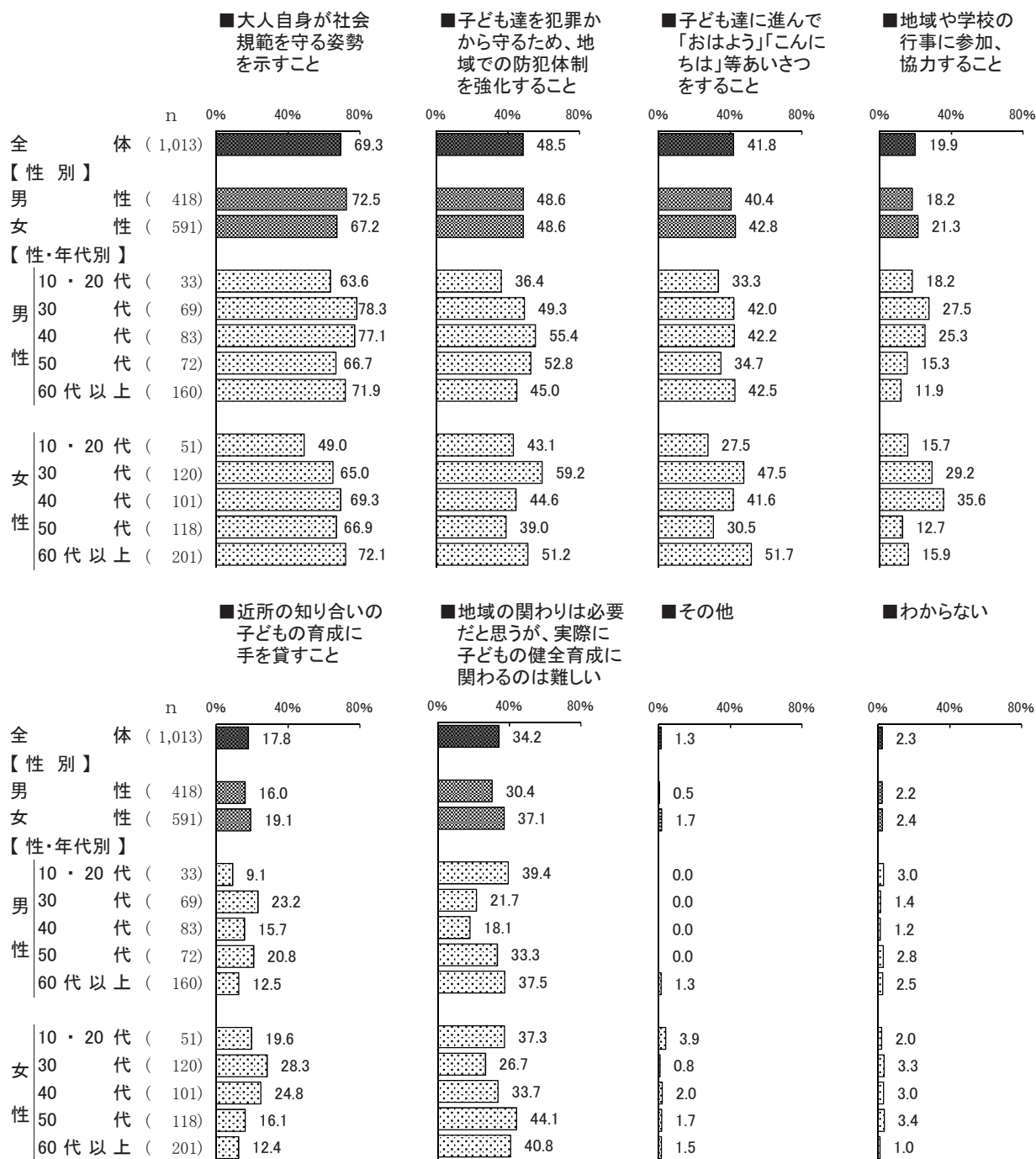
問28 青少年健全育成に関して地域の大人たちができること、また、やるべきことは何だと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図6-2-1 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと



青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきことについてたずねたところ、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」(69.3%)が約7割と最も多く、次いで「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」(48.5%)、「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをすること」(41.8%)、「地域や学校の行事に参加、協力すること」(19.9%)などの順となっている。一方、「地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい」(34.2%)は3割半ばとなっている。(図6-2-1)

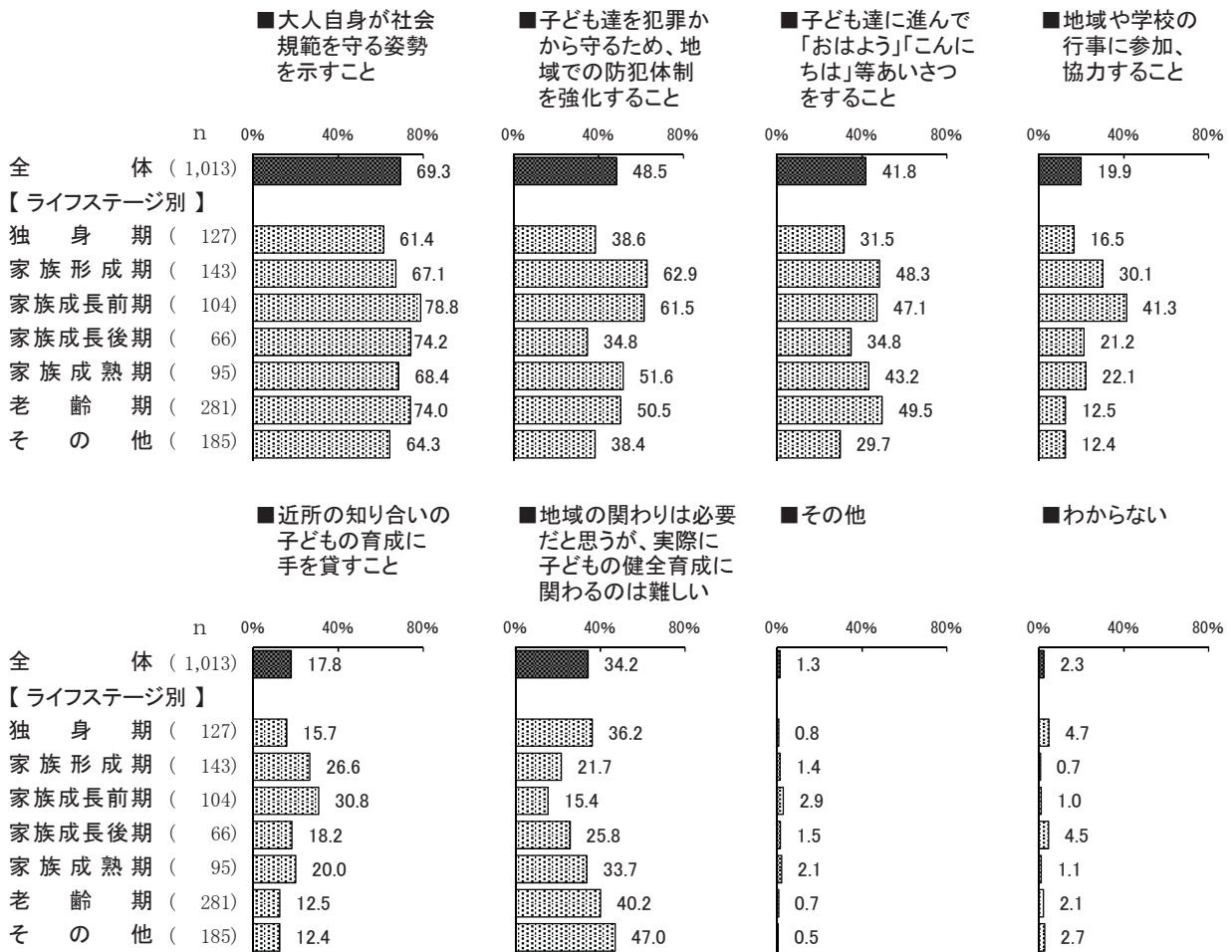
図6-2-2 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきこと—性別／性・年代別



性別にみると、男女間での大きな差はみられないが、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」は女性のほうが5.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」は男性30代と40代で8割近く、女性60代以上は7割を超え、女性40代でも約7割と多くなっている。「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は女性30代で約6割と多く、男性40代でも5割半ばと多くなっている。一方、「地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい」は、女性50代で4割半ば、男女ともに10・20代と60代以上でも4割前後と多くなっている。(図6-2-2)

図6-2-3 青少年健全育成に関して地域の大人たちが行うべきことーライフステージ別

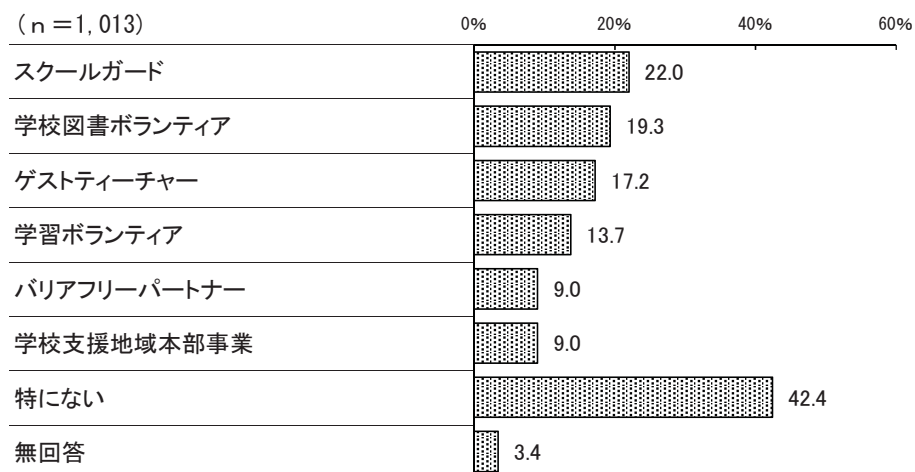


ライフステージ別にみると、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」は家族成長前期で8割近くと多くなっている。「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は家族形成期、家族成長前期でそれぞれ6割を超えている。また、「地域や学校の行事に参加、協力すること」は家族成長前期で4割を超え多くなっている。一方、「地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい」はその他で5割近く、老齢期で約4割と多くなっている。(図6-2-3)

6-3 学校支援活動への今後の協力意向

問29 区立の小中学校では、次のような学校支援活動が実施されています。
あなたが協力したい活動を次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

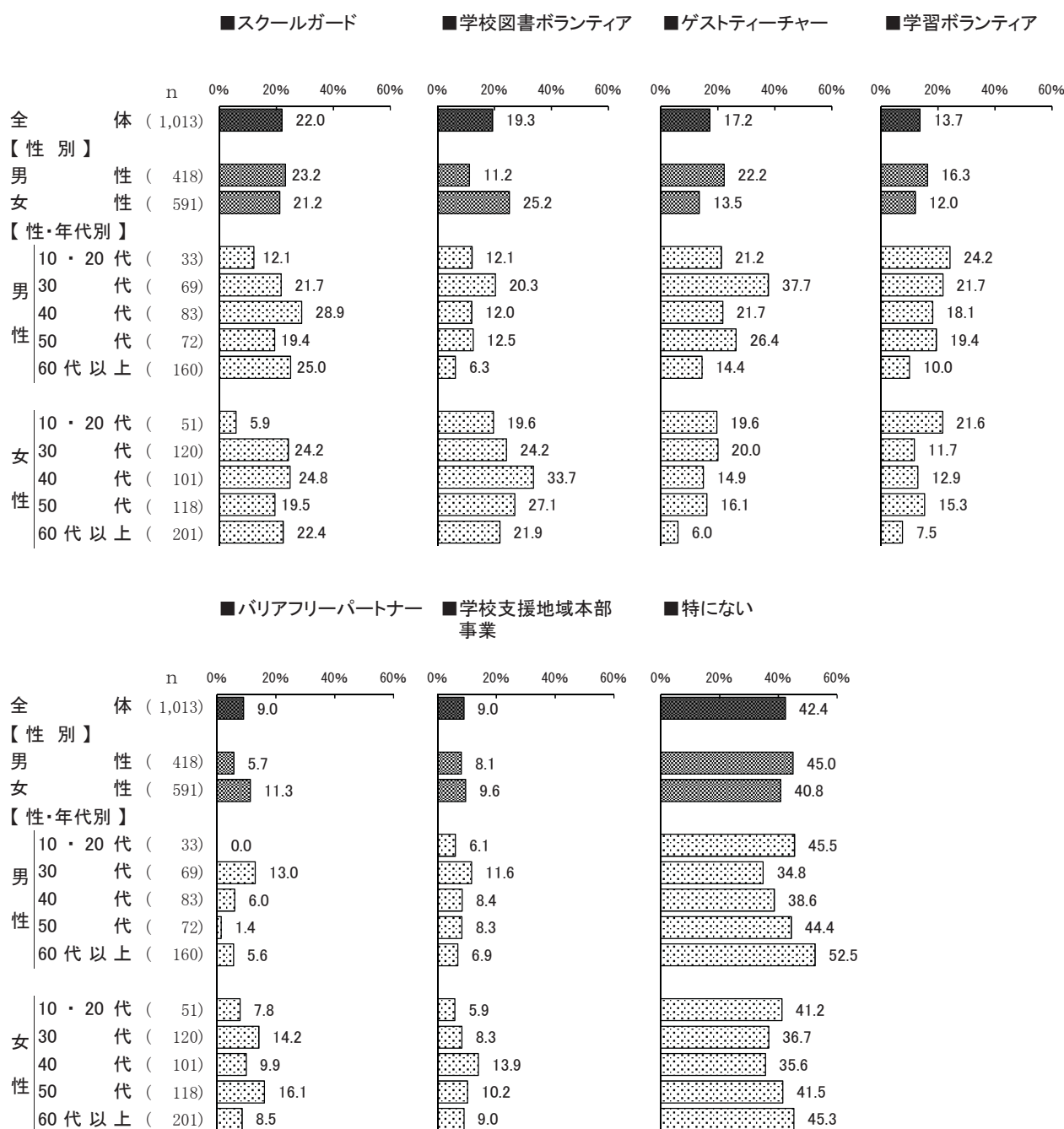
図6-3-1 学校支援活動への今後の協力意向



学校支援活動への協力意向についてたずねたところ、「スクールガード」(22.0%)が2割を超え最も多く、次いで「学校図書ボランティア」(19.3%)、「ゲストティーチャー」(17.2%)などの順となっている。一方、「特にない」(42.4%)は4割を超えている。

(図6-3-1)

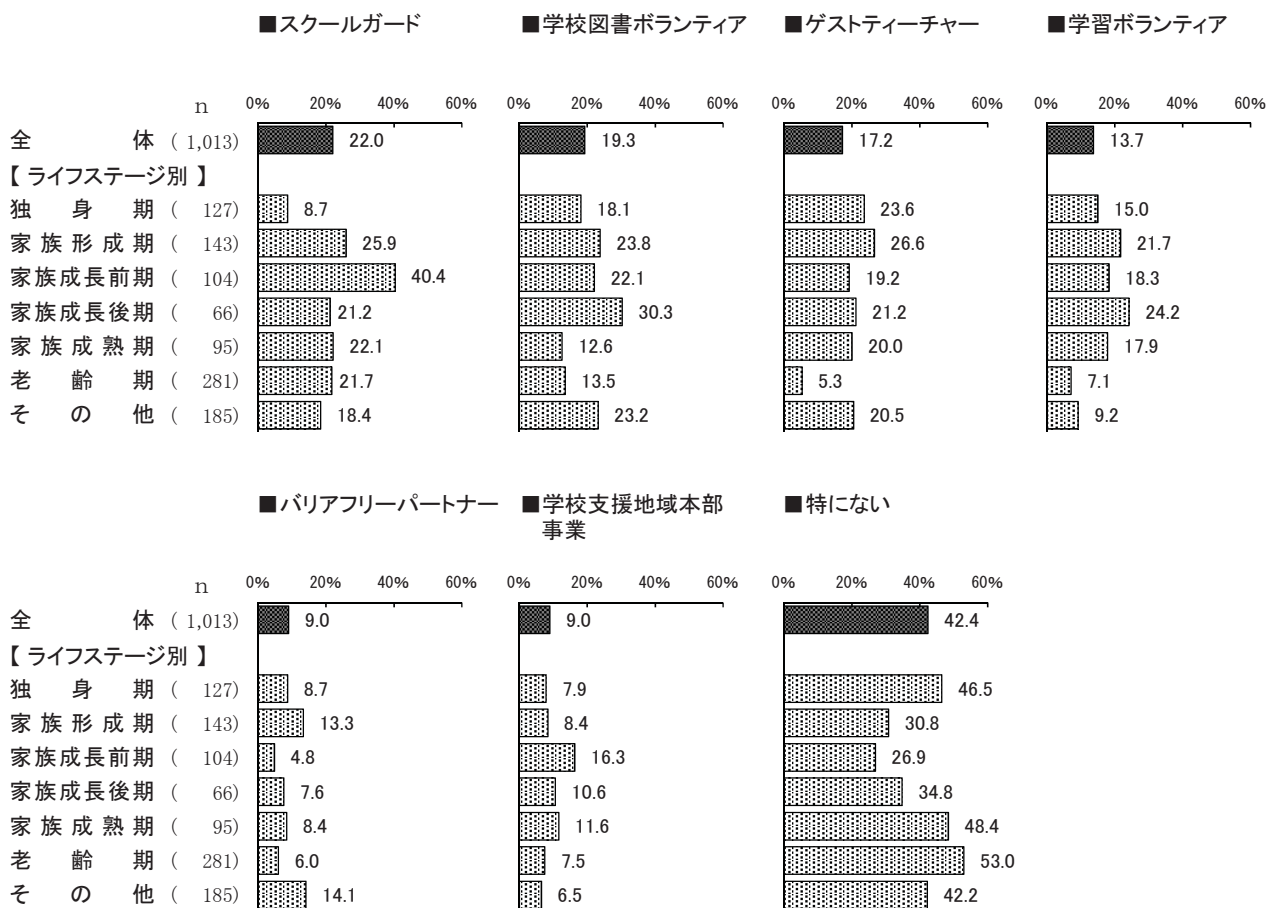
図6-3-2 学校支援活動への今後の協力意向—性別／性・年代別



性別にみると、「学校図書ボランティア」は女性のほうが14.0ポイント高くなっている。一方、「ゲストティーチャー」は、男性のほうが8.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「ゲストティーチャー」は男性30代で4割近く、「学校図書ボランティア」は女性40代で3割を超え多くなっている。また、「学習ボランティア」は男性10・20代と30代、女性10・20代で2割台と多くなっている。一方、「特にない」は男性60代以上で5割を超えている。（図6-3-2）

図6-3-3 学校支援活動への今後の協力意向－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「スクールガード」は家族成長前期で約4割と多くなっている。また、「学校図書ボランティア」は家族成長後期で約3割と多くなっている。一方、「特にない」は老齢期で5割を超えている。(図6-3-3)

7 高齢者

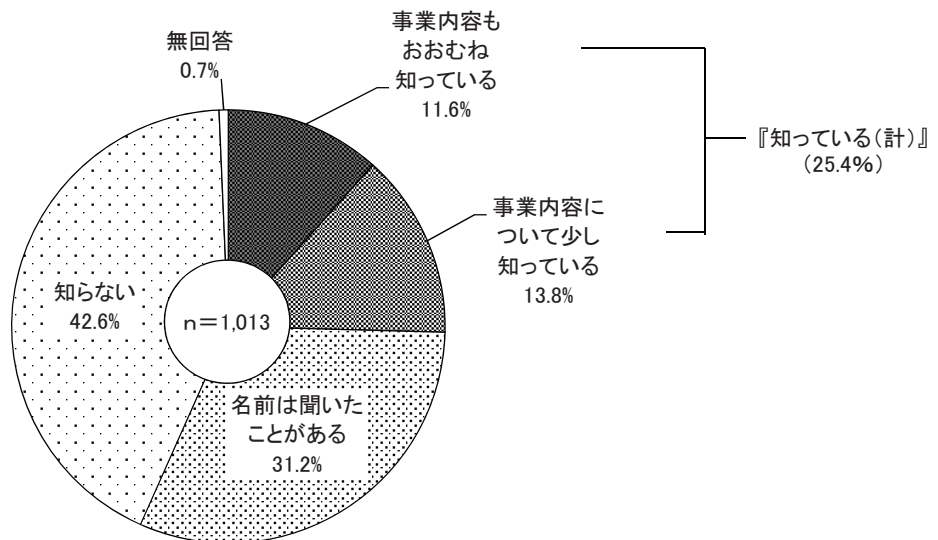
-
- 7-1 高齢者あんしん相談センターの認知度
 - 7-2 地域包括ケアシステムの認知度
-

7 高齢者

7-1 高齢者あんしん相談センターの認知度

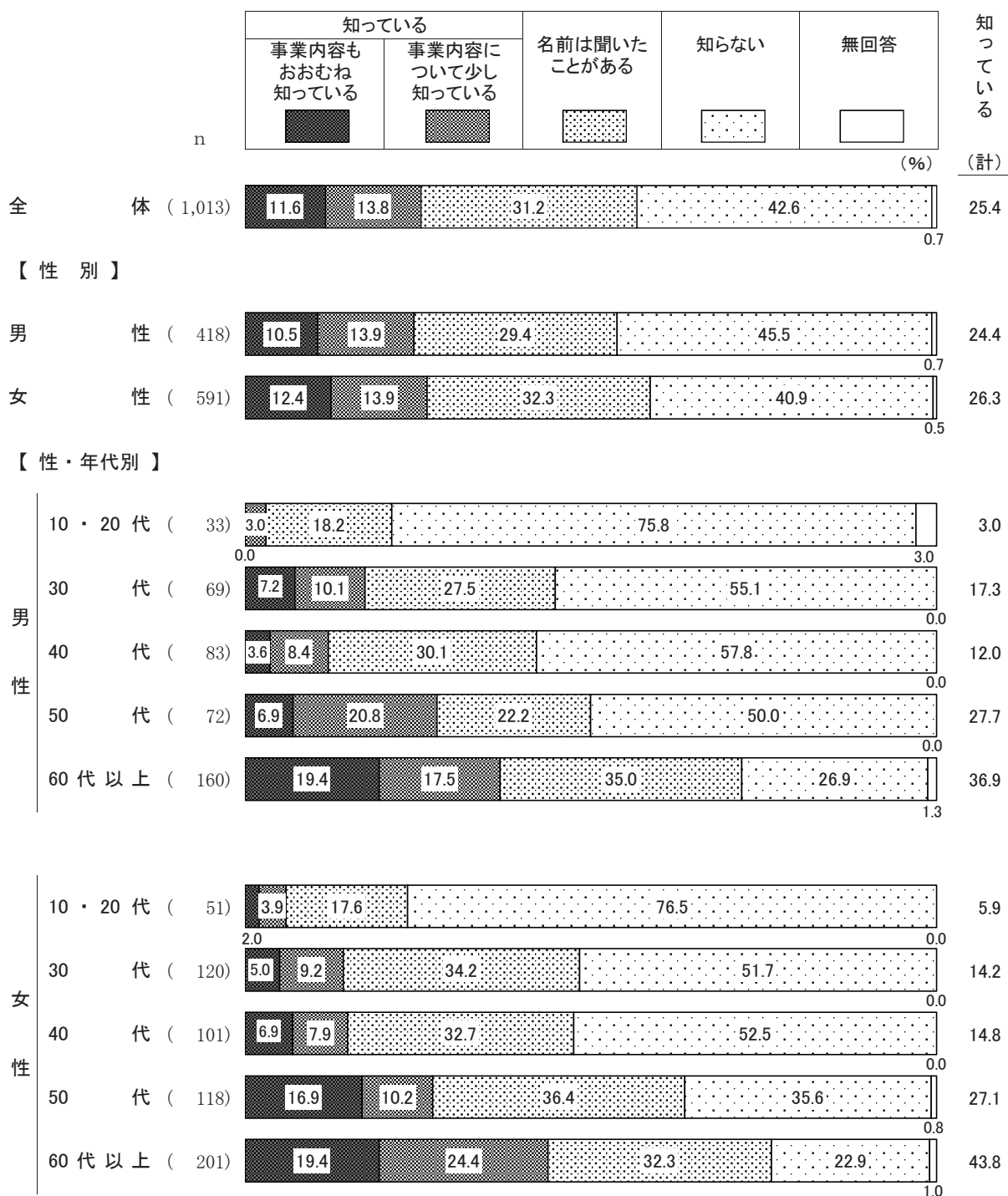
問30 あなたは、地域における高齢者の相談窓口である、「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を知っていますか。（○は1つ）

図7-1-1 高齢者あんしん相談センターの認知度



高齢者あんしん相談センターの認知度についてたずねたところ、「事業内容もおおむね知っている」（11.6%）、「事業内容について少し知っている」（13.8%）を合わせた『知っている（計）』（25.4%）は2割半ば、「名前を聞いたことがある」（31.2%）は3割を超えている。一方、「知らない」（42.6%）は4割を超えている。（図7-1-1）

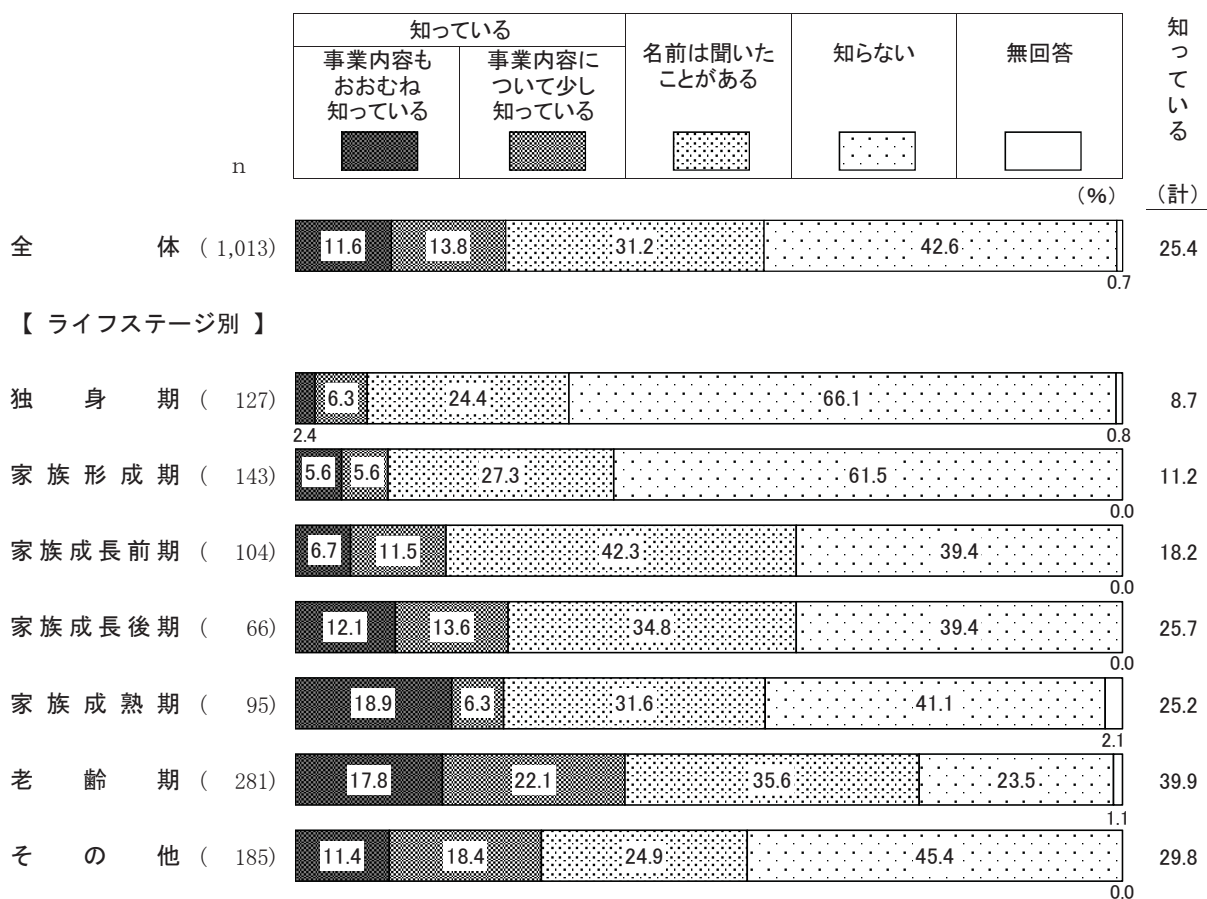
図7-1-2 高齢者あんしん相談センターの認知度—性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、『知っている (計)』は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、女性60代以上は4割を超え、男性60代以上でも3割半ば、男女ともに50代で3割近くとなっている。一方、「知らない」は男女ともに10・20代で7割半ばと多くなっている。(図7-1-2)

図7-1-3 高齢者あんしん相談センターの認知度—ライフステージ別

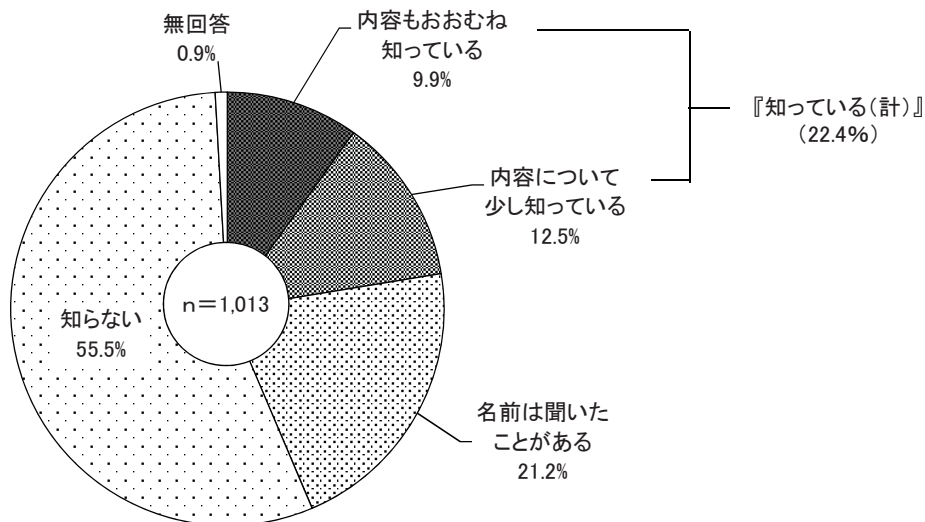


ライフステージ別にみると、『知っている（計）』は老齢期で約4割と多くなっている。一方、「知らない」は独身期と家族形成期で6割台と多くなっている。（図7-1-3）

7-2 地域包括ケアシステムの認知度

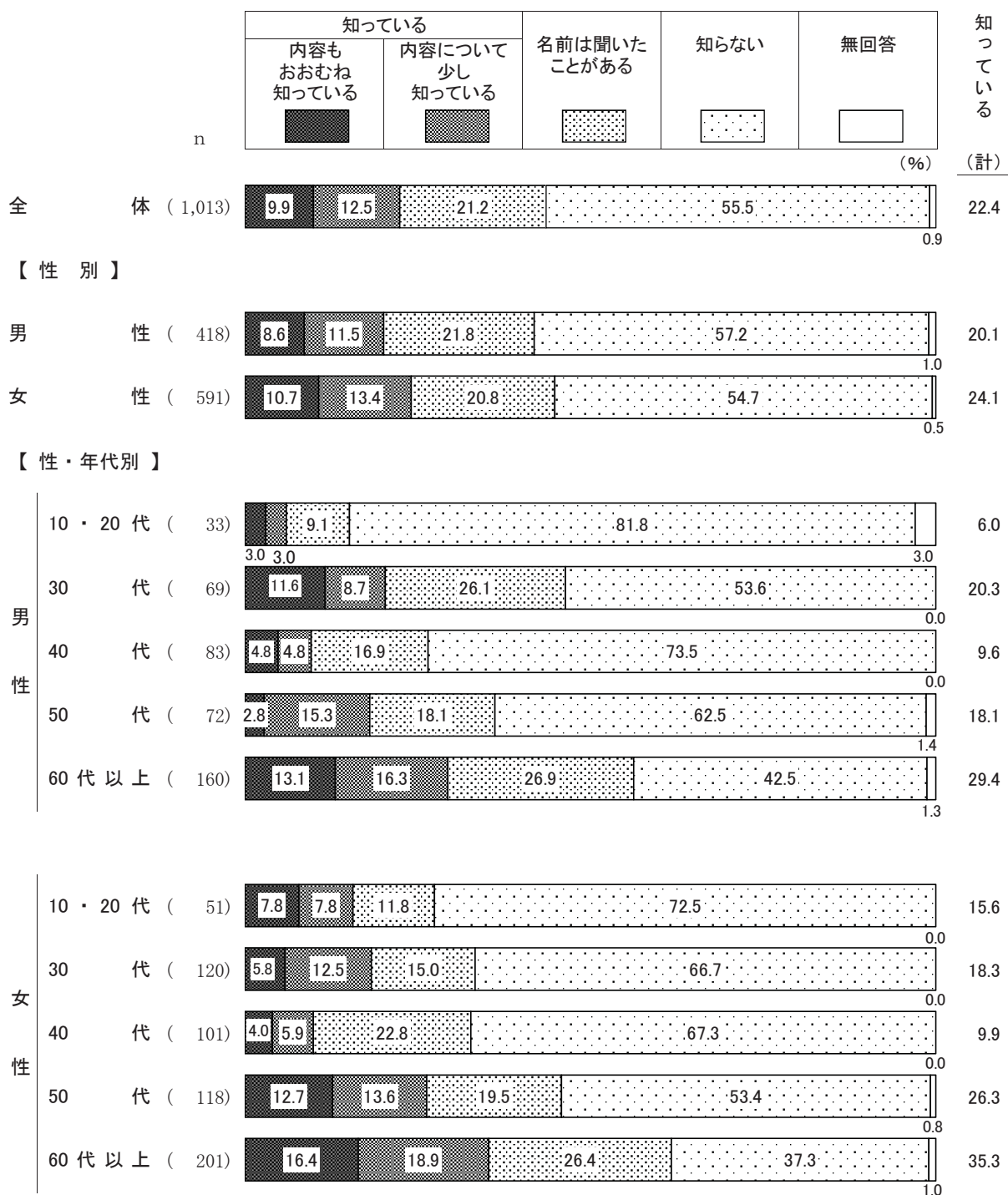
問31 あなたは、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活を送るため、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(〇は1つ)

図7-2-1 地域包括ケアシステムの認知度



地域包括ケアシステムの認知度についてたずねたところ、「内容もおおむね知っている」(9.9%)、「内容について少し知っている」(12.5%)を合わせた『知っている(計)』(22.4%)は2割を超え、「名前を聞いたことがある」(21.2%)も2割を超えている。一方、「知らない」(55.5%)は5割半ばとなっている。(図7-2-1)

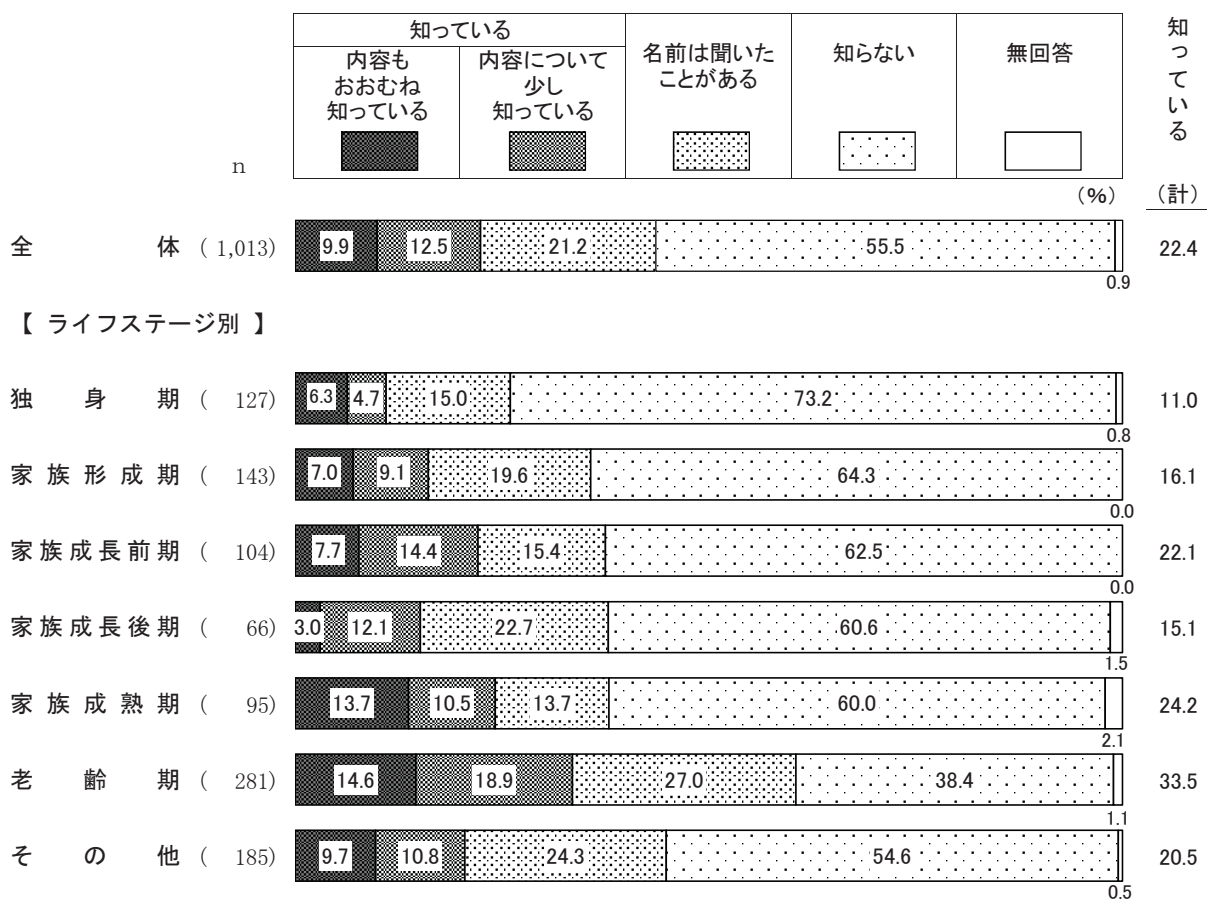
図7-2-2 地域包括ケアシステムの認知度－性別／性・年代別



性別にみると、『知っている（計）』は女性のほうが4.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性60代以上で3割半ば、男性60代以上で約3割と多くなっている。一方、「知らない」は男性10・20代で8割を超え、男性40代と女性10・20代でも7割台と多くなっている。（図7-2-2）

図7-2-3 地域包括ケアシステムの認知度—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『知っている（計）』は老齢期で3割を超え多くなっている。一方、「知らない」は独身期で7割を超え多くなっている。（図7-2-3）

8 消費者相談

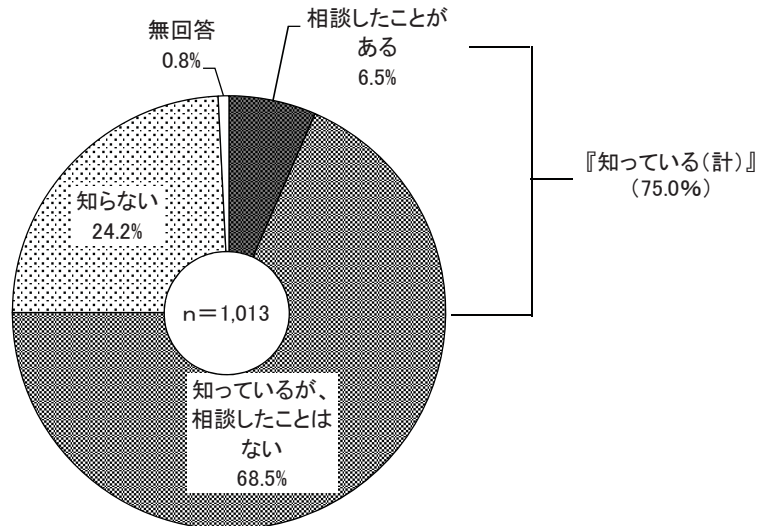
8-1 消費者相談室の認知・利用状況

8 消費者相談

8-1 消費者相談室の認知・利用状況

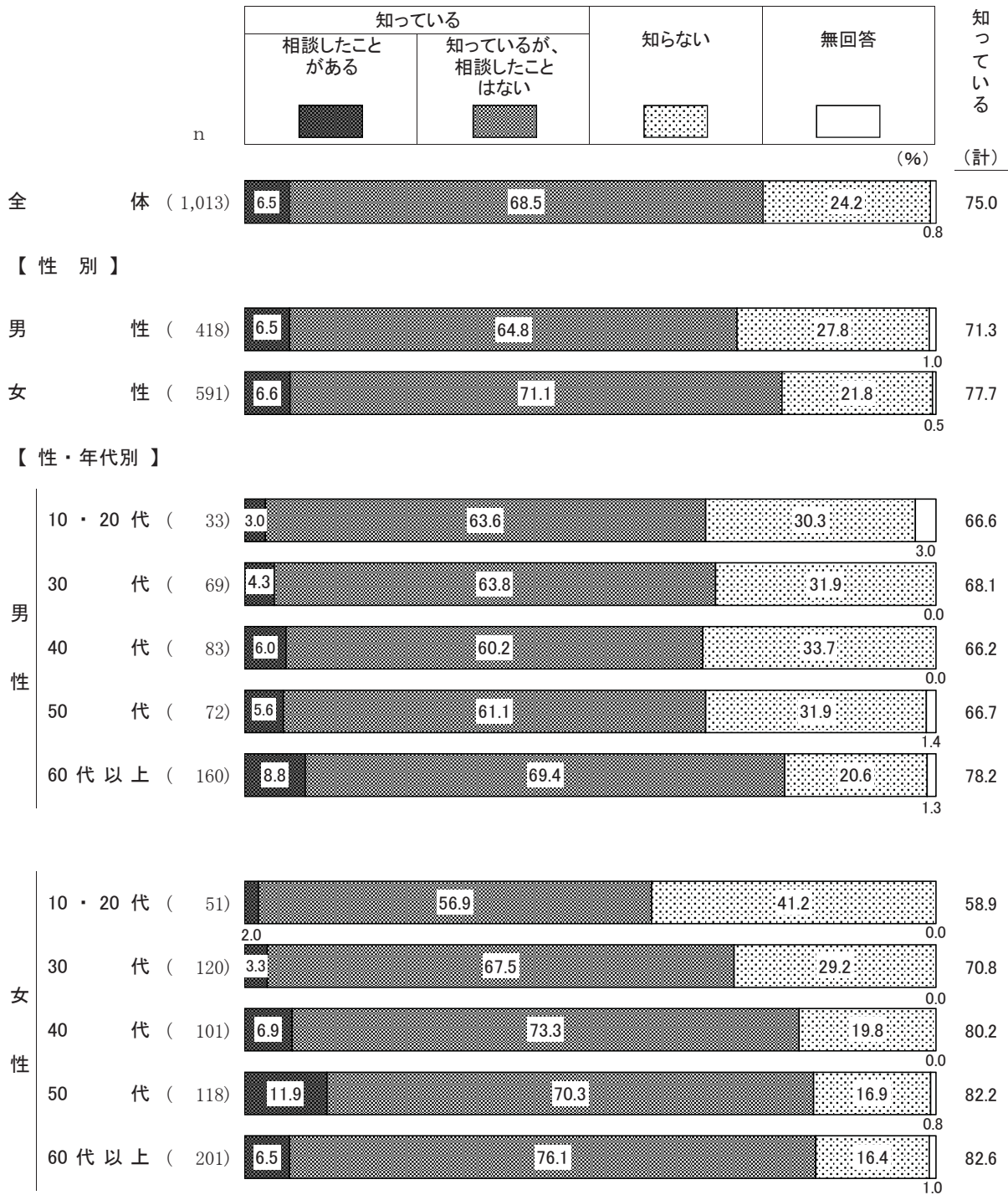
問32 あなたは、消費生活センターに、消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談する「消費者相談室」があることを知っていますか。(○は1つ)

図8-1-1 消費者相談室の認知・利用状況



消費者相談室の認知・利用状況についてたずねたところ、「相談したことがある」(6.5%)は1割未満となっており、「知っているが、相談したことはない」(68.5%)を合わせた『知っている(計)』(75.0%)は7割半ばとなっている。(図8-1-1)

図8-1-2 消費者相談室の認知・利用状況－性別／性・年代別



性別にみると、『知っている（計）』は女性のほうが6.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性40代、50代、60代以上で8割と多くなっている。一方、「知らない」は女性10・20代で4割を超え多くなっている。（図8-1-2）

9 文化・芸術・スポーツ振興

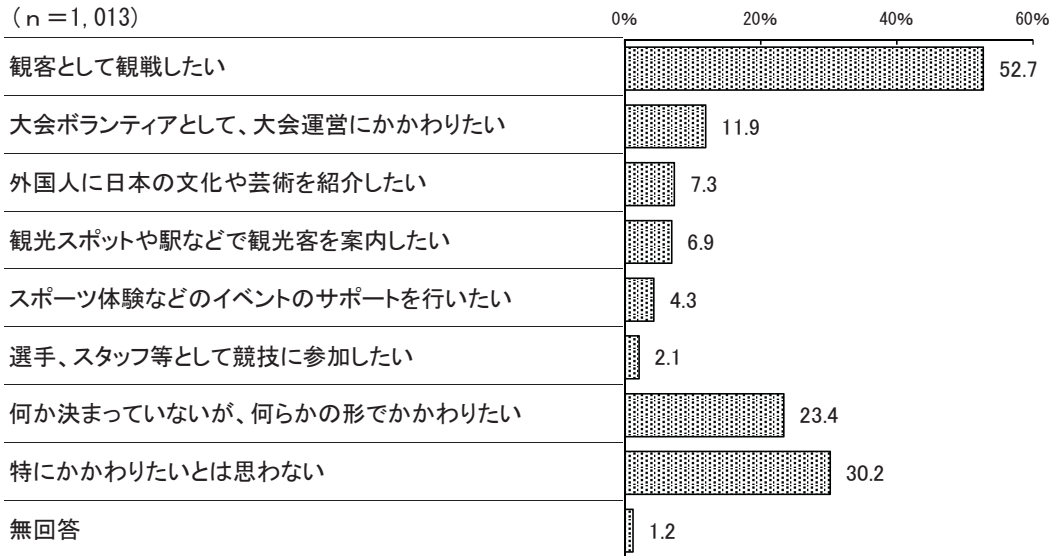
-
- 9-1 オリンピック・パラリンピック東京2020大会へのかかわり方
 - 9-2 オリンピック・パラリンピック東京2020大会のレガシー（遺産）を残すため、区民が行うべきこと
-

9 文化・芸術・スポーツ振興

9-1 オリンピック・パラリンピック東京2020大会へのかかわり方

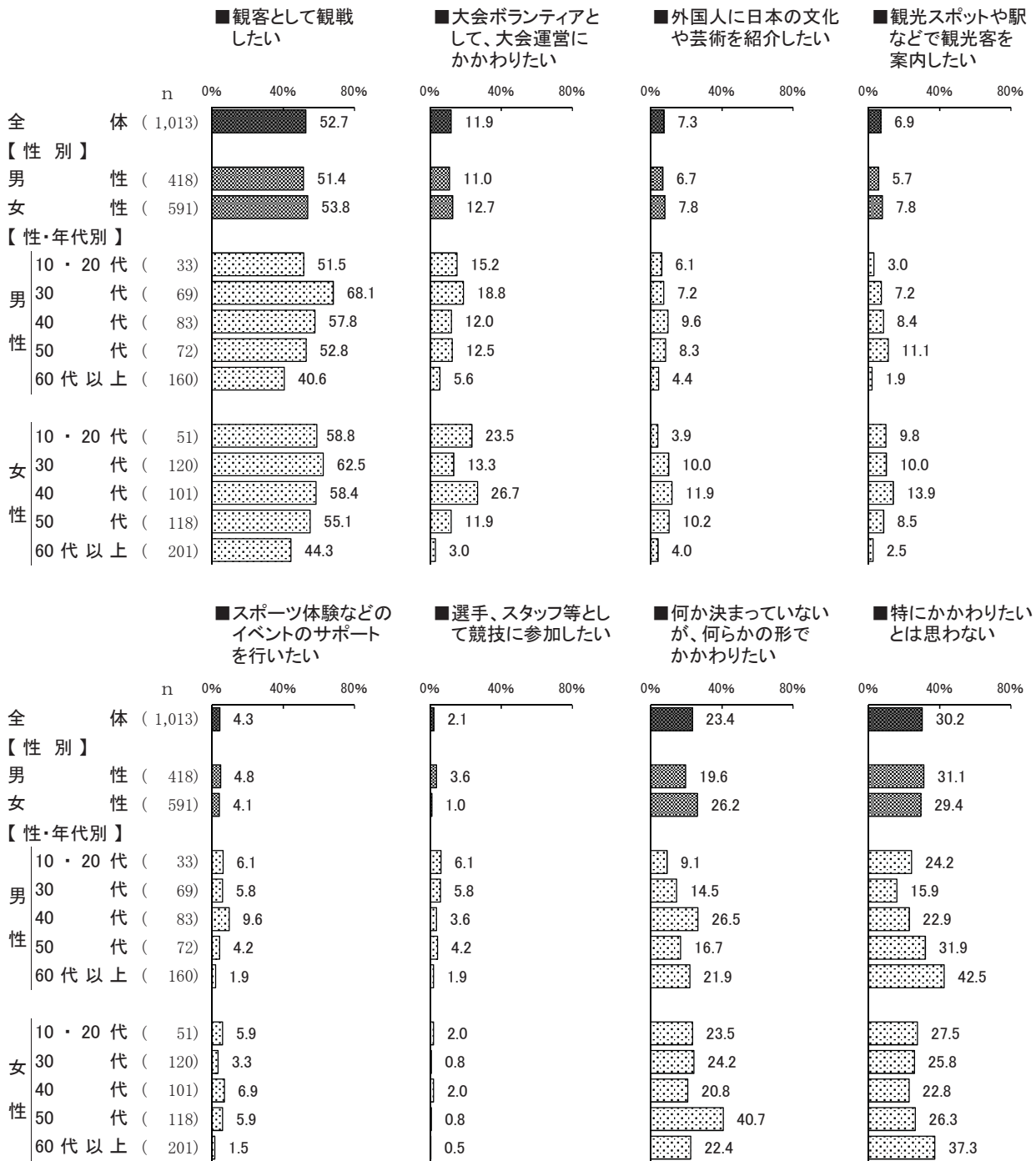
問33 オリンピック・パラリンピック東京2020大会まで約2年となりました。
あなたは、大会に、どのような形でかかわりたいと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図9-1-1 オリンピック・パラリンピック東京2020大会へのかかわり方



オリンピック・パラリンピック東京2020大会へのかかわり方についてたずねたところ、「観客として観戦したい」(52.7%)が5割を超え最も多く、次いで「大会ボランティアとして、大会運営にかかわりたい」(11.9%)、「外国人に日本の文化や芸術を紹介したい」(7.3%)などの順となっている。また、「何か決まっていないが、何らかの形でかかわりたい」(23.4%)は2割を超えている。一方、「特にかかわりたいとは思わない」が約3割となっている。(図9-1-1)

図9-1-2 オリンピック・パラリンピック東京2020大会へのかかわり方



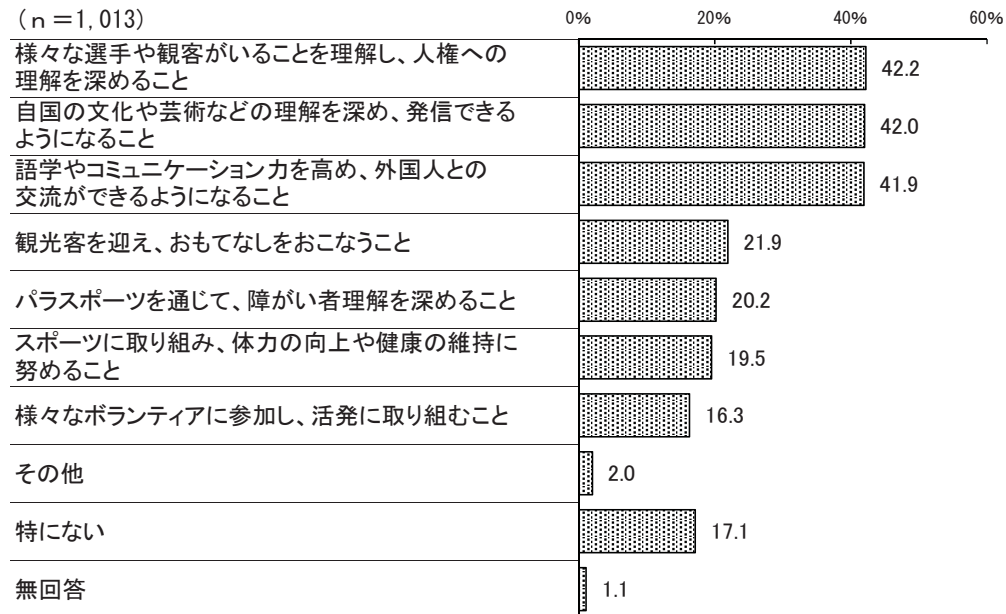
性別にみると、「何か決まっていなが、何らかの形でかかわりたい」は女性のほうが6.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「観客として観戦したい」は男性30代で7割近く、女性30代でも6割を超え多くなっている。「大会ボランティアとして、大会運営にかかわりたい」は女性10・20代と40代で2割台と多くなっている。また、「何か決まっていなが、何らかの形でかかわりたい」は女性50代で約4割と多くなっている。一方、「特にかかわりたいとは思わない」は男性60代以上で4割を超え多くなっている。(図9-1-2)

9-2 オリンピック・パラリンピック東京2020大会のレガシー（遺産）を残すため、区民が行うべきこと

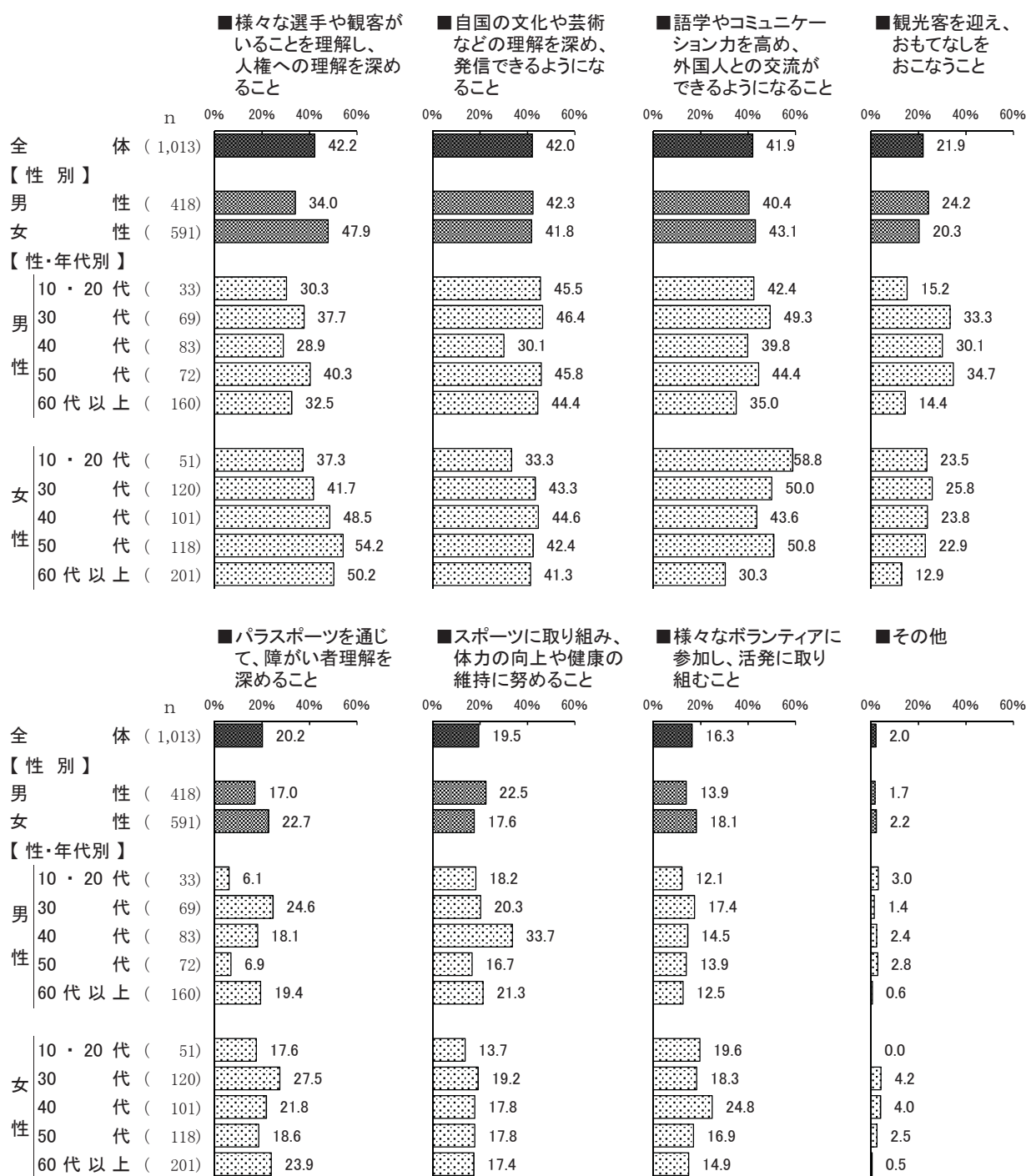
問34 オリンピック・パラリンピック東京2020大会を盛り上げ、区民一人ひとりに有益なレガシー（遺産）を残すため、区民はどんなことを行うことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図9-2-1 オリンピック・パラリンピック東京2020大会のレガシー（遺産）を残すため、区民が行うべきこと



オリンピック・パラリンピック東京2020大会を盛り上げ、区民一人ひとりに有益なレガシー（遺産）を残すため、区民が行うべきことについてたずねたところ、「様々な選手や観客がいることを理解し、人権への理解を深めること」（42.2%）が4割を超え最も多く、次いで「自国の文化や芸術などの理解を深め、発信できるようになること」（42.0%）、「語学やコミュニケーション力を高め、外国人との交流ができるようになること」（41.9%）などの順となっている。（図9-2-1）

図9-2-2 オリンピック・パラリンピック東京2020大会のレガシー（遺産）を残すため、
区民が行うべきこと－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうが「様々な選手や観客がいることを理解し、人権への理解を深めること」で13.9ポイント、「パラスポーツを通じて、障がい者理解を深めること」で5.7ポイント高くなっている。一方、「スポーツに取り組み、体力の向上や健康の維持に努めること」は男性のほうが4.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「様々な選手や観客がいることを理解し、人権への理解を深めること」は女性50代と60代以上で5割台と多くなっている。また、「語学やコミュニケーション力を高め、外国人との交流ができるようになること」は女性10・20代で6割近く、男性30代、女性30代と50代でも5割前後と多くなっている。(図9-2-2)

10 循環型社会

10-1 環境について知りたいこと

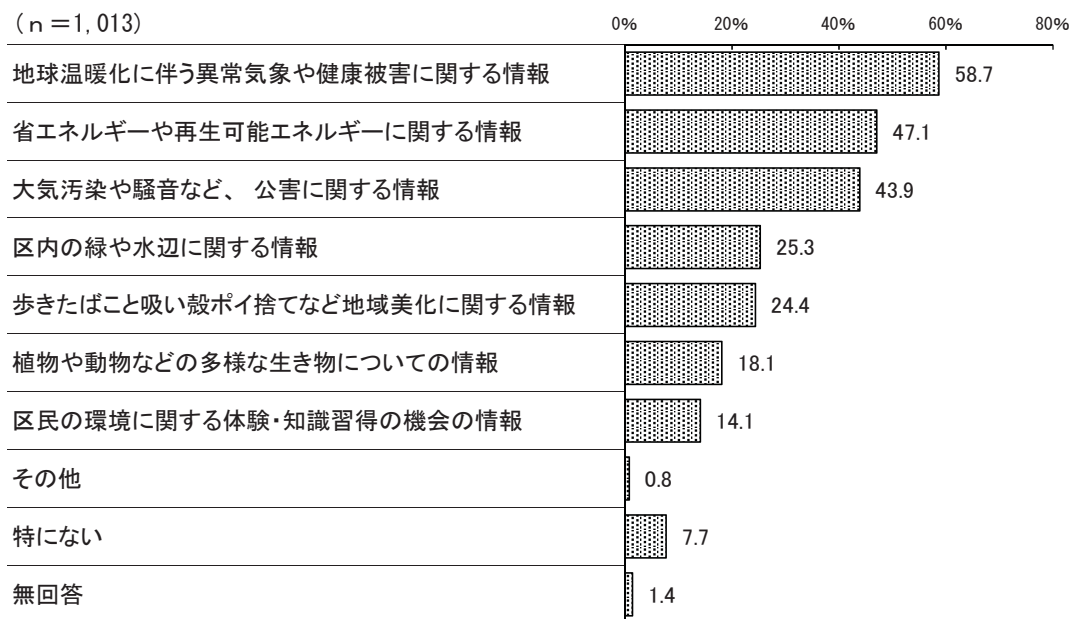
10-2 ごみ減量を進めるために区から発信してほしい情報

10 循環型社会

10-1 環境について知りたいこと

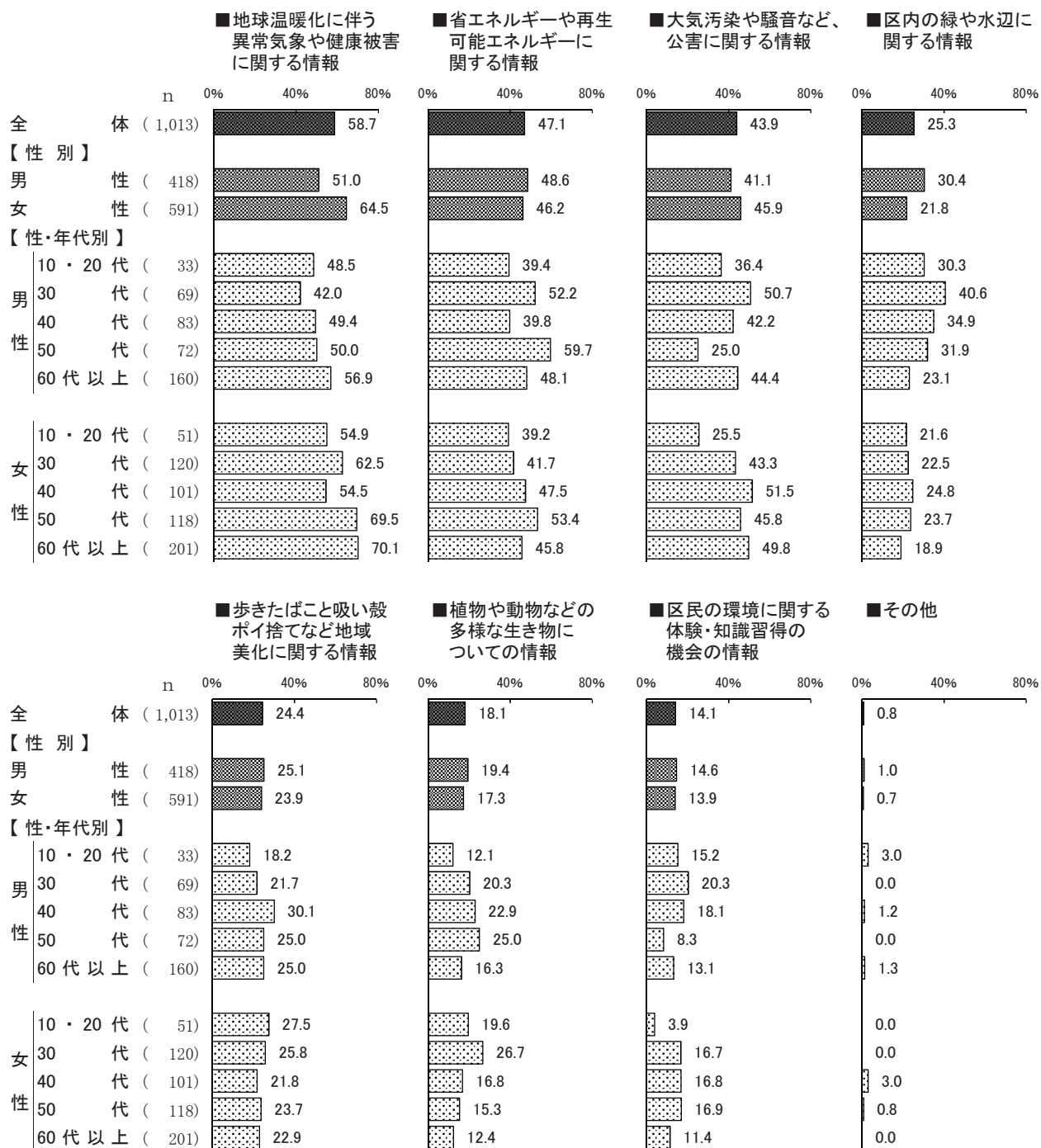
問35 環境について、あなたが知りたいと考えるものは何ですか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図10-1-1 環境について知りたいこと



環境について知りたいと考えるものについてたずねたところ、「地球温暖化に伴う異常気象や健康被害に関する情報」(58.7%)が6割近くと最も多く、次いで「省エネルギーや再生可能エネルギーに関する情報」(47.1%)、「大気汚染や騒音など、公害に関する情報」(43.9%)、「区内の緑や水辺に関する情報」(25.3%)、「歩きタバコや吸い殻ポイ捨てなど地域美化に関する情報」(24.4%)などの順となっている。(図10-1-1)

図10-1-2 環境について知りたいこと－性別／性・年代別



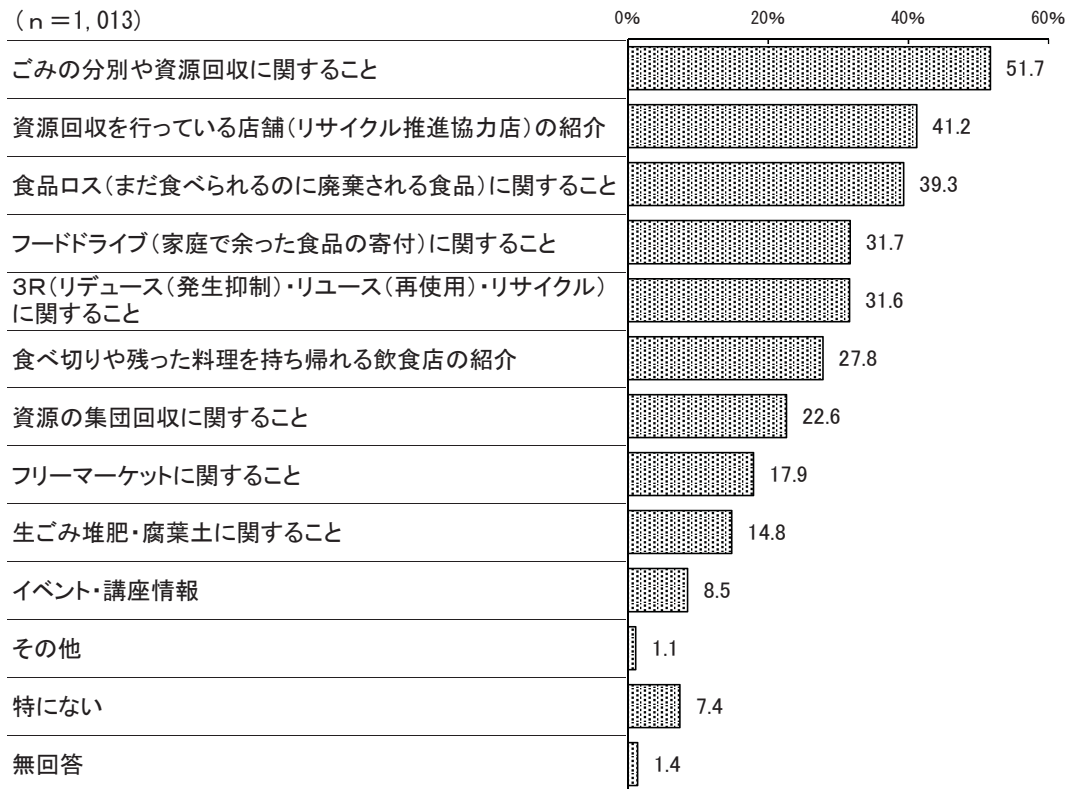
性別にみると、「地球温暖化に伴う異常気象や健康被害に関する情報」は女性のほうが13.5ポイント高くなっている。一方、「区内の緑や水辺に関する情報」は男性のほうが8.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「地球温暖化に伴う異常気象や健康被害に関する情報」はおおむね年代が高くなるほど多く、女性50代と60代以上で約7割と多くなっている。また、「省エネルギーや再生可能エネルギーに関する情報」は、男性50代で約6割と多くなっている。一方、「大気汚染や騒音など、公害に関する情報」は、男性50代、女性10・20代で2割半ばと少なくなっている。
(図10-1-2)

10-2 ごみ減量を進めるために区から発信してほしい情報

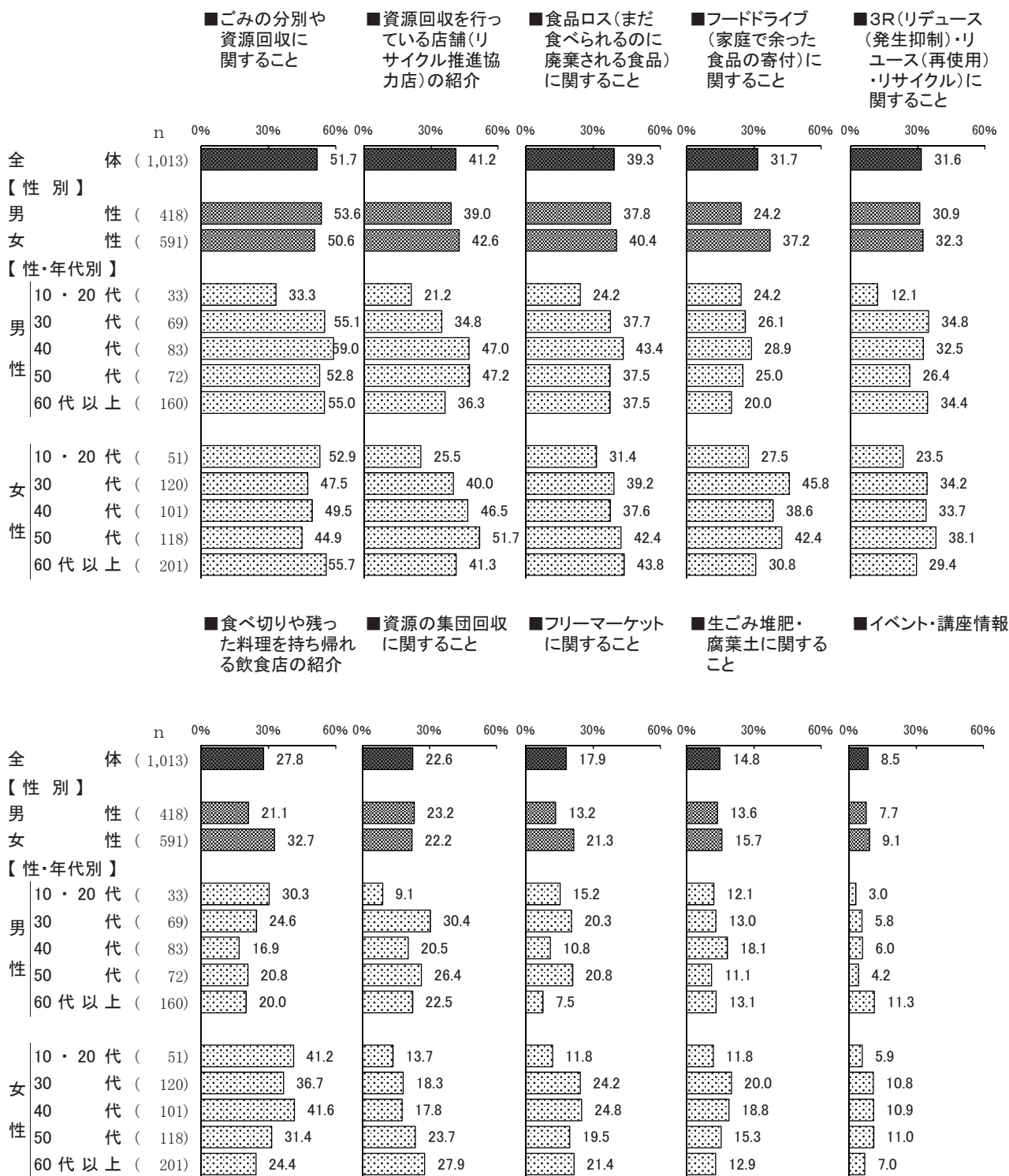
問36 ごみ減量を進めるために、どういった情報を区から発信してほしいですか。
次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図10-2-1 ごみ減量を進めるために区から発信してほしい情報



ごみ減量を進めるために区から発信してほしい情報についてたずねたところ、「ごみの分別や資源回収に関すること」(51.7%)が5割を超え最も多く、次いで「資源回収を行っている店舗(リサイクル推進協力店)の紹介」(41.2%)、「食品ロス(まだ食べられるのに廃棄される食品)に関すること」(39.3%)、「フードドライブ(家庭で余った食品の寄付)に関すること」(31.7%)、「3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル)に関すること」(31.6%)、「食べ切りや残った料理を持ち帰れる飲食店の紹介」(27.8%)などの順となっている。(図10-2-1)

図10-2-2 ごみ減量を進めるために区から発信してほしい情報【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうが「フードドライブ（家庭で余った食品の寄付）に関すること」で13.0ポイント、「食べ切りや残った料理を持ち帰れる飲食店の紹介」で11.6ポイント、「フリーマーケットに関すること」で8.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「資源回収を行っている店舗（リサイクル推進協力店）の紹介」は女性50代で5割を超え多くなっている。「食べ切りや残った料理を持ち帰れる飲食店の紹介」はおおむね年代が低いほど多い傾向があり、女性10・20代で4割を超え、男性10・20代でも約3割となっている。（図10-2-2）

11 議会

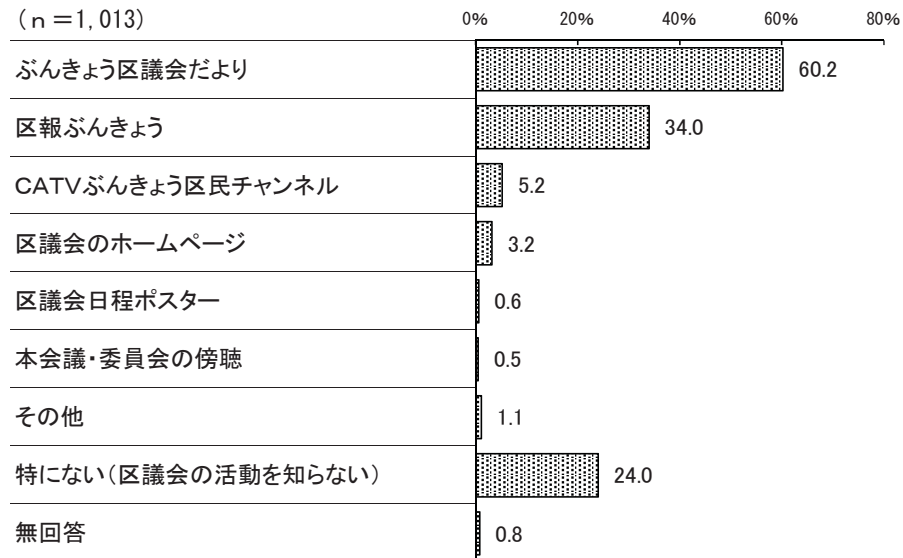
-
- 11-1 区議会活動の認知媒体
 - 11-2 区議会のホームページの閲覧状況
 - 11-3 区議会の活動として期待すること
-

11 議会

11-1 区議会活動の認知媒体

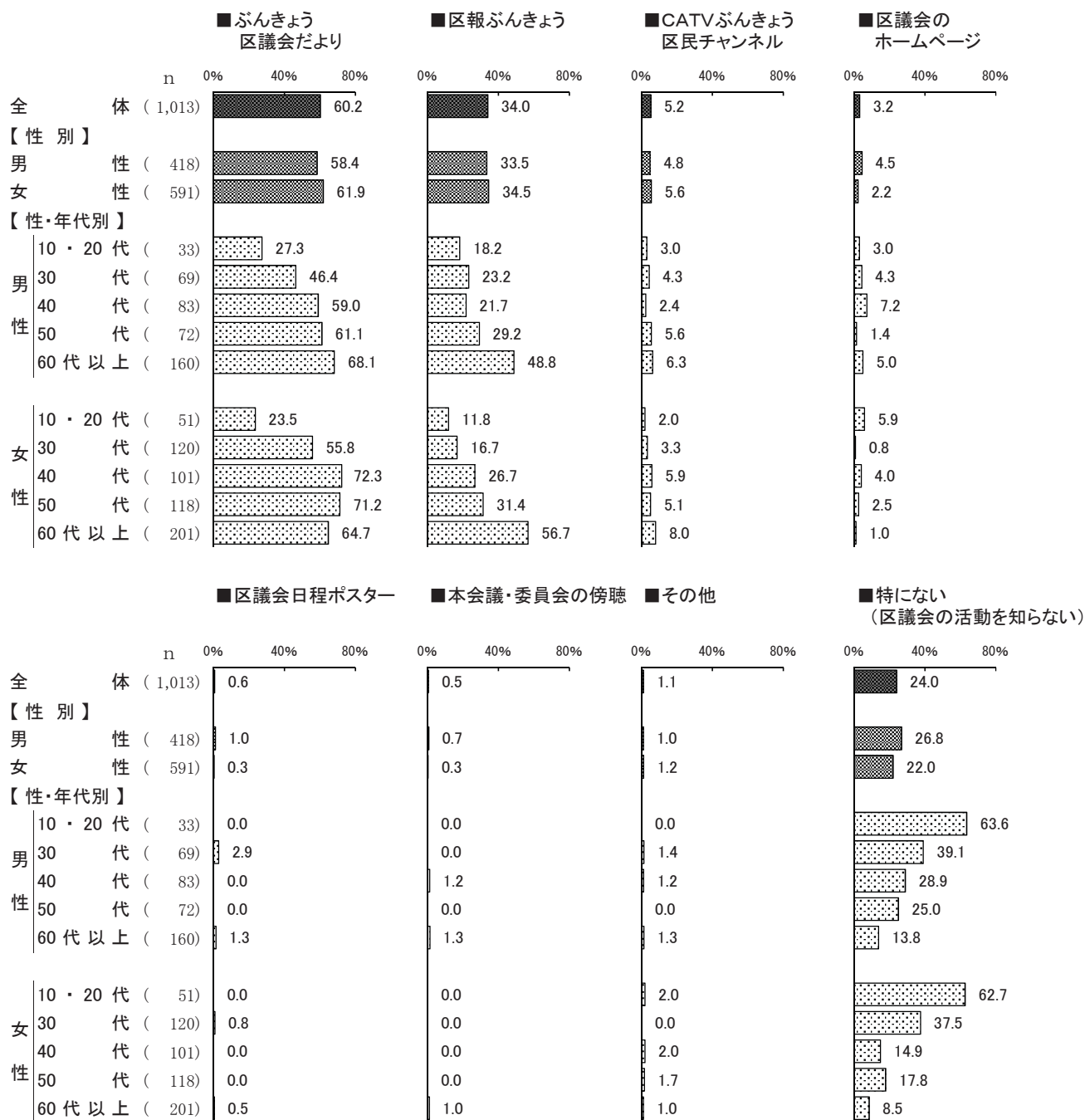
問37 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。
次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図11-1-1 区議会活動の認知媒体



区議会活動の認知媒体についてたずねたところ、「ぶんきょう区議会だより」(60.2%)が約6割と最も多く、「区報ぶんきょう」(34.0%)が3割半ばと次いでいるが、それ以外の項目は1割未満となっている。一方、「特にない(区議会の活動を知らない)」(24.0%)は2割半ばとなっている。(図11-1-1)

図11-1-2 区議会活動の認知媒体—性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられないが、「特にない（区議会の活動を知らない）」は男性のほうが4.8ポイント高くなっている。

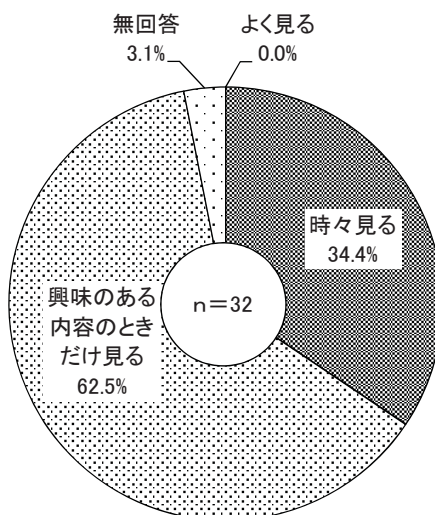
性・年代別にみると、「ぶんきょう区議会だより」は男女ともに10・20代で2割台と少なくなっている。「区報ぶんきょう」は男女ともにおおむね年代が高いほど多くなっており、男女ともに10・20代で1割台であるのに対し、女性60代以上で5割半ば、男性60代以上で5割近くとなっている。一方、「特にない（区議会の活動を知らない）」は男女ともに10・20代で6割を超えている。（図11-1-2）

11-2 区議会のホームページの閲覧状況

【問37で「2. 区議会のホームページ」と回答した方に】

問37-1 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。(○は1つ)

図11-2-1 区議会のホームページの閲覧状況



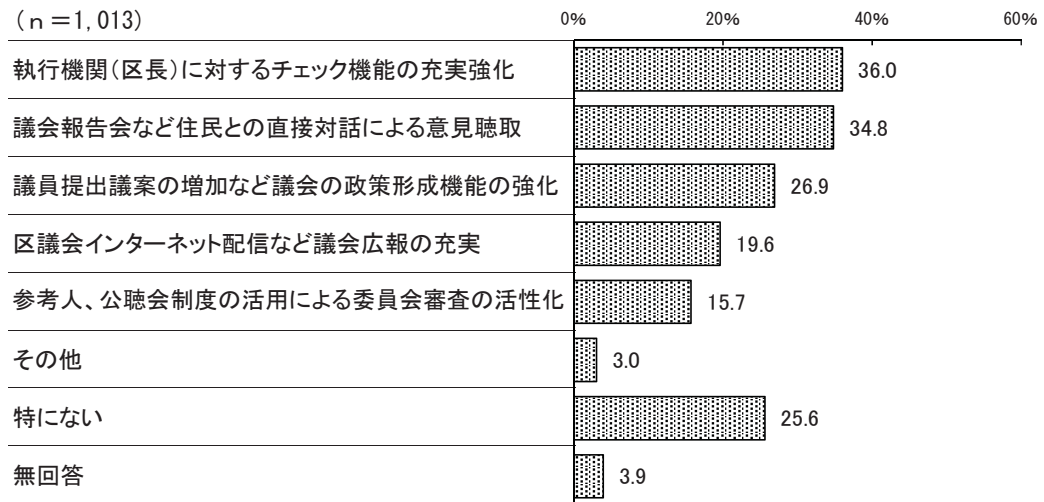
区議会活動の認知媒体について「区議会のホームページ」と答えた人（32人）に、区議会ホームページの閲覧頻度をたずねたところ、「よく見る」（回答者なし）、「時々見る」（34.4%）が3割半ば、「興味のある内容のときだけ見る」（62.5%）が6割を超えている。

（図11-2-1）

11-3 区議会の活動として期待すること

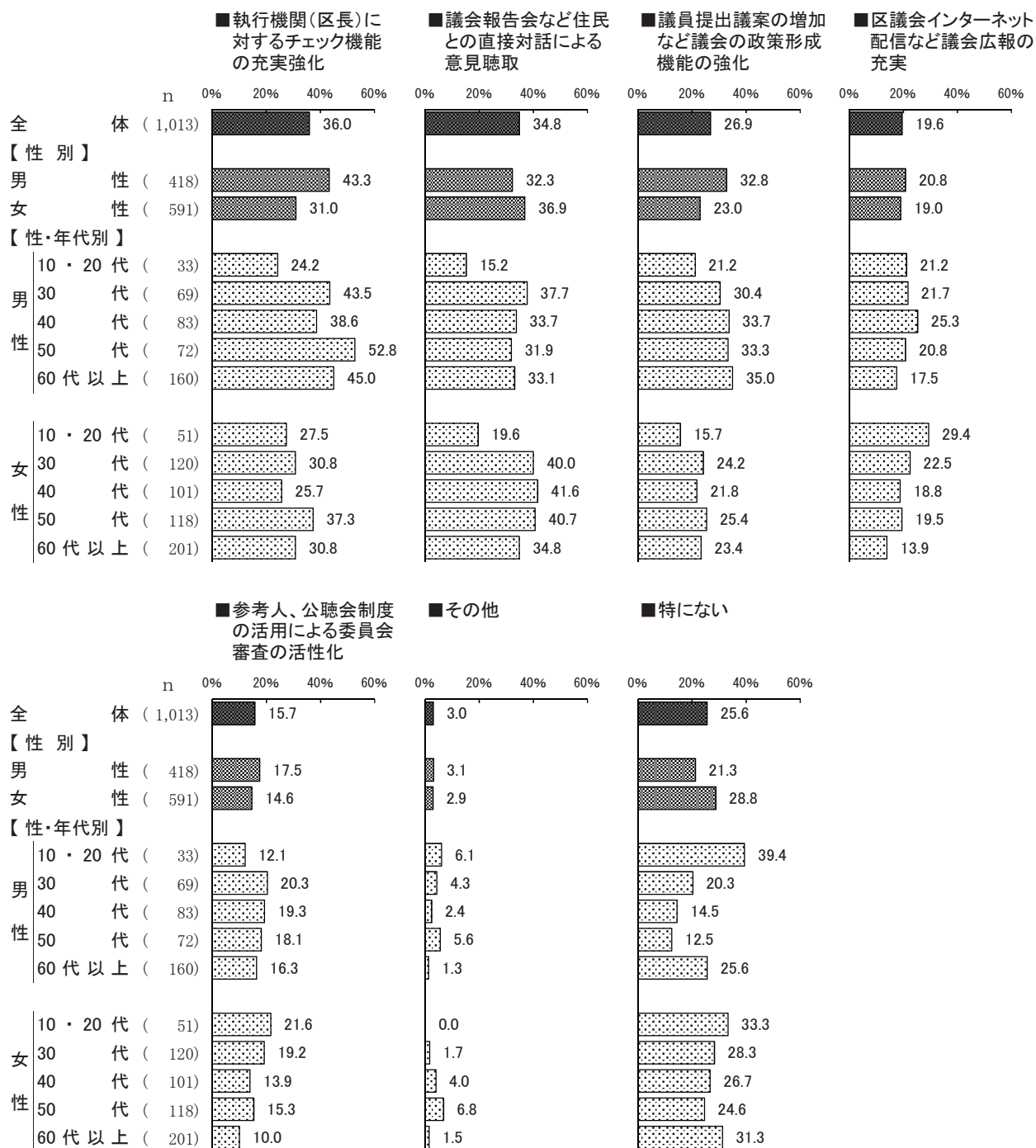
問38 地方議会の活性化や議会改革が求められています、区議会の活動として期待することはどれですか。次の中からいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

図11-3-1 区議会の活動として期待すること



区議会の活動として期待することについてたずねたところ、「執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化」（36.0%）が3割半ばと最も多く、次いで「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」（34.8%）、「議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化」（26.9%）などの順となっている。（図11-3-1）

図11-3-2 区議会の活動として期待すること—性別／性・年代別



性別にみると、男性のほうが「執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化」で12.3ポイント、「議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化」で9.8ポイント高くなっている。一方、「特にな

性・年代別にみると、「執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化」は男性50代で5割を超え、男性30代と60代以上で4割台と多くなっている。「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」は女性30代、40代、50代でそれぞれ4割台と多くなっている。一方、「特にな

12 人権・ダイバーシティ

-
- 12-1 「男女平等センター相談室」認知・利用状況
 - 12-2 人権や差別・偏見の問題について区が力を入れていくべきこと
 - 12-3 「SOGI」「LGBT」の認知度
-

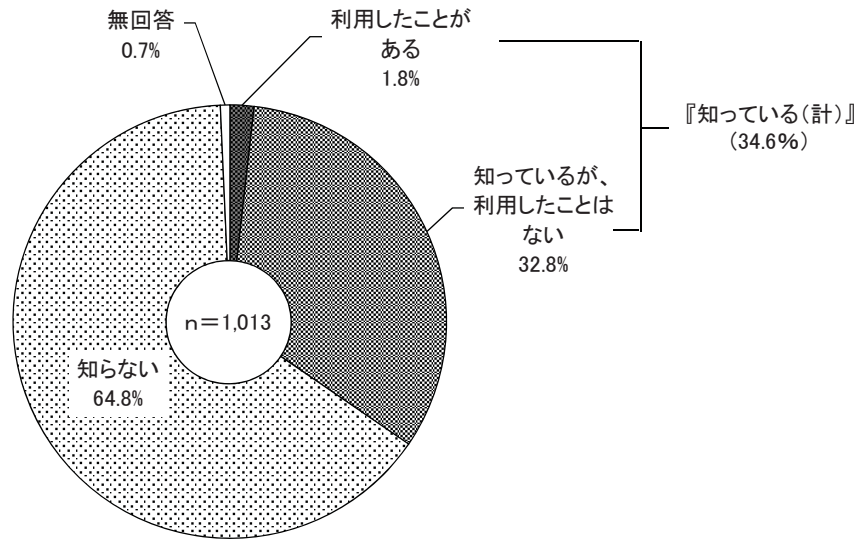
12 人権・ダイバーシティ

12-1 「男女平等センター相談室」認知・利用状況

問39 文京区男女平等センター内にある相談室では、家庭や職場の人間関係や性別に関する悩みなどを相談することができます。

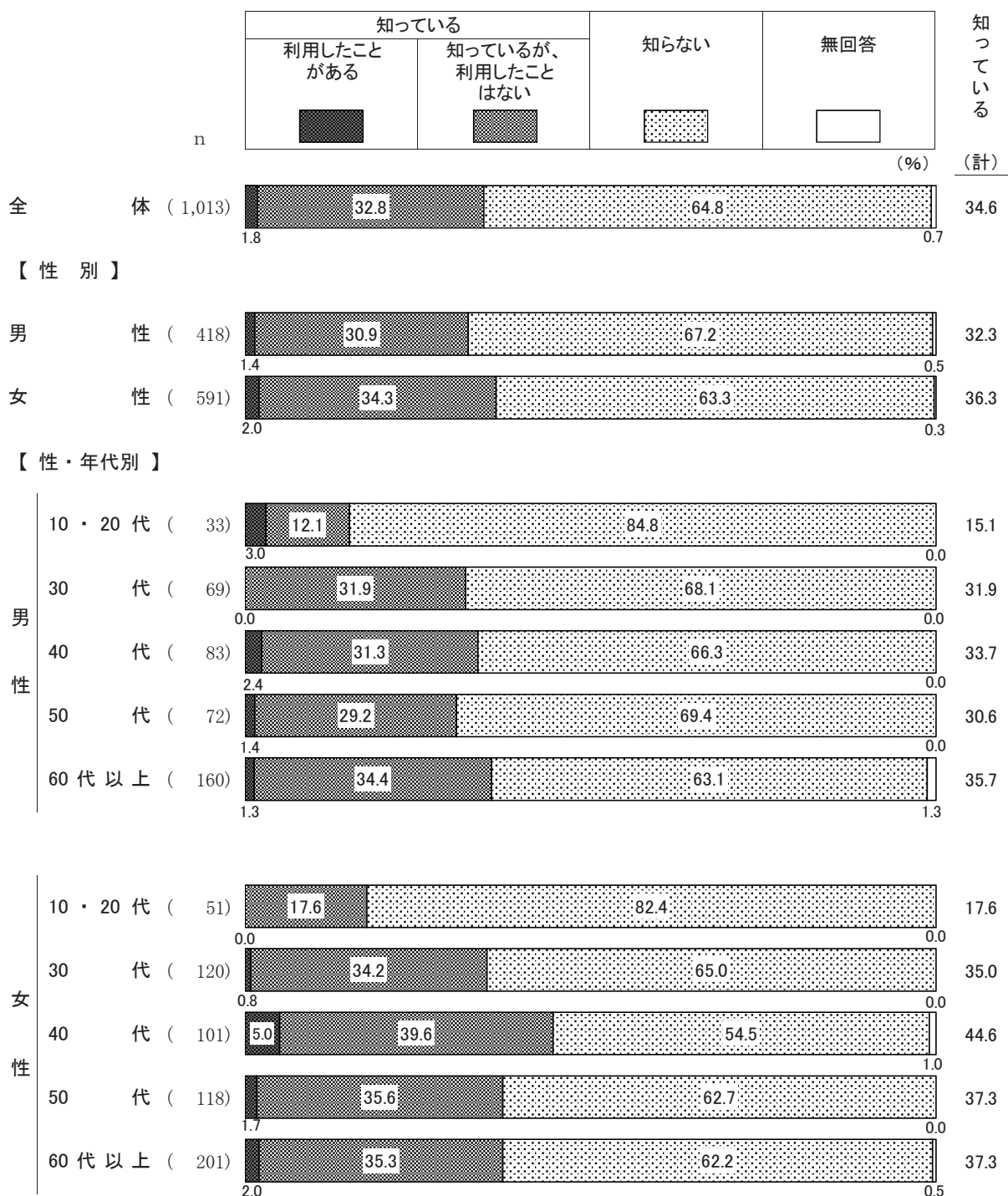
「男女平等センター相談室」を知っていますか。(○は1つ)

図12-1-1 「男女平等センター相談室」認知・利用状況



「男女平等センター相談室」の認知・利用状況についてたずねたところ、「利用したことがある」(1.8%)は1割未満であり、「知っているが、利用したことはない」(32.8%)を合わせた『知っている(計)』(34.6%)は3割半ばとなっている。(図12-1-1)

図12-1-2 「男女平等センター相談室」認知・利用状況—性別／性・年代別



性別にみると、『知っている（計）』は女性のほうが4.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性ではおおむね年代が高いほど多い傾向があり、60代以上で3割半ばとなっているが、女性では40代は4割半ば、50代と60代以上で4割近くとなっている。一方、「知らない」は男女ともに10・20代で8割台と多くなっている。

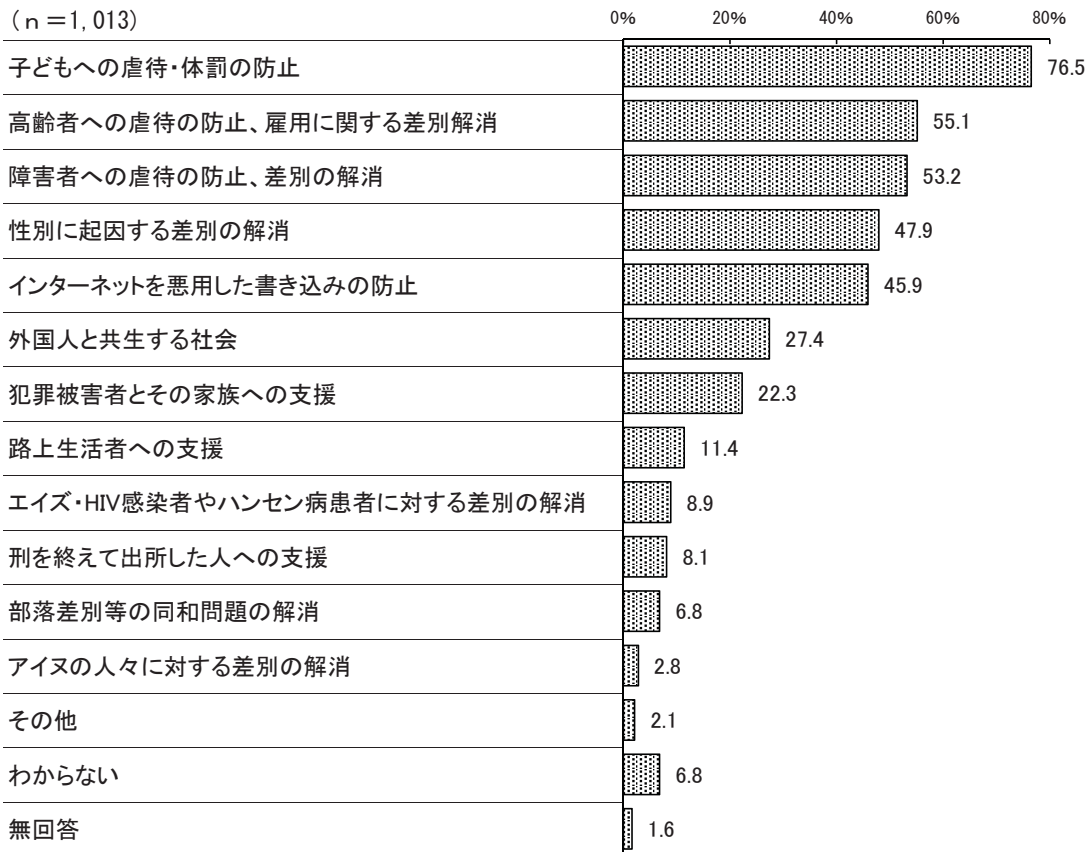
(図12-1-2)

12-2 人権や差別・偏見の問題について区が力を入れていくべきこと

問40 人権や差別・偏見についての問題の周知・理解や解決のために、区が今後どのようなことに力を入れていくべきと考えますか。

次の中からあてはまるものを5つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

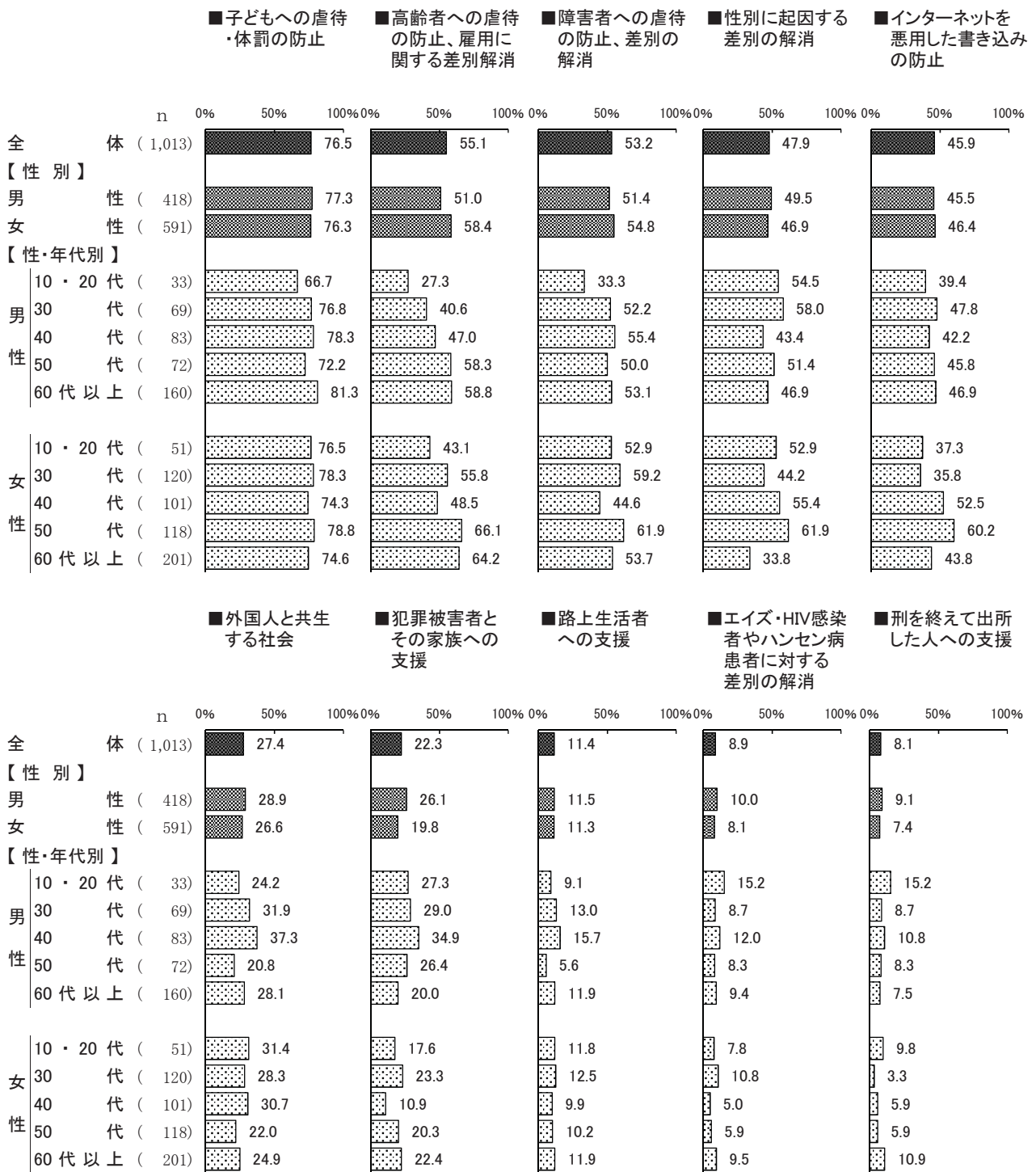
図12-2-1 人権や差別・偏見の問題について区が力を入れていくべきこと



人権や差別・偏見の問題について区が力を入れていくべきことについてたずねたところ、「子どもへの虐待・体罰の防止」(76.5%)が7割半ばと最も多く、次いで「高齢者への虐待の防止、雇用に関する差別解消」(55.1%)、「障害者への虐待の防止、差別の解消」(53.2%)、「性別に起因する差別の解消」(47.9%)、「インターネットを悪用した書き込みの防止」(45.9%)などの順となっている。(図12-2-1)

図12-2-2 人権や差別・偏見の問題について区が力を入れていくべきこと

【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、「高齢者への虐待の防止、雇用に関する差別解消」は女性のほうが7.4ポイント高くなっている。一方、「犯罪被害者とその家族への支援」は男性のほうが6.3ポイント高くなっている。

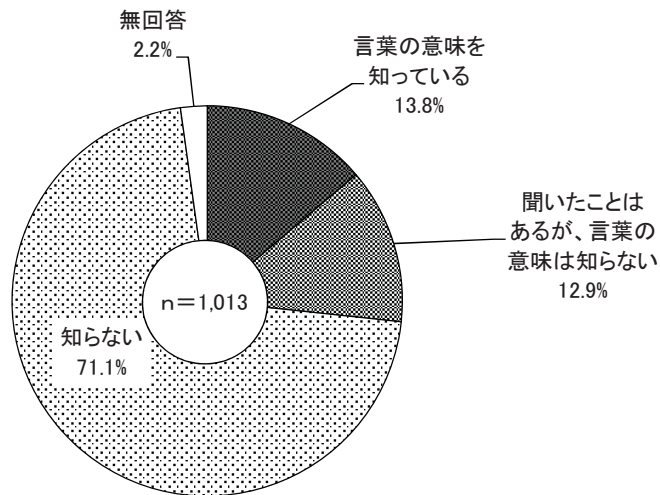
性・年代別にみると、「高齢者への虐待の防止、雇用に関する差別解消」はおおむね年代が高いほど多くなっており、女性50代と60代以上で6割半ばとなっている。また、「性別に起因する差別の解消」は、男性30代と女性50代で6割前後と多くなっている。（図12-2-2）

12-3 「SOGI」「LGBT」の認知度

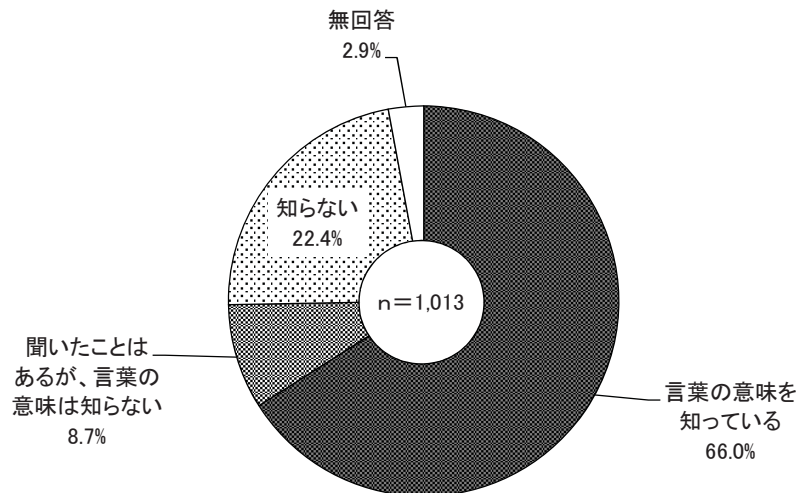
問41 あなたは、①「SOGI」(※1)や②「LGBT」(※2)について知っていますか。
次の中からあてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで、下の欄に番号をご記入ください。

図12-3-1 「SOGI」「LGBT」の認知度

①「SOGI」(※1)



②「LGBT」(※2)



※1「SOGI」とは、「性的指向」(Sexual Orientation、恋愛感情や性的な関心・興味が主にどの性別に向いているかをいいます。)と「性自認」(Gender Identity、「私は女である」「私は男である」等の、自分がどの性別であるか又ははないかということについての内面的・個人的な認識をいいます。)の頭文字を取った総称です。

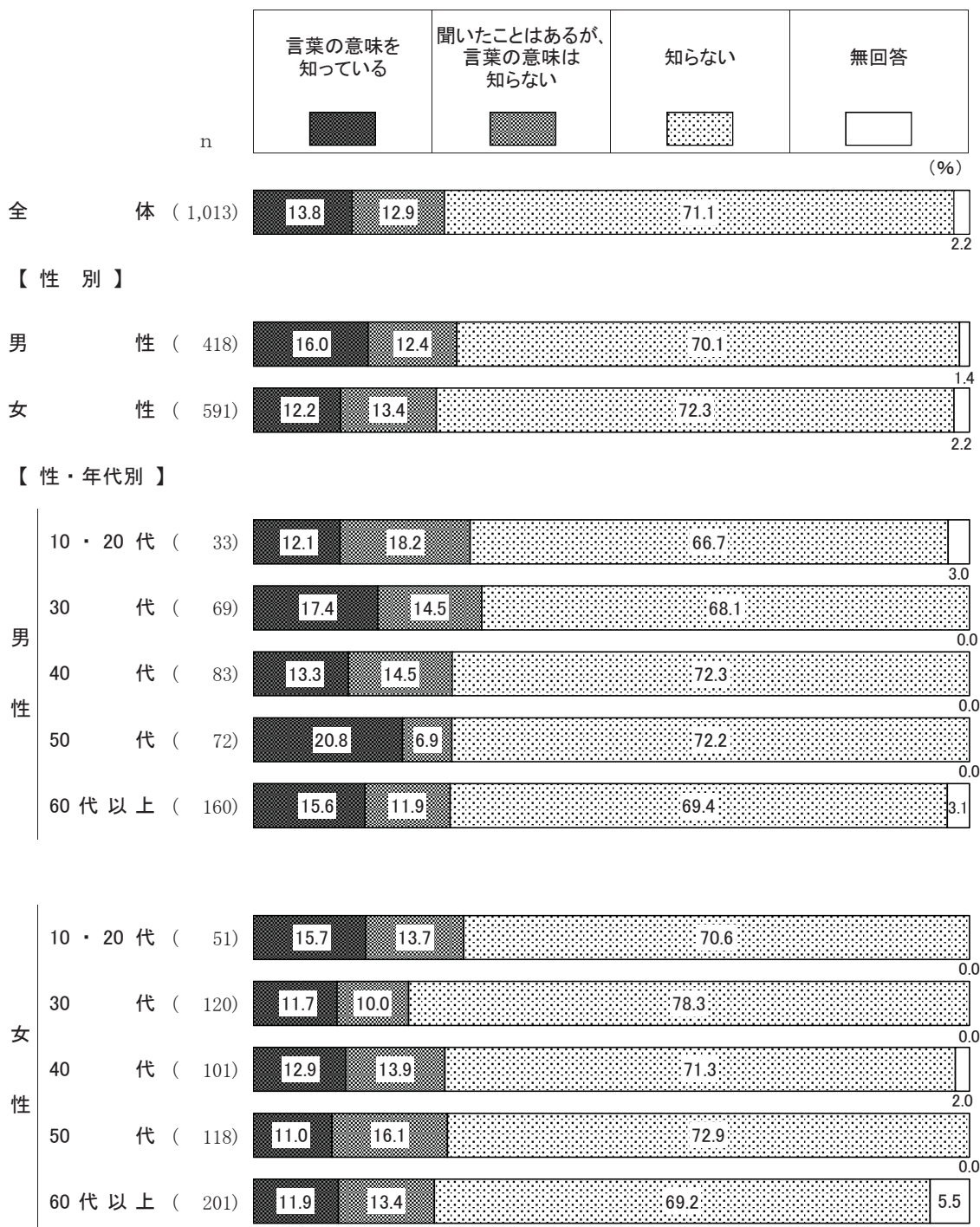
※2「LGBT」とは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーという、性的指向・性自認が非典型的な人々のうち代表的とされるものの頭文字を取った総称です。

「SOGI」の認知度についてたずねたところ、「言葉の意味を知っている」(13.8%)は1割前半であるのに対し、「知らない」(71.1%)は7割を超えている。

「LGBT」の認知度についてたずねたところ、「言葉の意味を知っている」(66.0%)は6割半ばであるのに対し、「知らない」(22.4%)は2割前半となっている。(図12-3-1)

図12-3-2 「SOGI」「LGBT」の認知度—性別／性・年代別

①「SOGI」

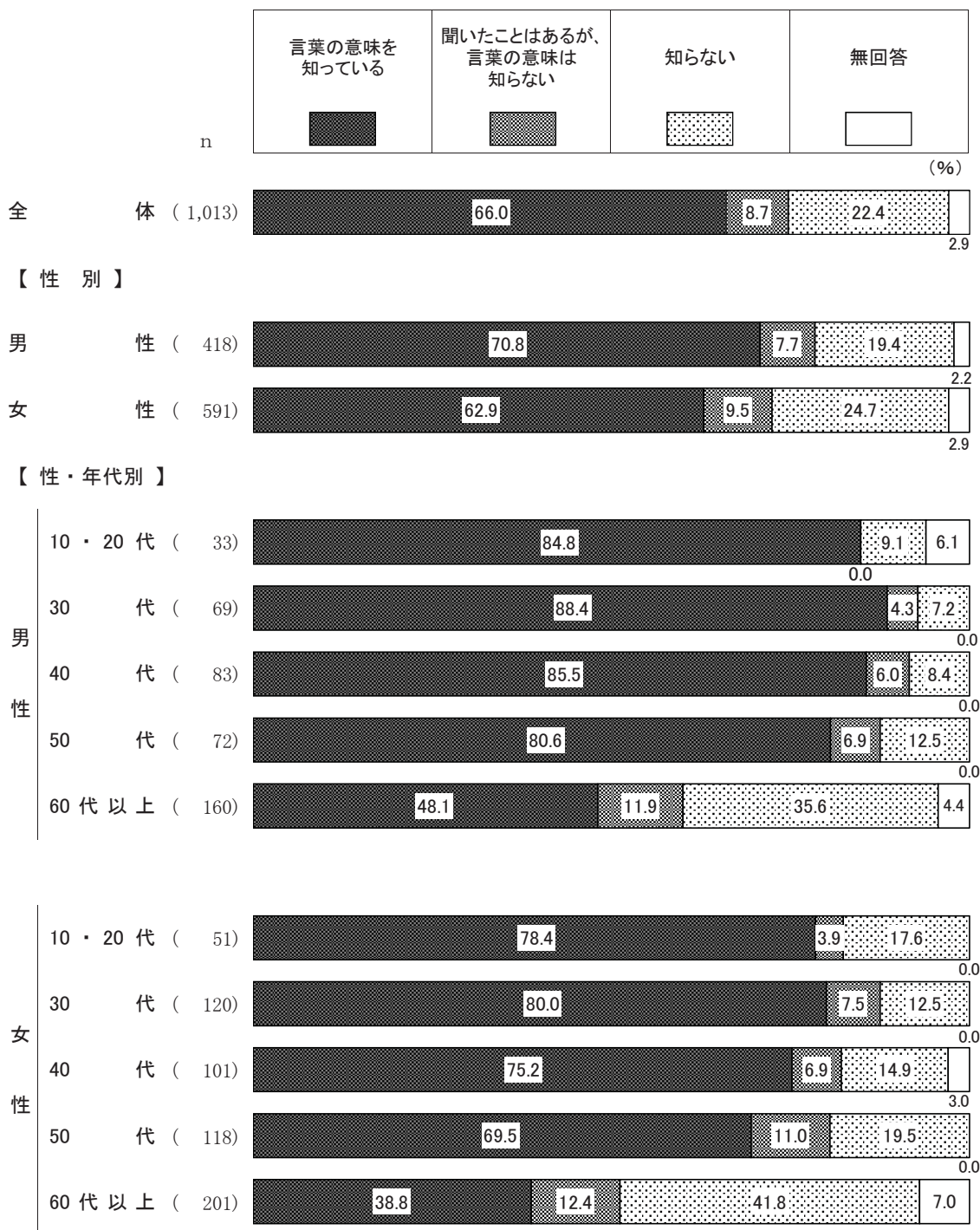


性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「言葉の意味を知っている」は男性50代で約2割、男性30代と女性10・20代で1割後半と多くなっている。(図12-3-2)

図12-3-3 「SOGI」「LGBT」の認知度—性別／性・年代別

②「LGBT」



性別にみると、「言葉の意味を知っている」は男性のほうが7.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「言葉の意味を知っている」はおおむね年代が低いほど多い傾向があり、男性50代以下と女性30代で8割台、女性10・20代と40代で7割後半となっている。一方、「知らない」は女性60代以上で4割を超え、男性60代以上でも3割半ばと多くなっている。

(図12-3-3)

Ⅲ 質問と回答

第24回 文京区政に関する世論調査

～ ご協力をお願い ～

皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、文京区では、区政の各分野について区民の皆様が日頃感じていらっしゃることをお伺いし、今後の区政に役立てるために「文京区政に関する世論調査」を3年ごとに実施しております。本年度は8月10日号の区報でお知らせしましたとおり、8月中旬より実施することとなりました。

調査にあたりまして、住民基本台帳から区内にお住まいの18歳以上の方を無作為に2,500人選ばせていただきました。調査結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前などが公表されることは一切ありません。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年8月

文京区長 成澤 廣修

なお、ご回答は郵送によるご返送、もしくはインターネットによるご回答のいずれかをお願いいたします。インターネットによるご回答をされる場合には、次のIDおよびパスワードを入力しログインのうえ回答サイトにお入りください。

【あなたのID・パスワード】（※インターネットでご回答いただく場合のログイン用）

※なお、このID・パスワードはランダムに配付しています。どなたがどのID・パスワードであるかは照合できないようになり、個人を特定するものではありませんのでご安心ください。

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 回答は、必ずあて名の方ご自身がお答えください。
- 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○印で囲むものと、あてはまる番号をご記入いただくものがあります。
- 質問文に（○は1つ）（○はいくつでも）（3つまで）などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
- 「その他」を選んだ場合には（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入にあたってのご留意点、ご回答方法の詳細は次のページをご参照ください。

ご回答期限 : 9月5日（水）まで

【 ご回答の方法 】

「郵送」にてご返送、もしくは「インターネット」によるご回答のどちらか一方でご回答くださいますようお願いいたします。

◎「郵送」にてご返送の場合 …

ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

◎「インターネット」にてご回答の場合 …

●文京区ホームページより <http://www.city.bunkyo.lg.jp/>

文京区ホームページのトップページにある

「注目情報『第24回 文京区政に関する世論調査を実施しています』」内のURLから「電子申請」サイトにお入りいただきご回答ください。

●二次元コード（QRコード）より

下記二次元コードを読み取ると、回答ページのログイン画面に直接お入りいただけます。

《 二次元コード 》



※携帯電話の機種により対応していない場合があります。

※ご回答いただく際は、表紙にある個別のIDおよびパスワードによりサイトにお入りいただき、入力フォームからご回答ください。

【 アンケート調査に関するお問い合わせ先 】

なお、このアンケート調査は、株式会社総合企画に委託して実施しています。
この調査についてのご質問・お問い合わせは、株式会社総合企画までお願いいたします。

株式会社総合企画（そうごうきかく）

東京都台東区浅草橋1-7-2 岩崎ビル4階 [受付時間]

電話：03-5829-6203（直通）

電話：月～金（祝日除く）9：30～18：30

株式会社総合企画は、プライバシーマークを取得しており、個人情報の取扱いに関して法令やその他の規範を遵守し、取り扱っています。

プライバシーマークとは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が個人情報を適切に取り扱うことのできる企業や団体（事業者）を審査し認定する制度です。



【 調査の主体（依頼元） 】

文京区 企画政策部 広報課 広聴・相談担当

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号

1 定住意向

問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。 n=1,013

1	5年未満	19.7%	4	15～19年	9.3%
2	5～9年	13.0%	5	20～24年	6.9%
3	10～14年	11.3%	6	25年以上	38.8%
				無回答	1.0%

問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。 n=1,013

1	ずっと住み続けたい	56.9%	3	いずれは転出したい	3.2%	→ 問3へ
2	当分の間は住んでいたい	32.7%	4	近いうちに転出するつもり	1.6%	
			5	わからない	4.1%	
				無回答	1.6%	

【問2で「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分の間は住んでいたい」と回答した方に】

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか。

次の中からあてはまるものを3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。

n=907

↓ 番号を記入

1	通勤・通学などの交通の便がよい	74.2%
2	緑や街並みなどが整備されている	35.3%
3	図書館、学校、保育園などの公共機関が整備されている	32.0%
4	福祉施設や医療施設が整備されている	25.7%
5	地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である	20.1%
6	生まれ育った地域であり、愛着がある	22.5%
7	持ち家のため、住み続けたい	49.0%
8	その他（具体的に：)	9.8%
	無回答	0.3%



1つめ
2つめ
3つめ

2 区政運営

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じているものはどれですか。

次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	学校教育施策	26.6%	15	清掃・リサイクル施策	23.6%
2	生涯学習施策	9.9%	16	環境施策	13.6%
3	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	14.8%	17	住宅・定住施策	3.8%
4	伝統文化保存施策	10.4%	18	公園・緑化・景観施策	31.2%
5	地域内外の人との交流推進施策	2.4%	19	防災施策	5.3%
6	保健衛生施策	10.1%	20	コミュニティ振興施策	2.5%
7	子育て支援施策	11.8%	21	NPO・ボランティア振興施策	0.9%
8	高齢者施策	10.6%	22	中小企業・商業振興施策	0.6%
9	心身障害者施策	2.0%	23	観光・国際施策	2.1%
10	ひとり親施策	0.6%	24	消費者保護施策	0.4%
11	低所得者施策	1.6%	25	地域情報化施策	1.8%
12	青少年施策	0.4%	26	その他（)	2.1%
13	男女平等参画施策	1.2%	27	特にない	19.3%
14	都市整備施策	7.8%		無回答	2.1%

問4 次の区の施策のうち、あなたが**不満**に感じているものはどれですか。
 次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →	1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	学校教育施策	5.1%	15	清掃・リサイクル施策	6.9%
2	生涯学習施策	4.2%	16	環境施策	4.6%
3	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	5.9%	17	住宅・定住施策	8.9%
4	伝統文化保存施策	2.1%	18	公園・緑化・景観施策	9.1%
5	地域内外の人との交流推進施策	3.6%	19	防災施策	9.3%
6	保健衛生施策	2.4%	20	コミュニティ振興施策	2.8%
7	子育て支援施策	11.9%	21	NPO・ボランティア振興施策	2.0%
8	高齢者施策	14.9%	22	中小企業・商業振興施策	2.6%
9	心身障害者施策	3.2%	23	観光・国際施策	5.9%
10	ひとり親施策	2.0%	24	消費者保護施策	4.0%
11	低所得者施策	6.8%	25	地域情報化施策	5.5%
12	青少年施策	0.9%	26	その他（ ）	3.8%
13	男女平等参画施策	1.0%	27	特にない	38.8%
14	都市整備施策	9.4%		無回答	2.9%

問5 次の区の施策のうち、あなたが**さらに力を入れるべきだ**と考えるものはどれですか。
順位をつけて3つまで選び、下の欄に番号をご記入ください。

1 位 2 位 3 位

n=1,013

		1位	2位	3位	1～3位計
1	学校教育施策	10.9%	4.4%	2.3%	17.6%
2	生涯学習施策	3.8%	2.5%	1.1%	7.4%
3	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	3.8%	3.1%	1.8%	8.7%
4	伝統文化保存施策	1.5%	1.9%	1.1%	4.5%
5	地域内外の人との交流推進施策	2.2%	0.6%	1.1%	3.9%
6	保健衛生施策	3.0%	2.4%	1.9%	7.3%
7	子育て支援施策	15.8%	9.5%	2.6%	27.9%
8	高齢者施策	17.5%	10.8%	4.7%	33.0%
9	心身障害者施策	1.7%	2.4%	1.4%	5.5%
10	ひとり親施策	1.1%	2.0%	1.2%	4.3%
11	低所得者施策	1.8%	3.7%	2.7%	8.2%
12	青少年施策	0.4%	0.5%	1.0%	1.9%
13	男女平等参画施策	0.5%	1.2%	0.7%	2.4%
14	都市整備施策	3.9%	4.5%	3.0%	11.4%
15	清掃・リサイクル施策	1.9%	4.9%	4.4%	11.2%
16	環境施策	1.7%	4.5%	5.8%	12.0%
17	住宅・定住施策	2.5%	4.0%	3.6%	10.1%
18	公園・緑化・景観施策	3.4%	5.4%	7.3%	16.1%
19	防災施策	7.8%	6.8%	8.9%	23.5%
20	コミュニティ振興施策	0.2%	0.8%	1.5%	2.5%
21	NPO・ボランティア振興施策	0.1%	0.9%	1.0%	2.0%
22	中小企業・商業振興施策	0.8%	1.0%	1.4%	3.2%
23	観光・国際施策	1.0%	1.9%	3.8%	6.7%
24	消費者保護施策	0.3%	1.0%	2.9%	4.2%
25	地域情報化施策	0.9%	1.6%	3.8%	6.3%
26	その他（具体的に：	1.5%	0.1%	0.9%	2.5%
27	特にない	9.4%	-	-	9.4%
	無回答	1.0%	-	-	1.0%

【 全員の方にお聞きします 】

問8 財政の健全化を更に進めていくためには、今後どのようなことに力を入れていくべきだと考えますか。

次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

	1つめ	2つめ	3つめ
番号を記入 →			

n=1,013

1	公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る	43.3%
2	職員数の適正化などにより、人件費を抑制する	36.6%
3	費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する	50.1%
4	特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく	27.7%
5	民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に利用する	25.7%
6	区民やNPOなどとの協働を推進して、公共サービスの提供を行う	15.2%
7	区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す	20.9%
8	新たな財源（ふるさと納税、広告料収入、区有財産の貸付収入など）を確保する	26.7%
9	その他（具体的に：)	3.0%
10	わからない	5.0%
	無回答	2.4%

問9 あなたが、ITの活用により実現するとよいと思う区のサービスは何ですか。

次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	休日・夜間を問わず、区民からの問合せについてインターネット上で回答するサービス	34.1%
2	インターネット上で（窓口に行かなくても）申請できる行政手続の充実	67.5%
3	民間施設（商店・飲食店・観光施設等）でフリーWi-Fiが利用できるエリアの拡大	30.2%
4	自分の年代・家族構成に合ったイベント情報・災害情報を受取れるサービス	33.7%
5	だれもが自由に利活用できる公共データの充実	28.9%
6	その他（具体的に：)	2.9%
7	特にない	9.5%
	無回答	3.2%

3 協働・協治

問10 区内でNPO、ボランティア団体及び町会・自治会等の地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に参加していますか。

次の中から参加しているものをすべてお選びください。

n=1,013

1	町会・自治会	24.8%	6	企業による地域貢献活動	1.1%
2	PTA	7.7%	7	個人的なグループ・サークル	7.3%
3	青少年健全育成会	0.3%	8	その他（具体的に：)	1.5%
4	NPO法人	0.8%	9	参加していない	64.0%
5	ボランティア団体	2.4%		無回答	2.5%

→ 問11へ

【問10で「1」から「8」と回答した方に】

問10-1 その活動はどのような分野ですか。

次の中から参加しているものをすべてお選びください。

n=340

1	区のイベント・行事の運営	27.1%	9	国際交流（協力）活動	0.9%
2	防犯・地域安全活動	26.2%	10	社会福祉活動	6.8%
3	自主防災活動や災害援助活動	10.3%	11	保健・医療・衛生活動	4.1%
4	子どもの健全育成活動	25.6%	12	自然・環境保護活動	1.5%
5	スポーツ活動	12.6%	13	交通安全活動	11.8%
6	文化・芸術活動	12.9%	14	募金活動、チャリティーバザー	17.6%
7	人々の学習活動支援・指導活動	2.6%	15	その他（具体的に：)	4.1%
8	観光振興活動	1.2%		無回答	8.2%

【全員の方にお聞きします】

問11 今後参加してみたいと思う地域での活動はどのような分野ですか。

次の中から参加してみたいものをすべてお選びください。

n=1,013

1	区のイベント・行事の運営	11.7%	10	社会福祉活動	9.8%
2	防犯・地域安全活動	9.6%	11	保健・医療・衛生活動	5.0%
3	自主防災活動や災害援助活動	10.2%	12	自然・環境保護活動	11.5%
4	子どもの健全育成活動	17.1%	13	交通安全活動	3.7%
5	スポーツ活動	20.2%	14	募金活動、チャリティーバザー	4.9%
6	文化・芸術活動	27.9%	15	その他 （具体的に：)	1.1%
7	人々の学習活動支援・指導活動	6.7%			
8	観光振興活動	6.0%	16	特にない	29.1%
9	国際交流（協力）活動	15.1%		無回答	3.8%

問12 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。

n=1,013

1	加入している	65.8%	2	加入していない	32.9%	無回答	1.3%
---	--------	-------	---	---------	-------	-----	------

問13 あなたは今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。

n=1,013

1	参加したい	11.3%	3	参加したくない	17.7%
2	機会があれば参加したい	29.8%	4	どちらともいえない	38.8%
				無回答	2.5%

問14 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。

次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	防災・地域安全活動	62.0%
2	交通安全活動	19.0%
3	清掃・リサイクル活動事業などの環境活動	30.5%
4	お祭りなどのイベント	39.3%
5	地域親睦・交流活動	24.6%
6	高齢者・障害者・児童に対する福祉活動	33.8%
7	行政との連携	20.0%
8	募金活動	4.4%
9	その他（具体的に：)	1.1%
10	特にない	11.7%
	無回答	1.7%

4 防災・安全

問15 区では、平成29年7月に「文京区客引き行為等防止条例」を施行し、繁華街における安全対策を強化し、安全で快適な地域環境の確保に取り組んでいます。このことを知っていますか。

n=1,013

1	知っている	19.3%	2	知らない	78.7%	無回答	2.0%
---	-------	-------	---	------	-------	-----	------

問16 警察のパトロール以外で、あなたが防犯対策として有用だと考えるものは何ですか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	防犯カメラの設置	79.7%
2	町会・自治会によるパトロール活動	31.3%
3	メール等による犯罪発生情報の提供	33.2%
4	子ども・高齢者向け地域安全教室の実施	20.9%
5	青色防犯パトロールカーによる巡回パトロール	47.8%
6	区と警察署が連携した啓発活動	37.9%
7	その他（具体的に：)	2.3%
8	特にない	1.7%
	無回答	1.1%

問17 あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。

次の中から**いくつでも**お選びください。

n=1,013

1	飲料水・食糧の確保（3日分以上）	62.6%	9	感震ブレーカーの設置	4.1%
2	救急用品の用意	40.0%	10	建物の耐震性および耐火性の確保	18.7%
3	貴重品を持ち出す準備	25.3%	11	防災訓練への参加	11.1%
4	携帯ラジオ、懐中電灯の用意	56.4%	12	家族との連絡方法・集合場所の確認	39.1%
5	携帯トイレ等トイレ関係用品の用意	26.7%	13	避難所等への避難方法の確認	22.7%
6	消火器、消火スプレーの用意	24.5%	14	その他（具体的に：)	0.6%
7	家具・家電の転倒防止	32.9%	15	特に何もしていない	9.9%
8	ガラスの飛散防止	6.7%		無回答	0.7%

問18 区からの災害情報の提供方法について、知っているものをすべてお選びください。

n=1,013

1	文京区ホームページ	50.8%
2	文京区ツイッター・フェイスブック	9.1%
3	防災行政無線（屋外スピーカー（電話応答システムを含む））	30.0%
4	CATVぶんきょう区民チャンネル	16.6%
5	文京区臨時災害FM放送（災害発生後、1週間程度で開局するラジオ放送）	1.3%
6	文の京安心防災メール	9.4%
7	Lアラート（災害情報共有システム）	16.9%
8	エリアメール（緊急速報メール）	27.9%
9	Yahoo! 防災速報	28.4%
10	ひとつもない	15.2%
	無回答	1.9%

問19 区では、災害情報を広域的に伝達する目的で、「防災行政無線（屋外スピーカー）」を公園や区立学校等に設置しております。

現在は、緊急性を強調するため、訓練を除き災害時のみ使用していますが、その使用方法について、あなたがもっとも適当と思うものを次の中から1つだけお選びください。 n=1,013

1	夕焼けチャイムのように定期的に流したほうがよい	15.1%
2	区のイベント情報など不定期でも流したほうがよい	4.8%
3	大雨・洪水警報等の事前の災害情報も流したほうがよい	45.3%
4	これまでどおり災害時のみ流したほうがよい	31.5%
	無回答	3.3%

5 まちづくり

問20 自転車の安全利用推進のために、区はどのようなことを重点的に行うべきと考えますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	自転車レーン・専用通行帯等の自転車走行空間の整備	64.6%
2	自転車利用者に対するルールの周知・マナーの向上	54.3%
3	悪質・危険な自転車運転者への指導・取締り強化	60.3%
4	駅周辺の放置自転車への警告・撤去の強化	24.0%
5	駅周辺・商業集客施設等における自転車駐車場の整備	46.6%
6	その他（具体的に： _____）	3.1%
7	わからない	2.2%
	無回答	1.3%

問21 あなたがお住まいの周辺地域のまち並み・景観について、どのように感じますか。 n=1,013

1	満足している	21.1%	4	どちらかといえば不満である	9.0%
2	どちらかといえば満足している	36.8%	5	不満である	3.2%
3	普通	26.4%	6	あまり考えたことはない	2.6%
				無回答	1.0%

問22 「道路の無電柱化」について、どのようなイメージをお持ちですか。 n=1,013

1	都市の防災機能が強化される	41.2%
2	安全で快適な歩行空間が確保される	55.9%
3	良好な都市景観が創出される	61.0%
4	無電柱化の工事には長い年月がかかる	29.1%
5	無電柱化の工事には多額の費用がかかる	47.0%
6	電柱に代わって地上機器が歩道上に設置される	4.9%
7	わからない	4.5%
	無回答	1.6%

問23 区では、平成21年4月から「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を施行し、区内の公共の場所（屋外に限る）における歩きタバコポイ捨て及び駅出入口前などの重点地域での路上喫煙を禁止しています。このことを知っていますか。 n=1,013

1	よく知っている	53.9%
2	聞いたことはあるが内容はよく知らない	30.8%
3	知らない	14.4%
	無回答	0.9%

問24 あなたは、住まいのまわりの「緑」をもっと増やすにはどうすればよいと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	公園や児童遊園を緑豊かにする	52.1%
2	街路樹などで道路の緑を豊かにする	54.3%
3	よう壁や石積みなどにツタをはわせて緑豊かにする	8.9%
4	屋上の緑化を進める	31.1%
5	学校などの公共施設の緑化を進める	41.8%
6	住宅地などの緑化を進める	27.4%
7	商店街の緑化を進める	15.6%
8	市街地再開発など都市開発の際に緑地をつくる	43.0%
9	生け垣を奨励する	15.0%
10	その他（具体的に：)	1.8%
11	もうこれ以上緑を増やす必要はない	3.3%
12	わからない	4.0%
	無回答	0.9%

問25 あなたは日頃、区立公園や児童遊園などをどの程度利用していますか。

n=1,013

1	ほぼ毎日	3.4%	5	ひと月に1回程度	7.3%
2	1週間に2~3回程度	6.5%	6	2~3か月に1回程度	6.3%
3	1週間に1回程度	7.9%	7	ほとんど利用しない	37.4%
4	ひと月に2~3回程度	7.0%	8	まったく利用しない	23.5%
				無回答	0.7%

問26 あなたは、区内にどのような公園があるとよいと思いますか。

次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	緑が多く、木陰での休憩や散策が楽しめる公園	59.4%
2	ビオトープ（※）があり、自然環境とふれあえる公園	20.7%
3	四季折々の花や紅葉を楽しめる公園	41.3%
4	各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園	26.1%
5	健康運動器具などを充実させ、大人も楽しめる公園	18.2%
6	大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園	20.6%
7	ネットなどで囲まれた屋外運動施設のある公園	5.5%
8	噴水や流れなどの水施設があり、水と親しめる公園	17.9%
9	樹木や植え込みを整理した見通しが良く明るい公園	24.3%
10	災害時に避難場所となる機能をもった公園	44.0%
11	その他（具体的に：)	3.3%
12	わからない	1.0%
	無回答	0.6%

※ビオトープとは、さまざまな野生生物が生息し、自然の生態系が機能する空間です。

6 子育て・教育

問27 子育て支援策として、区はどのような施策を実施すべきと思いますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	保育園・育成室等の保育サービスの充実	58.1%
2	職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進	26.5%
3	安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など）	27.0%
4	子どもを育てる親が情報交換できる場の整備	9.9%
5	子育て情報の提供や各種相談サービスの充実	12.0%
6	乳幼児等の健康の維持及び増進のための保健サービスの充実	9.4%
7	経済的な支援の充実	18.6%
8	子どもの貧困対策	17.3%
9	一時預かり保育などの充実	32.2%
10	児童虐待防止対策の充実	16.0%
11	防犯等の子どもの安全対策の充実	19.8%
12	非行等の防止対策の充実	7.7%
13	里親制度の普及・啓発	4.5%
14	その他（具体的に：)	2.1%
15	わからない	6.4%
	無回答	1.5%

問28 青少年健全育成に関して地域の大人たちができること、また、やるべきことは何だと思いませんか。次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと	69.3%
2	子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること	48.5%
3	子ども達に進んで「おはよう」「こんにちは」等あいさつをすること	41.8%
4	地域や学校の行事に参加、協力すること	19.9%
5	近所の知り合いの子どもの育成に手を貸すこと	17.8%
6	地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい	34.2%
7	その他（具体的に：)	1.3%
8	わからない	2.3%
	無回答	1.0%

問29 区立の小中学校では、次のような学校支援活動が実施されています。
あなたが協力したい活動を次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	スクールガード 〔登下校等の見守りを行うボランティア〕	22.0%
2	学校図書ボランティア 〔児童に本の読み聞かせ等を行うボランティア〕	19.3%
3	学習ボランティア 〔学校において学習指導等を行うボランティア〕	13.7%
4	バリアフリーパートナー 〔学校での特別な支援を必要とする子どもたちを支援するボランティア〕	9.0%
5	ゲストティーチャー 〔授業で特技や専門分野等を子どもたちに教えるボランティア〕	17.2%
6	学校支援地域本部事業 〔PTAや地域の人が、ボランティアで学校運営をサポートする事業〕	9.0%
7	特にない	42.4%
	無回答	3.4%

7 高齢者

問30 あなたは、地域における高齢者の相談窓口である、「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」を知っていますか。 n=1,013

1	事業内容もおおむね知っている	11.6%
2	事業内容について少し知っている	13.8%
3	名前は聞いたことがある	31.2%
4	知らない	42.6%
	無回答	0.7%

問31 あなたは、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活を送るため、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制「地域包括ケアシステム」を知っていますか。 n=1,013

1	内容もおおむね知っている	9.9%
2	内容について少し知っている	12.5%
3	名前は聞いたことがある	21.2%
4	知らない	55.5%
	無回答	0.9%

8 消費者相談

問32 あなたは、消費生活センターに、消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談する「消費者相談室」があることを知っていますか。 n=1,013

1	相談したことがある	6.5%
2	知っているが、相談したことはない	68.5%
3	知らない	24.2%
	無回答	0.8%

9 文化・芸術・スポーツ振興

問33 オリンピック・パラリンピック東京2020大会まで約2年となりました。あなたは、大会に、どのような形でかかわりたいと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。 n=1,013

1	大会ボランティアとして、大会運営にかかわりたい	11.9%
2	観光スポットや駅などで観光客を案内したい	6.9%
3	外国人に日本の文化や芸術を紹介したい	7.3%
4	スポーツ体験などのイベントのサポートを行いたい	4.3%
5	観客として観戦したい	52.7%
6	選手、スタッフ等として競技に参加したい	2.1%
7	何か決まっていなくても、何らかの形でかかわりたい	23.4%
8	特にかかわりたいとは思わない	30.2%
	無回答	1.2%

問34 オリンピック・パラリンピック東京2020大会を盛り上げ、区民一人ひとりに有益なレガシー（遺産）を残すため、区民はどんなことを行うことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	自国の文化や芸術などの理解を深め、発信できるようになること	42.0%
2	語学やコミュニケーション力を高め、外国人との交流ができるようになること	41.9%
3	観光客を迎え、おもてなしをおこなうこと	21.9%
4	様々なボランティアに参加し、活発に取り組むこと	16.3%
5	パラスポーツを通じて、障がい者理解を深めること	20.2%
6	様々な選手や観客がいることを理解し、人権への理解を深めること	42.2%
7	スポーツに取り組み、体力の向上や健康の維持に努めること	19.5%
8	その他（具体的に：)	2.0%
9	特にない	17.1%
	無回答	1.1%

10 循環型社会

問35 環境について、あなたが知りたいと考えるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →

1つめ	2つめ	3つめ

n=1,013

1	省エネルギーや再生可能エネルギーに関する情報	47.1%
2	地球温暖化に伴う異常気象や健康被害に関する情報	58.7%
3	植物や動物などの多様な生き物についての情報	18.1%
4	区内の緑や水辺に関する情報	25.3%
5	大気汚染や騒音など、公害に関する情報	43.9%
6	区民の環境に関する体験・知識習得の機会の情報	14.1%
7	歩きたばこや吸い殻ポイ捨てなど地域美化に関する情報	24.4%
8	その他（具体的に：)	0.8%
9	特にない	7.7%
	無回答	1.4%

問36 ごみ減量を進めるために、どういった情報を区から発信してほしいですか。次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	ごみの分別や資源回収に関すること	51.7%
2	食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）に関すること	39.3%
3	3R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル）に関すること	31.6%
4	フードドライブ（家庭で余った食品の寄付）に関すること	31.7%
5	食べ切りや残った料理を持ち帰れる飲食店の紹介	27.8%
6	フリーマーケットに関すること	17.9%
7	イベント・講座情報	8.5%
8	資源回収を行っている店舗（リサイクル推進協力店）の紹介	41.2%
9	資源の集団回収に関すること	22.6%
10	生ごみ堆肥・腐葉土に関すること	14.8%
11	その他（具体的に：)	1.1%
12	特にない	7.4%
	無回答	1.4%

11 議会

問37 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。
次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	ぶんきょう区議会だより	60.2%
2	区議会のホームページ	3.2%
3	区議会日程ポスター	0.6%
4	本会議・委員会の傍聴	0.5%
5	区報ぶんきょう	34.0%
6	CATVぶんきょう区民チャンネル	5.2%
7	その他（具体的に：)	1.1%
8	特にない（区議会の活動を知らない）	24.0%
	無回答	0.8%

【問37で「2 区議会のホームページ」と回答した方に】

問37-1 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。

n=32

1	よく見る	0.0%
2	時々見る	34.4%
3	興味のある内容のときだけ見る	62.5%
	無回答	3.1%

【全員の方にお聞きます】

問38 地方議会の活性化や議会改革が求められています。区議会の活動として期待することはどれですか。次の中からいくつでもお選びください。

n=1,013

1	執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化	36.0%
2	議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化	26.9%
3	議会報告会など住民との直接対話による意見聴取	34.8%
4	参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化	15.7%
5	区議会インターネット配信など議会広報の充実	19.6%
6	その他（具体的に：)	3.0%
7	特にない	25.6%
	無回答	3.9%

12 人権・ダイバーシティ

問39 文京区男女平等センター内にある相談室では、家庭や職場の人間関係や性別に関する悩みなどを相談することができます。「男女平等センター相談室」を知っていますか。

n=1,013

1	利用したことがある	1.8%
2	知っているが、利用したことはない	32.8%
3	知らない	64.8%
	無回答	0.7%

問40 人権や差別・偏見についての問題の周知・理解や解決のために、区が今後どのようなことに力を入れていくべきと考えますか。

次の中からあてはまるものを5つまで選んで、下の欄に番号をご記入ください。 n=1,013

番号を記入 →	1つめ	2つめ	3つめ	4つめ	5つめ

1	性別に起因する差別の解消	47.9%	9	刑を終えて出所した人への支援	8.1%
2	子どもへの虐待・体罰の防止	76.5%	10	犯罪被害者とその家族への支援	22.3%
3	高齢者への虐待の防止、雇用に関する差別解消	55.1%	11	インターネットを悪用した書き込みの防止	45.9%
4	障害者への虐待の防止、差別の解消	53.2%	12	路上生活者への支援	11.4%
5	部落差別等の同和問題の解消	6.8%	13	その他 (具体的に：)	2.1%
6	アイヌの人々に対する差別の解消	2.8%	14	わからない	6.8%
7	外国人と共生する社会	27.4%		無回答	1.6%
8	エイズ・HIV感染者やハンセン病患者に対する差別の解消	8.9%			

問41 あなたは、①「SOGI」(※1)や②「LGBT」(※2)について知っていますか。

次の中からあてはまるものを、それぞれ1つずつ選んで、下の欄に番号をご記入ください。

番号を記入 →	① SOGI (※1)	② LGBT (※2)

n=1,013

	① SOGI	② LGBT
1 言葉の意味を知っている	13.8%	66.0%
2 聞いたことはあるが、言葉の意味は知らない	12.9%	8.7%
3 知らない	71.1%	22.4%
無回答	2.2%	2.9%

※1「SOGI」とは、「性的指向」(Sexual Orientation、恋愛感情や性的な関心・興味が主にどの性別に向いているかをいいます。)と「性自認」(Gender Identity、「私は女である」「私は男である」等の、自分がどの性別であるか又ははないかということについての内面的・個人的な認識をいいます。)の頭文字を取った総称です。

※2「LGBT」とは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーという、性的指向・性自認が非典型な人々のうち代表的とされるものの頭文字を取った総称です。

■ 最後に、あなたとご家族のことについておたずねします

F1 あなたの性別は、次のどれにあたりますか。 n=1,013

1	男性	41.3%	3	その他の性自認	0.1%
2	女性	58.3%		無回答	0.3%

F2 あなたの年齢はおいくつですか。 n=1,013

1	18~19歳	1.1%	5	50~59歳	18.8%
2	20~29歳	7.2%	6	60~64歳	7.3%
3	30~39歳	18.8%	7	65歳以上	28.3%
4	40~49歳	18.3%		無回答	0.3%

※裏面に続きます →

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。

n=1,013

1	自営業・事業主	11.7%	4	労務・サービス業	8.8%	7	無職	14.3%
2	管理職・自由業	10.0%	5	家事（専業）	17.3%	8	その他	7.5%
3	事務職・術職	26.2%	6	学生	3.5%		無回答	0.8%

F 4 一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。

n=1,013

1	1人	21.0%	3	3人	23.9%	5	5人	5.7%
2	2人	30.2%	4	4人	17.1%	6	6人以上	1.6%
							無回答	0.5%

F 5 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。

n=1,013

1	一戸建て持ち家	34.0%	4	賃貸マンション・アパート	28.5%
2	一戸建て借家	2.8%	5	社宅、寮など	2.1%
3	分譲マンション	31.1%	6	その他（ 無回答	1.1% 0.5%

F 6 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。

※同居・別居を問わず、現在の状況をお答えください。

n=1,013

◎独身である	1	18～39歳	12.5%
	2	40～64歳	11.5%
	3	65歳以上	9.8%
◎配偶者がいて 子どもがいない	4	本人 18～39歳	4.4%
	5	本人 40～64歳	6.8%
	6	本人 65歳以上	2.9%
◎配偶者がいて 子どもがいる	7	一番上の子どもが小学校入学前	9.7%
	8	一番上の子どもが小・中学生	10.3%
	9	一番上の子どもが高校生・大学生（短大・大学院・専門学校等含む）	6.5%
	10	本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	9.4%
	11	本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	15.1%
		無回答	1.2%

F 7 あなたはどちらの地区にお住まいですか。

n=1,013

1	根津、弥生、本郷、湯島、西片、白山（1丁目）、向丘（1丁目）	21.6%
2	後楽、春日、水道、小石川（1～4丁目）、関口（1丁目）、小日向（1丁目） 白山（2丁目）	21.2%
3	千駄木、本駒込、向丘（2丁目）、白山（5丁目）	26.0%
4	千石、白山（3・4丁目）、大塚（3・4丁目）、小石川（5丁目）	16.4%
5	音羽、目白台、大塚（1・2・5・6丁目）、関口（2・3丁目）、小日向（2～4丁目）	14.4%
	無回答	0.4%

ご協力ありがとうございました

～ 皆さまからの貴重なご意見を、区の施策に活かしてまいります～

第24回 文京区政に関する世論調査 報告書

平成30年12月発行

印刷物番号 C0118006

- [発行] 文京区企画政策部広報課
〒112-8555 文京区春日1丁目16番21号
☎ 03 (5803) 1129 (直通)
- [実施] 株式会社総合企画
〒111-0053 台東区浅草橋1丁目7番2号
☎ 03 (5829) 6203

資源有効利用のため再生紙を使用しています。

